柱状図(0.00m~35.00m)

		H	27-B	3r-	1			孔口	1 標	高	T. P.	94.	37m	掘	削	長	130. 0	Om
						- 1.0	ı											_
標	標	深	柱	岩	色	岩	_	最	R	⊐	ア拐	取 率						\neg
尺	高	度	状	種		級	ア採	大コ	Q	最	大=	ア 長			記		事	
^	[0]	区	1/	区		区	取率	ア長	D		R Q	D			пL		7	
m	m	m	図	分	調	分	(%)		(%)	0 2	\neg	60 80 100						_
L 1	94.23		####	礫混じ り有機 質シル	黒褐)		100	3	0	•	+		・礫温		有機質	シルト	である。	- 1
		1	**** ****		にぶい	2	100	3	0	•		2	0.16~		11m トであ	る。		4
- 1			****		黄橙	D'	100	5	0	• + +	+ 1		0.16~	-2.80	m		入している。	-
- 1			*		灰白		100	3	0	1	111		3. 58~	-4. 81	m			
ŀΙ			#### # <u>#</u> ##		浅黄檀		100	3 14	0				土化し	してい	る。		怪2~8mm) を残し7	柘
- 1			****		明		100	13	14					1目が ∼9.63	不明瞭 m	である	0.0	4
- 1			****		黄褐	CL'	100	4	0				· 割材	旧に	灰白~	褐色粘	土を挟む。	
-			* # * # .		15	_	100	5	0	•								-
			**** ****		ぶい		100	12	12	1	+							-
- 10			#### ###		黄橙	CM'	100	11	11	1	##							-
h			**** ****		570000	OIII	100	24	24		1777	-1-1-1-1	11 42	~11.	50m			- 1
ΙI			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰白	CH'	100	15	27				· 割オ	1目が	多く、	200	片状を呈する。	1
			****		にぶい、黄橙	CL'	100	30	30		1		・幅1	~ 2mm	の一部	一個世	粘土を挟む。	1
			* * * * * *		赤灰	CM'	100	27	47	- 1	•	FEEL	ł					
L I			#### ####		にぶ	CL'	100	5	0	•			5. 51	~ 15.	74m			
ļ.			****		が黄	CM'	100	27	27	-13				角度の~15.		が密に	発達する。	- 1
l I			****	アプ	橙	CL'	100	4	0	• i i	111		・割オ	1目が	多く.	砂状~	一礫状を呈する。	-4
-			###	ライ	灰白	(1 SE 4000 / SE	100	5	0	•								4
- 20			####	۲	にぶい	CM'	100	13	13 26	L		EFFT.		~20.				. +
- 1			**** ***		黄橙		100	7	0				· 割オ	れ目に	沿って		』し、礫状を呈する ・呈する粘土を挟む	
- I			****		灰白 明黄褐	CL'	100	4	0	7			1	~21.		白色を	呈する粘土を挟む	b
ŀΙ			**** ****		にぶい黄橙	UL	100	5	0	•	111		21.93			れ目が	『斜交し、角礫状』	を呈
ŀΙ			*		黄橙	OII!	100	13	43				する。 23.07					
ΙI			####		灰	CH'	100	20	79				· 割材	1目が	多く,		た 2.5mm以下の褐色 8	を を 早
			*		黄	CM'	100	20	26		111				挟む。	THO - Z	L. OHRIDA T. OTHER	
[****		阳井坦		100	4	0	1	111		27 70	00	76			1
			+###		明黄褐にぶい	CL'	100	4	0	• -			・高角		割れ目	が発達	する。]
- 30			####		黄橙灰黄褐	CM'	100	3	0	•	111		28.97 · 不規		74m 割れ目	が発達	する。	
_ "			####				100	13	13	1			30. 57	~31.	25m			
			####		にぶ	CL'	100	4	0	+++ +++	111			角度の~31.	割れ目 80m	が発達	する。	-
-			#### ###		が黄	2000-103	100	4	Ö	•	111		・中角	角度の	割れ目	が発達	!する。	-
-			###		橙	D'	100	0	0		111			27~3	5.90m(ある。	D-3破	砕帯)	1-
\vdash			M + ***				100	U	0	Ti	717	TEET	・正則	折層セ	ンスが		いらなる。	
													・明勣	黄褐色	の未固	結粘土	:水らなる。 :状部:累計幅1.5 I°Wである。	icm
													・上並	端境界	の傾斜		、下端境界の傾斜	料は
1–1/	- / /	\ 16	\										80° 7	じめる	0			

^{1-145 (}分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-146 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	п	割	風	変	后	ア採取率 岩 孔 (標準貫入)試験 原 室 掘 掘…	fL =	給		2 /	
			'-	種			ア	n	,		10	(%) 内 内 (N値~深度)図 位 進 たコア長 水	圣デチュ		転	水	送 排 水 水
尺	高	度	状					目の				cm	m) ユーブ		1 1		量量
				区			形	状					達 と	kN	rpm	MPa	(L/分分
(m)	(m)	(m)	図	分	調	1		態		質	事		隻「		-	~	分 分
					灰黄明	Bg	-	cg	β		27.56m:幅1mmの褐色粘土を挟在す る。	<u> </u>					
			+++++		黄褐にぶい	Cg	Vg		δ Υ	2	27.72~28.76m: 高角度の割れ目が 顕著になる。 27.73~28.05m: フィルム状の灰白						286
			****		黄橙		IV g	bg	γ		色粘土を複数挟在する。 28.97~29.74m: 不規則な割れ目が 発達する。	4/28 119				1.0	清水 0
30			++++++		灰黄褐	1	Œ s	cg	β		30.57~31.25m:高角度の割れ目が	 	01				
-			*****					bg	δ	3	卓越する。 31.36~31.80m:傾斜30~50°の平行		ナーシング				
-			****** ******			Dg	IV g	cg		2	な割れ目が発達する。 31.68~31.96m:フィルム状の褐色 粘土を複数挟在する。	<u> </u>					
-					にぶい曲		V g IV g										
-					橙		VI g		r		●33.27~35.90m: 破砕帯。 33.27~33.62m: 細礫混じり粘土状 破砕部(Hb)。基質は粘土~砂からな						
-						Eg		T.		4	る。上端の傾斜80°。 33.62~34.65m:角礫状破砕部(Hj)。 不規則な割れ目に沿ってシルト~砂	D					
						Ļ		dg			を挟む。 34.65~34.66m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅10~15mmの明黄褐色粘土から	4/27 112					
			++++++		浅黄橙	Cg	IV g III g		β	2	なる。 34.66~35.90m: 角礫状破砕部(Hj)。 角礫状~砂状を呈する。34.80~34. 87mには石英粒が密集する。下端に	[28]	00	29. 4			
			+++++				II g			3	幅2~10mmの緑褐~灰色粘土を挟在 し、傾斜は80°。		ジンガイド音			0.0	清水 0
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Mg Vs Hg Vs Hs			2	38.27~38.68m:割れ目が密集し、 幅2~5mmで細礫状を呈する。	Tags 1	曹				
-			+++++		灰白	Bg	II g IV g III g			3	38.75~40.97m: 珪化する。	28 OH CHI					
- 40			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				I g			2	40.28~40.30m:割れ目に沿って礫	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
-			+++++				Пg Пg			3	状を呈する。	/					
-						Cg	III g IV g III g		r			661 30					
-			++++++			Bg	TI or			2		[473] CM	\$				
					明黄	Cg Dg	Vg				43.32〜43.34m:幅2〜3mmの優白色 鉱物脈を挟在する。		ダブルコアチューブ/ダイヤモ				
			++++++	アプライ	黄橙	Og Dg Cg		cg			44.35~46.82m:優白色鉱物脈を挟 在する割れ目が発達する。		1		130		
			+++++	フイト		Bg Cg Bg	1				45.54~45.73m: 不規則な割れ目が	4/30 124	ダイヤー		130		
			++++++				II g IV g				集中する。 46.30~46.44m:割れ目に沿って幅1 0~30mmで細礫状を呈する。	27 CM CM (5-4)	ンドビ				
-			++++++		_		III g II g		β		46.64m, 46.82m:幅4mmの白色鉱物 脈を挟在する。	93 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ット				
-			****** ******		青 灰		II g IV z II g				47.56~47.57m:角礫状を呈する。 48.16~48.22m:岩片状を呈する。	[84] [1] [84] [1] [84] [84] [84] [84] [84] [84] [84] [84					
-			+++++			Bg	-	bg			48.73m, 48.78m:割れ目に沿って幅 4~7mmで砂状~細礫状を呈する。	(H)					
<u> </u>			****** ******		明黄褐		Пg				49.50~49.52m: 細礫状~岩片状を 呈する。	[63]					
-					褐		II g Ws III g				51.32~51.53m:割れ目が集中し、 一部礫状を呈する。	[84]		49. 0			
						-	IV g			3	Mr. m. c. ₹ 7 ♥ 0						
						Cg	IV g				52.33~52.58m:割れ目が集中し、 岩片状~磔状を呈する。						清
			*****				IVg		r		52.76~53.90m:高角度の割れ目を 主体とし、黒色酸化物の挟在が顕著 である。					1.0	清 水 5
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰白	Cg Bg					54.12m, 54.83m: それぞれ幅2mmの 褐色, 灰白色の粘土を挟在する。	51 1 1 1 0m					
			++++++				IV g V g				55.13m:幅3mmの赤褐色粘土を挟在 する。				+		
-						Cg	II s	cg			55.32~55.48m:割れ目が集中し、 一部に幅2~4mmの淡緑灰色粘土を挟 在する。 55.62-56.26m: #原2-14mmの場所係						
-			[++++++ ++++++ ++++++			Bg					55.63~56.36m:幅3~4mmの緑灰色 粘土を挟在する割れ目が発達する。 58.53~58.82m:傾斜50*の割れ目が 連結:一部に開発3~6mmの原色魚料	or,					
-			++++++		淡赤橙	Cg Bg					連続し、一部に幅2~6mmの灰白色粘 土を挟在する。 ●59.18~59.27m:破砕帯。	5/7 133					
-						I Ca	Vg		δ	4	59.18~59.26m:角礫状破砕部(Hj)。 上端の傾斜は60°で、幅5mmの細粒砂	*/ Iss		29. 4			
60			₽+++ 5		淡黄	Cg				4	〜20mmの石英が密集する。 59.26〜59.27m:粘土状破砕部(Hc-1)。幅4〜5mmの明褐灰色粘土、幅5〜						
			 			Bg Cg		bg			14mmの淡緑灰色粘土からなる。傾斜 は40°。 59.28~59.41m:角礫状を呈し、シ						
			+++++		淡赤橙				γ	3	ルト〜粘土にやや富む。						
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Bg	III g IV g III g IV g	cg			60.00~61.02m:砂状~礫状を呈し、 下端に幅8mmの暗緑褐色粘土を挟在。 62.02~62.387m: 傾斜60~70 の平	5/ 8 126					
			+++++			Cg	Ng				. 行な割れ目が発達する。						\pm

柱状図(0.00m~35.00m)

		_H	27-B	3r-	1			孔口	1 標	高	T. P.	94.	37m	掘	削	長	130.00m
130	120	*****	12	ш.	-	ш		-	_	_	- 45	T- +					
標	標	深	柱	岩瑶	色	岩级	コア	最大	R		ア採	取率(%)					
尺	高	度	状	種区		級区	採取	コア	Q	最	大コ	ア 長 (cm)			話		事
m	m	m	図	分	調	分	率(%)	長 (cm)	D (%)		R Q	[%]					
	94.23	0.10	##	礫混じ	黒褐		100	3	0	0 2	0 40	60 80 100	_	~0.16	Sm		Hermonic sign
			####	り有機 質シル ト	にぶい		100	3	0	11	444	ttt	0.16~			シルト	〜である。
-			****		黄	D'	100	5	0	•	1111			プライ ~2.80	トであ)m	る。	
-3			+ + + + + +		橙		100	3	0	• -						多く温	足入している。
			****		灰白		100	3	0	† T T			・変質		り、石	英粒(径2~8mm) を残して粘
			####		浅黄橙	77	100	14	14	-				してい れ目が	る。 不明瞭	そである	5.
- X			****		明黄		100	13	13	-		FFFF		~9.63 れ目に		褐色彩	占土を挟む。
			"#"# ####		褐	CL'	100	4	0	•							
			* + * + * -		にぶ		100	5	0	•+ +	+++						
- 10			####		がい黄		100	12	12	1		EEEE					
			####		橙	CM'	100	11	11	L	111						
			####		灰		100	24	24	++				!~11 .		Yang-or Toronto	
			* * * * * *		白	CH'	100	15	27	•							岩片状を呈する。 色粘土を挟む。
-			####		にぶい黄橙	CL'	100	30	30		1						
-			+ + + + + +		赤灰	CM'	100	27	47	-	•						
-			****		にぶ	CL'	100	5	0	•1	1 -1 -1-		1000000	~15.			
-			####		が黄	CM'	100	27	27	-13	1			角度の 1~15.		が密に	=発達する。
-			****	アプ	授	CL'	100	4	0	₹ F T	1111		・割ね	れ目が	多く.	砂状~	~礫状を呈する。
-			****	プライ	白白		100	5	0	•	111						
- 20			####	۲	にぶい	CM'	100	13	13	L		FFFF		~20.			
-			****		黄橙		100	7	0								産し、礫状を呈する。 E呈する粘土を挟む。
-			****		灰白 明黄褐	01.	100	4	0	7-		FFFF		~21.		白色を	と呈する粘土を挟む。
20			####		にぶい	CL'	100	5	0				21.93	~22.	34m		が斜交し、角礫状を呈
			####		黄橙		100	13	43				する。 23.07	6		,, о Ц л	MXU. AMNEE
-			*****		灰	CH'	100	20	79	- 1 1			· 割材	れ目が	多く、		大を呈する。
			****		黄	CM'	100	20	26						いに、 ·挟む。	幅0~	2.5㎜以下の褐色を呈
-		1	++++		Ш	3	100	4	0	•4	4 -1 -1 -		3				
-			**** ***		明黄褐	CL'	100	4	0	•		iririt		~28. 角度の		が発達	を する。
-			#### ####		にぶい 黄橙	CM'	100	3	0	•			28. 97	~29.	74m		生する。
- 30			####		灰黄褐		100	13	13	1	111	TE E	1	現則な '~31.		が光道	Ey Ø₀
			**** ****		にぶ	CL'	100	4	0	•	1111	-1- - - - -1- - - - - 	・高角	角度の	割れ目	が発達	生する 。
		2,	#### ###		11	UL	100	4	0	• -		EFFE		i~31. 角度の		が発達	産する。
			∅ +##		黄橙	D'	100	0	0	1					85. 90m	(D-3破	砕帯)
			* **			D'	100	0	0	+ -	+++	++++			ある。	がある。	
													・主(・明す ・走[こ橙色 黄褐色 句・傾 帯境界	の固結 の未固 斜はNi の傾斜	s礫状部 結粘土 16°E8	Rからなる。 L状部:累計幅1.5cm 1°Wである。 ,下端境界の傾斜は

^{1-145 (}分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-147 (分類d) ② 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-146 (分類b) ③ 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	п	割	風	変	后	ア採取率 岩 孔 (標準貫入)試験 原 室 掘 掘…	fL =	給		2 /	
			'-	種			ア	n	,		10	(%) 内 内 (N値~深度)図 位 進 たコア長 水	圣デチュ		転	水	送 排 水 水
尺	高	度	状					目の				cm	m) ユーブ		1 1		量量
				区			形	状					達 と	kN	rpm	MPa	(L/分分
(m)	(m)	(m)	図	分	調	1		態		質	事		隻「		-	~	分 分
					灰黄明	Bg	-	cg	β		27.56m:幅1mmの褐色粘土を挟在す る。	<u> </u>					
			+++++		黄褐にぶい	Cg	Vg		δ Υ	2	27.72~28.76m: 高角度の割れ目が 顕著になる。 27.73~28.05m: フィルム状の灰白						286
			****		黄橙		IV g	bg	γ		色粘土を複数挟在する。 28.97~29.74m: 不規則な割れ目が 発達する。	4/28 119				1.0	清水 0
30			++++++		灰黄褐	1	Œ s	cg	β		30.57~31.25m:高角度の割れ目が	 	01				
-			*****					bg	δ	3	卓越する。 31.36~31.80m:傾斜30~50°の平行		ナーシング				
-			****** *****			Dg	IV g	cg		2	な割れ目が発達する。 31.68~31.96m:フィルム状の褐色 粘土を複数挟在する。	<u> </u>					
-					にぶい曲		V g IV g										
-					橙		VI g		r		●33.27~35.90m: 破砕帯。 33.27~33.62m: 細礫混じり粘土状 破砕部(Hb)。基質は粘土~砂からな						
-						Eg		T.		4	る。上端の傾斜80°。 33.62~34.65m:角礫状破砕部(Hj)。 不規則な割れ目に沿ってシルト~砂	D					
						Ļ		dg			を挟む。 34.65~34.66m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅10~15mmの明黄褐色粘土から	4/27 112					
			++++++		浅黄橙	Cg	IV g III g		β	2	なる。 34.66~35.90m: 角礫状破砕部(Hj)。 角礫状~砂状を呈する。34.80~34. 87mには石英粒が密集する。下端に	[28]	00	29. 4			
			+++++				II g			3	幅2~10mmの緑褐~灰色粘土を挟在 し、傾斜は80°。		ジンガイド音			0.0	清水 0
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Mg Vs Hg Vs Hs			2	38.27~38.68m:割れ目が密集し、 幅2~5mmで細礫状を呈する。	Tags 1	曹				
-			+++++		灰白	Bg	II g IV g III g			3	38.75~40.97m: 珪化する。	28 OH CHI					
- 40			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				I g			2	40.28~40.30m:割れ目に沿って礫	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
-			+++++				Пg Пg			3	状を呈する。	/					
-						Cg	III g IV g III g		γ			661 30					
-			++++++			Bg	TI or			2		[473] CM	\$				
					明黄	Cg Dg	Vg				43.32〜43.34m:幅2〜3mmの優白色 鉱物脈を挟在する。		ダブルコアチューブ/ダイヤモ				
			++++++	アプライ	黄橙	Og Dg Cg		cg			44.35~46.82m:優白色鉱物脈を挟 在する割れ目が発達する。		1		130		
			+++++	フイト		Bg Cg Bg	1				45.54~45.73m: 不規則な割れ目が	4/30 124	ダイヤー		130		
			++++++				II g IV g				集中する。 46.30~46.44m:割れ目に沿って幅1 0~30mmで細礫状を呈する。	27 CM CM (5-4)	ンドビ				
-			++++++		_		III g II g		β		46.64m, 46.82m:幅4mmの白色鉱物 脈を挟在する。	93 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ット				
-			****** ******		青 灰		II g IV z II g				47.56~47.57m:角礫状を呈する。 48.16~48.22m:岩片状を呈する。	[84] [1] [84] [1] [84] [84] [84] [84] [84] [84] [84] [84					
-			+++++			Bg	-	bg			48.73m, 48.78m:割れ目に沿って幅 4~7mmで砂状~細礫状を呈する。	(H)					
<u> </u>			****** ******		明黄褐		Пg				49.50~49.52m: 細礫状~岩片状を 呈する。	[63]					
-					褐		II g Ws III g				51.32~51.53m:割れ目が集中し、 一部礫状を呈する。	[84]		49. 0			
						-	IV g			3	Mr. m. c. ₹ 7 ♥ 0						
						Cg	IV g				52.33~52.58m:割れ目が集中し、 岩片状~磔状を呈する。						清
			*****				IVg		r		52.76~53.90m:高角度の割れ目を 主体とし、黒色酸化物の挟在が顕著 である。					1.0	清 水 5
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰白	Cg Bg					54.12m, 54.83m: それぞれ幅2mmの 褐色, 灰白色の粘土を挟在する。	51 1 1 1 0m					
			++++++				IV g V g				55.13m:幅3mmの赤褐色粘土を挟在 する。				+		
-						Cg	II s	cg			55.32~55.48m:割れ目が集中し、 一部に幅2~4mmの淡緑灰色粘土を挟 在する。 55.62-56.26m: #原2-14mmの場所係						
-			[++++++ ++++++ ++++++			Bg					55.63~56.36m:幅3~4mmの緑灰色 粘土を挟在する割れ目が発達する。 58.53~58.82m:傾斜50*の割れ目が 連結:一部に開発3~6mmの原色魚料	or,					
-			++++++		淡赤橙	Cg Bg					連続し、一部に幅2~6mmの灰白色粘 土を挟在する。 ●59.18~59.27m:破砕帯。	5/7 133					
-						I Ca	Vg		δ	4	59.18~59.26m:角礫状破砕部(Hj)。 上端の傾斜は60°で、幅5mmの細粒砂	*/ Iss		29. 4			
60			₽+++ 5		淡黄	Cg				4	〜20mmの石英が密集する。 59.26〜59.27m:粘土状破砕部(Hc-1)。幅4〜5mmの明褐灰色粘土、幅5〜						
			 			Bg Cg		bg			14mmの淡緑灰色粘土からなる。傾斜 は40°。 59.28~59.41m:角礫状を呈し、シ						
			+++++		淡赤橙				γ	3	ルト〜粘土にやや富む。						
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Bg	III g IV g III g IV g	cg			60.00~61.02m:砂状~礫状を呈し、 下端に幅8mmの暗緑褐色粘土を挟在。 62.02~62.387m: 傾斜60~70 の平	5/ 8 126					
			+++++			Cg	Ng				. 行な割れ目が発達する。						\pm

柱状図(35.00m~70.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最大	R	コア採		
尺	高	度	状	種		級	ア採	□	Q	最大コ	ア 長	記事
	101	1/2		区	2, 200724	区	取率	ア長	D	RQ	(cm)	10 T
m	m	m	図	分	調	分3	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60	[%]	
		2	# ##		にぶい 黄橙	D'	100	4	0	<+++		3
			####		浅黄橙	CM'	100	17	28	1		
			****			CM'	100	23	50	+ + +		
		1	####		灰	CH'	100	21	48	- 1 1 2 1 1 - 1		38. 27~38. 68m
40			#### ####		白	B'	100	36	78		IL:	・割れ目が密集している。 ・幅2∼5mmで細礫状を呈する。
			####			CH'	100	37	85	-	11	3 8.75~40.97m ・珪化する。
			####			OII	100	23	65	- + + +		▲0.28~40.30m ・割れ目に沿って礫状を呈する。
			####			CM'	100	30	47	- + + + -		Internal Complexity of
			****		明黄		100	9	9	* + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		
			" # " # " # # #		橙	CL'	100	7	0	+++- - -		
			####		8	CM'	100	9	9	+++		45. 54~45. 73m
			####			CIVI	100	27	54	-+++		・不規則な割れ目が発達する。
			+#+#		青灰	5	100	39	91		-1-1-1	
			***			CH'	100	34	46	-++-		48.16~48.22m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。
50			*		明黄		100	19	83			49. 50~49. 52m
			####	マ	褐		100	24	84	- F + F		· 割れ目が多く,細礫状〜岩片状を呈する
			***	アプラ		CM'	100	23	29			
			####	フイ		CL'	100	9	13	1 + +		\$2.33~52.58m ・割れ目が多く、岩片状~礫状を呈する。
			####	۲	灰	100000	100	8	0	11111		\$2.76~53.90m ・高角度の割れ目が発達している。
			####		白	CM'	100	15	15			・黒色酸化物を挟む。
			*				100	11 7	11			\$5.32~55.48m ・割れ目が発達する。
			####		淡	CL'	100	6	0			・一部に幅2~4mmの淡緑灰色粘土を挟む。 58.53~58.82m
			****		赤	200000	100	7	0	-1- +		・中角度の割れ目が連続する。 ・一部に幅2~6mmの灰白色粘土を挟む。
			*** ****		橙 淡黄		100	6	0			●59.18~59.27m(f-br-1-2破砕帯)
60			*		///		100	9	0	-11-1		│ ・破砕部である。 ・正断層センスである。
			****		淡	CM'	100	12	12	11111		・主に橙色の固結礫状部からなる。 ・明褐灰色の未固結粘土状部:累計幅0.7c
			####		赤橙		100	13	13	1		・走向・傾斜はN31° E45° Wである。 ・上端境界の傾斜は60°, 下端境界の傾斜
			# " # " ·			CL'	100	8	0	1++++		40° である。
			####			CM,	100	12	12	1++	-Ltt	59.28~59.41m ・角礫状を呈し,一部シルト~粘土となる。
			####		灰白	01.1	100	7	0	111111		60.00~61.02m ・砂状~礫状を呈する。
			####			CL'	100	9	0			・下端に幅8mmの暗緑灰色粘土を挟む。 62.02~62.38m, 63.33~63.85m
			####		浅	CM'	100	4	0			・高角度の割れ目が発達する。
			* +*		黄橙	D'	100	2	0	++++		65.05~65.52m ・低角度の割れ目が発達する。
			**		灰白	U	100	2	0	++++		66.30~66.66m ・割れ目が多く、砂礫状〜岩片状を呈する。
			M" TV	1	/\ L						1 1 1	●67.63~70.76m(f-br-1-3破砕帯) ・破砕部である。
												・右ずれ正断層センスである。 ・主に明褐色の固結礫状部からなる。
1-1	145 (分類	c) ①	- mb :	144.00	4 L -						・灰白色の未固結粘土状部: 累計幅7.5cm
			作成 <i>0</i> d) ②)際に	こ模様	ŧを見ī	直し7	たた	め。			・走向・傾斜はN42°E64°NWである。・上端境界の傾斜は75°, 下端境界の傾斜
Ī	記事	欄の	記載刻	更到	に伴う	変更。	, (I	波砕き	邹模	様の変更)		80° である。
			b) ③ 記載源	⊋bo a	と使っ	□	t_ bh					

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	記				文率	岩	ŧ	孔			(標準) 訂		原位	室	掘	掘			給	(;	i	4) 送 排
				種			ア	れ 目						コフ	7 長	級	į	内水位			(Νſί	直~深月	更)	図	置試	内	進		(mm)					水水
尺	高	度	状	区			形	စ				R	(cm Q	D	区		(E) 測	N									験(孔内	試	月	度(m	ZI	/	圧 (kN	数	$\overline{}$	量量
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	状態	化	質	事		. [70 .	J	分		定月日	値			40			00			水平載荷	験	日	1/	仅	´ ビット	MPa •	rpm	MPa	分分分
			****** ******	+	淡赤橙	Cg	V g				63.33~63.85m: 傾斜約60°の平行な 割れ目が発達する。	8	H	50	10	CL,				0		10	2	0	30	40) 5	0 10								1.0	清 水 5
-				+ + +	 	0	IV g				B170 G / 7 C	12	2)	Ħ	H	CW.																					
				* * *	灰白	Cg		cg		3	65,05~65,52m:低角度の割れ目が 主体となる。	7	Ħ	Ħ	H	CL.																					
-			***** ***** *****	+ + +		Bg Gg Eg	IVg				65.87m:幅4mmの淡褐色のシルト〜 粘土を挟在する。 66.30〜66.66m:砂礫状〜岩片状を	9		H		L														5/ 8	126						
				* * *	浅黄橙	Bg	Va.				呈する。 ●67.63~70.76m:破砕帯。 67.63~67.73m:礫質粘土状破砕部(4 [0]	Ħ		H	CW.																					
					橙	Dg	VIg	dg			Hb)。緑灰色粘土〜シルトの基質中 に角礫状の岩片を挟在する。上端の 傾斜は75°。	2	H	Ħ	H					-																	
ļ						Eg Dg	Vg			4	67.73〜69.27m: 角碟状破砕部(Hj)。 割れ目に沿って淡緑灰色粘土〜シルトを挟在する。 69.27〜69.35m: 粘土状破砕部(Hc-2	2	\parallel	H	H	D,																					
70					灰白	Eg)。上端に幅7mmの黄灰色粘土を挟在 する。傾斜60'。明緑灰色細礫混じ りシルト〜粘土からなる。 69.35〜69.71m:角礫状破砕部(Hj)。	3 [0]	H	H	H	L																					
				÷			Vg Ws Ws				割れ目に沿って幅2mmの緑灰色粘土 を挟在する。 69.71~69.80m:粘土状破砕部(Hc-2	10 [10	01	H		CL.																					
				+ +	浅黄橙	Bg)。締まった淡緑灰色細礫混じり砂 ~粘土。 69.80~70.00m: 角礫状破砕部(Hj)。 一部に淡緑灰色粘土を挟在する。	9	H	H		CW.																					
			****** ******	+ + +	橙	Gg Bg Gg					70.00~70.76m:礫質粘土状破砕部(Hb)。淡緑灰~緑灰色粘土中に角礫 状の岩片を挟在する。下端の傾斜は	6				CL.	-													5/ 9	112						
			***** ******	+		0.5	II g				およそ80°だが、凹凸や湾曲が認め られる。 70.55~71.90m:高角度の割れ目が 卓越する。幅1~4mm程度の緑灰色粘	1	22	[41]			$\frac{1}{1}$																				
			***** ****** *****	÷ ÷	灰白	Bg	IV g		r		土〜シルトを複数挟在する。 72.33〜72.47m:傾斜60〜70°の割れ 目が集中し、幅1〜8mmの淡緑灰色粘	1	[26]			CW.																					
			***** ******	+	浅黄橙 灰白	J DE	IV g				土〜シルトを挟在する。 75.03〜76.30m: 高角度の割れ目が 発達する。 76.17m:幅4mmの灰色粘土を挟在す	8 (0)																									
			****** ******	+ + +		Cg	Vg				る。 76.40~76.70m:岩片状を呈し、崩 れる。	5 [0]		H		\vdash																					
			*****	+ + +	浅黄橙		IV g V g			3	76.84m、76.91m:幅3~4mmの淡緑灰 色粘土を挟在する。	9		H		CL.																	4				
80				+ + +		Cg						9																					ダブルコアチューブ/ダイヤモ				
			****** ******	アプライト	淡黄	Bg						8 [0]		H		CW.																	チューブ/	29.4	130		请
				イト			IV g					9				ŀ	1													5/11	127		ダイヤモ		100	1.0	清 3
				* * *	淡橙						82.08〜82.46m:高〜低角度の割れ 目が交差し、岩片状を呈する。	6 [0]	\parallel																				ンドビット				
				+ + +		Cg					83.30m:幅2~3mmの黄灰色粘土を挟 在する。	6 [0]			Н																		·				
				+ + +			V g				●85.90~87.85m:破砕帯。 85.90~86.20m:礫質砂状破砕部(Hb)。砂を基質として角礫を含み、淡 緑灰色粘土を不規則に挟む。上端の	[0]		H	Н	CL.																					
				* * *	浅黄橙		V g VI g	de		4	傾斜80°。 86.20~87.75m:角礫状破砕部(Hj)。 割れ目に沿って淡緑灰色粘土を挟在	4 [0]																									
-						Dg	V g	cg		3	する。上端に最大幅5mmの淡黄灰~ 灰白色粘土を挟む。 87.75~87.85m:粘土状破砕部(Hc-1)。上端側から幅0~10mmの灰白色粘	3 [0]			Ш	L	-																				
				*	淡	Eg	VIg	dg		4	土,幅8mmの灰黄色粘土、幅25mmの 灰白色粘土、幅0~6mmの礫混じり灰 色粘土からなる。下端の傾斜65。	[0]				D,																					
-			 	* * *	黄浅黄橙	Dg		cg	δ		87.85~89.44m:傾斜60~70°の平行な割れ目が発達する。	2 [0]	\parallel		Ш																						
90			+*+*+* ****** *****	* * *	橙	Ca	IV g		r		90.57~90.70m: 高角度の割れ目が 密集する。 92.00~92.20m: 岩片状に崩れる。	\7 [0]	\parallel	\parallel																5/12	116						
			+*+*+* +*+*+ +*+*+	* * *		5	V g		•		92.15~93.97m:高角度の割れ目が 卓越する。	9 [0]	\parallel	\parallel																							
-				* * *	淡赤		Vg		r		93.12〜93.22m:最大幅5mmの淡緑灰 色粘土をやや不規則に挟在する。	7 0]	\parallel	\parallel	\coprod															_							
-			 	* * *	橙	Dg	IV g		δ		●93,36~93,45m:破砕帯。 93,36~93,42m:角碟状破砕部(Hj)。 割れ目に沿って灰白~淡緑色の粘土 ~シルトを地在する。上端の傾斜は	[0]	\parallel	\parallel	Ш																						
				÷ ÷			IVg		r	3	〜シルトを挟在する。上端の傾斜は 60'。下端の傾斜70'。 93.42〜93.45m:礫混じり粘土状破 砕部(Hc-2)。最大幅22mmの青灰〜明	[0]		\parallel	Ш	CL.																					
				* * *		Cg	IV g				緑灰色の礫混じり粘土。下端の傾斜 70°。	112	[32	2	Ш																						
-			 	* * *	浅黄橙	Cg	IV g	cg			93.45~94.09m: 高角度の割れ目が 卓越する。 93.45~93.62m: 角碟状~岩片状を	9	\parallel	\parallel	\parallel															5/13	111						
				+ + +			V g IV g		r		呈し、一部崩れる。 96.03m、96.06m: それぞれ幅5mm、3	[0]	\parallel	\parallel	Ш																						
				+ + +	淡赤橙	Dg Cg	Vg				mmの淡緑灰色粘土を挟在する。 96.71~97.46m:高~低角度の割れ 目が交差し、岩片状を呈する。	3 [0]	\parallel	\parallel	\parallel	1																					
				+ + +		Bg Cg						[0]				_																					
																																					L

柱状図(35.00m~70.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コマ	最大	R	コア	採取		
尺	高	度	状	種		級	ア採	□	Q	最大	コア	(%)	記事
/	同	及	1/	区		区	取率	ア長	D	R	Q [(cm)	記 争
m	m	m	図	分	調	分	(%)		(%)	-		[%] 80 100	
			*		にぶい 黄橙	D'	100	4	0	•++-		++	
			####		浅黄橙	CM,	100	17	28	124	- - - -	++	2
			+#+#-			CH'	100	23	50	- + + -	1-1-1-	-+	,
			####		灰	CH'	100	21	48	1 11		LL	38. 27~38. 68m
40			####		白	B'	100	36	78			ξ:	・割れ目が密集している。 ・幅2~5mmで細礫状を呈する。
			****			CH'	100	37	85	-111		L L	38.75~40.97m ・珪化する。
			####			OII	100	23	65	-+++-			40.28~40.30m ・割れ目に沿って礫状を呈する。
			####			CM'	100	30	47	- + + -	1-1-1-	Lt:	BITTELL
			####		明黄		100	9	9	177		FF	
			***		橙	CL'	100	7	0	+++-	1 -1 - 1 - 1 - 1 -1 -1 - 1 -	L + :	,
			####			CM'	100	9	9	+ + + -		11	45. 54~45. 73m
			####			CIVI	100	27	54	- + + + -	1 -1 -1 -1 -1	++	・不規則な割れ目が発達する。
			+#+#		青灰		100	39	91	++++		+	•
			####			CH'	100	34	46	++4		1	48.16~48.22m ・割れ目が多く,岩片状を呈する。
50			####		明黄		100	19	83	++++		T.	49.50~49.52m
			+#+#	~	褐		100	24	84	+++		TI.	・割れ目が多く、細礫状〜岩片状を呈する。
			####	アプラ		CM'	100	23	29			11	3
			####	フィ		CL'	100	9	13	1	1-1-1-1-	++	52.33~52.58m ・割れ目が多く、岩片状~礫状を呈する。
			####	+	灰	55755	100	8 15	0	111		FF.	52.76~53.90m ・高角度の割れ目が発達している。
.			++++	}	白	CM'	100	11	15 11	7	1-1-1-1-	F.F.	・黒色酸化物を挟む。
			####				100	7	0	111-		LI.	55.32~55.48m ・割れ目が発達する。
			####		冰	CL'	100	6	0	-1		FF	・一部に幅2~4mmの淡緑灰色粘土を挟む。 58,53~58,82m
			####		淡赤橙		100	7	0	-1		LL	・中角度の割れ目が連続する。 ・一部に幅2~6mmの灰白色粘土を挟む。
					没黄		100	6	0			FF	●59.18~59.27m(f-br-1-2破砕帯)
60			####				100	9	0	- i+ i -		LL.	・破砕部である。 ・正断層センスである。
			####		淡赤	CM'	100	12	12	111		11	・主に橙色の固結礫状部からなる。 ・明褐灰色の未固結粘土状部:累計幅0.7cm
			####		が		100	13	13	1		LL.	・走向・傾斜はN31°E45°Wである。 ・上端境界の傾斜は60°,下端境界の傾斜は
		(1)	+ + -			CL3	100	8	0	711		3 [40°である。 \$9.28~59.41m
			####		灰	CM'	100	12	12	1:::		Ě	・角礫状を呈し、一部シルト〜粘土となる。
			+#+#		台	CL'	100	7	0	111		11	60.00~61.02m ・砂状~礫状を呈する。
			####			1500000	100	9	0	- i+ + + - - • + + -	1 -1 -1 - 1 - 1 -1 -1 - 1 -	- + - +	・下端に幅8mmの暗緑灰色粘土を挟む。 62.02~62.38m. 63.33~63.85m
			# <u>"</u> # <u>"</u>	h	浅	CM'	100	4	0	<u> </u>		11	・高角度の割れ目が発達する。 65.05~65.52m
		2	###		黄橙	D'	100	2	0	+++-	i -i-i-i-	II.	・低角度の割れ目が発達する。
			###		灰白	U	100	2	0	+++-		11	66.30~66.66m ・割れ目が多く、砂礫状~岩片状を呈する。
	45 /	, , , , , , , ,	N C	-	,,,,,,								◆67.63~70.76m(f-br-1-3破砕帯) ・破砕部である。
1-1	45 (含 定本 ³	分類	c) ① 作成 <i>の</i>)陛(-	- 横垟	を見正	与 <i>+</i>	- t- x	5				・右ずれ正断層センスである。 ・主に明褐色の固結礫状部からなる。
1-1	48 (分類	d) 2										・灰白色の未固結粘土状部: 累計幅7.5cm ・走向・傾斜はN42°E64°NWである。
Ī	己事相	闌の		更に	伴う	変更。	(初	支 砕音	『模材	兼の変	更)		・上端境界の傾斜は75°, 下端境界の傾斜は 80°である。
」一 基	☆は	当規書の	いる 記載源	れる	・修正	こしたか	こめ。						00 C 00 00 0

標	標	深	柱	岩	色	猫	_	割	風	亦	記		ア	′ 採	取	率	岩		孔		(標準貫入)	試験	百	安	堀	掘	Į.	_	絵	<u> </u>			Ė
1示	1示	/ *	111		-	叉		割れ	1234	又	пL			(%	ア:	Ę.			九内水位	^	(N値~深度) 図	原位置試			進	径	アチ		転			
尺	高	度	状	種			ア	目の				- R	-		m	D	級		位 (m)	N						験	内	進	度	/	ューブ		数			
				区			形	の 状						پى %]			区		測定月日							(孔内水	試	月	cm/	孔壁保	/ ۲	kN	rpm	MPa	(L/分	(L
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状		化	質	事			50		100	分		月日	値	0	10) 20	30	40 5	.水平載荷) 10	験	日	時)	ほ	ット	MPa	· ·	a	分)	分
				+	淡赤橙	Cg	V g				63.33~63.85m: 傾斜約60°の平行な 割れ目が発達する。	8		\parallel	\blacksquare	H	CL,																	1.0	清水 5	5
				+		Bg Cg	IV g				5,10 H to 55.22 7 6 6	1	2	Ħ		Ħ,	CM.																			
-				+	灰白	Cg		cg		3	65,05~65,52m:低角度の割れ目が 主体となる。	Į,	2	Ħ	H	Ш																				-
-				+ + +		Bg Cg Eg					65.87m:幅4mmの淡褐色のシルト~ 粘土を挟在する。	[0] 9		\parallel	\parallel	++	CL'																			-
-			****** ******	+ + +		Eg Bg					66.30~66.66m:砂礫状~岩片状を 呈する。	[0]	H	Ħ	Ħ	H,	CW.											5/8	126							-
-				+	浅黄橙		Va		ŀ		●67.63~70.76m:破砕帯。 67.63~67.73m:礫質粘土状破砕部(Hb)。緑灰色粘土~シルトの基質中	[0]		Ħ		Ш																				_
						Dg	VIg	dg			に角礫状の岩片を挟在する。上端の 傾斜は75。 67.73~69.27m:角礫状破砕部(Hj)。	2 [0]		\parallel																						
			8::::k 8:::::		-	Eg	Vg			4	割れ目に沿って淡緑灰色粘土~シルトを挟在する。 69.27~69.35m: 粘土状破砕部(Hc-2	2 [0]		\parallel	+	\mathbb{H}	D,																			
70			X+;+; X+;+; X+;+;		灰白	Eg)。上端に幅7mmの黄灰色粘土を挟在 する。傾斜60°。明緑灰色細礫混じ りシルト〜粘土からなる。	3	I	Ħ		Щ																				-
-				+		Dg Cg	V g W s W s				69.35~69.71m: 角礫状破砕部(Hj)。 割れ目に沿って幅2mmの緑灰色粘土 を挟在する。	10			Ħ	Щ,	CL.																			-
-				+ + +			пд				69.71~69.80m: 粘土状破砕部(Hc-2)。締まった淡緑灰色細礫混じり砂 ~粘土。	9	10]	$^{+}$	+	₩	-																			-
-				+	浅黄橙	Bg Cg					69.80~70.00m: 角礫状破砕部(Hj)。 一部に淡緑灰色粘土を挟在する。 70.00~70.76m: 礫質粘土状破砕部([0]		\parallel		H	CM.																			-
				+ + +		Bg Cg					Hb)。淡緑灰~緑灰色粘土中に角礫 状の岩片を挟在する。下端の傾斜は およそ80°だが、凹凸や湾曲が認め	i				Ш,	CF,											5/ 9	112							
				+ + +			II g				られる。 70.55~71.90m:高角度の割れ目が 卓越する。幅1~4mm程度の緑灰色粘		22	[4	1]	₩																				
				+	灰白		IV g III g		r		ユ〜シルトを複数挟在する。 72.33〜72.47m:傾斜60〜70°の割れ 目が集中し、幅1〜8mmの淡緑灰色粘	1	12	26]	+	Н																				
-				+	浅黄橙	Bg	IV g				土〜シルトを挟在する。 75.03〜76.30m:高角度の割れ目が 発達する。	8		\parallel		Ш'	CM.																			
-			*	+ + +	灰白		14.8				76.17m: 幅4mmの灰色粘土を挟在する。 76.40~76.70m: 岩片状を呈し、崩	5				Щ																				-
-				+ + +	浅黄	Cg Bg	* 5	1 I		3	れる。 76.84m. 76.91m:幅3~4mmの淡緑灰 色粘土を挟在する。	[0] 9		\parallel		H																				-
-				+	黄橙		V g				Sign E Mar / Wo	[0]	H	\parallel	\blacksquare	H	CL.					_									ダブ					-
80				+		Cg						[0]				Ш															ルコアチ					_
				・+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	淡黄	Bg						[0]		Ħ	Ħ	Ш,	CW.														ユーブ	29. 4	130		清	
				† <i>1</i>		F	IV g					9 [0]		H	\parallel	₩												5/11	127		ューブ/ダイヤモ			1.0	清 水 5	3
				+	淡橙						82.08~82.46m: 高~低角度の割れ 目が交差し、岩片状を呈する。	6	H	\parallel	H	Щ															ンドビッ					
				+		-					83.30m:幅2~3mmの黄灰色粘土を挟 在する。	6		Ħ		Ш															۲					-
-				+ + +		Cg	Vg				●85.90~87.85m:破砕帯。 85.90~86.20m:礫質砂状破砕部(Hb	4		\parallel	\parallel	H	CL.					+														-
-				+	浅		IV g)。砂を基質として角礫を含み、淡緑灰色粘土を不規則に挟む。上端の傾斜80°。	[0]	H	$^{\rm H}$	\parallel	Н						+														-
-				+	浅黄橙	Eg	V g VI g			4	86,20~87.75m:角礫状破砕部(Hj)。 割れ目に沿って淡緑灰色粘土を挟在 する。上端に最大幅5mmの淡黄灰~	[0]		H	H	Щ																				-
-						Dg	V g	cg		3	灰白色粘土を挟む。 87.75~87.85m: 粘土状破砕部(Hc-1)。上端側から幅0~10mmの灰白色粘	[0]			Ħ	∄																				_
				*	38	Eg	VIg	dg	_	4	土,幅8mmの灰黄色粘土、幅25mmの 灰白色粘土、幅0~6mmの礫混じり灰 色粘土からなる。下端の傾斜65。	2	H	$\ $	\parallel		D'																			
				+ + +	淡黄浅	Dg			δ		87.85~89.44m: 傾斜60~70°の平行な割れ目が発達する。	2 [0]	H	H	\prod	\mathbb{H}																				
			*****	+ + +	養橙		vg	cg	_		90.57~90.70m:高角度の割れ目が 密集する。	7	Ħ	Ħ	#	\sharp												5/12	116							1
90				+ + +		Cg	IV g	bg cg	r		92.00~92.20m:岩片状に崩れる。 92.15~93.97m:高角度の割れ目が	9	\parallel	Ħ	#	Щ						+														
-				++++				bg bg			卓越する。 93.12~93.22m:最大幅5mmの淡緑灰	7	H	\parallel	\parallel	#						+														}
-			****** ******	+ + +	淡赤檀		V g		r		●81.36~93.45m:破砕帯。	₩] 2	H	H	\prod	\mathbb{H}						+														
-			****** ******	+ + +		Dg	Vg		δ		93.36~93.42m: 角礫状破砕部(Hj)。 割れ目に沿って灰白~淡緑色の粘土 ~シルトを挟在する。上端の傾斜は		Ħ	Ħ	\parallel	\sharp																				
-				+ +		Cg				3	60°。下端の傾斜70°。 93.42~93.45m: 礫混じり粘土状破砕部(Hc-2)。最大幅22mmの青灰~明	[p]		\parallel	\parallel	#	CL'																			
				71		Cg	IV g				緑灰色の礫混じり粘土。下端の傾斜 70'。		2	[32]	\parallel	\mathbb{H}																				
			 	+ + +	浅黄橙	Cg	IVg	cg			93,45~94,09m:高角度の割れ目が 卓越する。	9	F	H	\prod	\prod]		5/13	111							
				+ + +		Dg	V g		r		93.45〜93.62m:角礫状〜岩片状を呈し、一部崩れる。	4	Ħ	Ħ	#	\parallel						+														
-				+	淡	Og Dg	IV g				96.03m、96.06m: それぞれ幅5mm、3 mmの淡緑灰色粘土を挟在する。 96.71~97.46m:高~低角度の割れ	3	H	\parallel	\parallel	\parallel																				}
-				+ + +	赤橙	Cg Bg					目が交差し、岩片状を呈する。	[0]]7	\parallel	\parallel	#	\mathbb{H}																				
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + +	+		Cg			-			[0]				Щ		-																		
	1			1				ш																			1		\Box							

柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	=	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	コア採	\Box	Q	最大コア長	記事
	100	100		区		区	取率	ア長	D	R Q D)
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 10	T
-61		2	¥##¥		灰白	D(3)	100	3	0		3
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		2-#±	CL'	100	10	10		-
-			#### ###		浅黄	CM'	100	9	0	- • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
-		1	****		橙	CL'	100	6	0	• + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
.			# # # # 1 # # # # 1				100	22	41		
.			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		灰白	CM'	100	16	26		75. 03~76. 30m
.			####		灰白		100	8	0		・高角度の割れ目が発達する。 76.40~76.70m
.			"#"# ####		浅黄		100	5 9	0		・割れ目が多く、岩片状を呈する。
.			# # # 4 # # # . 4		橙	CL'	100	9	0		
- 80			# # # # 4		淡	7737	100	8	0		9
.			####		黄	CM'	100	9	0		
			"		淡		100	6	0	• 111111111	82. 08~82. 46m
· [# # # # 4		橙		100	6	0	•	・高~低角度の割れ目が斜交し、岩片状を呈 する。
.			####		\	CL'	100	4	0	,	●85.90~87.85m(f-br-1-4破砕帯)
-		ூர	+ + + + +		浅黄		100	4	0	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・破砕部である。・右ずれセンスである。
		(2)	###	ヹ	橙		100	3	0	• + 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・主に浅黄橙色の固結礫状部からなる。 ・灰黄〜灰白色の未固結粘土状部:累計幅4.
			8### ###	アプラ		D'	100	2	0		6cm ・走向・傾斜はN34°E65°Wである。
		Ī	* * * * 1	イト	淡黄		100	2	0	• + +	・上端境界の傾斜は80°,下端境界の傾斜は65°である。
- 90			####		浅黄橙		100	7	0	********	87. 85~89. 44m, 90. 57~90. 70m
- 90			****				100	9	0	• 1	高角度の割れ目が発達する。92.00~92.20m
			* * * * * *		淡赤		100	7	0	•	・岩片状を呈する。
			*****		橙		100	2	0		 高角度の割れ目が発達する。 ●93、36~93、45m(f-br-1-5破砕帯)
			=## * =				100	6	0	• + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	・破砕部である。 ・右ずれセンスである。
.			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		浅	CL'	100	12	32	- • + + + 	・主に明褐色の固結礫状部からなる。
.			# # # # 4 # # # 4		黄橙		100	9	0	<u> </u>	・灰白色の未固結粘土状部: 0.8cm・走向・傾斜はN46°E73°Wである。
51			** * * * *				100	4	0	• r + + - +	 ・上端境界の傾斜は60°,下端境界の傾斜は 70°である。
			+		淡赤		100	3	0		93.45~94.09m ・高角度の割れ目が発達する。
			* * * * *		橙		100	7	0	•	93.45~93.62m ・角礫状~岩片状を呈する。
- 100			####				100	9	0	1111111	96.71~97.46m
			####		黄橙		100	9	0	• 111111111	・高~低角度の割れ目が斜交し、岩片状を写する。
			####		淡赤橙	CM'	100	8	0		101.11~104.34m ・低角度の割れ目が発達する。
š			# # # # # # <u>#</u> # <u>.</u> •		黄橙	CL'	100	9	0		102.53~102.63m ・割れ目が多く、礫状を呈する。
e			####		淡赤橙	CM'	100	8 14	52		・一部に幅1mmの灰白色粘土を挟む。
-			"+"+		黄橙	UII	100	14	32		102.80~103.92m ・低角度の割れ目が発達し,一部岩片状を呈
											す。 104.57m
											・幅4mmの石英脈を挟む。

1-145 (分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-148, 1-149 (分類d) ② 記事欄の記載変更に伴う変更。 (破砕部模様の変更) 1-146 (分類b) ③ 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	記	′採取率 岩 孔		(標準貫入)試験	原	室	掘	掘	孔	<u> </u>	給			/ 4	
				種			ア	ħ			(%) コア長 内 / 級 位		(N値~深度) 図	位置試験	内		進		アチ		転	水	水	水
尺	高	度	状	区			形	目 の			Cm (m) N	1			験(対	試		度	孔	ーブ	圧	数	圧	量	量
			l su		-m	±h1		状	11- 5	* at	[%]	5			(孔内水平載荷)			/ n±	但	ビット	kN MPa	rpm	MPa	L 分	レ/分
(m)	(m)	(m)	図	分	調淡	Cg		悲 cg	化質	事	分 日 ^{11년} 50 100		0 10 20 3	0 40 50	荷	験		3 111	\vdash	-	_	~	1.0	一 清	3
—100			++++++	+	赤橙	Bg	IV g	bg			CL'													5	_
-			++++++	+ + +	黄橙	Cg	Vg	cg		101.11~104.34m: 低角度の割れ目														浩	_
-			*****	+ + ナ ア	淡赤橙		IV g	bg		が主体となる。	CW.						5/11	8 110					1.0	清水5	5
-			****** ******	+++++	黄橙		V g IV g V g	cg		102.53~102.63m:碟状を呈し、一 部に幅1mmの灰白色粘土を挟在する。	CL.														_
_				+	淡	Cg	IV g			102.80~103.92m: 低角度の割れ目が卓越し、一部岩片状を呈す。	СМ.													Н	_
			++++++	+	赤橙黄	Bg	III g IV g	1 1		104.57m:幅4mmの石英脈を挟む。	[52] CH'										29. 4				
	11 74	106 11	+++++	÷	橙	Cg	-	cg	r								6/	101							
	-11. 74	100.11			にぶい橙	Bg	V g IV g	bg		106.11~130.00m: 花崗斑岩。 106.30~107.66m: 高角度の割れ目 が主体となる。107.17~107.66mは												130	1.0	清水5	5
						Dg				割れ目が密集し、岩片状~礫状に削れる。 107.66~108.34m:幅4mm程度までの	CL'														
					明極灰	Cg	Vg	cg		白色粘土を挟在する割れ目が発達する。 108.34~108.80m:高~低角度が交															-
-					灰白	Dg Cg				差し、岩片状を呈する。下端には幅 2mmの緑灰色粘土を挟在する。 109.02~110.90m:高角度の割れ目															-
—110					にぶい	1	V g N s III g			が優勢となる。	201														-
-					浅黄橙	Bg Cg	IV g	ľ			CM'						6/ !	5 86							_
-					灰白	Bg	II g IVg III g	be	β	111.53~113.18m: 珪化し、硬質になる。	[52] CH'									4					-
-						Dg	II g			113.18~114.80m:高~低角度の割	[100]									ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビ					-
-						Cg	IV g			れ目がともに発達する。								H		チューブ					-
-							* 5	1												ダイヤエ					-
-						Bg Cg Dg		Cg		115.48~115.91m: 傾斜60~70°の書 れ目が平行に発達する。	CL.									_{エンドビ}	34.3		1.0	清 水 5	0 _
-							IV g			116.36~116.44m:傾斜60~70°の害れ目が密集する。 116.65~117.54m:微細な割れ目が										ット					-
-				花崗		Cg				不規則に発達する。 117,70~118,00m:傾斜80 [°] 程度の書 れ目が集中する。							6/ 1	6 122				140			_
-				斑岩	黄橙		Vg			118.00~118.65m: 不規則な割れ目が交差し、岩片状を呈する。 118.98~119.91m: 高角度の割れ目															_
—120							IV g	bg	r	が卓越する。	СМ.														
						Bg	II g		L		CH'														
						Cg	IV g			121.27~121.51m: 斑状あるいは脈 状の石英を挟在する。	Cr.														
						Bg		bg		121.83~123.98m: 低角度の割れ目 が顕著になる。	CM'													П	
						Cg Bg	IV g				CM.														
						H	Шg	cg		123,98~125,32m:高角度の割れ目が優勢となる。							6/ 1	8 119					1.0	清水5	5 -
-					浅黄にぶじ黄橙	Cg Dg	V g Vg VIg			- 125.06~125.50m:岩片状を呈する.	CL'														-
-					黄橙	0.5	⊣ IV g		+	125.50~125.68m:角礫状を呈する 下端に幅2mmの暗褐色粘土を挟在す る。傾斜は74。	CM.										39, 2	130		\dashv	-
-					明	Bg	IV g II g IV g		β	125.68~128.08m: 高角度の割れ目 が卓越する。	291														-
-					赤灰		V g IV g	1			CL'						6/ !	9 92					1.0	清 水 5	0 -
-			__//		浅	Cg	Vs.	bg	r	129.00~129.60m: 高・低角度の割れ目がともに発達する。 129.60~130.00m: 高角度の割れ目	[64] CM														-
	-35. 63	130.00			養橙	L	IV g	cg	+	が優勢となる。	CL.							-	\sqcup					\vdash	_

柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コ	最	R	コア採耳	反 率	
_				種		級	コア採	大	Q	最大コス	ァ (%) ア 長	
尺	高	度	状	区		区	取	コア	788		(cm)	記事
m	m	m	図	分	調	分	率(%)	長 (cm)	D (%)	R Q	D _[%]	
			X+#-X		灰白	D'	100	3	0	• 40 60	80 100	
8			####			CL'	100	10	10			
			####		浅黄	CM'	100	9	0	1111111		,
			####	5	橙		100	6	0	4 1 1 1 1 1 1	FFF.	
			####		-	CL'	100	22	41	1 1 1 1 1 1 1		
			# # # # 1		灰白	OM.	100	16	26			
			####		浅黄橙	CM'	100	8	0	•	PPF.	75.03~76.30m ・高角度の割れ目が発達する。
8			####		灰白		100	5	0	• 11111		76.40~76.70m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。
			####		黄橙	CL'	100	9	0	+ + + + + + +	FFF.	
			####		1日	UL	100	9	0	• 111111		
- 80			####		淡黄	CM'	100	8	0	•		
			####			OIII	100	9	0	• +		
			####		淡橙		100	6	0			82.08~82.46m ・高~低角度の割れ目が斜交し、岩片状を呈
			####			OL.	100	6	0	* 111111		する。
			####		浅	CL'	100	4	0	•		●85.90~87.85m(f-br-1-4破砕帯) ・破砕部である。
			# # # #	222	浅黄橙		100	4	0	• r +		・右ずれセンスである。 ・主に浅黄橙色の固結礫状部からなる。
			###	アプラ	152		100	3	0	• + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	H	・灰黄〜灰白色の未固結粘土状部: 累計幅4.
			<u> </u>	ライ	淡黄	D'	100	2	0			6cm ・走向・傾斜はN34°E65°Wである。
			####	1	浅黄橙		100	2	0	tiiiit		・上端境界の傾斜は80°, 下端境界の傾斜は 65°である。
90			####				100	7	0	·	FFF	87.85~89.44m, 90.57~90.70m ・高角度の割れ目が発達する。
			####				100	9	0			92. 00~92. 20m
			" # " # ₁		淡赤		100	7	0	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	i i i	・岩片状を呈する。 92.15~93.97m
			####		橙		100	2	0	++1331-1-1-		・高角度の割れ目が発達する。 ●93.36~93.45m(f-br-1-5破砕帯)
:			####			20.00	100	6	0	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		・破砕部である。・右ずれセンスである。
			####		浅	CL'	100	12	32	1-1-1-		・主に明褐色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部:0.8cm
			####		黄橙		100	9	0			・走向・傾斜はN46°E73°Wである。
			####				100	4	0	•		・上端境界の傾斜は60°, 下端境界の傾斜は 70°である。
4			####		淡		100	3	0			93.45~94.09m ・高角度の割れ目が発達する。
8			"+"+		橙		100	7	0	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		93.45~93.62m ・角礫状~岩片状を呈する。
100		1	# # # 1 # # # 1			2	100		0	1	2	96. 71~97. 46m
ii.		(1)	#### ####		黄橙		100	9	0			・高〜低角度の割れ目が斜交し、岩片状を呈 する。
			####		淡赤橙	CM'	100	9	0		EE	01.11~104.34m ・低角度の割れ目が発達する。
i			####		黄橙	CL'	100	8	0			02.53~102.63m ・割れ目が多く、礫状を呈する。
9			# # # 4 # # # 4	1	淡赤橙	CM'	100	14	52			・一部に幅1mmの灰白色粘土を挟む。
-			"#"#		黄橙	UIT	100	14	32		ET-I	02.80~103.92m ・低角度の割れ目が発達し,一部岩片状を呈
												す。 104.57m
												・幅4mmの石英脈を挟む。

^{1-145 (}分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-146 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

+==	+##	:50	++	ш	<i>p</i> .	T.E.	_	ψıl	日	7 /s	=7	採取率 山	#E 71		44			(4)	\neg
標 	標	深	柱	岩	色	馊	-	割れ	烛	変	記	%)	掘 孔進 径		稲			送加水力	
	高	度	状	種			ア	目				数 位 試 内 進	速 /	기고	1			量量	
		_		区			形	の状				Q D 区	(m) 壁	1	kN	_	_		
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状		化	質	事	Q D 区	/ 保護	1 11/1	MPa	rpm	MPa	分 5	<u>}</u>
100			****	+ +	淡赤橙	Cg Bg		cg bg				5/13	111				1.0	清水 :	3
100			+++++	+ +			14.8	cg				Cr.							
-			****	* * *	黄橙	Cg	Vg				101.11~104.34m:低角度の割れ目 が主体となる。	5/18	110				1.0	清水	5
-			+++++	アプライ	淡赤橙	Dg	IV g	bg				OM OM							1
-			***** ******	イト	黄橙	Bg Cg	IV g	cg			102.53~102.63m: 碟状を呈し、一 部に幅1mmの灰白色粘土を挟在する。 102.80~103.92m: 低角度の割れ目							Ш	_
-				* *	淡赤橙	Bg	IV g III g IV g	I. I			が卓越し、一部岩片状を呈す。	CN'			29. 4				+
_				• • •	黄橙		Шg		r		104.57m:幅4mmの石英脈を挟む。	[52] CH'							-
-	-11. 74	106.11	+++++	+ + +	,_	Cg Bg	IV g				106,11~130,00m:花崗斑岩。	6/4	101						-
-				=	にぶい橙	Cg	V g	bg			106.11~130.00m: 花崗斑岩。 106.30~107.66m: 高角度の割れ目 が主体となる。107.17~107.66mは 割れ目が密集し、岩片状~礫状に崩					130	1.0	清水 5	5
				=	明褐灰	Dg	Vg				れる。 107.66~108.34m:幅4mm程度までの	Cr.							
				=		Cg		cg			白色粘土を挟在する割れ目が発達する。 108.34~108.80m:高~低角度が交 差し、岩片状を呈する。下端には幅								
				=	灰白	Dg Cg	IV g			3	2mmの緑灰色粘土を挟在する。 109.02~110.90m: 高角度の割れ目 が優勢となる。								
<u></u> 110				=	にぶい機	Bg	V g N s III g	bg			» (дэт С. Ф. Ф.))	86						
-				=	浅黄橙	Bg		cg			111.53~113.18m:珪化し、硬質に	Train to the state of the state							-
_				=	灰白	Bg	IV g	1.	β		なる。	CH'		ダ					-
-				=		-	II g				113.18~114.80m:高~低角度の割	1,1091		ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビ					-
-				=		Cg	IV g	1 1			れ目がともに発達する。			ナコープ					-
-				=		Bg Cg		1						ダイヤエ					+
-				=		Dg	Vg	C.0			115.48~115.91m: 傾斜60~70°の割 れ目が平行に発達する。			Fンドビ:	34.3		1.0	清 水 5	۰ -
-				=			IV g				116.36~116.44m: 傾斜60~70°の割 れ目が密集する。 116.65~117.54m: 微細な割れ目が			ト					-
_				花崗		Cg		1			不規則に発達する。 117.70~118.00m:傾斜80°程度の割	6/6	122			140			
				斑岩	黄橙		Vg				れ目が集中する。 118.00~118.65m: 不規則な割れ目 が交差し、岩片状を呈する。								
400							IV g		r		118.98~119.91m:高角度の割れ目 が卓越する。								
120						Bg	Mg Ng Ng	bg		2		CP2 CH							1
						Cg	IV g	cg			120.86~120.97m:岩片状を呈する。 121.27~121.51m:斑状あるいは脈 状の石英を挟在する。	Ct.							-
-						Bg	L	bg			121,83~123,98m: 低角度の割れ目 が顕著になる。	CM.						\dashv	-
-						Cg	IV g	1		2		<u>cr.</u>							-
-						Bg	Ш g	cg			123,98~125,32m:高角度の割れ目 が優勢となる。	6/8	119				1.0	清 水 5	5 -
_			\\ //		浅黄	Cg	V g	1		3	124.80~125.06m:割れ目が集中し、 礫状を呈する。	cr.							-
-				=	にぶい黄橙	Cg	Vg Vg Vg Vs IVg Vg	1 60			125.06~125.50m:岩片状を呈する。 125.50~125.68m:角礫状を呈する。 下端に幅2mmの暗褐色粘土を挟在す				39. 2	130		\dashv	4
-				=		Gg Bg	IV g IV g IV g II g		β	2	る。傾斜は74°。 125.68~128.08m:高角度の割れ目 が卓越する。	OM OM							-
-				=	明赤灰		IV g IV g	cg				CL.	92				1.0	清水 (, -
_			"""			Cg	Пg]	r	3	129.00~129.60m:高・低角度の割 れ目がともに発達する。	44 (64) CM	-					5	
	<u>-35</u> . 63	130.00		=	浅黄橙			cg			129.60~130.00m: 高角度の割れ目が優勢となる。	cr.							
																		I	┚

柱状図(105.00m~130.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	7	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	コア採		Q	最大コア長	記事
^	同	泛	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D	aC 争
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
	-11, 74	106.11	####	アブラ イト	黄橙に	(2)	100	9	0	- + + + + -	2
	11. /4	100.11	<u> </u>		いかい	2	100	8	0	+++	06. 11~130. 00m
			++++		橙	CL'	100	7	0	• + + + + + + + + + + + + +	・花崗斑岩である。 107.17~107.66m
		1	<u>+++</u> :		明褐灰		100	8	0	+++	・割れ目が密集し、岩片状~礫状を呈する。 108.34~108.80m
			++++		白		100	7	0	•	・高〜低角度の割れ目が斜交し、岩片状を5 する。
110			+++		にぶいた	CM'	100	13	26	* 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	9 %
			<u> </u>		浅黄橙	OW	100	28	52	- T 1	111.53~113.18m
			++++		灰白	CH'	100	31	100	- + + +	・ 珪化し,硬質になる。
			‡+‡+:				100	13	13	411	
			++++				100	9	0	+ + + + + s	
			++++				100	9	0	++++++++++++	
			‡+ <u>+</u> +:			CL'	100	8	0	- h + + + + + +	
			<u>+</u> +++	芷			100	7	0	- L	16.65~117.54m ・微細な割れ目が不規則に発達する。
			T###:	花崗斑岩	苗		100	5	0		17. 70~118. 00m
			<u> </u>	岩	黄橙	CM'	100	9	0	-_ + + + - - - - - - - - -	・高角度の割れ目が発達する。 118.00~118.65m
120			++++			CH'	100	24	72		・不規則な割れ目が斜交し、岩片状を呈する 」
			<u> </u>			CL'	100	9	0		18.98~119.91m ・高角度の割れ目が発達する。
			<u>+++</u> :			CM'	100	8	0	-}	21. 27~121. 51m
			++++			CL'	100	7	0		・斑状あるいは脈状の石英を挟む。
			+++		. 3	CM'	100	8	0		
			<u> </u>		浅黄	CL'	100	4	0		24. 80~125. 06m
		- 3	++++		にぶい 黄橙	CM'	100	15	29		・割れ目が集中し、礫状を呈する。 125.06~125.50m
			‡+‡+:		明	A45000	100	15	15		・岩片状を呈する。 125.50~125.68m
			++++		赤灰	CL'		10.70	0.750		・角礫状を呈する。
			‡+‡+:			CM'	100	40	64		・下端に幅2mmの暗褐色粘土を挟む。
	-35. 63	130, 00	+†+†-		浅黄橙	CL'	100	8	0	• + + + + 0	29.60~130.00m ・高角度の割れ目が発達する。

1-145, 1-150 (分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-146 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調	査	名				T	Т	Τ
			ボーリングNo.					

 ボーリング名
 事業・工事名

 第 注 機 関
 東 経

 引 重素名名
 主任技師
 現 場 保 理 人

 孔 口 標 高 + 29.37 m 角 上 90.37 m 角 監 次平 0.48 m 長 20.37 m 角 上 90.37 m 角 上 90.37 m 角 監 次平 0.48 m 長 20.37 m 長 20.37 m 角 監 次 0.48 m 長 20.37 m 長 20.37 m 日 20.37 m 日

	口 標	高	+ 29. 35.0	37 m	_	180 上 下 ₀		90*	方向	北,0° 地 盤 水平 西 東 勾 直		使用機種	試錐エン:									アンマ 落下用 ポン	具										_
								0°		150 1 150 1	25°		取率					(抽 淮	雪 7	、試験	 試験			. I	 T		_			.,,		
標	標	深	柱	岩	色	健		割 E れ	虱変	記		- (' :大=	(。) ロア長		岩	内水	$\overline{}$	(~ 深月	11、 為失	原位置試験	室		進	径	アチ			送水		
尺	高	度	状	種区				目 の			→ R		cm D		盤分	位E/測	N						験孔内		進	度	/ 孔	1 - 1	圧	数	圧	量	量
()	()	()	図	分	調	邮		状能化	上質	事		_ ['	6]		類	定月	_ 値						内水平載荷	睑			保	ビット	kN MPa	rpm	MPa	1/分	ー/ 分
(m)	(m) 29,21	(m) 0.16	rrrrr	- 成揃主	累裕	**	1/\	78X 1		プログラス 16m: 腐植土。 0.16~1.86m: 褐色を呈する礫混じり	0	5	0 100	,,,	块	5/30	+	0	10	2	0 30	40	50 一	利欠			改	試掘	0.0	0	0.0	無水の	0
-	28.37	1, 00	08	機関しり参	褐にぶい橙					砂からなる。1.00~1.70mには硬質 の花崗斑岩の転石を含む。	٥																	掘		100		ő	\dashv
-	27.51	1.86	000	石				+		1.86~16.04m: 花崗斑岩。 径1~8mm程度の石英, 長石, 径2mm以	0			1.86	1, 36							+				80							-
-			T + T + T + + + + + + + + + + + + + + +		黄 橙				3	下の黒雲母の斑晶を10~15%程度含む。 1.86~8.71m:コアは風化、変質し、軟質で、ハンマーで著しい濁音~濁音	0					6/2 3.75														60			-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Eg	VIg	dg	5 4	を発する。 - 1.86~7.79m:傾斜20°及び80°程度の 節理がみられる。節理には灰白色粘	0					=						+			5 4.0		114 ケーシング						-
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		浅黄橙					土を伴う。 2.65m:幅1.5mm程度の石英脈を挟む。 傾斜75°程度。 3.60~4.00m:節理に沿ってマンガンが	0			D'	[D]							+					ング				0.0	泥 水 4	0
-			++++ ++++ ++++		201	Dic	Νε	62		濃集する。 4.06~4.44m:変質帯。上盤74°, 下盤 84°。幅4cm程度。灰白色粘土が網目	H											+							2.0	100			-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		に必い黄檀	Eg	VI g	dg 4	3	状に分布する。 5.92m:シーム。傾斜83°。幅0.2cm程 度の暗灰色、灰白色粘土からなる。	[6]							-								110							-
-			+	花		Eg	VIg	dg (5	7.79~11.96m:傾斜45°及び65°程度 の節理がみられる。節理に沿って褐 色化し、灰白色粘土を伴うことが多	4							-				+											-
-			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +	崗斑岩		Dg	Vg Vg III g			という。 次日包和工を行うことが多い。 8.71~16.06m: コアはやや軟質~やや 便質で、ハンマーで濁音~にぶい金	100	35		8.71	8.71			-				+								200			_
— 10			+		浅黄	Cg	II g V g			属音を発する。 10.00~10.46m: 節理に沿ってマンガン が濃集する。		/ /* [[67]	CL.				-				+			5 29 10.6								-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙		IVσ	- 1	r	7 100	/ /9	ı,	(1)									+			10.6			ダ					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg Bg	Πg	cg	2	11.93m:シーム。傾斜73°。幅0.2cm 程度の暗灰色,灰白色粘土からな	100	.20		11, 96 CM' 12, 49	[CL]							+						ブルコア	10.0	300			-
-			+ + + + + + + + + + + + + + +			Dg	IVg			る。周辺は同系統の節理が発達して いる。 11.96~15.58m:傾斜20°,50°,及	\prod_{i}	[33										-						チ ュ					-
-			+		明	Dg	Vg Vg IVg Vi IVg			び75°程度の節理がみられる。節理 に沿って褐色化し、マンガンや灰白 色粘土を伴うことが多い。 13.66~13.68m:変質帯。上盤45°、	Į,	[22]		CL.								+						ーブ/ダ	Н				-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄褐	Dg	V g	de d	3	下盤55°。幅1cm程度。緑灰色粘土 からなる。これより下盤側はコアが 褐色化している。	11							-				+						イヤビ			0.0	泥 水 4	4_
-	13.33	16.04	++++		浅黄橙		IV g	cg		13.66~14.92m:節理に沿ってマンガン が濃集する。 14.53~14.69m:変質帯。上盤73°, 下盤75°。幅4cm程度。軟質化して	Į.	17		16, 08	16,06			-				+				132		ット					-
-			**** ****		淡橙	DE	IVg			いる。明黄褐色を呈する。 15.58~35.00m:傾斜30°, 50°, 及 び70°程度の節理がみられる。節理		[29]															76		30.0	400			-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	-	浅		IV g	bg		に沿って褐色化し、一部灰白色粘土 を伴う。 16,04~26,15m:アプライト主体。 径1~3mm程度の石英,長石の斑晶を	180	17	1	CW.																			-
-			* * * * * * * * * * * * * * *	アプライト	黄橙	ьg	III g IV g	bg		全1~3回時度の石炭、長石の坂間を 5%程度含む。上位の花崗斑岩との境 界は漸移的である。 16.06~22.77m:コアはやや硬質~硬質	H		[56]		[CM]																		-
— 20			*	イト			IV g	bg	2	で、ハンマーでにぶい金属音~金属音を発する。16.64m:幅2~5mm程度の石英脈を挟む	7	(31)		20,00	LOWI			-				-			5/30								-
-			**** **** ***				Vg		r	傾斜60°程度。 20.83m:シーム。傾斜60°。幅0.2cm 程度の暗灰色粘土からなる。周辺は	**			CL' 20.83				-				+			20,6	1			20. 0	200			_
-	7.07	22. 30	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		淡 橙	Bg	IVg	cg		同系統の節理が発達している。 22.30~24.00m:周辺に比べて、斑晶の 粒径がやや大きく、斑晶の含有量も	∦	[30]		CM.				-				+							20.0	300			-
- [+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑					3	やや多くなる。 22.77~26.15m:コアはやや軟質で、ハ ンマーで濁音を発することが多い。 23.78~25.52m:全体にマンガンが沈着	[6]			22.73	22.77			-					-			134			10. 0	200	0.0	泥水 6	6
-	5.37	24. 00		岩っ		Dg Dg Dg	IV g	_	2	25. 78~25.52m 主体にマンガンが沈恒 する。 24.96~25.54m 破砕帯(Hj, Ho)。上盤 80°, 下盤30°。幅10cm程度。上部	+	1)		CL.				-								134			Ш	Ш	5.0	6	-
_			# #	アプライ	浅黄	Dg Dg	0	bg	3	は暗褐色、淡黄色粘土からなる。下 部は原岩組織が認められる部分を残 している。	(B)	\parallel		24.96	[CL]			-											30. 0	400			4
			* * * * * * * * * * * *	イト		Dg	Vg	dg dg	3 r 4	25.79〜26.15m:破砕帯(Hc)。上盤70° 下盤76°。幅9cm程度。黄白色粘土 からなる。	to.			D' 26.00	26.00													Ц	Ш			\dashv	\dashv
																								_			ш	ш	ш	ш	\perp		

H20-1-8

柱状図(0.00m~35.00m)

標標深柱岩色岩コ最Rコア採取率			_H:	20-(1)-8	3			孔(口標	高	T. P.	29. 37	7m	掘	削	長	35. 00m
┃ ロ │ g │ g │ g │ 種 │ │ 級 │ 採 │ ゴ │ Q │ 最 大 コ ア 莨 │	標	標	深	柱	岩種	色	岩級	ア	最大	R		ア採	取率(%)ア長					

標	標	深	柱	岩	色	岩	7	最	R	コア採取率
R	高	度	状	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長記事
	同	反	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D
m	m	m		3分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100 4
	29.27	1.00	, , ,	有機質 土 礫混じ	黒褐 褐	4	100	0	0	.00~0.16m ・ 有機質土である。
	27. 51	1.86		玉石	にぶい 橙		100			
			++++		黄橙		100	0	0	†
			++++	-	100		100	0	0	・ 玉石である。 ・ 硬質の花崗斑岩である。
			++++		浅黄	D'	100	0	0	↓
			++++		橙	U	100	0	0	♦
			++++	-	にぶい 黄橙		100	6	0	◆ ・
			++++	,,,			100	0	0	幅1.5mmの石英脈を挟む。
			++++	花崗			100	4	0	● 3.60~4.00m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。
10			++++	斑岩	浅黄	CL'	100	35	67	・変質している。
			++++	1	橙	OL	100	18	41	・灰白色粘土が網目状に分布する。 8.71~16.06m
			++++			CM'	100	9	0	・割れ目が多く、角礫状~短柱状を呈する
			++++	1			100	20	33	・割れ目沿いにマンガンが濃集する。
			++++	-	明	CL'	100	7	0	3.66∼13.68m
			++++	1	黄褐		100	11	11	・
	13, 33	16.04	+ + +	-	浅黄橙		100	17	29	3.66~14.92m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。
			# # # # # # #		淡橙		100	8	0	4.53~14.69m ・変質している。
			+ # + #	アプ	浅	CM'	100	17	56	・明黄褐色を呈し、軟質化している。 16.04~26.15m
			###	ラ	黄 橙		100	17	31	・アプライトが主体である。
20			*	1		CL'	100	5	0	6.64m •幅2∼5mm程度の石英脈を挟む。
			####		淡	OM'	100	17	30	
	7. 07	22. 30	# # #	花	橙	CM'	100	9	0	22. 30~24. 00m
	F 02	04.00	++++	闘斑岩ア		OL '	100	11	11	・花崗斑岩である。 23.78~25.52m
9	5. 37	24.00	+ + + +	有アプ	浅	CL'	100	8	0	• ・全体にマンガンが沈着する。
		200	# + #	プライト	黄	D'	100	5	0	●24.96~26.15m(D-4破砕帯) ●
	3. 22	26. 1	++++		淡		100	26	60	・主に浅黄色の固結礫状部及び黄白色の固 粘土状部からなる。
			++++		橙	CM'	100	10	10	・暗褐色の未固結粘土状部:累計幅10.0cm ・走向・傾斜はN5°E79°Wである。
			T+T+		淡赤橙	CL'	100	13	35	・上端境界の傾斜は80°, 下端境界の傾斜
20			++++	花	3,94	UL	100	10	10	76°である。 26.15~35.00m
30			++++	花崗斑岩	淡 橙		100	16	37	・花崗斑岩である。
			+++++	岩岩		CM'	100	12	32	
			+ . +		明黄褐		100	16	39	1011
			++++	-	淡橙	CL'	100	13	13	
	-5. 63	35. 00	++++		恒	CM'	100	14	34	4.38~34.52m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。

1-151, 1-152 (分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-153 (分類d) ② 記事欄の記載変更に伴う変更。 (破砕部模様の変更) 1-154 (分類c) ③ 表現を統一したため。 1-155 (分類b) ④ 報告書の記載漏れを修正したため。

(2/2)

- 1			-	Ī		-	Ī		ŀ			ŀ						
							- 30							(m)	,,	尺		標
	-5.63												3.22	(m)	ובון	高		標
	35.00												<u>26. 15</u> ,	(m)	,,,	度		深
	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	+ + + + + + + + + + + + + +	<u>+</u>	++++	+	+	+	+ + + + +	++++	<u> </u>	++++	+++++	# # # # + # # # #	図		状		柱
						斑岩	花崗斑岩						アプライト	分	区	種		岩
	127	淡橙		明黄褐		l	淡橙		172	淡赤橙	冰	淡 橙	业					色
	Bg Cg Bg	Cg	Bg	Cg		Cg Bg		1	Cg		Dg	1	Eg					硬
	₩g	Vg	IVg		Шд	IVg	Шg	IVg	Vg	IVg	Vg		II g		1113	ア	1	
	bg	cg		bg					cg	1		1	Cg bg	態	の状	目	ħ	割
							r							化				風
		2		3					2				4	質				変
	34.38~34.52m:節理に沿ってマンガン が濃集する。								程度の灰白色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。	で、ハンマーでにぶい金属音〜金属 音を発する。 28.25m:シーム。傾斜76°。幅0.1cm	傾斜76°程度の破砕帯が分布する。 26.15~35.00m:コアはやや硬質~硬質	以下の黒雲母の斑晶を10~20%程度含む。上位のアプライトとの境界には	26.15~35.00m:花崗斑岩。 径1~12mm程度の石英, 長石, 径3mm	事				記
		1			-						î	1						
		18	\parallel	N.	112	\parallel	M	100	Н	18	ľ	M	\prod	0	R L	-		
	[34]	3]	[36]	6 7001	[82]	13/1	6	n 	Щ	350	21	Ш	P ²⁶	50_	Q	ст	·(% 大コ:	ア採耳
			\mathbb{H}	Ш	++	Ш	Ш			Ш	Ш		[60]	100	D]			
	CM'	CL.	ļ		CM.		1	29, 52	CL.	28, 47		CM.	286, 15	ı I	区	級		胪
	35,00					[UM]	[CM]						26.715	類 28.00	分	盤		岩
														月日	/測定月日	水位的	内	孔
														値	N 			
														0			((
																		標
			+			+	Ť		+			+		10			N	準貫
														20			値・	入
																	~ 深	試具
														30			度	倹
														40) [
														5				式験
			-			-	1		-			1		載荷)	九内水平載荷	験	原位置試験	原位
														験	試	内		室
35.00	6/2						29.90	5 /31						日	月	進		掘
				133							134			時	(cm	速度	進	掘
							76							護	孔壁保護	(mm)	径	孔
				゠゚゠゙゠゚	ダイヤ	ブ/	그	コアチ	ル	ダブ				ット	-ブ/ビット	구	コアチ	П
				50.0					40.0			30.0		MPa	(kN			給
				350							400				$\overline{}$			回
				0.0			\Box				ا ه ه			u	MPa	圧	水	送
			7	泥水			T			6	泥水6			分	ĵ.			送
			4	,		4			+	Ì	6	1		分 ()	- - -			排

H20-1-8

柱状図(0.00m~35.00m)

		_H:	20-(1)-8	3			孔口	「標	高	T. P.	29. 3	37m 排	屈 i	削	長	35. 00m
標	標	深	柱	岩	色	岩	コァ	最大	R	=	ア採	取率(%)					
尺	高	度	状	種		級	ア採	⊐	Q	最	大コ	ア長		Ī	5		事
		-		区	12.00	区	取率	ア長	D	1	R Q	D (cm)					
m	m 29.23	m 0.19	図	分 有機質	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20	40 6	[%] 60 80 100	0.00~0	16m			
-	28. 37	1.00		操混じ	褐		100	0	0		1-1-1-		・有機質	往土でま	ある。		
-	27.51	1.86	+ + + + +	五石	にぶい 橙		100	_					0.16~1.	こり砂で	である。		
-:			+ + + + +		黄橙		100	0	0		1 1 1		1.00~1.				
-			++++		浅		100	0	0		1845		・硬質の 1.86~1		妊岩でも	ある	•
-			++++		黄橙	D'	100	0	0	++	134-		· 花崗珠	H岩では	ある。		
			++++		にぶい		100	6	0				・変質し	ている		L 7	
-:			++++		黄橙		100	0	0	111			・風化を 2.65m				
7			<u>+</u>	花			100	4	0				・幅1.5m 3.60~4.		英脈を	挟も	· .
-			++++	花崗斑岩	:#:		100	35	67	- 1 1	S. 1-1-		・割れ目4.06~4.		こマンナ	ピン	が濃集する。
- 10			++++	岩	浅黄	CL'	100	18	41		1		・変質し			* 1=	分布する。
			++++		橙		100	9	0	4	1 -1 -1 -		8.71~1	6. 06m			
			++++			CM'	100	20	33	- - -	1		10.00~	10. 46m	l		~短柱状を呈する。
			++++				100	11	22	1	7-1-1-					がン	が濃集する。
			++++		明黄	CL'	100	7	0	•			13.66~	ている	5.		
	13, 33	16, 04	+		褐 浅黄橙		100	11	11		33-1-		・緑灰色 13.66~			5.	
			# # # + # # # -		淡		100	17	29	- •			・割れ目14.53~			ガン	が濃集する。
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	P	橙	CM'	100	8	0	•	1-1-1-		・変質し・明帯視			ク質	化している。
			+ + + +	アプニ	浅黄橙	OIII	100	17	56	•		EFFE	16.04~	26. 15m	i		
- 20			*	ライ	112		100	17	31	•			・アプラ 16.64m				
_			####		nde .	CL'	100	5	0	•	111		・幅2~	5mm程度	度の石道	医脈	を挟む。
-	7. 07	22. 30	#### ####	08-10	淡橙	CM'	100	17	30	•			k .				
- [++++	花崗斑岩			100	9	0	-			22.30~2 • 花崗斑				
	5. 37	24. 00	+ + + -	ア		CL'	100	11	11		137		23.78~	25. 52m	l.	t- 36.	+ Z
-		1	# # # # # # # #	プライ	浅黄	D'	100	8 5	0		177		●24.96	~26.1	5m (D-4		
-	3. 22	26. 15		1		D'	100 100	26	60	•	•	2		黄色0	の固結砂	泉状	部及び黄白色の固結
-			++++		淡橙	CM'	100	10	10				粘土状部 ・暗褐色		TO/2707 25	上状	部:累計幅10.0cm
20			++++		淡赤橙	-	100	13	35	L							Wである。 , 下端境界の傾斜は
- (++++			CL'	100	10	10	r			76°であ 26.15~	53.		te V	
- 30			++++	花崗斑	淡橙		100	16	37	-	-	EFF	· 花崗珠				
-			++++	斑岩	7#	CM'	100	12	32	+1+	7						
			+		明黄褐		100	16	39	1	17-1-		¢.				
T .			++++		淡	CL'	100	13	13	F			¢				
-	-5. 63	35. 00	+;+;-		橙	CM'	100	14	34				34.38~			ı.	が準備士で
	J. 03	55.00											一・剖れ目	治いに	こマンフ	リン	が濃集する。

1-153 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。 (破砕部模様の変更) 1-155 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

	 	 	_	_	_	 	_	_
10 600								
ボーリングNo.								2
								_

事業・工事名

ボーリング名	Br-2	調査位置			北 緯
発 注 機 関			調査期間		東 経
調査業者名		主任技師	現 場代理人	コ ア 鑑 定 者	ボーリン グ責任者
孔口標高	58. 29 m 角 ^{180°} 上	北,0° 地 使 90° 盤 水平 _{0°} 用	試 錐 機	ハンマー 落下用具	
総掘削長	80.00 m 度 下 _{0°} , 向 西寸	東知明	エンジン	ポンプ	
標標深	柱岩色硬コ割風変	記コア採	岩 孔	(標準貫入) 試験 (N値~深度) 図	室掘掘れコ給回送送排

総	掘削	長	80	.00 n	n 度	Т	, 0°	<u> </u>	.0°	向	西東 勾 鉛直 90°	機 推 エンジン ポンプ						
標	標	深	柱	岩種	色	硬	コア	割れ	風	変	記	□ フ採取率 岩	コアチュ	給	回転		送水	
尺	高		状	区			形	状		mine.	_	・	ーブ/ビ	€N	数 へ rpm	$\overline{}$		量(L/分
(m)	(m) 58.07	<u>0. 22 ju</u> !!	Ø E	分			状	態	化		事 0.00~0.22m:有機質砂。黒色の腐植		シングルコア	$\overline{}$	\sim	$\overline{}$)	$\overline{}$
-	57. 37	0.92	\	シルト混じり	明複黄	Dg	IV g		δ		、 やや炭化した木片を含む。 0.22~0.92m: シルト混じり砂。 0.72~0.92m: 炭化木片を含む。	3 3 3 3 300). 4/21 370 7 370	ナユー ブノック ラウン ダブル コアチブ	29. 4			無水の清	0 -
-					黄	Eg Dg	VI g	cg	ε	2	0.92~80.00m: 花崗斑岩。		ユーブ /メタ ルクラ ウン	19.6	90	0.1	清 水 10	10
-					灰白	Cg Dg Cg		bg cg bg	r	2	2.39~2.44m: 傾斜55~60°の割れ目 が密集し、にぶい橙色粘土を挟在す る。	160 Ct.			100	0.1	清 水 2	0 -
						Dg	V g		δ	3	2.44~2.58m:幅2~4mmのにぶい橙 色粘土を挟在する。 3.32~3.55m:高・低角度の割れ目	1 (c)			100	0.1	2	
					黄橙	Cg	1111 8	1			が交差し、低角度の割れ目に沿って にぶい橙色粘土を挟在する。 4,85~4,94m:幅3~7mmのにぶい橙	4 (42) CM		9.8			\dashv	
						Bg			r		4.85~4.94m: NM3~/IMMのにかい恒 色粘土を挟む割れ目が発達する。	18 4/22 4/22			120			
-					にぶい黄橙	Gg Bg	П д					OH 131						
-					橙	Cg Bg	IVg	**				33 CM						
-		",			浅黄橙	Dg Cg Dg Cg	IVg	cg	δ r	2	7.71~8.28m: 幅1~3mmのにぶい橙 色粘土を挟在する。							-
-		' 			灰白	Dg			δ	2	8.82m:細礫混じりの褐色粘土を挟 在する。幅4~50mm。	(a) CM CM				0.1	清水3	10
— 10		#			明 黄 橙	Bg	Пg Пg IVg		β		9.83m: 黄褐色の緩いシルト〜細礫 (幅2〜7mm) を挟在する。	1 (153) CH				0.1	3	"-
-		<u></u>			灰白		II g IV g]	r		(AME - 11111) 5 1×17 2 20	(ct.			150			-
-					黄橙	Cg	III g III g		ř		11.80~11.92m:幅1~2mmの白色粘	156) CW CL'		19.6				-
_						Dg Cg Bg			δ		土を挟在する。 12.35m, 12.59m:幅1mm程度のにぶ い橙色粘土を挟在する。	[62]	ダブルコ					
		#\ 		花崗斑岩	_	Cg	Vg		r	3	13.77m:幅25~40mmのにぶい橙色粘	7 283 CM	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビ					
		# # #		斑岩	灰白	Dg	IV g		r	2	土を挟在する。 13.85~14.13m:幅1~9mmのにぷい 橙色粘土を挟在する。	9 V 16.59 V 16.59 V 17.15 V 17	ブ/ダイ					
					黄橙	Cg Dg	-	1	δ	3	14.70~15.00m:高・低角度の割れ 目が交差する。幅1~3mmの白~にぶ い橙色粘土を挟在する。	9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ヤモンド		120	0.1	清 水 2	0
-					fsz	Eg	-	dg	ε	4	15.48~15.90m: 不規則な割れ目が 発達する。 ●15.94~16.99m: 破砕帯。		ピット					
-					黄	Dg Eg			δ		15.94~16.80m: 角碟状破砕部(Hj)。 割れ目に沿って黄灰色粘土を挟在する。上端の傾斜60°。16.05ml=幅2~	(P) D'			100	0 1	清 水 10	0
-		# # #			灰白			-	0		8mmの灰白色粘土を挟在する(主剪 断面、傾斜62')。 16.80~16.99m: 礫混じり粘土状破 砕部(Hb)。明黄褐色粘土を基質とす				100		10	
-		# # #			黄橙灰		Wα	cg		3	る。下端の傾斜50°。 17.89、17.94m:幅2~5mmの灰白色	(i)						-
<u> </u>		#,			白 黄橙	Cg		ha	r		粘土を挟在する。	<u> </u>						-
-		# # #			灰白		m g	cg bg		Н	20.71m:幅1~4mmのにぶい橙色粘土 を挟在する。	[27] CW				0.1	清水2	10
-		#,			橙	Dg	IV g	4	δ	2		(31)		9.8			2	
					灰白	Cg	IV g		r	-		4/24 143			120			
						_	Mg V g IVg	7	δ		25.56m: やや硬い幅1mmのにぶい橙 色粘土及び軟質の幅3~8mmの淡褐色							
					黄橙	Dg	IV g	1 "	δ		81土を挟在する。 25.71~25.77m: 粗粒砂状を呈する。 上端に幅10mmの淡褐~にぶい橙色粘	1 d CL'						
						Cg	., .			3	土を挟在する。 25.83m:幅5mmの白色粘土を挟在する。					0.1	清 水 3	1
					灰白	Og Og Og		+	r			(53) 4/25 122						
		F.	*/			Cg			Ϋ́									

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-2 長 孔口標高 T.P. 58. 29m 掘 削 80.00m コア採取さ 標 標 深 柱 岩 色 R コア採取率 大 種 級 コア長 最大コア Q 長 尺 度 状 記 事 高 (cm 区 区 率 D Q D 分 分 义 調 (%) (cm) (%) m m m 40 60 有機質 明褐黄 明黄褐 0.00~0.22m 100 57.3 有機質砂である。 + : + : ジルト + : + : 混じり + : + : 砂 黄橙 D' 0 9 (1) 100 腐植や木片を含む。 22~0.92m 100 40 15 CL' シルト混じり砂である。 白 炭化木片を含む。 100 44 57 92~80 00m CM' 花崗斑岩である。 黄 100 19 43 橙 39~2.44m 100 46 18 中~高角度の割れ目が発達する。 にぶい黄橙浅黄橙 CH' にぶい橙色粘土を挟む。 71 100 40 CM 100 39 61 CL' 100 9 0 灰白 100 26 53 CH 褐色の細礫混じりの粘土を挟む。 10 明黄橙 100 66 30 灰白 CL' CM 100 56 17 黄橙 CL 100 62 19 CM 100 15 25 0 白 100 9 CL' 4. 70~15. 00m 0 100 9 高、低角度の割れ目が斜交する。 2 黄橙 幅1~3mmの白~にぶい橙色を呈する粘土を 0 100 2 挟む。 15.48~15.90m D' 黄 100 5 0 不規則な割れ目が発達する。 灰白 黄橙 100 7 0 ●15.94~16.99m(D-7破砕帯) CL' 破砕部である。 灰白 100 6 0 正断層センスである 20 黄橙 明黄褐~黄橙色の固結礫状部からなる。 100 14 27 灰白 CM' 走向・傾斜はNS74°Wである。 フィルム状の粘土を挟在する 黄橙 100 19 31 上端境界の傾斜は60°,下端境界の傾斜は 灰 100 16 27 である。 白 100 15 30 5. 71~25. 77m 10 100 10 橙 粗粒砂状を呈する。 上端に幅10mmの淡褐~にぶい橙色粘土を挟 CL' 0 100 9 33 100 19 灰 白 100 0 9 100 0 8 淡黄 28. 74m 100 9 0 黄橙 ・幅20mmの淡褐色の細礫~砂混じり粘土を挟

審査資料作成の際に模様を見直したため。

記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

報告書の記載漏れを修正したため。

¹⁻¹⁵⁶⁽分類c)①

¹⁻¹⁵⁷⁽分類d)②

¹⁻¹⁵⁸⁽分類b)③

(2/3)

5	標	深	柱	岩	色	硬	=	割	風	変	話	コア採取率 (%)	岩	孔内		(貫入 直~深度		式験 図	原位	室			孔	コア	給	Ť	<u>2</u> / 送 i	Ť	٦
,	高	度	状	種			ア	れ 目				最大コア長 → cm	級	水位	N	•					置試験	内	進	進速度	(mm)	アチューブ			水に		
				区			形	の状				R Q D	区	測定	_						火业	試		(≣∖‡	1宋	í	kN • MPa	pm N	Pa 3		
)	(m)	(m)	X	分		軟	状	態	化	質	事	0 50 100	分	Ä	値	0 1	0 :	20 3	0 4	0 50	載荷	験	П	時)	護	ット	MPa	_	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	7	
					灰白淡黄	Cg	IV g		γ		28,55m:幅2~20mmの淡褐色粘土を 挟在する。 28,74m:幅20mmの細礫~砂混じり淡	1 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	CL.																		-
					黄橙灰白	Bg	Шд	Cg .	δ		褐色粘土を挟在する。	[0] 135]	CM.										4/25	122			9.8	120			_
					黄橙	Eg	IV g V g	bg		3	32,32~32,87m:傾斜40~60°の割れ 目が発達する。	(43) (9) [0]	CL.													-).1 7	F 1	- -
					灰白		Vg IVg IIg IVg	0.8	r		33.95~34.05m: 網目状の割れ目が 発達し、上端に幅15mmの淡褐色粘土 ・幅1~3mmの白色粘土を挟在する。 34.50~34.65m: 幅1~3mmの淡褐色 粘土を挟在する。	[50]	CM'										4/27	86			19. 6	150			-
					黄橙 灰白	Og -	Vg IVg Vs IVg	1	β		35.32m: 幅10mmでにぶい橙色を呈する細碟混じり粘土を挟在する。 35.42m: 幅7mmの灰白色粘土を挟在する。 35.82~35.93m: 淡褐~灰白色のシルト~粘土を挟在する。 48~10mm。 36.36m: 幅4mmの淡褐色粘土を挟在	[0] 18 [46] 49	CM.										70.27								-
					白黄橙	Bg	II g IV g III g	bg	r	2	する。	[91] 27 [d9]																			_
					明赤灰	Cg	II g	- cg bg	β	1	40,00~40,20m:高・低角度の割れ 目が交差する。高角度の割れ目に沿 って淡褐色粘土を挟在する。	[82] 5 [61]	CH'										4/28	91				180			-
					黄橙	Bg	Шg Vg IVg	cg		2	42.07~42.21m: 横斜40~50'の割れ目が顕著である。 42.75m: 幅1~3mmの淡緑灰色の鉱物脈を挟在する。	1 No.	CM.													ダブ					
				花崗斑岩	明赤灰		IV g III g IV g III g	cg bg	r	1	44.24m:幅30mmで傾斜76°の割れ目 が密集する。 44.58~44.64m:径20~40mmの石英 及び長石が密集する。	[72]	CH.													·ルコアチューブ/ダ	29. 4				1
					1-	Cg	IV g II g IV g	cg	r	2	46.22m: 高角度の割れ目に沿って幅 30~50mmで砂~礫状を呈する。	[54]	CM.										4/29	67		/ダイヤモンドビット		150			-
					ぶい黄橙橙		Пg		β γ β		48.40m:割れ目に沿って幅40~70mm で粗粒化(最大径8mm)する。	[92] 40 [91]	сн.										4/30	44				180			-
					黄橙明赤灰	Bg	Ш g П g	bg	β	1		50	В.).1 7 :	iii < 1	- 1 -
					明黄褐		Шд				52.41~52.94m:幅1~2mmの黒褐色 粘土を挟在する割れ目が発達する。	[72]	CH'																		-
					黄橙明	Bg	V g III g II g IV g	bg	r	2		25 [75]	CH.										5/ 1	126			9.8				-
					赤灰黄橙明	<u> </u>	V g	bg	δ	3 1 2	55,15~55,40m:幅2~10mmの淡褐色 及び灰白色粘土を挟在する。 55,80~56,18m:幅1~7mmの淡緑色 及び淡褐色粘土を挟在する。 55,95~56,27m:変質が強く,黒褐 色を呈する。 57,05~57,24m:幅1~4mmの褐灰色	[64]	B.															150			
					黄橙	Bg	Шg		β	1	粘土を挟在する。	[66]	CM.																		1
					灰白 黄橙	Dg	II g	bg	γ	2	59.20m:傾斜75 の割れ目に沿って 幅2~3mmの石英脈及び幅2mmの白色 粘土を挟在する。 60.85~61,10m:軟質で疎混じり砂 状を呈する。上端に幅1~3mmのにぶ い褐色粘土を挟在する。		CH'										5/ 7	113			19. 6				-
					灰白	Cg Dg Eg	Vg VIg	cg	γ β γ δ	3	61.68~62.40m: 網目状に割れ目が 発達する。一部に幅0.5~3mmの褐色 ~灰色粘土を挟在する。 62.40~62.45m: 幅5~6mmで淡褐色 粘土混じり砂状を呈する。	[d]	CL'																		-
											62.45~62.74m:角礫状~砂状を呈する。																		前瓦	_	

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-2 孔口標高 T.P. 58. 29m 掘 削 長 80.00m コア採取さ 標 標 深 柱 岩 色 R コア採取率 大 種 級 コア長 最大コア長 Q 尺 度 状 記 事 高 (cm 区 区 率 D Q D [%] 60 80 100 分 分 义 調 (%) (cm) (%) m m m 40 有機質 明褐黄 明黄褐 0.00~0.22m 100 57.3 有機質砂である。 黄橙 D' 9 0 混じり砂 100 ・腐植や木片を含む。 0. 22~0. 92m 100 40 15 CL' ・シルト混じり砂である。 白 ・炭化木片を含む。 100 57 0 92~80 00m CM' ・花崗斑岩である。 黄 100 19 43 2.39~2.44m 橙 100 18 46 ・中~高角度の割れ目が発達する。 にぶい黄橙浅黄橙 CH' ・にぶい橙色粘土を挟む。 100 71 40 CM 100 39 61 CL' 100 9 0 8.82m 灰白 100 26 53 CH ・褐色の細礫混じりの粘土を挟む。 10 明黄橙 100 66 30 灰白 CL' CM 100 56 17 黄橙 CL 100 62 19 CM 100 15 25 0 白 100 9 CL' 14.70~15.00m 0 ・高、低角度の割れ目が斜交する。 100 9 黄橙 尚斑 ・幅1~3mmの白~にぶい橙色を呈する粘土を 0 100 2 D' 挟む。 黄 15. 48~15. 90m 100 5 0 ・不規則な割れ目が発達する。 灰白 黄橙 100 7 0 ●15.94~16.99m(D-7破砕帯) CL' ・破砕部である。 灰白 100 6 0 正断層センスである。 20 黄橙 ・明黄褐~黄橙色の固結礫状部からなる。 100 27 14 灰白 CM' ・走向・傾斜はNS74°Wである。 ・フィルム状の粘土を挟在する 黄橙 100 19 31 ·上端境界の傾斜は60°,下端境界の傾斜は 灰白 100 16 27 50° である。 100 15 30 25. 71~25. 77m 100 10 10 橙 ・粗粒砂状を呈する。 ・上端に幅10mmの淡褐~にぶい橙色粘土を挟 CL' 0 100 9 む。 33 100 19 灰 白 (1) (2) 100 0 9 100 0 8 淡黄 28. 74m 100 9 0 黄橙 ・幅20mmの淡褐色の細礫~砂混じり粘土を挟

審査資料作成の際に模様を見直したため。

報告書の記載漏れを修正したため。

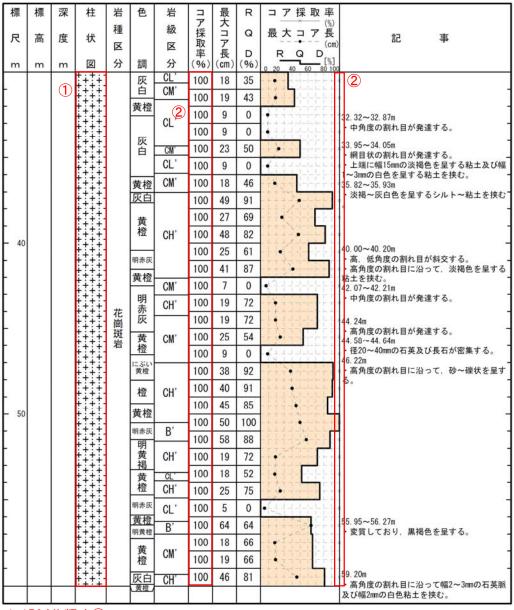
¹⁻¹⁵⁶⁽分類c)①

¹⁻¹⁵⁸⁽分類b)②

(2/3)

標	標	深	柱	岩	色	硬	į	割れ	風	変	記	コア採取率	岩	孔内	_	(標準貫入 N値~深度) 試験	原位			進	孔径	コアェ	給		送送	1
₹	高	度	状	種			ア	目の				最大コア長 → cm R Q D	級	水位E/	N				置試験(1	進	度	(IIIII)	고			水 水 王 量	量
~~)	(00)	(22)	図	分	 	計	形状状	状		哲	事	一 [%]	分	測定月日	値				(孔内水平載荷)	試	月日	cm /時	壁保護		kN • r MPa	pm N	Pa 分	(L/分
n)	(m)	(m)		71	灰	#/	1/	125	16	貝	7	9 10	73			0 1	0 20 3	0 40	50 荷	湖火		_	改	-	_	<u> </u>		_
) 淡				r		28.55m:幅2~20mmの淡褐色粘土を	8 (0)																
					黄橙	+ 1	IV g	cg	δ		挟在する。 28.74m:幅20mmの細礫~砂混じり淡 褐色粘土を挟在する。	9 [0]	Cr.								4/25	122			9.8	120		
30					灰白							\18 [35]																-
					黄熔	Gg Cg	III g	4		3		19 [43]	CM,															
					-	1	IV g	bg			32.32〜32.87m:傾斜40〜60°の割れ 目が発達する。	[0]	CL.													C).1 清 水 3	1
					灰白	Dg Cg	V g IV g		r		33.95~34.05m:網目状の割れ目が 発達し、上端に幅15mmの淡褐色粘土	[0]													19.6	150		
							II g IV g IV g IV g	cg			、幅〜3mmの白色粘土を挟在する。 34.50〜34.65m:幅1〜3mmの淡褐色 粘土を挟在する。 35.32m:幅10mmでにぶい橙色を呈す	[50]	CIT.								4/27	86						-
					黄橙	╁	IV g	1			る細礫混じり粘土を挟在する。 35.42m:幅7mmの灰白色粘土を挟在 する。 35.82~35.93m:淡褐~灰白色のシ	18 [46]	CW.													+		
					灰白	Bg	Пд	bg	β		ルト〜粘土を挟在する。幅2〜10mm。 36.35m:幅4mmの淡褐色粘土を挟在 する。	49 [91]																
					黄橙	De	IV g	58	r	2		[69]											-			ŀ		
40					橙	Cg	II g	bg	β		40.00~40.20m:高・低角度の割れ	48 [82]	CH.															-
					明赤灰	-	Пg	bg	β	1	40.00~40.20間:高・16月度の割れ 目が交差する。高角度の割れ目に沿って淡褐色粘土を挟在する。	[61]									4/28	91				180		
					黄橙	1	Шg	bg		2	42.07~42.21m:傾斜40~50゚の割れ	[87]																
					200	Bg	IV g	1	-	1	目が顕著である。 42.75m:幅1~3mmの淡緑灰色の鉱物 脈を挟在する。	[N] 19	CM.											ダブル	29. 4			
				花	明赤灰		III g	CP	-	ľ	44.24m:幅30mmで傾斜76°の割れ目 が密集する。	19	CH,											ルコアチューブ				
				花崗斑岩	黄橙	$\frac{1}{1}$	III g IV g II g	bg		2	44.58~44.64m: 径20~40mmの石英 及び長石が密集する。	25 [54]	CW.								4/29	67		ノ/ダイヤモン	t	1		-
					橙にぶい	Cg	IVg	cg	Ľ		46.22m: 高角度の割れ目に沿って幅 30~50mmで砂~礫状を呈する。	[0]												レンドビット		150		
					かい黄橙		II g		γ β γ	-		38 [92]																
					橙		П д		r		48.40m:割れ目に沿って幅40~70mm で粗粒化(最大径8mm)する。	[9h]	CH.								4/30	44				180		
50					黄橙	Bg	Шg	bg	β	1		[85]	1															-
					明赤灰		Ιg		β	1		58	В.										-			-).1 清水3	1
					明黄褐		II g				52.41~52.94m:幅1~2mmの黒褐色	[88]	CH,															
					黄	Cg	y Vg	cg	r		粘土を挟在する割れ目が発達する。	[52]	CL.								5/ 1	126			9.8			
					黄橙明	Bg	Пg	bg		2		25 [75]	CH'															
					赤灰黄檀	۱"	V g		δ	3	55.15~55.40m:幅2~10mmの淡褐色 及び灰白色粘土を挟在する。 55.80~56.18m:幅1~7mmの淡緑色		CL.															
					明	⊢ Be	Ig	bg	Ĺ	2		[64]	В.										-		_	150		
					黄橙		Ш g	cg	β		粘土を挟在する。	19 [66]	CM.															
					灰	Bg			r		59.20m:傾斜75°の割れ目に沿って幅2~3mmの石英脈及び幅2mmの白色	46 [66]																
60					白黄橙	1	П д	bg		2	粘土を挟在する。 60.85~61.10m: 軟質で礫混じり砂 状を呈する。上端に幅1~3mmのにぶ	49	CH.								5/ 7	113			19. 6			-
					灰	Dg Cg	IV g	cg	β	1	い褐色粘土を挟在する。 61.68~62.40m: 網目状に割れ目が	[38]																
				7	灰白	Eg	VIg	dg	γ δ	0	61.88~62.40m: 州日 (京) (利日 (京) (明日 (京) (明日 (京) (明日 (明日 (京) (明日	A [0]	CL'															
											粘工混しり砂状を呈する。 62.45~62.74m:角礫状~砂状を呈する。																1足	E

柱状図(30.00m~60.00m)



1-156(分類c)①

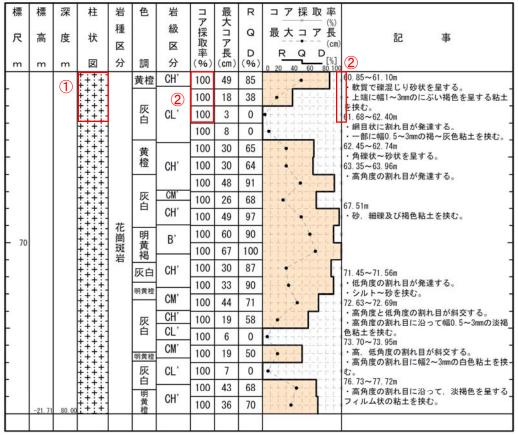
審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-158(分類b)②

報告書の記載漏れを修正したため。

(2/3)

		柱	岩	色	硬	[⊐	割	風	変	記	コア採取率	岩	孔内		(標準貫入 N値~深度)試験)図	原位	室	掘		孔	구	給	回 j	送 边	排	-
高	度	状	種			ア	れ 目				最大コア長	級	水位(m)	N			/ L		内	進	進速度	径 (mm) /	アチューブ			水 王 量		
IDI	12	100	区			形	の状				R Q D	区						1	試		cm	但	É		_		. _	Л
(m)	(m)	☒	分	調	軟	状	態	化	質	事	0 50 100	分	月日	値	0 1	0 20 ;	30 40 5	平載荷)	験	B	時	護	ット	MPa	<u></u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
				灰白							9 [0]																	_
				\vdash	Cg	IV g		r		28.55m:幅2~20mmの淡褐色粘土を 挟在する。 28.74m:幅20mmの細弾~砂混じり淡	[0]	CL.																-
				黄 橙			cg	δ		褐色粘土を挟在する。	[0]									4/25	122			9,8	120			$\frac{1}{2}$
				灰白	Bg	Шд					[3\$]	CW.																-
				黄橙	Cg Eg	IV g			3	32.32~32.87m:傾斜40~60°の割れ	9 (43)															福		$\frac{1}{1}$
					Cg	IV g				目が発達する。	9	CL.														1.1 7	1	
			=	灰白	Dg Cg Bg	V g IV g				33.95~34.05m:網目状の割れ目が 発達し、上端に幅15mmの淡褐色粘土 、幅1~3mmの白色粘土を挟在する。	23 [50]	CM.												19.6	150			1
						IV g				34.50〜34.65m:幅1〜3mmの淡褐色 粘土を挟在する。 35.32m:幅10mmでにぶい橙色を呈す	[dp	CL'								4/27	86							
				黄橙						35.42m:幅7mmの灰白色粘土を挟在 する。 35.82~35.93m:淡褐~灰白色のシ	[46]	CM.																
			=	灰白	-			β		36.35m: 幅4mmの淡褐色粘土を挟在 する。	49 [91]																	
				黄榕			58	r	2		(do)																	-
				-	Cg	V g	cg	β		40.00~40.20m:高・低角度の割れ	[82]	CH.																_
			=	明赤灰			bg	β	1	目が交差する。高角度の割れ目に沿って淡褐色粘土を挟在する。	[61]									4/28	91				180			-
				黄橙		Vg	bg		2	42.07~42.21m:傾斜40~50°の割れ	1871	OW.																=
				99	Bg	III e	-		1	日が頻者である。 42.75m:幅1~3mmの淡緑灰色の鉱物 脈を挟在する。	19												ダブル	29.4				-
			花	赤灰		Шg	CE			44.24m:幅30mmで傾斜76°の割れ目 が変集オス	19	СП											アチュー					-
			崗斑岩	#		III g	bg			44.58~44.64m: 径20~40mmの石英 及び長石が密集する。	25 [54]	СМ.								4/29	67) / ダイヤ					_
					Cg	IVg	cg	δ		46.22m:高角度の割れ目に沿って幅 30~50mmで砂~礫状を呈する。	[0]												ř		150			1
				ぶい黄橙				β			38 [92]												۲					
				橙		Πg				48.40m:割れ目に沿って幅40~70mm で粗粒化(最大径8mm)する。		CH.													180			
			=	黄橙	Bg	Шд	bg	β	1		[85]									4/30	44							\downarrow
				明赤灰				β			(100)	В,													-	1.1 水	1	$\frac{1}{1}$
				明黄							(88)	CH,																
				褐	_			r		52.41~52.94m:幅1~2mmの黒褐色 粘土を挟在する割れ目が発達する。	18																	1
				黄橙	Г	Шg	 		2											5/ 1	126			9.8				1
				明赤灰	Dg	IV g	l	δ		55.15~55.40m:幅2~10mmの淡褐色 及び灰白色粘土を挟在する。		CL'																1
				明	Be	Ig	bg		3	55.80~56.18m:幅1~7mmの淡緑色 及び淡褐色粘土を挟在する。 55.95~56.27m:変質が強く、黒褐 毎を早する	64	В'																
					Cg	IV g		β	2	57.05~57.24m:幅1~4mmの褐灰色 粘土を挟在する。	[66]														150			1
				黄橙			cg		1		[66]	CM.																
				灰白			bø	r		幅2~3mmの石英脈及び幅2mmの白色 粘土を挟在する。	46 [81]	CH.								5/ 7	113			19. 6				1
				橙		W _g	46	ŕ	2	80.83~01.10m:軟員で保護しり的 状を呈する。上端に幅1~3mmのにぶ い褐色粘土を挟在する。	[85]																	
			=	灰白	Dg	V g	cg	β	3	61.68~62.40m:網目状に割れ目が 発達する。一部に幅0.5~3mmの褐色	(38)	CL,																-
		"=" "="	=		Eg Dg	VI g	dg	δ	1	62.40~62.45m:幅5~6mmで淡褐色 粘土混じり砂状を呈する。 62.45~62.74m:角礫状~砂状を呈	[0]		-					-						4	-		-	$\frac{1}{2}$
	(m)			(m) (m) 図 分 花崗斑岩	(m) 次 次	(m) (m	(m) (m		(m) (m	(m) (m	(m) (m) 図 分 調 軟 状 態 化 質 事事 反	(n) (n) 図 分 調 軟 伏 蛇 化 質 事	(m) (m) 図 分 調 較 秋	The column	1	Table Ta			### 1		Column C	C	The control of the	The content of the	The content of the	State Stat	The content of the	S

柱状図(60.00m~80.00m)



1-156(分類c)①

審査資料作成の際に模様を見直したため。

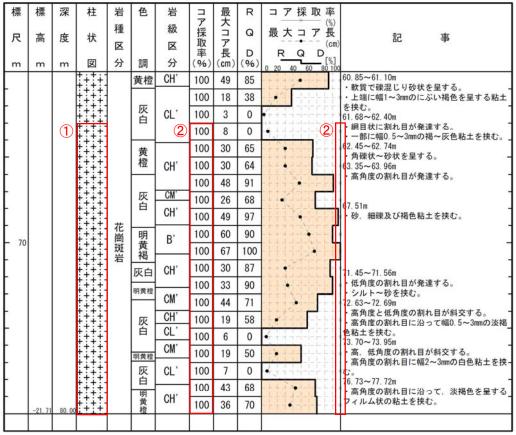
1-158 (分類b) ②

報告書の記載漏れを修正したため。

(3/3)

標	標	深	柱	岩	色	距	_	割	国	亦	記	取率 岩 孔 (標準貫入)試験 原		#	掘	畑	孔		給	П	:¥:	:¥:	排
1示	1示	/A	111		-	唑		割れ	7950,	又	ac.	6) 内 _ (N値~深度)図 位	<u> </u>	£		進	径	コアチ	本口				
				種			ア					ア長 級 位 計	ţ F	内	進	速度		그					水
尺	高	度	状	区			形						- 1	式	В		71.	ーブ/ビ	_	数	止		
							112	状				D D 区 测定月日 值	Ī	Д	л	cm/	//	É	kN	rpm	MPa	L/分	L/分
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事			倹	日	時	護	ット	MPa		L	分	分
			-\\-\\-\	-	灰白	1	IV g			2	63.35~63.96m: 高角度の割れ目が	7 104 10 20 30 40 30 =											Т
-					_	og				3	優勢で、幅0.5~1mmの灰白色粘土を 挟在するものが多い。								19, 6	150			-
					#		Πg	ng				[65]											
				=	黄橙	Bg	Шg	bg		2	64.98m:幅1mmの褐色粘土を挟在する。	CH'			5/8	80			29. 4	180			
-				=		Cg		cg	r			[64]											-
								bg				[9h]							19.6	150			
					灰白		Πg	cg		1	07.54	CM'											
-				=							67.51m:幅4mmで砂、細礫及び褐色 粘土を挟在する。	(68)					1						-
				=		Bg				2		44											
			""" """					bg	8			60						ダ	29. 4	180			
F 70)				明黄褐		Ιg					(99) B'			5/ 9	67		ダブルコアチ					-
			""	=	褐							[104]						チュ					
				花崗斑岩	III.	Dg	II g	cg.	r		71.45~71.56m: 低角度の割れ目が	(R2D) CH'						ユーブ/ダイ	19. 6		0.1	清水3	1
-				岩岩	灰白			bg			集中する。幅1~5mmのシルト~砂を 挟在する。			ļ			-	ダイヤ				3	-
					明黄橙	Bg	Πg				72.63~72.69m:傾斜80°と低角度の	[90]						ヤモンドビ					
					橙	-		cg	β		割れ目が交差する。高角度の割れ目 に沿って幅0.5~3mmの淡褐色粘土を 挟在する。	4 CM						ピット					
-				=		Dg Bg	IV g	1 1		1	73.70~73.95m:高・低角度の割れ 目が交差する。高角度の割れ目に幅	LT CH											-
				=	灰白	bg	m g				2~3mmの白色粘土を挟在する。	(S8)											
						Cg	IV g	cg			75.15~75.68m: 低角度の割れ目が 目立ち、幅0.5~2mmの白色粘土、砂	CL.								150			
-						Bg		ļ.			、鉱物脈を挟むものが多い。	CW CW			5/11	142			29. 4				-
				=	明黄松	1	Шд	bg	r		76.73~77.72m:フィルム状の淡褐	(\$0)											
			" "	=	177	Cg	IV g	cg			色粘土を挟在する高角度の割れ目が 多い。	CL.											
-					灰白		L																-
					<u> </u>	Bg	II g					[683]											
				=	明黄橙	08	Шд	bg				CH											
	-21. 71	80.00	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				шд						+				\vdash				\vdash		\vdash

柱状図(60.00m~80.00m)



1-156(分類c)①

審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-158(分類b)②

報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.						
小一・テンクNO.						8

事業・工事名

ボー	リン	グ名		Br	-8						調査位置													北		緯							
発	注 棩	製												調査期		,								東		経							
調 3	主業	者名									主任技師			現代 理	場人				鑑	ア 定 者				ボグ	ー リ 責 任	者							
孔	口標	高	72.	34 m	角	180 上		_s	90°	方	北,0° 地 水 3	平 _{0°}	使用	試 錐	機							ハンマ· 落下用:											
総	掘削	人長	100.	00 m	度	下	. F	ノ <u>。</u>	0°	向	西東 知 館 90°	/ 0.1	機 種	エンジ	ン							ポン:	プ										
	725	7777	12					фи		_	=-1	П	コア採	取率		71		(標	準貫入)	試験	_	_	ш		71		"		·×	,74	
標	標	深	柱	岩	色	硬	⊐	割れ	風	変	記	-	〜 (% 最大コ)	旹	孔内水		(١	Ⅰ値~深度) 図	原位置試	室		掘進	径	コアチ		回 : 転 :		送水	
尺	高	度	状	種			ア	目				.	c	1 1	扱	位	N						試験	内	進	速度	(mm)	구ㅣ		数		量	
	10)	^~		区			π≥	の L					R Q ¬_[%	[≖	測完							(孔 内	둞	月	cm	壁	/	€N		^		î
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟		状態	化	質	事				分	測定月日	値						水平載荷)	験	日	4			MPa r	rpm M		分し	ラ分
	72. 18/ 71. 99/	0.16							+		0.00~0.16m:有機質土混じり砂。 腐植物を含む中粒~粗粒砂を主体と	H	50	100			H	0	10	20 ;	30	40 5	0 🖭				+	+	\dashv	\dashv			Ť
-	71, 34 70, 99	1.00	0 0	業混じ り砂 砂礫	にぶい						する表土。 0.16~0.35m: 礫混じり砂。 細礫混じり中粒砂を主体とし、軟質																						-
-			:"="=	**** 楽混じ り粘土	2174 16	Cg	V g VIa	cg ee	δ	2	である。径2~10mmの角礫を含む。 0.35~1.00m:砂礫。			С	Ľ														14,7		0.0	清水	1 _
		=			にぶい黄橙		II g II g	bg			シルト混じり中粒〜粗粒砂を主体と する基質中に花崗斑岩の亜角礫(径 10〜30mm) を含む。一部に腐植物片		34	[90]											5/15	106				100		1	
		=				Eg	Пg	da .			を挟在する。下端の0.63~1.00mは 花崗斑岩の硬質な玉石。 1.00~1.35m:礫混じり粘土。		1	(F2)	H																		
<u> </u>					明黄褐	Bg Gg	IV g II g		r		細礫混じりの軟弱な粘土を主体とする。礫は径2~10mmの亜角礫からなる。		4	7									1					f	24.5	T			╡
-							Ιg	bg			1.35~46.90m: 花崗斑岩。 傾斜45 の境界で第四系と接する。 1.89~1.90m: 傾斜45 で幅7~10mm			[85] E	3,											\exists		-	1	\exists			-
-							II g II g I g			2	の黄褐色粘土を挟在する。僅かに砂 を含む。			[85]	н																		-
					灰		Πg				1.90~1.96m: 細礫を含む黄褐色の 砂質な粘土状を呈す。 4.43m: 傾斜45°の割れ目に沿って幅	1		[100]																			
					明黄褐	Dg Cg	Шg		8		20mmで軟質化する。下端に幅5mmの 細礫混じり粘土を挟在する。 6.65~7.00m: 傾斜20~30°の割れ目		A	[63]																			
ŀ		=	" " "		褐	Bg	IV g		r		が主体で、一部に幅1mm程度の粘土 を挟在する。 7.06m:幅2~3mmの軟らかい白色粘		27		м.																		-
-					灰		Πg	cg			土を挟在する。 8.20m:幅2~3mmの褐色粘土を挟在 する。		31	[63] C											5/16	127							-
_ 10		=			橙	Cg Eg Dg	III g VI g		δ		9.90m:幅2mmの褐色粘土を挟在む。			[69]																			-
					浅黄橙		II g				9.93~10.17m:砂状を呈し、上端に幅5mmの灰白色粘土を挟在する。 10.13~10.72m:幅1~2mmの軟らか		[4	30 C	Ľ																		
					浅		Шg				い灰白色粘土を挟在する。 11.27~11.29m: 傾斜25°の割れ目が 集中する。		28	[68] C	W.													ダブ					
					黄褐		Πg			3	11.57m:幅1~3mmの軟らかい灰白色 粘土を挟在する。		34														86	ルコアチ					-
-					橙		Шg	bg	r		13.04m:幅10mmで砂状〜細礫状を呈	╽┠	42	[79] C	H"												セメ	Ī					-
-				- #-	灰白		II g				する。			[79]	-												/セメンティング	/ダイヤモンド					-
				花 崗 斑	Ė		III g II g III g	cg					M	[70] C	W.												グ	モンドゴ					
				岩	にぶい		Пg						41	[95] C	Hr													ピット	29. 4	- 1	0.0	清 水 3	0
					橙	Bg	II g III g Ng	}	δ				28	[81]									1		5/18	142			40.4	120			1
}					浅黄橙		Ιg		r					65 E	3,																		-
-							IVg III g	bg	δ		17.73~18.31m:高角度の割れ目が 発達する。		1	c C	H'								-										-
-			"=" "=" "="		灰		Πg]	2	17.89m、17.92m:幅1~2mmの灰白色 粘土を挟在する。			[77]																			
					白		Ιg							70 [92]	3,																		
20							Πg		r					[92] C	H'	▽ 20,20 = 6.8										\dashv							
-						Cor	Шg				21.24~21.46m: 傾斜70 程度の割れ 目が交差し、岩片状を呈する。		1	Lag.																			-
-					かい	Dg	V g IV g	cg					[25]	52									-										-
-		=			橙		I g II g	bg			24.54m:幅5~10mmの灰白色粘土を 挟在する。			[82] E	\dashv																		
					浅黄橙	Cg Dg	IV g				24.85m:幅1~3mmの褐色粘土を挟在 する。		91	₩H°											5/19	202							
			\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\		12	Eg		cg	δ		24.86~25.99m: 高角度の割れ目が 卓越する。 24.91m:幅10mmの灰白色粘土を挟在		\$ V)),																		1
-					淡橙	Dg	IV g II g III g			3	する。		20	╫╫	\dashv								1										+
-					橙	Cg	IV g III g	bg	r		26.57m:幅2mmの灰白色粘土を挟在		17		M'								-										-
			_//=				IV g III g	cg			する。		[48]																			

柱状図(0.00m~35.00m)

		<u>H</u>	27-E	3r-8	3	4-7		孔口	1 標	高	T. P.	72.3	34m	掘	削	長	100.00)m
標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最大	R	⊐	ア採	取率(%)						
尺	高	度	状	種		級	採	⊐	Q	最	大コ	ア長			記		事	
AC 3:0	4.5			区	1,900,800	区	取率	ア長	D	1	R Q	D (cm)						
m	m 72.19	m	図	分 有機質	調果褐力	分	(%)	(cm)	(%)	0 20	40	[%] 60 80 100		0.14	n			
- 1	71.34	1.00	0 0 0	土混じ	にぶい黄褐	2	100			_ + +	1 -1 -1 -		· 有		混じり	砂であ	る。	-
- 1	70. 99	1.35	+:+:-	礫混じ り砂	にぶい 黄橙	CL'	100	6	0	•	111	2	0.16		ōm 砂であ	る。		-
-		1	. + . +	砂礫 ^{礫混じ} り粘土	にぶい黄橙	CH'	100	34	90		1-1-		0.35	~1.00 楽であ	Om			_
-			 	ツねエ	奥拉	Off	100	50	72	- 1 1	11		1.00	~1.3	5m	L -		-
- 1			<u>++++</u>		明黄	B'	100	47	85	- + +	+	1=		足しり~46.5	粘土で。 90m	ある。		-
			++++	l	褐	CH'	100	31	85	- 1 1	177		・花	崗斑岩	である。	0		
_			++++	1	灰 明	OII	100	47	100	T T	13.	cert	6.65	~7.00	Om			
- 1			<u> </u>		黄		100	18	63	11		1					である。 土を挟む。	_
-			+‡+‡	-	褐灰	CM'	100	27	63	77	1	Litt.	7. 06	~10.	72m			
- 10			‡+‡+	1	造浅	01.1	100	31	69	- 4 4	1-1-		• 刮	れ日治	いに日・	~梅巴	を呈する粘土を持	- fe.
_			<u>+</u>		黄	CL'	100	30	43	1 1	•			部砂サ	を呈す	る。		
_			++++		橙浅黄褐	CIVI	100	28	68	-++	→ → → →→ → → →	1		7~11.	29m 割れ目:	4 (25) t	1 + Z	_
_			‡+‡+:		橙	CH.	100	34	79	- + +	+				計れい日	か光廷	900	
_			<u>+</u> +++		灰	132533	100	42	79	- 1 1	121-		13.04		曜状を	呈する	0 0	
_			++++		白	CM'	100	23	70	- 1 1	針		1					_
_			‡+‡+		にぶい橙	CH'	100	41	95		14-1-		ł					_
L			++++		浅黄橙	D'	100	28	81	11	世世		ŧ					
.			+		ZZ X III	B'	100	69	79	- + +	+		7 73	8~18.	31m			
_			++++	花	灰	1,000	100	45	77	- 1 1	115				割れ目	が発達	する。	_
20			++++	花崗斑	白	B'	100	70	92		1111		*					_
_			++++	岩		CH'	100	41	92	-++	++-	1-1-1-4 1-1-1-1	*					_
L			‡+‡+:		にぶ	CL'	100	11	25	•4		++++	1	l~21. 角度σ	46m 割れ目:	が斜交	ぎする。	
_			<u> </u>		か橙	CL'	100	52	82	-++	1-1-	1-1-4	*					
_			<u>+</u> +++		浅黄橙	our i	100	9	0	+1	111			6 ~ 25.				
_			‡+‡+:			D'	100	5	0	•++	+	- - - - - - - -	24.91		割れ目: 6.57m	が発達	! する。	
L			<u> </u>		淡		100	20	40	- 1	1-1-					色粘:	土を挟む。	
L			++++		橙	CM'	100	17	48	T +	111		ŧ					
			‡+‡+:			***	100	21	60	- 11	111		27. 67	7~28.	24m			
			++++	1	1	CL'	100	13	49	#	17		• 中:	角度σ	開口し	た割れ	目が発達する。	
- 30			+	-	灰白	CM'	100	13	38	1	1-1-		• 中1	-	割れ目	が発達	する。	_
_ "			<u> </u> ++++			CH'	100	19	42	- +	11-			3~32. 角度σ	96m 割れ目:	が発達	する。	
			++++	1	にぶ	CL'	100	9	0	1	1111		●32.	97~	34.58m(I ある。			
L I			+++		が橙	D'	100	0	0	11			·正	折層も	ンスで		14.5 4.7	-
			Ø+‡ &		浅	D'	100	0	0	111	+						Bからなる。 Wである。	
	37, 56	34. 78	≱†÷†⊻		黄橙		22	0	0	++	+1-7-				粘土を		る。 , 下端境界の傾斜	まは
													65° ·	である	0 0	.415(8)		- 13 ⁻ 13
						7 7			B					ア欠。	Janil			

^{1-159 (}分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-160 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	村	票	深	柱	岩	色	硬	⊐	割	風	変	記	取率 岩 孔 (標準貫入)試験	- 原 位	室	掘	掘	孔	_ ;	給	回	<i>2 /</i> 送		排
					種			ア	n				ア長級の位	(N値~深度)図	位置試		進		径	アチュ		転	水	水	水
尺	Ē	高	度	状	区			形	目の						験	試		度(/ 孔		圧	数	$\overline{}$	\neg	量
				1591		調	±47		状態	11-	ref-	事			(孔内水平載荷)	験		(m/時	壁保護		kN MPa	rpm	MPa	/	レ 分
(m)	(r	m)	(m)	図 	分	司司	Cg	1 Л Ш g		ηL	貝	7	10d 0	10 20 30 40 50	荷	級			設	۲	<u> </u>	<u> </u>		~	$\stackrel{\smile}{-}$
-				=\\=\\=\\=\\=\\=\\=\\=\\=\\=\\=\\=\\=\\	=	淡橙	Cg	IV g		δ		27.67~28.24m: 傾斜40~60'の開口 した割れ目が発達し、一部に砂質シ ルトを挟在する。	[60]												-
-					=		Cg	III g IV g	l cg			28.38~28.46m: 傾斜50° の割れ目が 集中し、幅1mm程度の白色シルトを 挟在する。	[49]												-
_ 30					=	灰白		W∉ III g IV g		r		JA 11.7 10.0	GL.				5/19	202							4
					=		Bg Cg	Πg IVg			3	30.83~31.75m: 高角度の割れ目が	CH'												
					=	15	Dg	IV g				卓越し、一部に幅1~2mmの砂を挟在 する。	CL'										0.0	清水3	0
						にぶい橙	Eg Dg			δ		32.08〜32.25m:礫混じり粘土状を 呈する。橙、黄褐、灰白、にぶい橙 色の斑模様を呈する。													
						湍	Eg	VIg	dg			32.96m:幅5mmの褐色粘土を挟在する。 ●32.97~34.58m:破砕帯。	D'												
						浅黄橙	Dg Eg					角礫状破砕部(Hj)。上端に幅5mmの 褐色粘土を挟在する。33.22m及び33 .47mに幅5mm, 7~20mmの褐色粘土を 挟在する。33.81mに幅2~5mmの灰白													1
						コア欠						色粘土を挟む。34.36m及び34.55mに 幅3~8mm,5~15mmの褐色粘土を挟 在する。上端の傾斜85、下端の傾													1
-					花		Eg Dg	Mg Hg	dg se	δ		斜65°。 34.78~36.34m:コア欠。					5/20	150	86 /セ メ						_
-					崗斑岩	白にぶい橙	/ RB	II g	1	r		36.34~36.53m:砂状~角礫状を呈 する。	см.						ンティング						-
-				"\" "\" "\"	=	浅	Dg Bg	Шg Пg	Dg		3		Cr.						グ						-
-					=	<u>橙</u> 灰白	Cg Dg Cg	IV g III g	-	r		38.72~38.78m:砂状~礫状を呈する。	CW.												-
40					=	コア欠		Πg VIg				39.73~39.83m:砂状を呈する。 39.83~40.22m, 40.57~40.65m:コ	[60]												-
-					=	淡黄	Eg Dg	Vg	cg	δ		ア再採取区間。 40,22〜40,57m, 40,65〜40,86m:軟 岩状で割れ目が不明瞭となる。	Cr.												-
-					=			VI g				41.35~41.51m: 同心円状の構造が 認められる。 41.63~41.65m: 礫状に崩れる。													-
-					=			IV g Vg IV g	1			42.97~43.84m: 低角度の割れ目が								ダブ					
					=		Cg	Vg IVg IIIg]			卓越する。	CW.				5/22	95		ノルコアチ					
					=	橙		IV g		r		44.17~44.74m:岩片状を呈する。								デューブ /	29. 4	120			
							Bg	II g II g IV g II g	bg			44.93〜46.90m: 低角度の割れ目が 卓越する。	[8 1] CH.							ユーブ/ダイヤモ		120			
	25	5. 44	46. 90	- \			Ce	Ng Eg II g IV g					46] CM							ンドビッ					1
					捕	明黄褐	-	Пд		δ		46.90~48.54m:捕獲岩。 境界は不明瞭。上端の傾斜は約60°。 下端は漸移的。原岩は不明。	5 [86]							١					1
	23	8. 80	48.54		岩	福	Dg	I g V g			3	細粒砂状の基質中に径2~5mmの炭化 物及び径0.2~1mmの石英及び長石粒 が点在する。軟らかい。	(E9) (1)				5/26	93							
-					-	にぶい 橙 浅黄橙		IV g V g IV g	-	δ		48.00~48.54mには流理構造あるい は堆積構造が認められる。 48.54~55.62m:花崗斑岩。 48.54~48.70m:捕獲岩との交代作	J. O.											清	1
- 5C					=		Cg	IVg				用により細粒化し、優黒色鉱物を含む。 48.70~48.82m: 礫状を呈する。	9]										0.0	清水2	0
-						灰白	Cor	Mg Mg IVg	-			49.87~50.39m: 低角度の割れ目が 発達する。 50.09m: 幅2mmの灰白色粘土を挟在	[5/7] CH'												-
-					花崗斑 彩斑		Cg Bg	IV g IV g III g IV g	cg	δ		する。 51.34~53.69m: 高角度の割れ目が 卓越する。一部にフィルム状~幅1m	CW.												-
-				\\ //		にぶい	Bg	III g IV g	Dg	r		mの白色粘土を挟在する。 51.78~51.87m:砂状~礫状を呈す る。	45)												-
-						橙	Cg	V g		δ			Cr.												-
-						**	-	Шg	bg			55.53~55.62m:捕獲岩との交代作	[49] CM				5/27	131							-
	16	81	55. 53		捕獲	淡 黄 オリー ブ黄	Cg	Пg		r	2	用が見られる。 55.62~56.51m:捕獲岩。 上端境界は漸移的、下端の境界は明	[30] CL.												
	15	. 83	56.51		獲岩	フ黄		Ng II g II g	-		H	工場現外は利参的、「端の現外は明 瞭で、傾斜60'。原岩は不明。 56.12m:幅6mmの軟らかい茶褐色粘 土を挟在する。	[73]												
					=	淡黄	Cg	IVg	bg	δ		56.25m:幅5mmの黄灰色粘土を挟在 する。 56.51~69.79m:花崗斑岩。	CM.												
					=			V g III g IV g				56.88~58.84m: 傾斜60 程度の割れ 目が卓越する。 58.06~58.32m:幅3~12mmの淡黄色	CL.												1
					花崗	灰白	Cg	IV g IV g IV g	bg	r	3	の礫混じり粘土を挟在する。	см												-
60					斑岩		- Bg - Cg - Dg	III g IV g V s				60.42~63.74m: 軟質で、割れ目に													+
-						浅黄橙	Dg	VI g		δ		沿って最大幅2mmの灰白色粘土を多 数挟在する。下端に幅3~9mmの褐~ 暗褐色粘土を挟在する。	D. CT.				5/28	131							-
-						橙	Cg Bg Cg	Шg	cg	r		61.08m: 幅8~15mmのにぶい青灰色 粘土を挟在する。 61.26m: 幅20mmの暗灰~黒褐色の礫	cr.												-
F							Dg	TAR	L		Н	混じり粘土を挟在する。 62.10m:幅3~5mmの灰白色粘土を挟 _ 在する。										_			_

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-8 孔口標高 T.P. 72.34m 掘 削 長 100.00m 標 深 柱 岩 色 岩 R コア採取率 大コ 最大コア長 種 級 採 Q 尺 高 度 状 記 事 取 T (cm 区 区 長 D Q D 率 (%) 义 分 調 分 (%) m m m (cm) 40 60 80 有機質 土混じ 黒褐 0.00~0.16m 100 ・有機質土混じり砂である。 黄褐 100 0.16~0.35m CL 6 0 · 礫混じり砂である。 砂礫 100 34 90 0.35~1.00m こぶし黄橙 礫混じ り粘土 ・砂礫である。 CH' 100 72 50 1.00~1.35m ・礫混じり粘土である。 100 47 85 B' 1.35~46.90m 黄褐 100 31 85 ・花崗斑岩である。 CH' 灰 100 47 100 6.65~7.00m 明 100 18 63 ・低角度の割れ目が主体である。 黄褐 一部に幅1mm程度の粘土を挟む。 CM' 100 27 63 灰橙 ・割れ目沿いに白~褐色を呈する粘土を挟む 100 31 69 10 浅 CL 一部砂状を呈する。 100 30 43 黄 橙 CM' 100 28 68 11. 27~11. 29m 浅黄袍 ・低角度の割れ目が発達する。 100 34 79 CH' 橙 13.04m 100 42 79 砂状〜細礫状を呈する。 100 CM' 23 70 白 100 41 95 にぶい 橙 CH' 100 28 81 浅黄橙 B' 100 69 79 17. 73~18. 31m CH' 100 77 45 ・高角度の割れ目が発達する。 花崗斑 灰 B' 白 100 70 92 20 100 41 92 CH' 岩 21 24~21 46m 100 25 CL' 11 3 ・高角度の割れ目が斜交する。 100 52 82 橙 CL 100 9 0 浅黄橙 24.86~25.99m D' ・高角度の割れ目が発達する。 100 5 0 24.91m, 26.57m 100 20 40 ・幅2~10mmの灰白色粘土を挟む。 CM' 100 17 48 4 100 21 60 27. 67~28. 24m CL' 100 13 49 ・中角度の開口した割れ目が発達する。 28. 38~28. 46m 100 13 38 ・中角度の割れ目が発達する。 30 白 30.83~32.96m CH 100 19 42 高角度の割れ目が発達する。 CL 10 ●32.97~34.58m(D-7破砕帯) ・破砕部である。 100 9 0 ぶい 100 0 0 正断層センスである。 橙浅黄橙 D' 黄橙色の固結粘土状部からなる。・走向・傾斜はN9°E87°Wである。 100 0 0 幅15mmの粘土を挟在する。 上端境界の傾斜は85°, 下端境界の傾斜は 0 22 0 (1) 34 75 37.56

65°

である。 34. 78~36. 34m コア欠。

^{1-161, 1-162(}分類c)①

コア欠を反映させたため。

¹⁻¹⁵⁹⁽分類c)(

審査資料作成の際に模様を見直したため。

¹⁻¹⁶³⁽分類d)③

記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

¹⁻¹⁶⁰⁽分類b) 4

報告書の記載漏れを修正したため。

## A S S S S S S S S S S S S S S S S S S	標	標	深	柱	岩	色	硬	-	割	風	変	記	コア採		岩	孔	,	(標	準貫入)	試験	原	室	掘	掘	孔	_	給		İ	送	
A									ħ							内	! ~	(1	∖値~深度)図	原位置試			進	径	アチ					.
No.	尺	高	度	状									1			(m) N						験			度	孔		圧	数	$\overline{}$	$\overline{}$	$\overline{}$
## 1							+4		状	и.	-	+	[%]		定月	値						内水平			<u> </u>	保		•	rpm	MPa	L/分	レ分
2. 10.0.1. 2. 1. 2	(m)	(m)	(m)	= = =	分	副	Cg	Ше	+		質	\$	0 50	10	ıd	E		0	10	20	30	40 5	一一	颞	Ħ	-	護	+		~	~		_
## 1	-			["]"		淡橙	Cg	IV g	1	_				[60]	H																		-
The content of the	-						Ce	III g	cg			28.38~28.46m: 傾斜50 の割れ目が 集中し、幅1mm程度の白色シルトを	[[49]	CL.																		-
The content of the	— 30				=	灰白				r		挟在する。	[38])	\vdash										5/19	202							_
1					=		P.	III e	bg		3	30.83~31.75m·宣角度の割わ日が	19 [42	2]	CH,																		
## 15 19 19 19 19 19 19 19					=	(=	Dg	A R				卓越し、一部に幅1~2mmの砂を挟在	y 9		CL,																0.0	清水。	0
1.					=	ぶい	Eg Dg					呈する。橙、黄褐、灰白、にぶい橙	(Ø)]																	3	
Manual Content Manu							Eg	VIg	dg	0		32.96m:幅5mmの褐色粘土を挟在す る。	0		D,																		-
1.	-					浅黄橙	Dg					角礫状破砕部(Hj)。上端に幅5mmの 褐色粘土を挟在する。33.22m及び33 47mに幅5mm, 7~20mmの褐色粘土を	0		1																		-
1	_				=	3 7						色粘土を挟む。34.36m及び34.55mに 幅3~8mm, 5~15mmの褐色粘土を挟			П																		-
1	-				# #			VIE	dg	δ		斜65°。			Ш										5/20		/						-
1	-				岩田斑岩		Dg Cg Bg	۳,	4	r		36.34~36.53m:砂状~角礫状を呈	[27]	Ш	см.												メンテ						
1	-				, 11 ,	橙	Dg	Шg	l og		3		[39	a	CI.												ング						-
1	-			P > P	=	灰	l ca	IV g	+	r			[40 33) j	H																		-
10	— 40					自	Dg	III o	J -0			39.73~39.83m:砂状を呈する。 39.83~40.22m 40.57~40.65m:コ	b	[60]	CM																		_
1	-				, ,	**	Eg	Vg	1	δ		ア再採取区間。 40.22~40.57m, 40.65~40.86m: 軟	6 101		CL.																		-
(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						黄	Dg	Vig				41.35~41.51m: 同心円状の構造が 認められる。	[20]		Н																		
2							108	IV g				41.63~41.65m:候状に崩れる。	[19]		+													,,					
## 15-44 46-98 1-4-1-4-1-4-1-4-1-4-1-4-1-4-1-4-1-4-1-4							Cg	V g					18		CW.										5/22	95		フブルコマ					
10 10 10 10 10 10 10 10	-					橙				r		44.17~44.74m:岩片状を呈する。			1													チューブ					
15. 44 46. 90	-				=		Bø.	II g	bg				28	[81]	CH.													ダイヤ	29. 4	120			-
15.10 15.5 15 15.10 15.5	-				=			II g					20	467	H													ンドビ					-
22.200 (43.54) (27.5 1.5	-	25. 44	46. 90		捕	88						境界は不明瞭。上端の傾斜は約60°。	45	5	CM.													ット					-
一名 「	-	23, 80	48.54		岩	黄褐	Dg	- 16		δ	3	細粒砂状の基質中に径2~5mmの炭化 物及び径0.2~1mmの石英及び長石粒	44	П	1										5/26	93							-
15.81 55.55 20 20 20 20 20 20 20	-						Cg	IV g	-	_		48.00~48.54mには流理構造あるい は堆積構造が認められる。	1/6	[59]	CL,																		-
Bg Ez	— 50			="="=	-		Bg Cg	IV g IV g	cg			48.54~48.70m:捕獲岩との交代作 用により細粒化し、優黒色鉱物を含む。		0																	0.0	清水 2	0_
Bg Ez	-					灰白		Na III g	bg	r		49.87~50.39m:低角度の割れ目が 発達する。		[57]	CH.																		
Bg Ez	-				花崗斑		L Bg	ШE	-	δ		する。 51.34~53.69m: 高角度の割れ目が	[37]		CM.																		7
Bg Ez	-				岩	にぶい	Re	Шg	ng.	γ		mの白色粘土を挟在する。 51.78~51.87m:砂状~礫状を呈す		15)	Н																		-
16. 81 55. 53 25 25 25 25 25 25 25	_				=	橙		Vg	cg				[q)		CL.																		_
15,81 55,52 55,62 - 56,51 1							_	Шg	bg			55 53~55 69~ 機雑出しのたかた	[17]	49]	CW.										5/27	131							
Total Control Cont		16. 81	55. 53		捕		\top	Пе			_	用が見られる。 55.62~56.51m: 捕獲岩。	34	[80]																			
Total Control Cont	ĺ	15.83	56.51		港	ブ黄	υg	II g	cg		Z	瞭で、傾斜60°。原岩は不明。 56.12m:幅6mmの軟らかい茶褐色粘	1 1 7																				
V _E D _E O O O O O O O O O						淡差	Cg		bg	δ		56.25m:幅5mmの黄灰色粘土を挟在 する。	9 [0]																				
V _E D _E O O O O O O O O O					=	, A		V g				56.88~58.84m: 傾斜60 程度の割れ 目が卓越する。			CL.																		
V _E D _E O O O O O O O O O	-				花崗	灰白	Bg	IV g III g III g	hø	r		の礫混じり粘土を挟在する。	17		CW.																		-
V _E D _E O O O O O O O O O	L 60				斑岩	F	Cg Dg	III g	_		3	60 42~63 7/m : 軟蟹を 生わりに	16		Ш																		-
V _E D _E O O O O O O O O O	-					浅	Cg	IV g		δ		沿って最大幅2mmの灰白色粘土を多数挟在する。下端に幅3~9mmの褐~	11	\coprod	+										5/28	131							-
V	-			P ~ >	=	橙	Bg	ШЕ	+			61.08m:幅8~15mmのにぶい青灰色 粘土を挟在する。 61.26m:幅20mmの暗灰~黒褐色の礫	[22]	\prod	H																		-
					=			10 8		δ		混じり粘土を挟在する。 62.10m:幅3~5mmの灰白色粘土を挟	[10]	Ш	1~		-											-	-			\dashv	

柱状図(35.00m~70.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コ	最	R	コア採取率	
尺	高	#	状	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	記事
,	同	度	1.	区		区	取率	ア長	D	R Q D	n) ac p
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 10	
1	20.00	20.24		3		4	0			+++++	
\Box	36, 00	36, 34	++++		灰白	CM'	66	18	27		36. 34∼39. 83m
			++++		にぶい	1000 E	100	23	39	-++	・割れ目が多く、砂状~礫状を呈する。
		2	‡+‡+:		浅黄橙	CL'	100	22	40		4
- 40			<u> </u>	3	灰白	CM'	100	33	60		* 39.83~40.22m, 40.57~40.65m
.			++++	花崗	淡	CL'	100	6	0	• + + + +	・コア再採取区間。
-			++++	斑岩	黄		100	10	20	- + + +	41. 63~46. 90m
-			‡+‡+:	岩		OM'	100	19	19		* ・低角度の割れ目が発達する。 ・一部、礫状及び岩片状を呈する。
-			++++			CM'	100	18	18	7-73-55-57	
-			++++		橙		100	7 28	0	1 1 1 1 1 1 1	1
-			++++			CH'	100	20	81 46		1
- }	25, 44	46, 90	J.J.J.J.	捕	明	CM'	100	45	86		46. 90∼48. 54m
- [23, 80	48, 54		獲岩	黄褐	01.1	100	44	59		
-		2	++++		にぶい	CL'	100	16	39	-++,	- 48.54∼55.53m + • 花崗斑岩である。
- 50			<u>++++</u> :		浅黄橙 灰	CH'	100	14	57	1111111111111	48.54~48.70m ・細粒な優黒色鉱物を含む。
-			<u> </u>	花崗	白	UII	100	14	37	- +1 +	48. 70∼53. 69m
3			++++	斑	にぶ	CM'	100	15	45		・低、高角度の割れ目が発達する。 ・・上端部は礫状を呈する。
			++++	岩	い	CL'	100	9	0	- 4 + 4 - 1 - 1 - 1 - 1 + 1	- \$1.78~51.87m † <mark>・砂状~礫状を呈する。</mark>
			<u></u> ‡+‡+:		橙.	CM'	100	17	49	-14 1-1-1-1-1	*
-	16, 81	55, 53	;++;+. }:}:	捕獲岩	淡黄	CL'	100	34	80	-++	\$5, 53∼56, 51m
.	15. 83	56, 51	///// +	拥侵石	オリー ブ黄	CM'	100	46	73	$-\frac{1}{1} \cdot \frac{1}{1} \cdot \frac{1}{1} \cdot \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{1} - \frac{1}{1} \cdot \frac{1}{1} \cdot \frac{1}{1}$	・捕獲岩であり、原岩不明である。
		2	‡+‡+:		淡黄	CL'	100	9	0		・上端境界は漸移的、下端境界は明瞭である
-			+				100	10	10	+++++++	_\$6.51~69.79m ・花崗斑岩である。
- 60			++++		灰白	CM'	100	17	30	-+	↓\$6.88~58.84m ・高角度の割れ目が発達する。
.			++++		浅	CL'	100	16	16		*・一部幅3~12mmで淡黄色礫混じり粘土を呈 する。
4			‡+‡+:	#	黄	D'	100		22	+ + +	1
.			++++	花崗斑岩	橙	CL'	100	10	10		4
.			++++	出岩	浅黄	CM'	100	7	0	+	
-			++++		にぶい 橙	CL'	100	19	19		1
-			∄+ ‡+ ⊠		浅		100	19	30		●65. 81~67. 33m
.			¥‡‡ 1 8		黄橙	D'	100	7	0		・破砕部である。 ・浅黄橙色の固結礫状部からなる。
-			++++		淡黄 灰	CH'	100	50	94	-+++	・走向・傾斜はN23°E56°Wである。 ・上端境界の傾斜は60°、下端境界の傾斜は
.	2. 55	69. 79	++++		白	B'	100	57	99		70° である。 67, 33~67, 56m
_	۵, 55	03. 19		ペグマ タイト	明赤灰	CM.	100	0,	- 00		・高角度の割れ目が発達する。
											69.79~70.09m ・ペグマタイトである。
											69.79~69.84m ・流理構造が見られる。

1-164, 1-165 (分類c) ① コア欠を反映させたため。 1-166~1-168 (分類c) ② 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-169, 1-170 (分類c) ③ 表現を統一したため。

1-160(分類b)④ 報告書の記載漏れを修正したため。

抽	抽	深	++	щ	4	Į.	i –	宇川	囯	亦	記	П	= 7	ア採	取四	<u></u>		,zı		(標	準貫 <i>7</i>	()	試験	百	孛	姍	##	ZI	_	44		3 / ¥		
標	標	沫	柱	岩	色	. (使		割れ		发	āC			(% 大コ		岩		孔内水	^		(١	1値~	深度) 図	原位置				径	コアチ		.	达:	送水	
尺	高	度	状	種			ア	目						CI	m	紋		水位(m)	N								置試験	内	進		(mm) /	고			圧		
	,	_		区			形	の状					R ¬	Q [%) 区		測定									孔内	試	月	(m)/時	孔壁	フ/ビ	ŔN	\neg	$\overline{}$	\sim	\neg
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	′状	態	化	質	事		_	_ /	•	分		測定月日	値								 水平載荷)	験	日	時	保護		MPa	rpm	MPa :	上/分)	分
					浅黄橙	Dg	Vs VIg Vg		δ	3			7	50	П	100 CL.				0	1	0	20	30)	40 5	0 🖭								+	\exists	
-					浅黄	Cg	IV g	hø	r				[N] 19	H	\parallel	CW.																					-
_					にぶい橙	Rg			Ĺ	2	64.36〜84.96m:最大幅2mmの灰白色 粘土を複数挟在する。	֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	D	9]		╬																					_
				į Σπ	檐	Bg Dg	y III g			3	●65.81~67.33m:破砕帯。		115	[30]	$^{+}$	CL.													5/28	131							
				花崗斑岩	浅黄橙	Eg	VIg	cg	δ	4	角礫状破砕部(Hj)。上部に幅5~10mmの石英脈及び幅5~15mmの赤色粘土	' F	[0]		+	H																					
-				看	122	Dg					を挟在する。傾斜は60°。淡桃~灰 白~黄灰色の粘土~シルトの基質中 に、最大径50mm程度の岩片を挟む。		V	Ш	Ħ	D.																		120			-
ŀ					淡黄	Cg	V z V z				下端の傾斜は70°。 67.33~67.56m:傾斜70~80°の割れ	. 	[0]	5	50	1																					-
-					灰白		П g	4	r	3	目が密集する。			\prod	[9	CH'																					-
_ 70	2, 55 2, 25	69, 79 70, 09	++++	# ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	明赤灰		I g	1			69.79~70.09m: ペグマタイト。) b /	99] B'													5/29	80							
				211 	赤灰明褐灰	Bg	IV g		δ		69.79~69.84mには流理構造が見ら れる。 70.09~100.00m: 花崗斑岩。	4	+	25 [35]	+	CW.	-																				
							I g		γ δ		70.09~70.75m: ペグマタイトとの 交代作用が見られる。70.64mまでは 高角度の開口した割れ目が卓越し			40	FOR 1	B.														\dashv			-				1
-							Пе	۱	r		岩片状を呈する。 71.35~77.19m: 比較的強い酸化を			\mathbb{R}	53	CH,																			0.0	清水2	,
-							I g	1			受けているが、コアは柱状を呈す。		1/1	И		96] B'													6/3	88						2	•
-					灰黄	Cg Bg	nr.o		δ				Ĭ		Щ	75] CM'														_							
					'	Cg			δ				20		[:	00] CH'																					
							I g	_							60	B'																					Ī
-						Bg	II g		r	3			Η,	2		CH,																					-
-							II g I g IV g				77.19~78.56m:高角度の割れ目が	-			[90	B'																					-
-					灰白	Cg		cg	δ		卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を 多数挟在する。		E	21]		CL.													6/4	123							4
						Bg					77.65~77.71m:砂状を呈する。 78.84~79.16m:高角度の割れ目が		11,	29	[58]																	4					
						Bg					密集し、一部に幅1mm程度の灰白色 粘土を挟在する。			45		75]																ダブルコアチ					
80				=	にぶい黄	Cg	II g				79.65〜80.09m:高角度の割れ目が 発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を 挟在する。			A		CH,																チュー					1
-					~	Bg Cg	II g		δ		80.65~80.69m:高・低角度の割れ 目が交差する。		+	32	۲	.70]																ユーブ/ダイヤモ	29. 4				1
-					88				γ						[6	3]														\dashv		17			\dashv	\dashv	4
-			=\\=\\.		明赤灰	L)	Ιg		β	2				Ш	1																	ドビット					
					に黄明赤灰	Bg	п		β	2					1	4 B'																					
				花崗斑岩	1		I g		_						Ħ,	98																					1
┢				岩	にぶい黄		П д		r					36	H	CH																		150			-
-						_		bg			86.08~86.97m: 高角度の割れ目を				[:	00]	-												6/5	128							-
-					灰	Cg	y V g	1	δ		主体とし、割れ目が顕著になる。	l k				CL,	-																				4
					灰白				r					5	(d)	\coprod																					
					明	Bg	пе		β				\prod		0	201 CH.																					
					明 褐 灰				_				#	1																							
90					灰褐	Cg		4	γ				+	A 5	[82]															\dashv						清水3	,-
-					暗オリーブ	Bg Cg	-	1	δ		90.79~90.94m:フィルム状~幅0.5 mm程度の灰白色粘土を挟在する高角					75] CM'							_												0.0	3	`-
-							u u	L	γ	3	度の割れ目が発達する。		1		01	O) CH,																					
					明赤褐		:	cg	δ				19		[63	CW.																					
Ī					明赤橙						92.97~95.35m:20~50cm間隔で低 角度の割れ目が発達する。		1	25																							1
-					淡赤橙	Bg	II g	bg	r		94.07~94.25m:割れ目に沿って幅1 ~2mmの灰白色粘土を挟在する。		1	35		O0]							+						6/6	165							1
-					灰オリーブ						∠amiv/八口 世和上で妖仕り る。		\prod	30	C	11							-														-
-						\vdash	III g	cg	δ				H°		[81]	CW.																					
					オリーブ黄	Bg	у П д							4	[00] CH.																					
				-	ブ 黄	F	+	bg	r				1	4	l	00]																					1
					にぶい黄橙	Cg	g III g	cg	1		98.12~99.30m:鉛直に近い割れ目 が発達する。		/is		T	CW.																					-
					黄橙		-	+							[64	1															_	_			\dashv	_	\exists
_																													_		_	_	_	_		_	

柱状図(35.00m~70.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コア採取率	
194941			100.00	種	5.00	級	ア採	大コ	Q	最大コア長	+
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	R Q D	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
							0			+++	
L I	36, 00	36, 34	<u> </u>		灰白	CM'	66	18	27		36.34∼39.83m -
			++++		にぶい 橙	17700710	100	23	39		・割れ目が多く、砂状~礫状を呈する。
			‡+‡+:		浅黄橙	CL'	100	22	40		_
- 40			<u> </u>		灰白	CM'	100	33	60		39. 83~40. 22m, 40. 57~40. 65m
- 1			++++	蓝	淡	CL'	100	6	0	• + +	・コア再採取区間。
- 1			++++	花崗斑岩	黄		100	10	20	- • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	41. 63~46. 90m
- 1			####	岩		0111	100	19	19		・低角度の割れ目が発達する。 ・一部、礫状及び岩片状を呈する。 -
- 1			<u> </u>			CM'	100	18	18	7 1111-1111	-
- 1			++++		橙		100	7	0	1 1 1 1 1 1 1	-
- 1			 			CH'	100	28	81 46		-
ŀŀ	25. 44	46, 90	7.7.7.7	捕	明	CM'	100	45	86	113	46. 90∼48. 54m
ŀl	23. 80	48, 54		獲岩	黄褐	120.00	100	45	59		・捕獲岩である。 ・境界は不明瞭である。
- [+++		褐 にぶい 橙	CL'	100	16	39		48. 54~55. 53m - ・ 花崗斑岩である。
- 50			++++		浅黄橙灰	OU!	100	14	57		48. 54~48. 70m
l			++++	花	白	CH'	100	14	37		・細粒な優黒色鉱物を含む。 48.70~53.69m
- 1			####	崗斑	15	CM'	100	15	45		・低. 高角度の割れ目が発達する。 ・上端部は礫状を呈する。
			‡+‡+:	岩	ぷい	CL'	100	9	0	1-1-1-1-1-1-	51.78~51.87m - ・砂状~礫状を呈する。
l			<u>+</u> +++		橙	100000000	100	17	49		-
	16, 81	55, 53	++++	Gassaras	淡黄	CM'	100	34	80	++3-1-1-+	55 50 50 54
l	15. 83	56, 51		捕獲岩	オリー ブ黄	CL'	100	46	73		55.53~56.51m
			<u>+</u> +++		淡黄	CM'	100	9	0		・上端境界は漸移的、下端境界は明瞭である ⁻ -
[++++		典	CL'	100	10	10		56.51~69.79m ・花崗斑岩である。
60			++++		灰白	CM'	100	17	30		56.88~58.84m ・高角度の割れ目が発達する。 -
			<u>++++</u>			CL'	100	16	16		・一部幅3~12mmで淡黄色礫混じり粘土を呈
			<u> </u>		浅黄	D'	100	12	22		する。
			++++	花崗斑岩	橙	CL'	100	10	10		-
- 1		(1)	 	斑岩	浅黄	CM'	100	7	0	* + + +	-
LΙ			<u> </u>		にぶい橙	CL'	100	19	19		_
- 1			≱ +± +		浅	OL	100	19	30		●65.81~67.33m
- 1			\$\frac{1}{4} + \frac{1}{4} \text{\$\frac{1}{4}}		黄橙	D'	100	0	0	<u>. + </u>	・破砕部である。 ・浅黄橙色の固結礫状部からなる。
-			<u> </u>		淡黄	CU'	100	7	0	*JTTTTTT	・走向・傾斜はN23°E56°Wである。
-			‡+‡+		灰白	CH'	100	50	94		・上端境界の傾斜は60°, 下端境界の傾斜は 10°である。 -
	2, 55	69, 79	+ + + +	ペグマタイト	明赤灰	CW.	100	57	99	ritititi • ritit	<mark>6</mark> 7.33~67.56m - 高角度の割れ目が発達する。
				تناعا							69.79~70.09m ・ペグマタイトである。
											69.79~69.84m ・流理構造が見られる。
1_16				1	-		2.0		t .		川、生再担が元づれる。

1-168(分類c)① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-160(分類b)② 報告書の記載漏れを修正したため。

抽	抽	深	++	щ	4	Į.	i –	宇川	囯	亦	記	П	= 7	ア採	取四	<u></u>		,zı		(標	準貫 <i>7</i>	()	試験	百	孛	姍	##	ZI	_	44		3 / ¥		
標	標	沫	柱	岩	色	. (使		割れ		发	āC			(% 大コ		岩		孔内水	^		(١	1値~	深度) 図	原位置				径	コアチ		.	达:	送水	
尺	高	度	状	種			ア	目						CI	m	紋		水位(m)	N								置試験	内	進		(mm) /	고			圧		
	,	_		区			形	の状					R ¬	Q [%) 区		測定									孔内	試	月	(m)/時	孔壁	フ/ビ	ŔN	\neg	$\overline{}$	\sim	\neg
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	′状	態	化	質	事		_	_ /	•	分		測定月日	値								 水平載荷)	験	日	時	保護		MPa	rpm	MPa :	上/分)	分
					浅黄橙	Dg	Vs VIg Vg		δ	3			7	50	П	100 CL.				0	1	0	20	30)	40 5	0 🖭								+	\exists	
-					浅黄	Cg	IV g	hø	r				[N] 19	H	\parallel	CW.																					-
_					にぶい橙	Rg				2	64.36〜84.96m:最大幅2mmの灰白色 粘土を複数挟在する。	֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	D	9]		╬																					_
				į Σπ	檐	Bg Dg	y III g			3	●65.81~67.33m:破砕帯。		115	[30]	$^{+}$	CL.													5/28	131							
				花崗斑岩	浅黄橙	Eg	VIg	cg	δ	4	角礫状破砕部(Hj)。上部に幅5~10mmの石英脈及び幅5~15mmの赤色粘土	' F	[0]		+	H																					
-				看	122	Dg					を挟在する。傾斜は60°。淡桃~灰 白~黄灰色の粘土~シルトの基質中 に、最大径50mm程度の岩片を挟む。		V	Ш	Ħ	D.																		120			-
ŀ					淡黄	Cg	V z V z				下端の傾斜は70°。 67.33~67.56m:傾斜70~80°の割れ	. 	[0]	5	50	1																					-
-					灰白		II g	4	r	3	目が密集する。			\prod	[9	CH'																					-
_ 70	2, 55 2, 25	69, 79 70, 09	++++	# ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	明赤灰		I g	1			69.79~70.09m: ペグマタイト。) b /	99] B'													5/29	80							
				211 	赤灰明褐灰	Bg	IV g		δ		69.79~69.84mには流理構造が見ら れる。 70.09~100.00m: 花崗斑岩。	4	+	25 [3 5]	$^{\parallel}$	CW.	-																				
							I g		γ δ		70.09~70.75m: ペグマタイトとの 交代作用が見られる。70.64mまでは 高角度の開口した割れ目が卓越し			40	FOR 1	B.														\dashv			-				1
-							Пе	۱	r		岩片状を呈する。 71.35~77.19m: 比較的強い酸化を			\mathbb{R}	53	CH,																			0.0	清水 2	,
-							I g	1			受けているが、コアは柱状を呈す。		1/1	И		96] B'													6/3	88						2	•
-					灰黄	Cg Bg	nr.o		δ				Ĭ		Щ	75] CM'														_							
						Cg			δ				20		[:	00] CH'																					
							I g	_							60	B'																					Ī
-						Bg	II g		r	3			Η,	2		CH,																					-
-							II g I g IV g				77.19~78.56m:高角度の割れ目が	-			[90	B'																					-
-					灰白	Cg		cg	δ		卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を 多数挟在する。		E	21]		CL.													6/4	123							4
						Bg					77.65~77.71m:砂状を呈する。 78.84~79.16m:高角度の割れ目が		11,	29	[58]																	4					
						Bg					密集し、一部に幅1mm程度の灰白色 粘土を挟在する。			45		75]																ダブルコアチ					
80				=	にぶい黄	Cg	II g				79.65〜80.09m:高角度の割れ目が 発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を 挟在する。			A		CH,																チュー					1
-					~	Bg Cg	II g		δ		80.65~80.69m:高・低角度の割れ 目が交差する。		+	32	۲	.70]																ユーブ/ダイヤモ	29. 4				1
-					88				γ						[6	3]														\dashv		17			\dashv	\dashv	4
-			=\\=\\.		明赤灰	L)	Ιg		β	2				Ш	1																	ドビット					
					に黄明赤灰	Bg	п		β	2					1	4 B'																					
				花崗斑岩	1		I g		_						Ħ,	98																					1
┢				岩	にぶい黄		П д		r					36	H	CH																		150			-
-						_		bg			86.08~86.97m: 高角度の割れ目を				[:	00]	-												6/5	128							-
-					灰	Cg	y V g	1	δ		主体とし、割れ目が顕著になる。	l k				CL,	-																				4
					灰白				r					5	(d)	\coprod																					
					明	Bg	пе		β				\prod		0	201 CH.																					
					明 褐 灰				_				#	1																							
90					灰褐	Cg		4	γ				+	A 5	[82]															\dashv						清水3	,-
-					暗オリーブ	Bg Cg	-	1	δ		90.79~90.94m:フィルム状~幅0.5 mm程度の灰白色粘土を挟在する高角					75] CM'							_												0.0	3	`-
-							u u	L	γ	3	度の割れ目が発達する。		1		01	O) CH,																					
					明赤褐		:	cg	δ				19		[63	CW.																					
Ī					明赤橙						92.97~95.35m:20~50cm間隔で低 角度の割れ目が発達する。		1	25																							1
-					淡赤橙	Bg	II g	bg	r		94.07~94.25m:割れ目に沿って幅1 ~2mmの灰白色粘土を挟在する。		1	35		O0]							+						6/6	165							1
-					灰オリーブ						∠amiv/八口 世和上で妖仕り る。		\prod	30	C	11							-														-
-						\vdash	III g	cg	δ				H°		[81]	CW.																					
					オリーブ黄	Bg	у П д							4	[00] CH.																					
				-	ブ 黄	F	+	bg	r				1	4	l	00]																					1
					にぶい黄橙	Cg	g III g	cg	1		98.12~99.30m:鉛直に近い割れ目 が発達する。		/is		T	CW.																					-
					黄橙		-	+							[64	1															_	_			\dashv	_	\exists
_																													_		_	_	_	_		_	

H27-Br-8

柱状図(70.00m~100.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	П	最	R	٦	ア	採	取	111111111111111111111111111111111111111		
尺	高	度	状	種		級	ア採	天コ	Q	最	大	_		(%)	記事	
	[0]	及	1/	区		区	取率	ア長	D		R	Q	D	(cm)	n. #	
m	m	m	図	分	調	分2	(%)	(cm)	(%)	0 20	_	10 6	50 8	[%] 80 100	2	
	2.29	70.09	‡‡‡‡	ペグマタイト	明赤灰 明褐灰	CM' B'	100	35	35	- + +	t	-		++	70.09~100.00m ・花崗斑岩である。	
.		1	++++			CH'	100	40	81	-++	+	1		1	71.35~77.19m	
.		U	++++			B'	100	53	96		+-				・強い酸化を受けている。	
			‡+‡+:		巫	CM'	100	17	75	1	1		-	1		
			<u>+</u> +++		黄	CH'	100	20	100		1				•	
.			++++			B'	100	60	91	- 11	1-					
.			‡+‡+:			CH'	100	29	90				-		•	
.			++++		巫		100	21	21	-+-	+-				77. 19~78. 56m	
			++++		白	CL'	100	29	58	11			-	F F	· 高角度の割れ目が発達する。 77.65~77.71m	187
			<u>++++</u>		15	5541925-E-7	100	45	75		-	•		F	・砂状を呈する。 78.84~79.16m	
- 80			++++		ぶい	CH'	100	31	76	- 1 1	*			1 1	・高角度の割れ目が発達する。	
.			‡+‡+:		黄	-	100	32	68		٠	1-1-	F	F F	79.65~80.09m ·高角度の割れ目が発達する。	-
			<u>+++</u> +		明赤灰		100	100	100	1	1		FF	Ft	・79.92mに幅5mmの石英脈を挟む。 80.65~80.69m	
			++++		にぶい 黄 明赤灰	B'	100	74	100		Ŧ		- •	ET.	・高、低角度の割れ目が斜交する。	Ī
.			‡+‡+	花	にぶ		100	98	98		1					
			**** ****	崗斑岩	が黄	CH'	100	36	100					FT		
			‡ <u>+</u> ‡‡	岩	灰	CL'	100	2	0	× []	1-	1-		ĻΪ	86. 08~86. 97m	10.
.			‡+‡+:		台		100	50	81		7	•	17	Ţ	・高角度の割れ目が発達する。	Ī
			<u> </u>		明褐灰	CH'	100	100	100	-14	1-			147		:07
- 90			++++				100	51	82				Pr	+		
- 90			‡+‡+:		灰褐暗オリ	CM'	100	35	75				1-1-	-+		0.5
			<u> </u>		明	CH'	100	19	70	+	4-			H		
			++++		赤褐	CM'	100	19	63	•	+-		-	FF		
1			‡+‡+:		明赤橙	0111	100	25	100		• -			++	92.97~95.35m ・低角度の割れ目が発達する。	337
			++++		淡赤橙	CH'	100	35	71		+		F	++		•
			++++		灰オリーブ	CM'	100	30	81				-	į.		_
			‡‡‡‡		オリー	CH'	100	49	100		7	1				
			<u> </u>		ー ブ 黄	5.1	100	30	100	- 1 1						88
1			++++		にぶい	CM'	100	18	64		T		1-	 	98. 12~99. 30m	8
.	-27. 66	100.00	<u></u>		が黄橙	O.III	100	43	77		1	•		L L	- 鉛直に近い割れ目が発達する。	•
	21,00	100.00			122											

1-171 (分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-160 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

/		/		١.
(4	/	4)

標	標	深	柱	岩	色	硬	П		」風	変	記	コア採取率	岩	孔内		((標準貫入 N値~深度	Ē)試験	原位	室	掘		-	ァー	合回] 送	送	排
尺	占	度	状	種			ア	h				最大コア長 ⊸⊸ cm	級	水 位 (m)			•			<i>,</i> –	置試験	内	進	速に	- 17	、チュー. - -		水工圧		
	向	及	11	区			形	σ. **				R Q D	区	測定							八孔内水	試	月	_ {	建置	ブーク イビー ビー	N -	\neg	î.	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	1	化	質	事	0 50 100	分	月日	値	0	10	20	30	40 5	平載荷)	験	日	時間	達 呆 養		Pa ·	m MPa	分	分
	-27, 66	1 [花崗斑岩	にぶい黄檀	Cg	Пg	ce	r	3		43 [77]	CM.										6/6	165	ダコュノヤド	ブル アチブ ダイン モビッ	.4 15	0.0	清 水 3	0
																									\neg	_				

H27-Br-8

柱状図(70.00m~100.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	П	最	R	コア採取率
尺	高	度	状	種		級	コア採	大コ	Q	最大コア長記事
/	同	戊	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100
_ \	2.29	70.09		ベグマ タイト	明赤灰	CM' B'	100	35	35	
			++++			CH'	100	40	81	71. 35~77. 19m
			 			B'	100	53	96	・強い酸化を受けている。
			++++		灰	CM'	100	17	75	
			++++		黄	CH'	100	20	100	
			++++			B'	100	60	91	
			<u>++++</u>			CH'	100	29	90	- T - T - T - T - T - T - T - T - T - T
			<u> </u>		巫		100	21	21	77. 19~78. 56m
			++++		白	CL'	100	29	58	・高角度の割れ目が発達する。 77.65~77.71m
- 80			<u>++++</u>		にぶ	520057	100	45	75	・砂状を呈する。 78. 84~79. 16m
_ "			++++		い	CH'	100	31	76	
			Ŧ <u></u> ‡Ŧ‡}		黄		100	32	68	
			<u> </u>		明赤灰にぷい		100	100	100	・79.92mに幅5mmの石英脈を挟む。 80.65~80.69m
.			<u>++++</u>		黄明赤灰	B'	100	74	100	・高、低角度の割れ目が斜交する。
.			++++	花崗	にぶ		100	98	98	
			++++	斑岩	黄	CH'	100	36	100	
.			<u> </u>	岩	灰	CL'	100	2	0	★
.			++++		白		100	50	81	
.			 		明褐灰	CH'	100	100	100	
- 90			<u> </u>		灰褐		100	51	82	
			++++		暗オリ ーブ	CM'	100	35	75	
.			++++		明	CH'	100	19	70	
.			++++		赤褐 明赤橙	CM'	100	19	63	-+ + + +
.			+ ‡+‡+		ツ 赤橙	CH'	100	25	100	92.97~95.35m ・低角度の割れ目が発達する。
_			++++		灰オリ		100	35	71	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +
.			‡+‡+1		ーブオ	CM'	100	30	81	
.			<u>+</u> +++		J L	CH'	100	49	100	- + + +
-			++++		黄に		100	30	100	
.		(1)	<u> </u>		にぶい	CM'	100	18	64	12~99.30m 12~99.30m 鉛直に近い割れ目が発達する。
_	-27, 66	100.00	+†+†-		黄 橙	2	100	43	77	
			11					į.		

^{1-171 (}分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-160 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

B14-1 (2/7)

捶	捶	:50	12-	业	Æ	硬	Τ.,	割	属	変		П	=	コア打	采取	率	业	ZI		(標	準貫入)	試験	画	室	掘	tie.	ZI			(T
標	標	深	柱 	岩	色 	1 使		割れ	風	芝	āС			· 大 :	- (%)	岩	孔内水			(Ν	値~浮	深度) 図	→ 原 位置			進		アチ	給		送水	送 水	
尺	高	度	状	種			ア	目					Д.	х Л - →		cm	級	位 (m)	N								置試験	内	進	速度	/	ューブ	圧	数			
				区			形	の状					F		_ [D %]	区	/ 測定月日									(孔内水	둞	月	cm	孔壁	ビビ	ŔÑ	~	<u> </u>	Ę	Ę
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事				E0	100	分	月日	値	0	11	1	20	30		40 5	(孔内水平載荷)	験	日	l n±	壁保護	ット	MPa ·	rpm _	MPa	分	分
			++++		黄橙	Dg Eg	74 K	I "	δ	3	18.50~18.61m:砂状化し,軟質で		9	Ш		(100)	,			Ĭ		,	20	30							115/						
-			######################################		明褐灰	Dg Cg	تــــالـ	cg bg	r	2	ある。					Н																					-
_ 20			++++			Dg	Vg		δ	3	19.00~22.11m: 傾斜10~30°の割れ目が0.5~3cm間隔で発達し, コア		[0]			(100) 4	٠													90							
20			++++		に ぶい	Cg Dg	Шg Vg		δ	3	は角礫状〜岩片状化している。 20.36〜20.49m: やや硬質で,割れ 目は褐色で密着している。		9		Ш	(100)	CL.																				
}			++++	-	橙明	Cg	IVg	1		2	21.00~21.16m: やや硬質で、割れ目が発達する。	ŀ	5	+		Н							+	+													-
					褐灰	Cg	IV g		r	3	●21.63~22.57m:破砕帯(D-15) 破砕幅は87.9cmである。		1 01		Ш	(100)-	٠													100							
			****		橙	Dg			δ		にぶい橙色の割れ目の密集部からなる。			13 (0130	Н	(100)-													8/ 2	2	ーシング						
}			#####		明褐灰	Cg	IVg		r	2	23.35~23.87m:非常に硬質である		H	26		Н																					-
			++++		灰	Bg Cg	шь				。ハンマーの打撃で澄んだ金属音 を発する。		Ļ	[26]		(100)	,CW.																				
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg	Vg		δ	3	24.10~24.70m:網状に割れ目が発達する。所々に褐色の粘土を挟在する。		-/	(11)		(100) 4	,																				
 			++++			Cg		Cg	r	2	25.32~25.75m: 軟質である。割れ 目が多く,傾斜70 の割れ目が約1cm		8																	95							-
-			++++		にぶい	Og Cg	IV _R		0	3	間隔で発達する。割れ目面は黒色 で、一部砂状化している。 26.00~26.46m:割れ目は少なく、		ίðς			(100)																					
			++++		橙	Bg	II g IVg Vg			_	非常に硬質である。			$\parallel \rangle$	46 [46]	(100)-																					
			 	-		Cg	IVg		r	2				A		(100)																					
-			+ + + +				Vg Ⅲg IVg]			27.47~27.70m: 一部,割れ目に沿って軟質化している。			[17]																							
			++++		浅橙	Dg	Vg		δ	3	28.63~29.22m: 割れ目が多く角礫		8 [0]			(100) -	,													115		Ħ					
Ī			++++		淡赤橙		IVg				状化している。			15		(100)																ダブルコアチ					
- 30			++++	花	橙	Cg	III g IV g V g		r	2	29.22~29.80m:割れ目はやや多い が硬質である。		Щ	[15]		Н																チューゴ				:00	-
			++++	化崗斑岩		Bg	IV g	1	,	-				Z E	37]	(100)-	CL'												8/ 3	-	-	ノダイ	50.0	100	0.1	泥水1	0
			+++++		明褐灰	Cg Dg		—	δ	3	31.57〜32.33m: 割れ目間隔は1〜5 cmで,岩片状コアが主となる。ハンマー打診で金属音を発する。		/			(100)																ューブ/ダイヤモンドビット					
}			##### ################################		^	Cg	V g	Ug	r	2	33,41~34,13m:割れ目が多い。角		Ĭ,		\prod	Н							+									ピット					-
			+ + + + +		IS	Dg Cg	Vg VIg Vg Vg	dg	8 r	3	礫〜岩片状を呈する。軟質である。			[10]		(100)-	,													110							
			++++		にぶい黄	Dg	Viε	dε	δ	3	34.82~35.75m:割れ目沿いにマサ	l L	4 No		Ш	(100)																					
}			++++		黄橙明褐灰	Cg	-				化している。 36.14~36.21m:角礫混じり砂状を 呈する。下端に薄く褐色の粘土を	ΙL		107		Н							+								86 /iii						-
			++++	-		Ug	IV g		r	2	伴う。			/ I	39]	(100)-															泥水						
					浅黄橙	Dg	IV g	cg	δ	3	36.21~37.70m:割れ目は傾斜20~ 30°の低角度が主となる。割れ目沿		Į,		$\parallel \parallel$	(100)	.																				
}			#####			Cg	Vg	-			いは褐色化・細粒化している。		1	19	H	\coprod							+	\dashv						90							
			 		明褐灰	Dg	IVg				●37.86~37.91m:破砕帯(D-29) 破砕幅は4.0cmである。 37.86~37.87m:灰白色の未固結		Ĭ,	[19]	$\parallel \mid$	(100)	,	▽ 37.00 = 8/30																			
					炭				r		の粘土状部からなり、幅は0.2cm である。上端境界の傾斜は30°で ある。		Н	16 [1 6]	H	(100)	.	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2																			
ŀ					妲	Cg	ше	dg cg	1 1		37.87~37.91m: 角礫混じり砂状 を呈し、褐色の固結した礫状部か らなる。下端境界の傾斜は35°で			15	₩	\coprod	CH.	37.00 8.25 27.00 8.23 27.00 27.00					+	+			1		8/ 4								
					褐灰	Bg	Vg	bg			ある。 37.91~42.62m:部分的に割れ目が 多く軟質である。	1 [[15]	$\parallel \mid$	(100)	_	37,00 37,00 8,21 38,00					_														
					明赤灰	Cg	10 8			2	●42.62~42.88m:破砕帯(f-b14-1 -2) 破砕幅は18.4cmである。		(5	51	H	(100)	.																				
- 40								dg			42.62~42.82m: 粘土混じり角礫 状を呈し.灰白色の固結した礫状	I	١,	₩	₩									+						100							
					褐灰	Dg	Vg	cg	δ		部からなる。上端、下端境界の傾斜はともに48°である。岩組織は 消滅する。		i di		Ш	(100)	CL.																				
				-			II g V g		_		42.82~42.88m: 灰白色の砂混じ り粘土状を呈する。未固結の粘 土状部からなり、幅は5.56mであ		ļ	16 [30		(100)	.																				
}			[[+]+]]	灰褐	Cg		Ca.	r		る。下端境界の傾斜は45°である。			17	H									+					8/ 5	105							
						Eg Dg	VIg Vg	dg	8	3 2		\sqcup	Ī	[17]	Ш	(100)4	,												8/ 5	105							
Ц					<u> </u>	<u> </u>	1			Ш			_																		_					_	Ш

H24-B14-1

柱状図(30.00m~60.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最上	R	⊐	ア	採	取		
尺	占	#	状	種		級	採	大コ	Q	最	大	⊐	ア	(%)	記事
/	高	度	1/	区		区	取率	ア長	D	F	,	Q	D	(cm)	<u>ac</u> →
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20	40	_	_	[%] 80 100	
			++++		明		100	26	37	- + +	•	-1-		H + 1	
			<u>++++</u>		褐灰		100	9	0	÷±	-	H	1	11	31.57~34.13m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
			+‡+‡-		100		100	10	10	•			FF	++:	
			‡+‡+1		にぶい 黄橙	CL'	100	4	0	44	1-			1	
			<u>+</u> +++		明褐灰	OL	100	27	39	- + 1	•	- -			
			++++		浅黄橙		100	5	0	•	11	+		LL.	
			 		明褐		100	19	19		+ -				●37.86~37.91m(D-29破砕帯)
			<u>+</u> +++		炭		100	16	16		11			Li.	・破砕部である。 ・左ずれセンスである。
			+‡+‡+		褐灰 明	CH'	100	15	15	1		t			・主に褐色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部:累計幅0.2cm
- 40			 		赤		100	5	5	+	H			⊢+: LL:	・走向・傾斜はN37°E88°NWである。
70			<u> </u>		灰 褐灰		100	7	0	+ +	++			+	・上端境界の傾斜は30°,下端境界の傾斜に35°である。
			++++		灰	CL'	100	16	30	- +			- - - -	F + 3	●42.62~42.88m(f-b14-1-2破砕帯) ・破砕部である。
9		1	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □]	褐	OL	100	17	17		11	t		H	・右ずれ正断層センスである。 ・主に灰白色の固結礫状部からなる。
		L	□ + □	花	褐灰		100	3	0	+++	11			F F	・灰白色の未固結粘土状部: 累計幅5.5cm
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	崗	淡赤橙		100	9	0	++	11	1		片	・走向・傾斜はN22°E81°Wである。 ・上端境界の傾斜は48°,下端境界の傾斜に
4.			++++	斑岩	褐灰	CM'	100	20	32	*		i		r † :	45°である。 ●43.19~43.62m(D-30破砕帯)
s			<u>++++</u>		明褐		100	10	10	1	11			1	・破砕部である。 ・主に褐灰色の固結礫状部からなる。
			<u>+</u> +++		炭		100	9	0	•	17		Ė		・黒褐色の未固結粘土状部: 累計幅0.3cm
			++++		明赤灰	CL'	100	11	11	1	11				・走向・傾斜はN43°E77°SEである。 ・上端境界の傾斜は42°, 下端境界の傾斜に
- 50			‡+‡+1				100	5	0	*++	17	- -			30°である。 48.82~48.85m
			++++		明褐		100	12	12	t	++	-1-		L + :	・変質が著しく、緑灰色に変色する。
			++++		炭		100	21	42	TT		Ė		FF	•
ā.			 			CH'	100	40	68	- + +	1		1	F + 4	
6			<u> </u>		にぶい 橙	OL '	100	40	70	+++	1	1	4		
			++++		灰	CL'	100	21	62	- + +1	11		4	++:	
8			<u> </u>		褐	CH'	100	28	74	1	1			===	
8			‡+‡+1		褐灰		100	36	36	11	1		EE		
			++++		にぶい	CL'	100	25	25			1		+	57.65~58.50m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
8			<u> </u>		校 灰白	VL.	100	9	0	• T	77		FF	F F :	
_			+ <u> </u>		褐灰		100	9	0	• †	11	- -		11	

1-172 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。 (破砕部模様の変更)

B14-1 (3 / 7)

標	標	深	柱	岩	色	硬	٦	割	風変	記		コア採取率 岩	孔		(標準貫入)試験	原位	室	掘	掘		_	Т		。 / 送	<i>/)</i> 送 排	7
				種			ア	れ 目				最大コア長級	内	_	(N値~深度)図	位置試験	内	進	進速	径 (mm)	アチュ		転	水	水水	:
尺	高	度	状	区			形	りの				R Q D ⊠	(m)	N					試		度	/ 孔	7	$\overline{}$	数	\neg	量量	
	l.,		ISVI		= m	###		状態	11. 85	±		_ [%]	測定月日	値				(孔内水平載荷)			(㎝/時)	壁保護		kN r WPa	pm I	MPa	レク分分	,
(m)	(m)	(m)	図	分	原褐 灰褐				δ 2 ε 4	●43.19~43.62m:破砕帯(D-30)		分 0 50 100		-	0 10	0 20 30	40 50	荷	験	日	105	護	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
				-	褐灰	Eg	VIg	dg	δ 3	破解幅は31.4cmである。43.19~43.20m: 黒褐色の粘土混じり角礫状を呈し,未固結の粘土	±	100)- 100)-									105							
						Cg Dg	Vg		r	状部からなり、幅は0.3cmである。 上端境界の傾斜は42である。 43.20~43.62m: 粘土混じり砂状	状	(100) CL.																1
-					※赤橙 褐灰	Cg	IVg		δ 2	である。	0.	20								8/5								┨
			++++ ++++ ++++		灰	Bg Cg	III g IV g		γ	46.02~46.49m: 傾斜40~50°の割れ目が1~2cm間隔で網状に発達する。割れ目沿いに劣化する。		[32] (100) - CM.]
			++++ ++++ ++++			Dg Cg	Vg		$\delta \frac{3}{2}$			(100)																
-			++++ ++++ ++++		明褐灰	Bg	₩g	cg	<u>γ</u> 2			9 (100)																1
-			+			Cg	Vg IVg Vg		3	48.36~49.44m:細粒花崗斑岩である。径1mm以下の微晶で構成されて		[0]									100							$\frac{1}{2}$
			 		明赤		IV g		r	いる。 48.82~48.85m:幅25~40mm,灰白 色の粘土混じり砂礫状に変質して		[11] (100)+CL								8/6								
			 		赤灰	Dg Cg	VIg Vg		δ 2 γ	いる。 50.24~50.60m: 白色の粘土が不規 則に分布する。		5 (100)-4																1
- 50			 			Dg Cg	VIg IVg Ve	ll	δ	র্থা– সে বা প্ ব্য 。		10																┨
			 		明	Cg	VE VIg Vg He Vg	dg cg	2			(100)													0	0.1	泥 水 1	1
					明褐灰	Dg	IVg		3	51.30~52.70m:上端の傾斜50°,下		[42]																
			 			Bg	Πg	bg	r 2	端の傾斜65°,割れ目が少なく非常に硬質である。ハンマー打撃で澄んだ金属音を発する。	E	40 (100)								8/11								1
-					1-	Cg	IVg	cg	3	-		[èš] TCH																-
			+		にぶい橙	Bg	Шg	bg				(100)									85		ダ					J
			+		1.2	Cg	IVg	cg		54.79~56.36m:概ね新鮮で非常に	ı=	[62] CL.											フルコア					
-			 	花崗	灰褐	Bg			β 2	硬質である。		28										86	ナューブ	50.0	100			1
-			 	花崗斑岩		Dg Gg Bg	V g	cg bg	r			7747 CH										/ 泥水	ダイヤー	50.0	100			1
					褐灰				β			36 (100) - [36]								8/13	95		ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット					
			 			Cg	IVg		r	57.65~58.50m:割れ目が多く,角 礫状~岩片化している。一部淡黄		25 (100)											۲					1
-			 + + + + + + + + + + + + +		にぶい	Dg	Vg		δ 3	灰色の粘土を伴う。		1243																1
-			 		橙灰			cg		58.50~58.91m:割れ目が密集する 。赤色を帯びる。	る	[0]																1
			 		首	Cg	IVg		$r \Big _{2}$			9 (100)																
F 60)		 + + + + + + + + + + + +							60.90m:傾斜45,幅15~20mmのマ ンガン脈である。小岩片を取り込	7 <u>A</u>	1 (100)									95							1
-			##### ##### #####	2		Dg Cg Eg	Vg IVg Vlg	dg	χ γ 8 3	む。 ●61.09~61.22m:破砕帯(M) 破砕幅は8.7cmである。 61.09~61.20m:角礫状を呈し.		[21] CL'																-
			##### ######				IVg			褐灰色の固結した礫状部からな る。上端境界の傾斜は48°である	ĵ.	[21]																J
			##### #####			Bg Dg	Шg			。 61.20~61.22m: 褐灰色の割れ目 の密集部からなる。下端境界の 傾斜は70°である。	B D	[39]								8/14								
-			 			Cg	Πg			63.88~63.97m:変質で割れ目沿い	L)	19														0.1	泥 水 2	1
-					褐灰	Dg	IV g			に暗青灰色化している。 63.97~65.87m: 傾斜80~90°の高 角度割れ目と、傾斜10~30°の低角 度割れ目が交差し岩片化している。	ğ	[19]																-
			520 - 55 - 55 - 55 - 55 - 55 - 55 - 55 -				 	cg	γ 2	割れ目が褐色化している。		(100)																
							IVg					13 (100)									100							1
}						Cg	Шg			66.61~67.06m:割れ目は多く細粒		(13) CM																$\frac{1}{1}$
							Vg			化している。傾斜40°前後の割れ目が主となる。		[37] (100)								8/15								
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IV g					∮ 5 (100) CL'								8/15								
			:+:+:				w																				土	1

H24-B14-1

柱状図(30.00m~60.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R	コフ	採	取	5.1.77	
尺	高	度	状	種		級	ア採	大コ	Q	最け	· ¬		(%)	記事
	同	泛	1/	区		区	取率	ア長	D	R	Q		(cm)	ii. →
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20	\neg		[%] 0 100	
_			+++ +		明		100	26	37	- + +•+	-1-		-+-	200 C 199 C 20 C C C C C C C C C C C C C C C C C
			<u> </u>		褐 灰		100	9	0	•				31.57~34.13m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
_			++++				100	10	10	•			++	
_			 		にぶい 黄橙	CL'	100	4	0	4				
_			<u> </u>		明褐灰	OL.	100	27	39	-+ 1				
			+‡+‡-		浅黄橙		100	5	0	•£++	1-1-		1	
			 		明褐		100	19	19					●37.86~37.91m(D-29破砕帯)
_			<u>+</u> +++		炭		100	16	16		-1-1-		LÌ:	・破砕部である。 ・左ずれセンスである。
			++++		褐灰 明	CH'	100	15	15		1			・主に褐色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部:累計幅0.2cm
- 40			 		赤		100	5	5	+++	-1-1-	-1- - - -	- + : L L	・走向・傾斜はN37°E88°NWである。
_ "			<u> </u>		灰 褐灰		100	7	0	+++		++		・上端境界の傾斜は30°, 下端境界の傾斜は 35°である。
-			+‡+‡+		灰	CL'	100	16	30	- +	-i-i-	-i- i- i	+ + :	●42.62~42.88m(f-b14-1-2破砕帯) ・破砕部である。
_		1	59 † + 5 2 50 † + 5 2	1	褐	OL	100	17	17	1				・右ずれ正断層センスである。 ・主に灰白色の固結礫状部からなる。
		~ [□++□	龙	褐灰		100	3	0	+++	1-1-		-+1	・灰白色の未固結粘土状部:累計幅5.5cm
_			‡ <u>+</u> ‡‡	花崗	淡赤橙		100	9	0	+++			1	・走向・傾斜はN22°E81°Wである。 ・上端境界の傾斜は48°,下端境界の傾斜は
_ [斑岩	褐灰	CM'	100	20	32	>-				45°である。 ●43.19~43.62m(D-30破砕帯)
-			<u>++++</u>		明褐		100	10	10	11	11:			・破砕部である。 ・主に褐灰色の固結礫状部からなる。
_			<u>+</u> ‡±‡;		炭		100	9	0	• ; ;	11			・黒褐色の未固結粘土状部: 累計幅0.3cm
_			++++		明赤灰	CL'	100	11	11	11	11		1	・走向・傾斜はN43°E77°SEである。 ・上端境界の傾斜は42°,下端境界の傾斜は
- 50			<u></u>				100	5	0	4-1-1				30°である。 48.82~48.85m
-			++++		明褐		100	12	12	1	1-1-		-+:	・変質が著しく、緑灰色に変色する。
-			++++		炭		100	21	42		L			£
.			‡+‡+1			CH'	100	40	68		1-1-		F + 3	a
-			+		にぶい 橙	01.	100	40	70	+++	*	۲		.
-			++++		灰	CL'	100	21	62		-1-I- -1-I-	4	+ + :	
_			<u></u>		褐	CH'	100	28	74					*
.			<u>+</u> +++		褐灰		100	36	36		1			
.			++++		にぶい	CL'	100	25	25					57.65~58.50m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
.			‡+ <u>‡</u> +;		校 灰白	OL.	100	9	0	• + + +	7-1-	i	F F	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
			+‡+‡-		褐灰		100	9	0	• + +			1	

1-172 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。 (破砕部模様の変更)

ボーリング柱状図

調	査	名	
			・ボーリン

ボーリングNo.											
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	4)-2	調査位置			北緯	
発注機関			調査期間		東 経	
調査業者名		主任技師	現 場代理人	コア鑑定者	ボーリン グ責任者	
孔 口 標 高 + 53.10	m 角 180° 上 90° 方 270°	北 10° 地 使 90° 盤 ^{水平 0°} 用	試 錐 機	ハンマー 落下用具		
総 掘 削 長 100.00	m 度 下 _{0°} 口 向 西 1	第	エンジン	ポンプ		
		コア打	采取率	(IT) (
┃標 │標 │深 │ 柱 │ ⅓	音 色 硬 コ 割 風 変 れ れ	記 (%) 岩 岩 :	内一人,一直置	進 径 ア	送送排
		最大=	級 盤 ・	位	内 進	水 水 水
┃尺	<u> </u>	R	D 区分	(m) N		圧 量 量
		事 つ [%]	別 定 [0 10 20 30 40 50]	Cm 壁 kN rpm	MPa 分 分
(m) (m) (m) 図 3		-0.06m:植物根を多く含む腐植土	カ 対 50 100 1	0 10 20 30 40 50		
52.31 1.12 = 3	灰	-0.80m: 灰黄褐色を呈する砂質シ からなる。 -1.60m: 砂質シルト〜シルト質細			108	
51.97 1.60	短網 帯 粒砂の礫	からなる。径2cm程度の花崗岩類 <u>を含む。</u> -3.13m:強く風化し、土壌化して	1,60 1,60		3/	0.0 泥 5 -
- # * * * * * * * *	A いる 4 1.60-	。所々、マンガンが濃集する。 - 16.58m: コアは風化、変質し、			2.15 115	5 -
- # # # # # # # # # # # #		- 4.42m: 径3~11cm程度のアプラ	D,		ケーシング	-
- # # # # # # # #		を礫状に残す風化残留土。			96	4
	7 橙 4.42-	-12.11m:アプライト主体。 -5mm程度の石英, 長石の斑晶を				0.0 混 2_
	Dg Vg cg γ 2 L.	8程度含む。全体に風化、変質 ↓	5.30		3/	
# # # # # # # #	、 掲 Eg VIg dg ? 3 盤64	。幅3cm程度。角礫状を呈す 節理に沿って不規則な分布を示	CL'		6.00	
-	δ 6.00 c	-6.12m:破砕帯(Hc)。上盤不明, 11°。幅12cm程度。黄褐色,淡				
	が 黄 橙 VIg dg 6.90- 盤67 部は	色シルトからなる。 -8.90m:破砕帯(Hc, Hj, Hb)。上 °, 下盤不明。幅78cm程度。上	D.			0.1 泥 5 -
	<u>橙</u> 部は 性 単数 まが	原岩組織が認められ、灰白色粘 0 個目状に分布する。下部は礫混 質白色粘土~砂からなる。	0.00		108	
46,65 9,12 + 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	Dg IVg 2 9.12-	-9.25m: 花崗斑岩。 -10mm程度の石英, 長石の斑晶	(D)		30. 0 100	
45.72 10.43 + + + + 花紋	既着 に 3 との 9 73 c	%程度含む。上位のアプライト 境界は70°程度である。 -9.84m:変質帯。上盤50°,下	10.00	3/12	95	
- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	了 ぶ 881 の Mass 8 Mas	。幅7cm程度。上盤と下盤の 方向が異なる。	₩₩ ,	11.20		4
	<u> 154</u> 15%₹	-10.43m:花崗斑岩。 -10mm程度の石英, 長石の斑晶を 程度含む。アプライトとの境界は		=	3/11 ジグ ル コア	
++++ ++++ ++++		的である。 ~16.58m:花崗斑岩。 ~10mm程度の石英, 長石, 径2mm			チ	
F	Eg VIg dg 以下 12.83	の黒雲母の斑晶を15%程度含む ~15.28m:変質帯。上盤62°,	D,		リーーブ	0.0 泥 0
	ら │	9°。幅140cm程度。灰白色粘土 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11			ダイカ	
		大きく異なる。			135 ツ	
		(9)				
41.38 16.58		10.00	16, 58, 16, 58			
	7 f	~19.00m:アプライト。 -5mm程度の石英, 長石の斑晶を %程度含む。		3/13		
	/ NAP HIK 1.0 FO	~31.53m:コアはやや硬質で、ハ 一でにぶい金属音を発すること		18.00 -	3/	0.1
39.66 19.00 * * * * * *	Cg IVg bg r 3 18.72	~18.95m:幅0.5~10mm程度の石	39) CM'		3/12 18, 60	
	英脈	を多数挟む。傾斜43~58°程度 ~31.12m:花崗斑岩主体。 -15mm程度の石英、長石、径5mm	[b3]			
20 38.85 20.15 + : + : + : + : + : + : + : + : + : +	イト Rg T 含む	の黒雲母の斑晶を15~20%程度 。所々、斑晶の含有量が5%未満 17	20,04			
	5 Cg IVg 新移	プライトを挟む。両者の境界は 的である。 ~20.00m:幅1~10mm程度の石英	21.05	2/0	76	
37,61 21,90 + + + + + + + + +	Dg Vg Cg 4 脈を 20.70 \$456	多数挟む。傾斜31~66°程度。 m:幅5mm程度の石英脈を挟む。傾 [*] 程度。		21.90		湿
37 19 22 50 + " + " + " + "	21.05	~21.65m:変質帯。上盤14°, 31°。幅58cm程度。微細な節理 18]			106 40. 0 120) 0.1 水 0
36.62 23.30 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	型 1 21.88 21.88 斜62	達し、灰白色粘土を伴う。 n:幅3mm程度の石英脈を挟む。傾 ・程度。				
36.24 23.85 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	## し し し し む。	m:幅5~10mm程度の石英脈を挟 傾斜85°程度。下記のシームで れる。		24.80		
35, 32 25, 15 # # # #	23.30 程度	m:シーム。傾斜68°。幅0.2cm	 			
+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	及() 23.92 3.92 斜45	他の節理を切っている。 m:幅5mm程度の石英脈を挟む。傾 。程度。	25.68 Gls.00 26.00			

柱状図(0.00m~30.00m)

		Н	20-(4)-2	2			孔口	1 標	高	T. P.	53.	Om 掘 削 長 100.00m
標尺	標高	深度	柱状	岩種区	色	岩級区	コア採取	最大コア	R Q		ア採	取率 (%) ア長	記事
m	m	m	図	分	調	分	率 (%)	長 (cm)	D (%)	0 20	Q 40		
-	52, 31 51, 97	1, 12 1, 60		砂質シ ルト シルト 質砂	灰黄褐 明赤褐 赤褐	4	100	0	0 •	-++	##		0.00~0.06m ・植物根を多く含む。 0.06~1.12m
-			**** ****	3	橙に	D'	100 100	0	0 -	++			・砂質シルトである。 ・灰黄褐色を呈する。 .12∼1.60m
-			**** ****	アプ	ぶい橙	D	100	0	0	- +			・シルト質砂である。・径2cm程度の花崗岩類の礫を含む。・60~12.11m -
-		② r	****	ライト	明褐灰	CL'	100	11	11	1			・アプライトである。 1.60~16.68m - ・強風化部である。
-		4			にぶい黄橙	D'	100	0	0	+ + +	111		5.23~5.30m ・変質している。 ・角礫状を呈する。
- 10	46, 65 46, 59 46, 21	9, 1 9, 2 9, 74	∅+∵+ ⊠	花崗斑	橙に	CL'	100	0 28	57	- + -	• +		●6.00~6.12m(f-④-2-1破砕帯) ・破砕部である。
-	45, 72	10. 43	**** ****	アフラ 花崗斑 アフラ	にぶい黄		100 100	0	0 .				・淡赤褐色の固結粘土状部からなる。・走向・傾斜はN86°W42°Sである。・幅100mmの粘土を挟在する。
-	44. 54	12. 11	++++		橙	D'	100	0	0		##		 下端境界の傾斜は11°である。 ●6.90~8.90m(D-20破砕帯) ・破砕部である。
ŧ l		② [++++ ++++	花崗斑	灰白	Ü	100	0	0				・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び固結粘 上状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部:累計幅2.0cm
-	41. 38	16, 58	<u> </u>	岩			100	0 13	25	- X- I			・上端境界の傾斜は67°である。 9.12~9.25m - ・花崗斑岩である。
ļ			**** ****	アプライ	浅黄	CL,	100	20	50				9.73~9.84m ・変質している。 9.74~10.43m
- 20	39, 66 38, 85	19.00	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花崗斑岩		CM'	100	14 17	39 53				・花崗斑岩である。 ・アプライトとの境界は漸移的である。 2、11~16.58m -
-	37. 61	21.90	++++	アフラ イト 花崗斑 岩	にぶい黄橙	CH'	100	17 19	44 19	İ			・花崗斑岩である。 ●14.63~14.66m(f-④-1-2破砕帯) ・破砕部である。
-	37. 19 36. 62	22. 50	# # # + ; + ; +	アフラ イト 花崗斑			100	16	16	£			- 灰白色の固結礫状部からなる。 - 幅20mmの粘土を挟在する。 - 6.58~19.00m
E	36, 24 35, 85 35, 32	23. 85 24. 39 25. 15	* * * · ·	アプラ	_	CM'	100	13 11	33 11	Ė			・アプライトである。 8.72~18.95m
F	34, 42 34, 11	26. 42 26. 85	++++	アファイト花崗斑	火 黄	CL'	100	15 16	40 26	1			・幅0.5~10mmの石英脈を多数挟む。 9.00~31.12m ・花崗斑岩主体である。
-	33, 56	27. 63	+++	アファイト花崗斑マラミ		CM'	100	23	67	- L 4			・アプライトとの境界は漸移的である。 19.92~20.00m・幅1~10mm程度の石英脈を多数挟む。
-	32.30	20.40	# +	イト 花崗斑 岩		O.III	100	13	55 13	F	111		20. 15~20. 42m, 21. 90~22. 50m, 23. 30~23. 85m, 24. 39~25. 15m, 26. 42~26. 85m, 27. 63~28. 40m,
1-175 記事	查資 , 1- 事欄	料作 176 の記	成の 分類 載変	際に d) ②		を見i 変更。				模様	の変	更)	30.10~31.12m ・アプライトである。 20.70m ・幅5mmの石英脈を挟む。 21.05~21.65m ・変質している。 ・微細な割れ目が発達し、灰白色粘土を伴う
1 - 178	見を(分	統一 類b)	した: 4			した	しい						。 21. 88m ・幅3mmの石英脈を挟む。 23. 10m
TXT	コ音	∨ノ fi[· 年以 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	10E	 	. 0 /2 /	رين_ر 	• 					・幅5~10mmの石英脈を挟む。 23.92m ・幅5mm程度の石英脈を挟む。
													25.51~25.56m ・変質している。 ・軟質化している。
													26.00~26.23m ・変質している。 ・褐色を呈し、軟質化している。
													29.72~29.81m ・変質している。 ・土砂状を呈する。

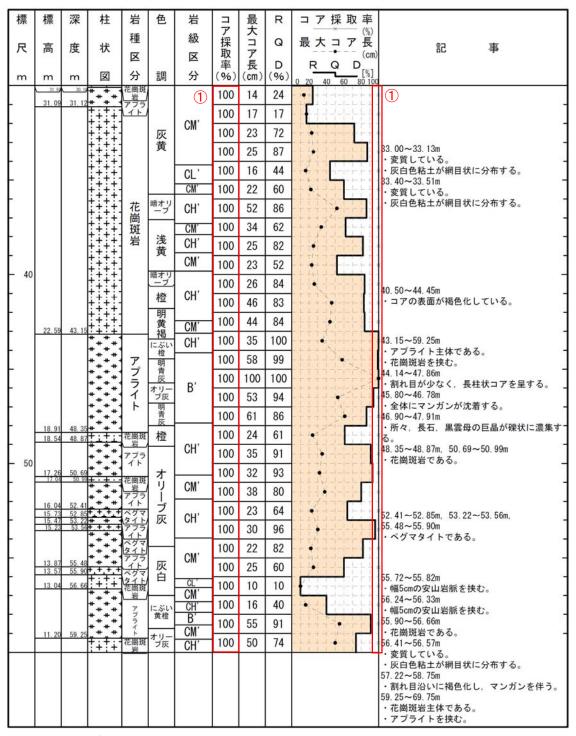
標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	記		ア 拐 · ((率	岩	岩	孔内		(標			試影) 1	. 験	原位置試	室	掘	掘	孔	コア	給		2 / 送	送	
尺	高	度	状	種			ア	れ 目					大 =		長	級 :	盤	C水位 E/		(Ν	値・	~ 深	度			旦試験 (孔	内	進	進速度	(mm)	アチュー		転数		水量	水量
		反	11	区			π⊅	の 状				R	. [⁹) %]	D	区 :	分	測	N)									九内水平載荷)	試	月		孔壁	ノビ	€N	pm N	\neg		
(m)	(m)		図 + · + · +	分	調		状	態	化		事 25.51~25.56m:変質帯。上盤30°.	9	5	0	100		類 28.00	定月日	値	0		10	20)	30	40	5	載荷 (験	日	時	保護	ット	MPa			分	分
-	34.4	2 26, 42 1 26, 85	++++ ++++ ++++ ++++	アプライト		Dg	IVg				下盤40°。幅3.8cm程度。軟質化している。 26.00~26.23m:変質帯。上盤不明.	1	[26]			CL.'40									1					3/	106							-
-		6 27, 63	* * * * * *	花崗斑岩アプライト			Шg	bg			下盤40°。幅18㎝程度。軟質化している。褐色を呈する。		23		[67]										1					/13 27.55	5							-
-	32.9	8 28.46	** * * + : + : + + : + : + + : + : + + : + : +	花崗斑岩		Cg						1	28	[55]	1										+													-
		2 30.10	# # #				IVg	cg			29.72~29.81m:変質帯。上盤20°, 下盤31°。幅7.7cm程度。土砂状を	113	3)			CM.									+													-
-	31.0	9 31.12	* *	アプライト	灰黄			bg		3	呈する。 31.12~43.15m:花崗斑岩。		7		+		CM]								+													-
-							Шg IVg				径2~20mm程度の石英, 長石, 径5mm 以下の黒雲母の斑晶を15~30%程度 含む。上位の花崗斑岩に比べて斑晶 が目立つ。	Ţ,	(17)							-					+						101							-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	Шg	bg cg			31.53~35.75m:コアはやや軟質~やや 硬質で、ハンマーで濁音~にぷい金 属音を発する。		25		[72]										+													-
-			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +			Cg	Шg	bg cg			33.00~33.13m:変質帯。上盤64°、 下盤60°。幅6.5cm程度。灰白色粘 土が網目状に分布する。 33.40~33.51m:変質帯。上盤69°、	/	6	441	1	34.20				-					+													-
-			+ +				IV g				下盤11°。幅3.9cm程度。灰白色粘 土が網目状に分布する。上盤と下盤 の傾斜角が大きく異なる。		L	[8	0]	CL' 35.20 CM'	95 75			-					+					3 14 35.80								+
-			###### ##### ##### ######	花	暗オリーブ	Bg	ΙΙg	bg			35.75~66.12m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。 35.90m:第年77			52 [8	6)	CH'	50, 10			-		+			t					35.80								1
-			+	花崗斑岩	ヺ	Cg	IVg	cg			状に濃集する。		1	[6	52]	37. 30 CM'		3/24 38,10															,	40.0	120			-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		浅黄	Bg	1.5	bg cg					A5	182		CH' 38.85		\[\] = 3/25													0.0							1
ļ			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		18	Cg	IVg IIIg IVg	-0					23	[52]	1	CM'	CH]	39,80													96							1
40			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		## 19—2	$\frac{1}{1}$		bg			40.50~44.45m:コアの表面が褐色化している。		26	[88	4)		UIIJ	-																				
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙	Bg	Πg			2				16 [83	8]	CH.														3/17			ダブ					
	22.5	9 43, 15	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明黄褐	Cg	-	cg					∦	4 [84	()	42.44 CM' 43.10														42.05			ルコアチ					
-			**** **** ****		にぶい橙				γ		43.15~59.25m:アプライト主体。 径1~5mm程度の石英, 長石の斑晶を 1~5%程度含む。所々, 斑晶の含有 量が15~20%程度の花崗斑岩を挟む		35		[100]	CH'	44, 13								1							76	チューブ			0.1	泥水 5	0 -
-			**** *** ***	ヹ	明青						44.14~47.86m:節理が少なく長柱状 コアからなる。			58	1991										+								ダイ				3	-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライ・	灰オリー		Ιg				45.80~46.78m:全体にマンガンが沈 着する。				100	B'	[B]								+						94		ヤビット					-
-			* * * * * * * * * * * * * * *	۲	明青			bg			46.90~47.91m:所々、長石、黒雲母の 巨晶が礫状に濃集する。	H		6	[94]					-					+													-
-	18.9	1 48.35	"		灰	P.	Vg IIIg II g		ŀ	3			A	₽ [3	6)	47, 86	47,86			-					+													-
-	18.5	4 48.87	# . # . # + : + ; + # . # . # # . # . # # . # . #	アプ	橙	- I bg	Πg						35	[6	011	CH'				-					+					3/								1
<u></u>		6 50, 69	**** **** ****	ライ			Πg			2			32		[98]	50, 62				-										/18 49.85	5							+
-	17.0	4 50.99	*	プ	オリー			cg					38	[80]	1	CM.	CH]																					-
-	16.0 15.7	4 52.41 3 52.85	* * * * * * * * * * * * * *	ラ イ ト ペグマタイ ト	ブ灰		Шg			3	52. 41~52. 85m: ペグマタイト。	+	#		64]	51, 87				-																		-
	15 4	7 53 22	*	アプライト				bg		3	径2~30mm程度の石英, 長石の斑晶からなる。下盤の傾斜20°程度。 53.22~53.56m:ペグマタイト。 径2~30mm程度の石英, 長石の斑晶か	Ш	30		[96]	CH'	53 05																					-
-			*	プライ		Cg Bg	Πg	Ca		2	らなる。下盤の傾斜30°程度。		22	[82	F		33.30														101		,	60.0	150			1
		7 55.48 7 55.90		ト ^77791	灰白		Йg	cg bg	- 1	-	55.48~55.90m:ペグマタイト。 径2~20mm程度の石英, 長石の斑晶か		25	[6]	0]	CM'	CM)														121							
	13.0	4 56.66	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花崗斑岩		Dg Cg	IVg.	cg bg			らなる。 55.72~55.82m:幅5cm程度の安山岩脈 を挟む。傾斜62°程度。	The state of the s	01			CL' 56.57 CM'																						
			* * * * * * * * * * * * * * *	アプラ	にぶい#		Шg	cg bg			56. 24~56. 33m:幅5cm程度の安山岩脈 を挟む。傾斜54°程度。 56. 41~56. 57m:変質帯。上盤73°、 下盤27°。幅4. 7cm程度。灰白色粘		6 1	0]	+	57, 33 CH' 57, 89	57.33																					
-	11 2	59 25	**** **** ****	イト	黄橙オリ	-	Ιg				土が網目状に分布する。上盤と下盤 の傾斜方向が異なる。 57.22~58.75m:節理に沿って褐色化 し、節理に沿ってマンガンを伴う。		\parallel	ds.		B' 58.55									\perp													
60	10.6	2 60 08	****	花崗斑岩	ブ灰	Bg	I g	cg		2	59.25~69.75m:花崗斑岩主体。 径1~8mm程度の石英、長石、径3mm以 下の黒雲母の斑晶を5~7%程度含む。 所々、斑晶の含有量が5%未満のアブ		#	50	7.4	60. 20	CH)	3/26 60,40							1					3 19 60.10								\downarrow
-	10.0	5 60.88	T+T+T	花崗斑岩	褐 灰		Ιg	bg			がべ、		#		69 [99]	B'		Ī				_			+						107							-
L		\vdash	# # # + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	オリーブル	E Ca	II g	cz						[79]	#	CH' 61, 85 63, 00	62,00											L										\dashv

柱状図(0.00m~30.00m)

		Н	20-(4)-2	2	_		孔口	」標	高	T. P	P.	53. 1	Om 掘 削 長 100.00m
標尺	標高	深度	柱状	岩種区分	色	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長の	R Q D	最	大:	*	取 率 (%) ア 長 (cm) D	記事
	52, 31 51, 97	1. 12 1. 60	図 664 7// + *	カ 砂質シ ルト シルト 質砂	灰黄褐 明赤褐 赤褐	7	100	(cm) 0	0	0 20	0 40	60		0.00~0.06m ・植物根を多く含む。 - 0.06~1.12m
-			*** *** *** ***	アプ	橙にぷい	D'	100 100 100	0 0	0					・砂質シルトである。 ・灰黄褐色を呈する。 1.12~1.60m ・シルト質砂である。 ・径2cm程度の花崗岩類の礫を含む。
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ノライト	橙明褐灰	CL'	100	11	11		111			1.60~12.11m - ・アプライトである。 1.60~16.68m - ・強風化部である。 5.23~5.30m
-	46, 65 46, 59 46, 21	9. 12 9. 25 9. 74		花崗斑岩	にぶい 黄橙 橙	D'	100 100 100	0 0 28	0 -	11-1-1	11-			・変質している。 ・角礫状を呈する。 ●6.00~6.12m(f-④-2-1破砕帯) ・破砕部である。
- 10 -	45, 72	10. 43	* * * * * * * * * * * * *	アプラ イト 花崗斑 アフラ イト	にぷい黄橙		100	0	0 •		111			 淡赤褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN86°W42°Sである。 ・幅100mの粘土を挟在する。 ・下端場界の傾斜は11°である。 ・下端場のの2020は計場
			+ + + + + + + + + + + + + • + + +	花崗斑	灰白	D'	100 100 100	0 0	0 •					●6.90~8.90m(0-20破砕帯) ・破砕部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び固結結 ・土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部:累計幅2.0cm
-	41, 38	16, 58	*	岩アプライ	浅	CL'	100 100 100	0 13 20	0 · 25 50	1				・上端境界の傾斜は67°である。 9.12~9.25m - ・花崗斑岩である。 9.73~9.84m - ・変質している。
- - - 20	39, 66 38, 85	19. 00 20. 15	* * * * * * * * * * * * * * * * * *	上 花崗斑 岩	黄	CM'	100	14	39 53	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	1	ŀ		9.74~10.43m ・花崗斑岩である。 ・アブライトとの境界は漸移的である。 12.11~16.58m –
-	37. 61 37. 19	21. 90	# # # # # # # # #	アブラ イト 花崗岩 アフラ	黄橙	CH'	100 100 100	17 19 16	19 16	İ	11			・ 花崗斑岩である。 ■14.63~14.66m(f-④-1-2破砕帯) ・ 破砕部である。 ・ 灰白色の固結碟状部からなる。 ・ 幅20mmの粘土を挟在する。
-	36, 62 36, 24 35, 85 35, 32	23, 30 23, 85 24, 39 25, 15	### ###	花崗斑アラト部岩ファ	灰	CM'	100 100 100	13 11 15	33 11 40	Ė				16.58~19.00m ・アプライトである。 - 18.72~18.95m ・幅0.5~10mmの石英脈を多数挟む。
-	34, 42 34, 11 33, 56	26, 42 26, 85 27, 63	++++	イト 花崗斑 アブラ 花崗斑	黄	CL'	100	16 23	26 67	117				19.00~31.12m ・ 花崗斑岩主体である。 ・ アブライトとの境界は漸移的である。 - アブライトとの境界は漸移的である。 - 19.92~20.00m ・ 幅1~10mm程度の石英脈を多数挟む。
	32. 98	28, 46	# # # # # # # # # #	アプライト花崗斑岩		CM'	100 100	23 13	55 13	F	11-			20. 15~20. 42m, 21. 90~22. 50m, 23. 30~23. 85m, 24. 39~25. 15m, 26. 42~26. 85m, 27. 63~28. 40m, 30. 10~31. 12m
1-	178 報告	(分類 書 <i>0</i>	類b) ① D記載) 試漏∤ 	ιを側 	多正し 	たた 	:め。 						・アプライトである。 20.70m ・幅5mmの石英脈を挟む。 21.05~21.65m ・変質している。
														・微細な割れ目が発達し、灰白色粘土を伴う。 21.88m ・幅3mmの石英脈を挟む。 23.10m
														・幅5~10mmの石英脈を挟む。 23.92m ・幅5mm程度の石英脈を挟む。 25.51~25.56m ・変質している。
														・軟質化している。26.00~26.23m・変質している。・褐色を呈し、軟質化している。29.72~29.81m
										į.				

標	標	深	柱	岩	色	硬		割。	風 3	艺 記		コア採取率	岩岩	孔		(標準貫	入試験) 1	式 験	原位	室	掘	掘	孔	_	給		2 / 美 道	4) <u>纟</u> 排
				種			, _ ;	ħ				最大コア長	級盤	内	_	(N值	[~深月	ŧ		置				径 (mm)	アチュ			.	水
尺	高	度	状	区				目 の				R Q D	区分	m) 測	N					Æ	試		度	孔	7	_	数区	~ / ~	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟		状態	化管	事		[%]	一 / ₂ 分 類	定月日	値					内水平載荷)	験			壁保護	낁	MPa	pm MI	5	分
	34.4	2 26. 42		花崗斑岩	B-7		IV g			25.51~25.56m:変質帯。上盤30°, 下盤40°。幅3.8cm程度。軟質化し	, L	0 50 100	26.0 CL 40			0 10	20 30	40	50) C	-374					_			
-	34.1	1 26.85 6 27.63	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩						ている。 26.00~26.23m:変質帯。上盤不明, 下盤40°。幅18cm程度。軟質化し いる。褐色を呈する。	. 7	128 1 cm										3 13 27.55	106						-
-		8 28.46	#####	プライト			Шg	bg		L'O. MEETEY O.		23										27.55							-
-			++++	花崗 斑		Cg						V ₁₃																	-
30	31.8	2 30, 10	+ + + + + + + + + + + +	岩			IV g	cg		29.72~29.81m:変質帯。上盤20°, 下盤31°。幅7.7cm程度。土砂状を 呈する。	, を	[013]	см'																-
-	31.0	9 31.12	**** ****	アプライト	灰黄			bg	;	31.12~43.15m:花崗斑岩。		7	[CM]																-
-							Шg IVg			径2~20mm程度の石英, 長石, 径5 以下の黒雲母の斑晶を15~30%程 含む。上位の花崗斑岩に比べて斑	度	(17)											101						-
-			+++++			Cg	III g	bg cg		が目立つ。 31.53~35.75m:コアはやや軟質~4 硬質で、ハンマーで濁音~にぶい 属音を発する。		1/2																	-
-							IV g III g	-		33.00~33.13m:変質帯。上盤64°, 下盤60°。幅6.5cm程度。灰白色料 土が網目状に分布する。	, 粘	\$ ¹⁵ [87]	34, 20																-
-							14.8	cg		33.40~33.51m:変質帯。上盤69°, 下盤11°。幅3.9cm程度。灰白色料 土が網目状に分布する。上盤と下 の傾斜角が大きく異なる。			CL' 35, 20																
-					暗オ	Cg	II g	bg		□ 35.75~66.12m:コアは硬質で,ハ: □ で金属音を発することが多い。			CM' 35, 75, 35, 3	4								3/14 35.80							-
-				花崗斑岩	オリーブ		Пg			35.90m: 節理に沿ってマンガンが斑 状に濃集する。		52 [86]	CH'	3/24											4	4 0. 0 1	120		
-			+ + + + + + + + + + + + + + +	岩			IV g	bg				44 [62]	CM' 37. 90	38,1	0														
					浅黄	Bg	- 5	cg				25 [82]	CH' 38, 85	3/25									96						
40					- 時		∭g IVg						CM' 39.82 [CH]	39.8 -	0														
			+ + + + + + + + + + + + + + + + +		<u></u>			bg		40.50~44.45m:コアの表面が褐色1 ている。	化し																		
			++++		橙	Bg	II g		:	2		46 [88]	CH'									3 /17			ダブル				
	00.5	0 40 45	++++		明黄褐	Cg		cg				 	42. 44 CM'									42.05			フルコアチ				
	22.5	9 43, 15	* * * * * * * * * * * * * * *		にぶい橙					43.15~59.25m:アプライト主体。 径1~5mm程度の石英, 長石の斑晶 1~5%程度含む。所々, 斑晶の含3	を有	35 [100]	43. 10 CH'												고			j	
			***** *****		ル橙 明				r	量が15~20%程度の花崗斑岩を挟む 44.14~47.86m: 節理が少なく長柱料 コアからなる。	むし	58 [99]	44, 13 44, 1	3										76	ーブ/ダ		0	.1 7	0 -
			*	アプラ	青灰							100													イヤビ				
-			* * * * * * * * * * * * * * *	イト	オリーブ灰		Ιg	ha		45.80~46.78m:全体にマンガンが 着する。	ж 	[94]	B, [B]										94		ット				
			* * * * * * * * * * * * * * *		明青灰			bg		46.90~47.91m:所々、長石、黒雲丘 巨晶が礫状に濃集する。	母の	→61 1861	47, 86, 47, 8																
-	18.9	1 48.35 4 48.87	**** *:+:+:	花崗斑岩		Bg	IVg IIIg II g		3	3		[61]																	
	10.0	10.07	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプラ								35 [91]	CH'									3 18							-
<u> </u>		6 50.69	* * * * * * * * * * * * *	イ			II g		:	2		(32 (98)	50, 62									49.85							
-	17.0	4 50.99	*	プ	オリ			cg				38 800	CM' [CH]																-
-	16.0	4 52.41	* * * * * * * * * * * * *	ラ イト	ーブ灰		Шg			3 52.41~52.85m:ペグマタイト。		23 EA	51, 87																-
-	15.7 15.4 15.2	3 52 85 7 53 22 3 53 56	****** *****	ト アプライト ペグマタイ ト				bg	:	3 52.41~52.85m:ベクマタイト。 径2~30mm程度の石英, 長石の斑』 らなる。下盤の傾斜20°程度。 53.22~53.56m:ベグマタイト。	晶か	V ₃₀	CH.																-
-			**** ****	アプラ		4	II g			径2~30mm程度の石英, 長石の斑晶 らなる。下盤の傾斜30°程度。 2	晶か	(96)	53.95 53.6	S															-
-	13.8	7 55. 48	* * * * * * * * * * * *	1	in:	Gg Cg	ν,	cg				25	см.										121		e	60. O	150		
-	13.5	7 55.90	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ベグマタイ ト 花 前 斑 岩	灰白	Cg	! ⊢	bg cg	:	3 55.48~55.90m:ペグマタイト。		/	[CM] 56, 10 CL' 56, 57																
-	13.0	4 56.66	* * * * * * * * * *	ア	I.	Cg		bg cg		55.72~55.82m:幅5cm程度の安山岩 を挟む。傾斜62°程度。 56.24~56.33m:幅5cm程度の安山岩 を挟む。傾斜54°程度。		1103	56.57 CM' 57.33 57.3	3						$ \ $									
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	· プライ	ぶい黄		Ⅲg Ig	bg		56.41~56.57m:変質帯。上盤73°, 下盤27°。幅4.7cm程度。灰白色料 土が網目状に分布する。上盤と下	粘		CH' 57.89 B'																
-	11.2	0 59.25	* * * * * * * * * *	7	<u>橙</u> オリ		Πg	00		の傾斜方向が異なる。 57.22~58.75m:節理に沿って褐色1 し、節理に沿ってマンガンを伴う	化	\$5 [91]	58. 55 CM' 59. 30																
_ 60	10.6	2 60 09	‡ <u>‡ ‡ ‡ ‡</u> ‡	花崗斑岩	ー ブ灰	Bg	I g	cg	1	 59.25~69.75m:花崗斑岩主体。 径1~8mm程度の石英,長石,径3m 下の黒雲母の斑晶を5~7%程度含む 	mm以 む。	[74]	60-50 CH. [CH]	60,4	е							3 19 60,10							
_	10.3	6 60.45 5 60.88	### #####	アフライト 花崗斑岩 アプライト	褐 灰		Ig	bg		所々、斑晶の含有量が5%未満のア ライトを挟む。		169	B' 61. 19	¥									107						
			# # # + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	オリーブ級	Car	II g	Ca				179	CH' 61,85 63,00 62,0																$\perp \mid$
l	1	1				1	1			I			- 1	ſ	1							1							1 1

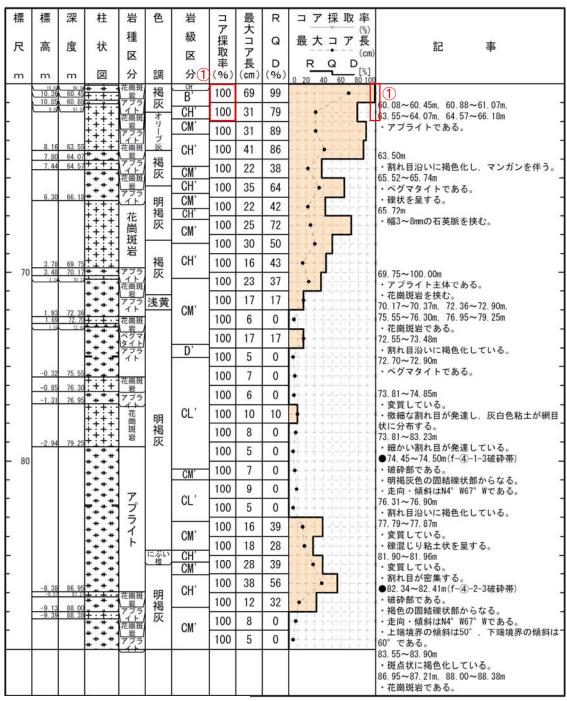
柱状図(30.00m~60.00m)



1-178 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	記		ア 拐 · ((率	岩	岩	孔内		(標			試影) 1	. 験	原位置試	室	掘	掘	孔	コア	給		2 / 送	送	
尺	高	度	状	種			ア	れ 目					大 =		長	級 :	盤	C水位 E/		(Ν	値・	~ 深	度			旦試験 (孔	内	進	進速度	(mm)	アチュー		転数		水量	水量
		反	11	区			π⊅	の 状				R	. [⁹) %]	D	区 :	分	測	N)									九内水平載荷)	試	月		孔壁	ノビ	€N	pm N	\neg		
(m)	(m)		図 + · + · +	分	調		状	態	化		事 25.51~25.56m:変質帯。上盤30°.	9	5	0	100		類 28.00	定月日	値	0		10	20)	30	40	5	載荷 (験	日	時	保護	ット	MPa			分	分
-	34.4	2 26, 42 1 26, 85	++++ ++++ ++++ ++++	アプライト		Dg	IVg				下盤40°。幅3.8cm程度。軟質化している。 26.00~26.23m:変質帯。上盤不明.	1	[26]			CL.									1					3/	106							-
-		6 27, 63	* * * * * *	花崗斑岩アプライト			Шg	bg			下盤40°。幅18㎝程度。軟質化している。褐色を呈する。		23		[67]										1					/13 27.55	5							-
-	32.9	8 28.46	** * * + : + : + + : + : + + : + : + + : + : +	花崗斑岩		Cg						1	28	[55]	1										+													-
		2 30.10	# # #				IVg	cg			29.72~29.81m:変質帯。上盤20°, 下盤31°。幅7.7cm程度。土砂状を	113	3)			CM.									+													-
-	31.0	9 31.12	* *	アプライト	灰黄			bg		3	呈する。 31.12~43.15m:花崗斑岩。		7		+		CM]								+													-
-							Шg IVg				径2~20mm程度の石英, 長石, 径5mm 以下の黒雲母の斑晶を15~30%程度 含む。上位の花崗斑岩に比べて斑晶 が目立つ。	Ţ,	(17)							-					+						101							-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	Шg	bg cg			31.53~35.75m:コアはやや軟質~やや 硬質で、ハンマーで濁音~にぷい金 属音を発する。		25		[72]										+													-
-			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +			Cg	Шg	bg cg			33.00~33.13m:変質帯。上盤64°、 下盤60°。幅6.5cm程度。灰白色粘 土が網目状に分布する。 33.40~33.51m:変質帯。上盤69°、	/	6	441	1	34.20				-					+													-
-			+ +				IV g				下盤11°。幅3.9cm程度。灰白色粘 土が網目状に分布する。上盤と下盤 の傾斜角が大きく異なる。		L	[8	0]	CL' 35.20 CM'	95 75			-					+					3 14 35.80								+
-			###### ##### ##### ######	花	暗オリーブ	Bg	ΙΙg	bg			35.75~66.12m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。 35.90m:第年77			52 [8	6)	CH'	50, 10			-		+			t					35.80								1
-			+	花崗斑岩	ヺ	Cg	IVg	cg			状に濃集する。		1	[6	52]	37. 30 CM'		3/24 38,10															,	40.0	120			-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		浅黄	Bg	1.5	bg cg					A5	182		CH' 38.85		\[\] = 3/25													0.0							1
ļ			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		18	Cg	IVg IIIg IVg	-0					23	[52]	1	CM'	CH]	39,80													96							1
40			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		## 19—2	$\frac{1}{1}$		bg			40.50~44.45m:コアの表面が褐色化している。		26	[88	4)		UIIJ	-																				
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙	Bg	Πg			2				16 [83	8]	CH.														3/17			ダブ					
	22.5	9 43, 15	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明黄褐	Cg	-	cg					∦	4 [84	()	42.44 CM' 43.10														42.05			ルコアチ					
-			**** **** ****		にぶい橙	1			γ		43.15~59.25m:アプライト主体。 径1~5mm程度の石英, 長石の斑晶を 1~5%程度含む。所々, 斑晶の含有 量が15~20%程度の花崗斑岩を挟む		35		[100]	CH'	44, 13								1							76	チューブ			0.1	泥水 5	0 -
-			**** *** ***	ヹ	明青						44.14~47.86m:節理が少なく長柱状 コアからなる。			58	1991										+								ダイ				3	-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライ・	灰オリー		Ιg				45.80~46.78m:全体にマンガンが沈 着する。				100	B'	[B]								+						94		ヤビット					-
-			* * * * * * * * * * * * * * *	۲	明青			bg			46.90~47.91m:所々、長石、黒雲母の 巨晶が礫状に濃集する。	H		6	[94]					-					+													-
-	18.9	1 48.35	"		灰	P.	Vg IIIg II g		ŀ	3			A	₽ [3	6)	47, 86	47,86			-					+													-
-	18.5	4 48.87	# . # . # + : + ; + # . # . # # . # . # # . # . #	アプ	橙	- I bg	Πg						35	[6	011	CH'				-					+					3/								1
<u></u>		6 50, 69	**** **** ****	ライ			Πg			2			32		[98]	50, 62				-										/18 49.85	5							+
-	17.0	4 50.99	*	プ	オリー			cg					38	[80]	1	CM.	CH]																					-
-	16.0 15.7	4 52.41 3 52.85	* * * * * * * * * * * * * *	ラ イ ト ペグマタイ ト	ブ灰		Шg			3	52. 41~52. 85m: ペグマタイト。	+	4		64]	51, 87				-																		-
	15 4	7 53 22	*	アプライト				bg		3	径2~30mm程度の石英, 長石の斑晶からなる。下盤の傾斜20°程度。 53.22~53.56m:ペグマタイト。 径2~30mm程度の石英, 長石の斑晶か	Ш	30		[96]	CH'	53 05																					-
-			*	プライ		Cg Bg	Πg	Ca		2	らなる。下盤の傾斜30°程度。		22	[82	F		33.30														101		,	60.0	150			1
		7 55.48 7 55.90		ト ^77791	灰白		Йg	cg bg	- 1	-	55.48~55.90m:ペグマタイト。 径2~20mm程度の石英, 長石の斑晶か		25	[6]	0]	CM'	CM)														121							
	13.0	4 56.66	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花崗斑岩		Dg Cg	IVg.	cg bg			らなる。 55.72~55.82m:幅5cm程度の安山岩脈 を挟む。傾斜62°程度。	Via Cite	01			CL' 56.57 CM'																						
			* * * * * * * * * * * * * * *	アプラ	にぶい#		Шg	cg bg			56. 24~56. 33m:幅5cm程度の安山岩脈 を挟む。傾斜54°程度。 56. 41~56. 57m:変質帯。上盤73°、 下盤27°。幅4. 7cm程度。灰白色粘		6 1	0]	+	57, 33 CH' 57, 89	57.33																					
-	11 2	59 25	**** **** ****	イト	黄橙オリ	-	Ιg				土が網目状に分布する。上盤と下盤 の傾斜方向が異なる。 57.22~58.75m:節理に沿って褐色化 し、節理に沿ってマンガンを伴う。		\parallel	ds.		B' 58.55									\perp													
60	10.6	2 60 08	****	花崗斑岩	ブ灰	Bg	I g	cg		2	59.25~69.75m:花崗斑岩主体。 径1~8mm程度の石英、長石、径3mm以 下の黒雲母の斑晶を5~7%程度含む。 所々、斑晶の含有量が5%未満のアブ		#	50	7.4	60. 20	CH)	3/26 60,40							1					3 19 60.10								\downarrow
-	10.0	5 60.88	T+T+T	花崗斑岩	褐 灰		Ιg	bg			がべ、		#		69 [99]	B'		Ī				_			+						107							-
L		\vdash	# # # + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	オリーブル	E Ca	II g	cz						[79]	#	CH' 61, 85 63, 00	62,00											L										\dashv

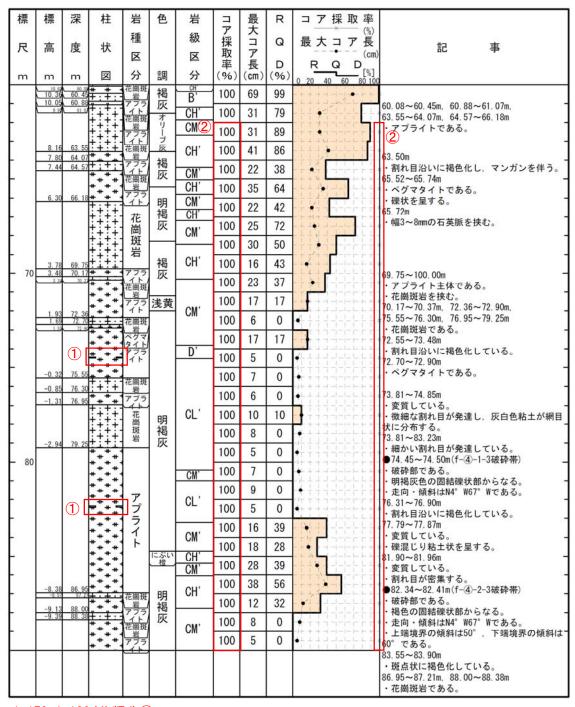
柱状図(60.00m~90.00m)



1-178 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬	=	割	風	変	記	R 取		コアチ	給		T	送排
尺	高	度	状	種			ア	れ目の				級 盤 位	Ē (mm) ₹ /	' 고	圧	転数		水 量 量
				区		***	形	の状態		55	±	S	孔壁保護	Ľ	kN MPa	rpm	MPa	(一/分 分
(m)	(m)	(m)	図 + : + : + + : + : +	分	調オリ	駅 Cg	-		15)	事	→ 分類	護	1	_	_	<u> </u>	
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	ー ブ 灰	ľ	Пg	cg			63.50m:節理に沿って褐色化し, マン	(52.30 (82.30) OH' 3						
-	7.80	64.07	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト 花崗斑岩 ア プ	褐灰	OE OE	IVg	bg			ガンを伴う。	1001 101			60. 0			-
	6.30	66. 18	* * * * * * * * * * * * * * *	プライト		Bg	пв	bg			65.52~65.74m:礫状ペグマタイト。 径2~20mm程度の石英, 長石からなる	CH	07					
-			# # # # + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明褐灰		Пg	1			65.72m:幅3~8mm程度の石英脈を挟む 傾斜82°程度。 66.12~73.81m:コアは硬質~やや硬質 で、ハンマーで金属音~にぶい金属	22						
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩		Gg Dg Cg	пше	Ш			音を発する。	172 CM' 3/0 68.10						
-	3 78	69, 75	++++		褐	Bg Cg	II g IV g					(30) CH'						
70	3.48	70. 17 70. 37	# # # # # : # : # # : # : # # # # #	· /	灰	Cg	III g IV g II g	1 1			69.75~100.00m: アプライト主体。 径1~5mm程度の石英, 長石の斑晶を 1~5%程度含む。所々, 斑晶の含有量が10~15%程度の花崗斑岩を挟む。	[CM]						-
			**** **** ****	プライし	浅黄	Bg Cg	IV g IV g	bg				CM						
-	1.93 1.69 1.55	72. 36 72. 70 72. 90	**** + · + · + • + · + ·	花崗斑岩		\vdash	IV g V g				72.55~73.48m: 節理に沿って褐色化している。	1 1 1 1 Vom	.0					泥
-			* * * * * * * * * * * * * * *	アプライ		Bg Eg	VIg	dg cg cg			72.70~72.90m:ペグマタイト。 径10~50mm程度の石英、長石、黒雲 母からなる。 73.81~74.85m:変質帯。上盤32°, 下盤58°。幅65cm程度。微細な節理	77.8 77					0.1	泥水 0
-	-0.32	75.55	* * * * * * * * * * * * * * *	۲		Dg				3	「編36 。 幅030m程度。版網は即程 が選し、灰白色粘土が網目状に分 布する。 73.81∼76.60m:コアはやや軟質で、ハ ンマーで濁音を発することが多い。							-
-	-0.85	76, 30	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩		Cg Dg	1	cg			73.81~83.23m:細かい節理が発達している。 ている。 75.26~75.41m:ペグマタイト。 径5~30mm程度の石英,長石からなる	3/ 21 18,50						-
	-1.3	70.93	######################################	花	BB	Gg Bg Gg Dg	IVg	bg			76.31~76.90m: 節理に沿って褐色化している。 76.60~83.23m: コアは硬質~やや硬質で、ハンマーで金属音~にぶい金属	ar.		ダブ				
-	-2.94	79. 25	++++	崗斑岩	明褐灰	Cg	Vg	cg			音を発する。 77.79~77.87m:変質帯。上盤72°, 下盤60°。幅4cm程度。礫混じり灰 白色粘土からなる。	[CL]		ノルコアチ				
L 80			* * * * * * * * * * * * * * * *						r		78.65m:シーム。傾斜82°。幅0.3cm 程度の灰白色粘土からなる。周辺は 同系統の節理が発達している。 79.25m:シーム。傾斜65°。幅0.4cm	1	14 76	ューブ		150		-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *			Bg	IVg	bg			程度の黒色粘土からなる。上盤側に は微細な節理が発達している。 79.80~80.00m:有色鉱物を中心に斑点 状に褐色化している。	CM 81.00		/ダイヤビ				
-			*	アプ		Cg Bg	Vg	cg bg			81.90~81.96m:変質帯。上盤62°、 下盤68°。幅2.8cm程度。節理密集 部からなる。	a.		1 101	40.0			
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ライト		Cg		cg			82.09m:シーム。傾斜62°。幅0.5cm 程度の灰白色粘土からなる。周辺は 同系統の節理が発達している。 82.34~82.41m:破砕帯(H)。上盤50°	3/24 97 CW 68.28 89.27						-
_			*		にぶい権		Шg				下盤60°。幅3.5cm程度。傑混じり 掲色粘土からなる。周辺の節理を切っている。 33.23~100.00m:コアは硬質で、ハン マーで金属音を発することが多い。	84.72 CH'				-	_	+-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *		- 12		IV g				83.55~83.90m: 有色鉱物を中心に斑点 状に褐色化している。	92 65.38 22 CW 1 68.09						
-	-8.38 -8.5	86. 95 7 87. 21	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花園斑岩		Bg	Шg						00					
-	-9.10 -9.39	88.00 9 88.38	# # # # #	花崗斑岩	1971		пт -	bg			88.00m以深はコアの酸化汚染が目立つ							
90			* * * * * * * * * * * * * * *		褐灰		IVg					CW						
"			+	ア			Шg				90.00〜90.87m:有色鉱物を中心に斑点 状に褐色化している。	271 CH' [CM] 3/25 90.30						泥
-			* * * * * * * * * * * * * * *	アプライ		Cg Bg	IVg				91, 29〜91, 40m:変質帯。上盤30°, 下盤42°。幅9,5cm程度。微細な節 理が発達している。	CM*					0.0	泥水 0
-			* * * * * * * * * * * * * * *	۲	灰白	Cg Eg	V g VIg V g			3	92.44〜93.07m:変質帯。上盤30°, 下盤45°。幅55cm程度。微細な節理 が発達している。	CL						
-			+		PL.								10					
	-14.42	95.49	* * * * * * * * * + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg		2	95.30m:シーム。傾斜88°。幅0.1cm 程度の灰白色粘土からなる。せん断 性節理が認められる。	CMr CMr						-
-	-14,9	20, 20	* * * * * * * * * * * * * * *	アプライ														
			* * * * * * * * * *	イト	にぶい黄橙							93.00 99.00						+

柱状図(60.00m~90.00m)



1-179, 1-180 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。 (破砕部模様の変更) 1-178 (分類b) ②

報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	! :	深	柱	岩	色	硬	_		風	変	記			採取%)	率	岩	岩	孔内		(1	票準					試	験	原位置試験	室	掘	掘	孔忽	コァ	給			/ 4 送	
尺	高		度	状	種			ア	れ 目				最	大:	コア cm		級	盤	水位。	_	(N 値	[∼	深月	ŧ.			旦試験 (孔	内	進	進度	/	チューブ	圧			水量	
					区			π≥	の状				R		Q %]				測定日	∪ I ‡										内水平	試		(㎝/時	孔壁保	/ビッ	KN MPa	rpm	_ MPa	(−/分	(ー/分
(m)	(m) ((m)	図:::::::::::::::::::::::::::::::::::::	分 花	調オリ	Ce	状 II g	cg	化	質	事	ů	31	50	100	分 CM	類	B	<u> </u> "	1	0	10		20	30)	40	50	載荷)	験	日	 h4	護	۲	· ·)	_	23	2
-	7	80 6	M 07 4	****	アプライト 花崗斑岩	リーブ灰 褐灰	Bg Bg	II g				63.50m: 節理に沿って褐色化し, マンガンを伴う。			41 [8	6)	62.6 CH'	[CH]	= 62. 3/27	30																60. 0				-
-	6.	30 6	6. 18	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト		Bg	Пg			ا م	65.52~65.74m: 礫状ペグマタイト。 径2~20mm程度の石英、長石からなる 65.72m:幅3~8mm程度の石英脈を挟む		32 22	5	64]	CM' 65.0 CH' 65.8 CM'	0 65.8	0														107							-
-			†; †; †; †; †;	+ +	花崗斑	§褐灰	Bg Cg Dg Cg	Πg	\dashv			傾斜82°程度。 66,12~73,81m:コアは硬質〜やや硬質 で、ハンマーで金属音〜にぶい金属 音を発する。		25	[42]	[72]	CM'	0														3/20 68.11								-
- - 70	3.	78 6 48 7 34 7	69. 75 + 10. 17 10. 37 1	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	岩	褐灰	Bg Cg Bg	II g IV g III g IV g				69,75~100,00m:アプライト主体。 径1~5mm程度の石英、長石の斑晶を 1~5M程度含む。所々、斑晶の含有量		6 23	[80]		CH'	[CM]	I																					_
-	1.3	93 7 69 7	2. 36 + 2. 70	* *	プライト	浅黄	Bg Cg	TT -				が10~15%程度の花崗斑岩を挟む。 72.55~73.48m: 節理に沿って褐色化し	1	7			CM'																120							-
	1	<u> </u>	2.90 # # # #	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト		Eg	IVg	dg cg cg			ている。 72.70~72.90m:ベグマタイト。 径10~50mm程度の石英、長石、黒雲 母からなる。 73.81~74.85m。変質帯、上盤32°, 下盤58°。幅65cm程度。微細な節理 が発達し、灰白色粘土が網目状に分 布する。		7			73, 8 D' 74, 5	1 73,8	11																			0.1	泥水5	0 -
-	-0. -0.	32 7 85 7 31 7	'5. 55 " '6. 30 ;	++++			Og Og Og		cg			m y の。 73.81~76.60m:コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。 73.81~83.23m:細かい節理が発達している。 75.26~75.41m:ペグマタイト。 径5~30mm程度の石英、長石からなる 76.31~76.90m:節理に沿って褐色化し																				3/21 76.5	-							-
-	-2.	94 7	9. 25	***** ***** ***** ***** ***** *****	花崗斑岩	明褐灰	Dg	Vg				ている。 76,60~83,23m:コアは硬質~やや硬質 で、ハンマーで金属音~にぶい金属 音を発する。 77,79~17.87m:変質病、上盤72" 下盤60"。幅4cm程度。 雑混じり灰 目色格土からなる。 78.56m:シーム。傾斜82"。幅0.3cm 程度の灰白色粘土からなる。 周辺は	8 (9)	0)			-CL'	[CL]	I											-					ダブルコアチュ					-
- 80 -				* * * * * * * * * * * * * * * * * * *			Bg	IVg	bg	γ		同系統の節理が発達している。 79.25m:シーム。傾斜65°。4幅0.4cm 程度の黒色粘土からなる。上盤側に は微細な節理が発達している。 79.80~80.00m: 本色鉱物を中心に斑点 状に褐色化している。					80, 4 CM' 81, 0	2															104	76	ーブ/ダイヤビ		150			-
-			# # # #	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト		Bg Cg		bg cg			81,90-81,96m:変質術、上盤62" 下盤68"、幅2.8cm程度。節理密集 部からなる。 82,09m:シーム。傾斜62"、幅0.5cm 程度の灰白色粘土からなる。周辺は 同系級の節理が発達している。 23,34-82,41m。級种等(Hb)。上盤50" 下盤60"。幅3,5cm程度。磔混じり 補色粘土からなる。周辺の節理を切		6	[39]		CL' 83.2 CM'	3 83.2	2											-		3/24 83,44			ット	40.0				-
-		20.0	# # # # #	* *		にぶい槍		III g II g IV g II g				#8世紀エからなる。前型の即連を明っている。 33、23 ~ 100.00m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。 83、55~83、90m:有色鉱物を中心に疑点 状に褐色化している。		28	(39)	1	84, 7 CH' 85, 3 CM' 86, 0	2																						_
-	-9. -9.	57 8 13 8 39 8	8. 00 +	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	プライト	明褐灰	Bg	Шg	bg			88.00m以深はコアの酸化汚染が目立つ	1 0 €		21		CM'	6															100							-
- 90 -			# # # # #	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプ	X	Cg	Шg				90.00~90.87m: 有色鉱物を中心に斑点 状に褐色化している。 91.29~91.40m:変質帯。上盤30°,		1	[47]		90.0 CH'	[CM]	I											_		3/25 90, 90	,					0.0	泥水5	0
-			#	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ライト	灰白	Bg Cg Eg	Vg Vg Vg	dg		3	下盤42。 編9.5回程度。微細な節理が発達している。 理が発達している。 92.44~93.07m:変質帯。上盤30°, 下盤45°。機55回程度。微細な節理 が発達している。					92.4 CL' 93.5	4																						_
-			5. 49 + 6. 20 ;	+++	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg		2	95.30m:シーム。傾斜88°。幅0.1cm 程度の灰白色粘土からなる。せん断 性節理が認められる。	10	[22]			CM.													_			140							-
-				"	プライト	にぶい黄橙							t	[21]			98.0	0 98.0																						_

柱状図(90.00m~100.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最大	R	コア採取率		
尺	高	度	状	種区の	-m	級区	採取率	コア長	Q D	最大コア長 ・・・(cm R Q D		
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 10	<u>d</u> <u> </u>	
			####		明褐	CH'(1)	100	14	47	- 19+ + -1 -1 -1 -1 - + +	90.00~90.87m ・斑点状に褐色化している。	
Γ			+#+#+	アプ	褐灰	CM'	100	6	0		91. 29~91. 40m	1
t l			####	プラ	灰灰	15000	100	7	0	-\r T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	・変質している。・微細な割れ目が発達している。	୍ଦ
ľ			####	1	台	CL'	100	6	0	• + + +	92.44~93.07m	1
1			####	+	朗		100	10	10	111111111	・変質している。・微細な割れ目が発達している。	-
T .	-14. 42		#### +:+:+	花崗斑岩	明褐灰		100	11	22		95.49~96.20m, 98.65~98.95m,	-
	-14. 92	96. 20	####	岩アプラ	1000000	CM'	100	12	12		99. 70~100. 00m	
ſ			####	ライト	にぶ	0	100	11	21		・花崗斑岩である。	1
Γ	-16. 44 -16.52	98. 35	# # *	ベグマ	LI		100	9	0	₹	98. 35~98. 47m	1
i i	-16.69 -16.8	98.95	# #	911 775 11	黄橙		100	10	10	+++	・ペグマタイトである。	7
	-17, 40 -17, 6)	99.70	# . #	花崗斑	,							\neg
				岩 アプラ イト 花崗斑								
				化崗斑 岩								

1-178 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

村	票	標	深	柱	岩	色	硬	П	割れ	風	変	記		コフ 最ブ	(%)			莊	孔内水位)	(;	標	集 j N	重り値)	試!	験	原位置試験	室	拔		進	孔 径	コアチ	給				送水	排水	ı
F	5	高	度	状	種区			ア形	目の					→ R	c Q	m [,	級区		(m)	N											竉	内試			度	(mm)	ユーブ	圧	E 娄	数				ı
(r		(m)	(m)	図	分	調	軟		状態	化	質	事		_	[% 		100		類 98.00	測定月日	値	1	0		10	:	20	30	4	10	50	内水平載荷)	験	E	- 1.	時)	孔壁保護	/ビット	MPa	rp a	pm N	MPa	· 分	分分	
-	F	16.66 16.87	98. 35 98. 47/ 98. 65/ 98. 95/ 99. 70 100. 00	+ + +	アプライト 花崗斑岩 アプライト	ふい黄蜂	Bg	IVg	bg	γ	2	98,35~98,47m:ベグマタイト脈。 径5~15mm程度の石英、長石、黒雲母からなる。傾斜は25~30°程度。	ł	[6] [10]				CM'	CM]															3	26	140	76	ペプルコアチューブ/ダイヤビット	40.	0 1!	50 (0.0	泥水 5	0	
														•									•					•						100.	.00										

柱状図(90.00m~100.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	7	最大	R	コア採取率		\neg
尺 m	3 高	度 m	状図	種区分	調	級区分	ア採取率(%)	スコア長(cm)	Q D (%)	最大コア長 (cm) R Q D (%) 0 20 40 60 80 100	記事	
Γ			****		明褐	CH'	100	14	47		90.00~90.87m ・斑点状に褐色化している。	-
L			####	アプ	灰	CM'	100	6	0	<u> </u>	91.29~91.40m ・変質している。	
			+#+#+	5	灰	CL'	100	7	0	• + + + 4	・微細な割れ目が発達している。	
			####	1	台	UL.	100	6	0	• 1111- 1	92.44~93.07m	- 1
			####	+	明褐		100	10	10	1111111111	・変質している。・微細な割れ目が発達している。	
Γ	-14. 42		++++	花崗斑	褐灰		100	11	22	- • 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	95. 49~96. 20m. 98. 65~98. 95m.	- 1
Ī	-14. 92	96. 20	# # # #	花崗斑	25022	CM'	100	12	12		99. 70~100. 00m	-
			####	ノライト	にぶ	Oill	100	11	21		・花崗斑岩である。 - (1)	1
Γ	-16, 44 -16, 52	98. 35	# # :	ベグマ	LI	1	100	9	0	- 	98. 35∼98. 47m	
ŀ	-16.64 -16.8	98.95	###	81h	黄橙		100	10	10	++	・ペグマタイトである。	1
	-17, 40 -17, 6)	100.00		花崗斑アプライト花崗斑							•	

1-178 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

- LL - LL - LL - LL - LL - LL - LL - L	AZNI-						
ボーリン	7 NO.						
			l	 ı		ı	

					Ē	周	1	Š.	名	3															7	∜ - リ:	ノグNo	,						П	
					<u>.</u>	事業	ۥ	Į	事名	.															L					Ш	Ш			Ш	Ш
ボー	-リン	グ名		(2	D-1						調査位置	t															#	lŁ	緯		_		_		
発	注析	幾 関									·	•		1	調査	朝間											J	Į.	経						
調音	主業	者名									主任技師	5			現 代 理	場上人					銀	記定	ア者				7	ボ <i>ー</i> グ責	リン任者						
孔	口模	東高	+ 53.	. 27	角	18 -i	30°	$\overline{}$	90*	方	また。0° 270° 90°	地盤水平の鉛点が	· 月	f	試 錐	機									ハンラ落下月	7 — 月具									
総	掘削	長	80.0	00	m 度	T	· 6	ノ。		向	西東南 0°	勾 直 200	模 30°	登	エン・	ジン									ポン	プ									
					Т	1	Т	T.					コァ	′採∶	取率	Ι	Π		,	120	: 24= -1	B 7	=+ FA		=+ FA	F		. 1.	Τ.	$\overline{}$	$\overline{}$		$\overline{}$	$\overline{}$	
標	標	深	柱	岩	色	硬		割れ	風	変	5言		-	(%)	岩	岩	内	(/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /			試験 - 深原		試験	原 位 置 記	3	2 排	屈 掘 進	孔 径		給		送	
_	_	-	4112	種			7						最大	cn	ア長 i	級	盤	水 位 (E)		`	14		<i>i</i>	Σ.		懸	₹ P	h j	進度		ᆲ		数	水	水 2 量 <u>:</u>
マ マ	高	度	状	区			形						R	Q	D	区	分	測	N							字 内 水	1 1	đ J		ZI	ブ	KN	^	\sim	∓ :
m)	(m)	(m)	図	分	調	動	,	状能	化	質	事		~	L %]	分	類	定月日	値							大小平車荷~	i i i si	負 E	/ _{n±}	1/모	5,	MPa	rpm M	MPa (分:
	52.97	0.30	#E≡	政権策シ	ルー横灰	+			10	_	0.00~0.30m:腐植質3		1	50	100	, ,	^**			0	10	20	3		40	50	-			- 100	27.00		$\stackrel{\smile}{+}$	4	#
	52.53 52.14	0.74 1.13		砂湿じり ルト 砂湿じり	黄褐						0.30~0.74m:砂混じり 0.74~1.13m:径3~6c 岩のクサリ礫を含む	m程度の花崗斑		I	Ш		3 1.13														1	0.0	0	0.0	無 水 0
			#			Cg	IV g	g cg			 1.13~5.60m: アプラィ 径1~10mm程度の石 以下の黒雲母の斑晶 	き, 長石, 径4mm	14			GI.		2.30												115					泥水
			***** ****	ア			IVg	Š			む。 1.13~7.06m:コアはヤ マーでにぶい金属音	やや硬質で、ハン	15	[39]		2. 7:	13	<u>-</u>												ケーシ			ľ	0.1	泥水 5
				プライ		Cg	Шg				多い。 1.13~1.83m:傾斜20°		17			CM'	17													ング				+	+
			*	イト		Dg	IV g	1			られる。 1.83~25.53m:傾斜70 発達している。節理	。 程度の節理が に沿って灰白色				CL.																			
			**** ****		明		III g	1			粘土を伴う。 3.18m:幅18mm程度ので 斜63°程度。	5英脈を挟む。傾	* t	28]	Ш	4.6' CM',	5																		
	47.67 47.23	5.60	***** ***** *****	花崗斑	視灰	Cg	IV g	g cg	r	3	5.60~10.05m: 花崗斑		15	[37]	Ш	-		4/9											14:	2					
	47.23	6.14	# # # #	アプライ	b		IVg				径1~10mm程度の石 以下の黒雲母の斑晶 アプライトとの境界	を20%程度含む		1		1		4 6.60																	
			+	花崗斑		Dg	IV g	g			5.63m:シーム。傾斜6 度の灰白色粘土から 切っている。	3°。幅0.2cm程		+		CL.		- 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2																	
	44.05		++++ ++++ ++++ ++++	斑岩		Dg	IV				5.66m:幅6mm程度の石 斜60°程度。上記の		[0]	\prod]"		∇								_									
	44.85	8. 42 8. 59	# ! # ! # # # ! # ! #	アプライ 花	F.	Cg	T	1			る。 6.04~6.14m, 8.42~ 有量が3~5%程度の7	8.59m:斑晶の含 プライトを挟	12 [12]	\parallel		1		11																0.0	泥水5
			+	花崗斑岩	1=	Dg	Vε				む。 7.06~7.18m:変質帯。 盤69°。幅2.9cm程度	上盤76°,下	9	+		9.7	2 [CL]																		
10			*	岩 7754			VI g	Gg dg	δ	4	が網目状に分布する が発達している。	。同系統の節理		\parallel	Ш	D' 10.4	1																		
	42.49 42.15	10. 78 11. 12	* * * * • * •	花崗斑			IV g				7.06~18.03m:コアは ンマーで濁音を発す 9.33~10.72m:変質帯	ることが多い。		\parallel	\mathbb{H}	-					+					\dashv		4	5		l si				
			+	アプラ	浅黄橙	F	IV g	1			盤73°。幅41cm程度 し、一部礫状を呈す	。石英脈が発達 る。	(12)	#	Ш													ÍI.	.35		ダブル				
	40.69	12, 58	#### ####	イト	-		III g IV g		r		9.63~9.72m:幅5cm程 脈を挟む。傾斜74° 10.05~12.58m:アプラ	程度。 ライト主体。	23	.46	1	CL.													13:	2	コアチ				
			+ + + + + + + + + + + + + + +		明裙		V g	g	δ		径1~5mm程度の石英 3~5%程度含む。花崗 は漸移的である。	, 長石の斑晶を 斑岩との境界		1	Ш	1		4/													ᅵᆚᅵ	30.0	100		

柱状図(0.00m~30.00m) 1/2

		H	20-(4)-1				孔口	1 標	高 T.P. 53	8. 27m 掘 削 長 80. 00m
						_	-				
標	標	深	柱	岩	色	岩	⊐	最	R	コア採取平	<u>x</u>
	÷	rate:	445	種		級	ア採	大コ	Q	最大コア	E la company of the c
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	R Q D	em) 事
m	m	m	図	分3		分	(%)		(%)		6] 4
	52. 97 52. 53 52. 14	0.30	리(# = - - =	有機質 シルト 砂混じ	黄褐	4	100	14	14	-+++	0.00~0.30m *・有機質シルトである。
			####	りシルト		CL'	100	14	14		0.30~0.74m ・砂混じりシルトである。
			+ # + # +	礫混じ リシル ト		CM'	100	15	39	- +++ + - - - - - - -	0.74~1.13m
			####			CL'	100	17	17		↓・礫混じりシルトである。↓・径3~6cm程度の花崗斑岩のクサリ礫を含む
- 1			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプラ	明	CM.	100	15	25	- + + + + - - - - -	1. 13~5. 60m
-	47. 67 47. 23	5. 60 6. 04	#;#;	花園斑	褐灰		100	15	37	- 1 1 1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	・アプライトである。
- 1	47.17	6.10	++++	石 アフラ イト			100	9	0		5. 60~10. 05m
	44.05	0.40	<u>+</u> +++	花崗斑 岩		CL'	100	7	0	<u> </u>	・ 花崗斑岩主体である。 ・ アプライトとの境界は漸移的である。
-	44. 85	8. 42	+++	アブラ			100	12	12		5.66m ・幅6mmの石英脈を挟む。
- 10	43. 22	10.05	⊅ ∔‡₽	花崗斑 岩	ぶい	D'	100	9	0	- + + + + - - - - - - - -	6.04~6.14m. 8.42~8.59m
-	42, 49 42, 15	10, 78 11, 12	# # #	イト	橙		100	7	0	* + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	・アプライトを挟む。
- 1			****	岩 アブラ イト	浅黄橙		100	12	12	++	17.06~7.18m ・変質している。
- 1	40. 69	12. 58	# . # . * . *	11	明	CL'	100	23	46	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	・灰白色粘土が網目状に分布する。 - ●9.33~9.61m(f-④-2-1破砕帯)
-			- +++-		褐灰		100	8	0	+ + +	・ はい を の は は で が い は ない を で ある 。
-			<u>+++</u> +	花	"	OM,	100	9	0	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	・走向・傾斜はN82°W45°Sである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。
-			++++	崗斑	にぶい 黄橙	CM,	100	26	47	- + + + - 1 1	9. 63~9. 72m
ŀ			++++	岩	明	CL'	100	15	50		- *・幅5cmのアプライトを脈状に挟む。 - 10.05~12.58m
-			# + + + Ø : + X		褐	OL.	100	10	10	111111111	・アプライト主体である。 ・ 花崗斑岩との境界は漸移的である。
-	33. 82	19. 45	8∓± 8		灰		100	0	0		10.16~10.20m ・幅2~4mmで石英脈を挟む。
- 20			####	アプ	灰白明	D'	100	0	0		10.78~11.12m ・ 花崗斑岩である。
- 1			* ***	アプライ	褐灰	ravat	100	0	0		11. 12~11. 25m
- 1	31, 12 30, 63	22. 15 22. 64	# ; # :	ト 花崗斑	淡		100	6	0		「
1	55, 50	22.04	###	岩	橙	CL' D'	100	5	0		・ 花崗斑岩である。
F			####	_	オリーブ黄	U	100	6	0		15.99~16.51m ・変質している。
- 1			####	アプ	橙		100	4	0		・軟質化している。
F			####	プライ	黄橙		100	11	11		1
 			####	+	灰白	CL'	100	7	0	++	
1			++++		=		100	8	0		1 1 1
 	24, 11 23, 83	29, 16 29, 44	+ + + -	花崗斑	浅黄橙		100	4	0	4	+ 1
\vdash			****	岩 アブラ イト	1.00			-	,		1
1-18	1 / / \	*** · '				0				l .	1

1-181 (分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-182 (分類d) ② 記事欄の記載変更に伴う変更。 (破砕部模様の変更) 1-183 (分類c) ③ 表現を統一したため。 1-184 (分類b) ④ 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.						

事業・工事名

					_																								-						
ボー	- リン	グ名		4)–1						調査位置	t			_		_										北		緯						
発	注	幾関													_	查期間	_										東		経						
調音	査 業	者 名									主任技師	5			現代	理人	•				錫	監定	ア 者				ボグ	一 リ責 任	者						
孔	<u>п</u> ;	票高	+ 53.	. 27 m	角	180 上		90*	7		70° 11 0° 90°	地盤 水平	0*	使用	記	錐機	ŧ								ハンマ 落下用										
総	掘i	削 長	80.0	00 m	度	⊤ 0	. [-	<u>プ</u>	ſ	5) 2	東 南 0°	勾直 20°	30°	機種	I	ンジン	/								ポン	プ									
$\overline{}$								_	_	_			11-	7 7	採取	<u></u>																_	_	_	
標	標	深	柱	岩	色	硬		割几	虱	变	記			<u>-</u> (* 岩	岩岩	孔内	(標			試験		試験	原位置試	室	掘		孔 径	コア	給 [回 注 	送送	排
				種			ᆔ	れ 目					ı	是大	コア	長 級	盤	水位		(N	値 ′	~深度	ξ		試験	内	進	速	(mm)	그				
尺	高	度	状	区				の					F	₹	cm Q		分	(m)	N							孔内	試		度	孔	ヺ	圧	数月	E 量	量
								状						∟ [%]		. //	測定月	値							内水平載			cm /	壁保		kN r	pm MP		
(m)			図	分	調	軟	状	態(七值		事		l e		50	100 分	類	í		0	10	20	30		40	載荷	験	日	時	護	ŕ,	MPa ○	<u> </u>	分/	分
	52.5	7 0.30 3 0.74		整備質シルト 砂湿じりシルト	黄	1				0.	00〜0.30m:腐植質シ 30〜0.74m:砂混じり 74〜1.13m:径3〜6ci	リシルト。																			0.000	0.0	0 0.	0 無水の	0
-	52.1	1.13	* * * * *	練温じりシ ルト	褐	Cg	IV g	cg		1.	<u>号のクサリ礫を含む</u> 13〜5.60m: アプラィ &1〜10mm程度の石英	<u>砂混じりシルト</u> (ト。	1 🗒	14.	Ш	Ш-	13 1,18	4/8																+	-
-			****				IVg			į į	以下の黒雲母の斑晶 ご。	を3~5%程度含		177		LH CL		2.30			_									115			0.	1 泥水5	5 -
ļ			# # # # #	アプ		Cg	Шg			-	13~7.06m:コアはヤ マーでにぶい金属音 Bい。	を発することが			[39]	2. CM	73	Ξ			\perp									ーシング				Ľ	_
			****	ライ			Ve Ve			1.	13~1.83m: 傾斜20° られる。 83~25.53m: 傾斜70		I	17 [17]	Н	3.	37																		
Ė			####	۲		Dg	IVg			1	も達している。節理 占土を伴う。	に沿って灰白色	Ш	15 25	Ш	CL.	67																		
F			****		明褐	1	Шg IVg		r		18m:幅18mm程度の石 料63°程度。	5英脈を挟む。14	A	15		CM CM	16																		-
Ļ	47.6	6.04	1 + + + + +	花崗斑岩	灰	Cg	Шg	cg			60~10.05m: 花崗斑 &1~10mm程度の石英			Щ	[37]	Ш		4/9											142						-
	47.1	3A 6.14	¥ * + * + *	アプライト			IV g				以下の黒雲母の斑晶 アプライトとの境界	を20%程度含む は漸移的である		9	\mathbf{H}	Н		4 ^{6,80} ±30 1=30 1=30																	
ļ			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	崗斑		Dg Cg	IV g			1	63m: シーム。傾斜6 夏の灰白色粘土から 刃っている。	なる。石英脈を			Ш	CL		<u> </u>																	-
ŀ	44.8	8.42	#####	岩		Dg	IVρ			1	66m:幅6mm程度の石 科60°程度。上記の 5。	英脈を挟む。傾 シームで切られ	4		₩	Н		∇			+														-
Ļ	44.6	8, 59	++++	ァフライト 花			Vs IV g			6.	04~6.14m. 8.42~ 可量が3~5%程度のフ	8.59m:斑晶の含 プライトを挟	╽┇	121	Ш	Ш		₹			4												0.	0 泥水5	0 _
			+ + + + + +	崗斑	1=	, DE	V s	dg	$^{+}$	7.	ご。 06~7.18m∶変質帯。 £69°。幅2.9cm程度		(6)	9	Н	<u>H.</u>	72 [CL]																		
10		2 10.05	####	岩 - アフラィト	にぶい		VIg Vig VIg	Gg dg	δ	4 7	が網目状に分布する が発達している。	。同系統の節理			Ш	D'	41																		-
ŀ	42.4	9 10. 78 5 11. 12	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	花園斑岩	橙	Dg	IV g			:	06〜18.03m:コアは ノマーで濁音を発す 33〜10.72m:変質帯	ることが多い。		Ш	\mathbf{H}	Н					-							4 5 11.35			ħ.				-
Ĺ			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	プラ	浅黄橙		IVg ₩s			1	皇73°。幅41㎝程度 ∠, ━部礫状を呈す	。石英脈が発達 る。		[2]	,	Ш												11,35			ダブル				
	40.6	12.58	****	1 			∭g ∰ IVg	cg	r	l A	63〜9.72m:幅5cm程 系を挟む。傾斜74° .05〜12.58m:アプラ	程度。		23	[46]	Hcl													132		コアチ				
-			+++++		明	Dg	Vg		δ	3	₹1~5mm程度の石英 ~5%程度含む。花崗 は漸移的である。	, 長石の斑晶を 斑岩との境界		Ш	1	Ш"		4/11											102		그	30. 0 1	00		-
ŀ			+++++		褐灰	1 1	IV g V ε IV g		1	10	.16~10.20m:幅2~ と3条挟む。傾斜8~	20°程度。	\perp		+	\mathbb{H}		14,50		-	+					-		4/7			ーブ/ダ	,y	~_		<u> </u>
L			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Vg			1.5	. 78~11.12m:斑晶の まの花崗斑岩を挟む . 12~11.25m:幅0.2		1 1.4		\parallel	15	09	=										17.20		95	イヤ				
			+++++	花品	に	"	IV g	bg		3 F	ffを多数挟む。傾斜 .58~19.45m∶花崗頭	3~8°程度。 胚岩。		16	[47]	CM 15. GL	64													95/ケ ー シング	ビット				
ļ			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	崗斑岩	にぶい黄橙	Dg Eg	Шg			1	№1~10mm程度の石芽 以下の黒雲母の斑晶 アプライトとの境界	を25%程度含む は漸移的である	ΙЦ	A 5		G D' 16	-				+									ング	"				-
-			++++	4		nø l	IV g	cg		13	.00~13.30m:節理に を伴う。 .99~16.51m:変質者	二沿ってマンガン		Ш	LSOJ	CL					-														-
ļ			++++		明褐	J.S	Vg			-	下盤60°。幅26cm程 いる。上盤、下盤境	度。軟質化して		[10]	Ш	Ш	03 18.00												130						
					灰			dg cg		18	る。 .03~21.78m:破砕帯 コッド昇降部のため	男(Hb, Hj, Hc)。 , 上盤. 下盤と	1	\mathbb{H}	+	$\mathbb{H}^{}$													"						
ŀ	33.8	2 19.45							_	á	・不明。幅147cm程度 且織が不明瞭な礫混	€。上部は原岩 じり明褐灰色粘		\parallel	\parallel	Ш																			-
_ 20			* * *	ア	灰白	4 1	VIg		H	4 1	L, 下部は灰白色粘 ≣6cm程度の明瞭な刃 ご。粘土の傾斜は67	∇白色粘土を挟 ゜である。	\parallel	+	\mathbf{H}	D,		4/12			-					-							0.		5
			***** *****	アプライ	明褐	-6		dg	L	3 18	. 03~24. 19m:強く変 fである。 . 45~41. 80m:アプラ	を質し, コアは朝	× H	Ш	Ш	H.		21.00 —		L														5	
			* * *	イト	炭					4 1	₹1~6mm程度の石英 Fの黒雲母の斑晶を	, 長石, 径3mm以 1~5%程度含む。		\mathbb{H}	\prod	Щ	[D]	Ē				_						4/8							
ŀ	31.1	2 22. 15	######################################	花崗斑岩						21	.78~23.27m:変質帯 下盤66°。幅61cm程 いる。	5。上盤不明,	\perp	\parallel	Ш	22	44									1		21.80							-
ŀ	50.0		* * * * * * * *		橙	Dg				22	.15〜22.64m:斑晶の まの花崗斑岩を挟む	•	1 111	+	\prod	CL. 23.	06																		-
				アプ	オリーブ	Eg Dg Fø	Vg	Cu		3 -	.27~23.31m:破砕帯 F盤66°。幅1.2cm程 色粘土からなる。			Ш	Ш	D,				L									135						
			* * * * * * * * * *	ライ	淡		v g	98		23	.31~23.59m:変質構 F盤64°。幅12cm程	度。微細な節理		\mathbb{H}	\prod	24.	19 24.19					_													
F			* * * * * *	۲	橙	Dg		L		23	が発達している。マ .80~24.19m:変質帯 下盤66°。幅16cm程	5。上盤不明,	4	Ш	Ш	CL	[CL]																		-
			+ + + + + +		黄橙	Dg	VIg Vg	dg Cg	δ		が網目状に分布する		To	Ή.	Ш	26.	00 26.00										-					+	+	+	
1	i .	1	1	1	1	1	1 1	- 1	- 1	- 1			1.1			- 1	1	1								- 1	1	1		- 1	- 1	- 1	- 1	1	1

柱状図(0.00m~30.00m) 2/2

標	標	深	柱	岩	色	岩	コ	最	R	コア採取率	
				種		級	ア採	大コ	Q	最大コア長	
尺	高	度	状	区		区	取	ア		•- (cm)	記事
m	m	m	図	分	調	分	率(%)	長 (cm)	D (%)	R Q D [%]	
	52. 97 52. 53 52. 14	0.30		有機質シルト	^{褐灰} 黄褐			5262	27.20	+++	
t t	52. 14	1.13	====== +	砂混じ	吳阳	01.1	100	14	14		()
1			*	確混じ リシル		CL'	100	15	39	- 141 - 1-1-1-1-1	
1			****			CM'	100	17	17		-
			+#+#4	7,	明	CL'	100	15	25		
t	47. 67 47. 23	5. 60 6. 04	*	ア ブ ラ 花蘭斑	褐灰	CM.	100	15	37	101101111111111111111111111111111111111	-
t t	47.12	6.19	+++-	アフラ	100		100	9	0	•	
			++++	花崗斑岩		CL'	100	7	0	+ + + + - - - - - + + + ★ + + + - - - - - - + +	
	44. 85	8, 42 8, 59	+ ; + ; -	アプラ			100	12	12		-
1.0	43. 22	10.05	\$ ‡+ ‡ ¤		15	D'	100	9	0	++	
10	42, 49 42, 15	10. 78	####	アプライト	ぶい橙	D'	100	7	0	+++++++	●18.03~21.78m(D-20破砕帯) ・破砕部である。
ſÌ	42.10	11.12	+ + +	花崗斑 岩 アフラ	浅黄橙		100	12	12	• + + - - - + +	右ずれ正断層センスである。
[}	40, 69	12. 58	*	イト	08	CL'	100	23	46	1 1 1 1 1 1 1 1	・主に明褐灰色の固結礫状部及び固結粘土状 [*] 部からなる。
			++++		明褐		100	8	0	+++	・灰白色の未固結粘土状部:累計幅6.0cm ・走向・傾斜はN31°W73°Wである。
			++++	++	灰		100	9	0		18.03~24.19m ・強く変質し、軟質である。 -
			‡‡‡‡	花崗	にぶい	CM'	100	26	47	-++	19. 45~41. 80m
			<u> </u>	斑岩	黄橙		100	15	50		・アプライト主体である。
_			++++	Ţ	明褐	CL'	100	10	10	++	21.78~23.27m ・変質している。
			X++#		炭		100	0	0	4 + + + + - - - - - - + +	・軟質化している。 22.15~22.64m -
- 20	33, 82	19. 45	* * * *	ア	灰白	D'	100	0	0	• • • • • • • • • • • • •	・花崗斑岩である。
_ "			***	プラ	明褐	D'	100	0	0		●23.27~23.31m(f-④-1-2破砕帯) ・破砕部である。
L [31, 12	22. 15	<u> </u>	イト	灰		100	0	0		・右ずれ正断層センスである。 ・褐色の未固結粘土状部からなる。この累計-
Į. F	30. 63	22. 64	+ + + +	花崗斑岩	淡橙	CL'	100	6	0	• + + - - - - - + + +	幅は1.0cmである。 ・走向・傾斜はN8°W73°Wである。 -
-			#		オリー ブ黄	D'	100	5	0	•	・上端境界の傾斜は66°, 下端境界の傾斜は 66°である。
LΙ			****	ヹ	淡橙		100	6	0		23. 31~23. 59m
-			****	アプラ	黄橙		100	4	0	•	・変質している。 ・微細な割れ目が発達している。
.			*	イト	灰	CL'	100	11	11	<u> </u>	23.80~24.19m ・変質している。 -
-			+ + + + +		白	OL.	100	7	0		・灰黄色粘土が網目状に分布する。 25.57~25.75m
ļ [24, 11 23, 83	29, 16	####		浅 黄 橙		100	8	0	- 	・変質している。
\sqcup	23, 83	29, 44	+ + +	花崗斑 岩 アプラ イト	橙		100	4	0	• L L L L L L L L L L L L L L L L L L L	.26.37~26.51m ・変質している。
				11							・軟質化している。 29.16~29.44m
											・花崗斑岩である。

1-185 (分類a) ① 誤記。記事欄の記載変更の反映漏れ。(破砕部模様の削除)

(2/3)

標	標	深	柱	岩	色	硬	-	.	風	変	記		ア:			岩	岩	内		(標準貫力			試験	原位置試験	室	掘	掘進	孔径	コア	給	<u> </u>		送	
尺	高	度	状	種			ア	れ 目 の				最 → R		コフ cm Q	7長 D	級	盤	水位®	N	(N 値	~深度	Ę		Æ	内	進	I I	(mm) /	アチューブ		転数			
			[m]	区		**	形	状	л.	55	±		_ [分	測定月日)値						内水平載荷)	試		(m/時	孔壁保護	ビ	kN MPa	rpm	MPa	(一/分	(一/分
(m)	(m)	(m)	図 ##### ####	分		1	大 Vg Vg				手 24.19~40.76m:コアはやや軟質で、ハ ンマーで濁音を発することが多い。	٩		50	10		類 28.00	Н		C	10 :	20 30	4	40 5	10 一	験	14/	135	護	7)	~		_	
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	アプラ	灰白		Vg				25.53~31.31m: 傾斜10°及び70°程度 節理がみられる。節理に沿って灰白 色粘土を伴う。 25.57~25.75m:変質帯。上盤76°.																								
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	イト		Dg	IV g	cg	r	3	下盤77°。幅4cm程度。軟質化している。 26.37~26.51m:変質帯。上盤47°, 下盤68°。幅5cm程度。上盤と下盤	8		Ħ		CL.																			-
- - 30	24.11 23.83	29, 16 29, 44	# # # # # # # # # # # # # # # #	花崗斑岩		Eg Dg	VIg	dg			の傾斜角が大きく異なる。 26.46m: 節理の下盤側に幅3cm程度でマンガンが濃集する。 29.16~29.44m: 花崗斑岩。	(å)																125							
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *		浅黄橙		Vg		δ	4	径2~16mm程度の石英, 長石, 径7mm 以下の黒雲母の斑晶を20~25%程度 含む。下部は石英が濃集する。 30.44~30.89m:変質帯。上盤12°	BÖ.				30, 4 D'	19	4/23 31.40										120							_
_			**** **** ****		位	Dg	₩g				下盤12°。幅44cm程度。微細な節理 が発達している。 30.89~31.50m:長石の斑晶が密集して いる。	(0)		\parallel				<u>=</u>																	-
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg	Vg	cg			31.31~34.81m: 傾斜45°及び60°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンや灰白色粘土を伴うことが多 い。	Į.	0]	H			[CL]	4/15																	-
-			**** **** ****			Cg	IV g			3			3				[02]	34. 20 —									4/10 33,80				30.0	100			-
_			*	アプラ		Dg	IVg				34.81~39.78m: 傾斜25°及び75°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンや灰白色粘土を伴うことが多		13,					4/22																	-
-			**** *** ***	イト			V g VI g			4	い。 36.27~36.63m:変質帯。上盤76°, 下盤69°。幅8.7cm程度。灰白色粘	4				Cr.		36, 20																	-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		明	Dg	Vg				土が網目状に分布する。	3 (0)		Ħ				4/14																	-
			* * * * * * * * * * * * * * * * *		褐灰	Cg	IV g	1		3			3 [13]					38.60										128							
— 40			##### ##### #####			Dg	V g			4	39.78~40.76m:傾斜45°及び70°程度	(0)						Ţ																	
-			**** **** ****			\vdash	V g IV g III g			3	の節理がみられる。節理に沿って灰 白色粘土を伴うことが多い。 39.78~39.98m:破砕帯(Hb)。上盤81° 下盤82°。幅3.1cm程度。礫混じり	N.				40. 7	6 40.76																		-
-	11.47	41.80	**** ***** *****			Dg	IV g				灰白色粘土からなる。縞状構造が認められる。 39.98~40.27m:変質帯。上盤82°、 下盤71°。幅9.4cm程度。微細な節		20 [3	1]		CW.														ダブル	40. 0				-
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	花崗斑			IVg				理が発達している。 40.76~80.00m:コアは硬質~やや硬質 で、ハンマーで金属音~にぶい金属 音を発する。硬軟を細かく繰り返す	1	21														4 11 43.15		95	コアチ					-
-	8.81	44. 46		岩	褐灰	Bg	Шg				40.76~44.00m: 傾斜20°及び70°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンを伴うことが多い。 41.80~44.46m: 花崗斑岩。		18	[42]		43. 8	17												/ケーシング	ューブ/ダ			0.1	泥 水 5	5 -
-	7.62	45. 65	* * * * * * * * * * ; * * * * * * * * *	アプライト	44.		II g				径1~5mm程度の石英、長石、径3mm 以下の黒雲母の斑晶を25%程度含む アプライトとの境界は漸移的である 44.00~58.27m:傾斜20°程度の節理が	\parallel	28	[51	1	CH'	15											147		タイヤビ					-
-		46, 77	******** ********	ベグマタイト	浅黄橙	Cg	V g		r		発達している。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。 44.46~54.48m:アプライト主体。 径1~4m程度の石英、長石、黒雲母		7	1																ット	30. 0				-
			**** **** ****	アプ		Dg Bg	IV g				の斑晶を3~5%程度含む。花崗斑岩と の境界は漸移的である。 45.65~46.77m:ペグマタイト。 径5~60mm程度の石英,長石,径2~					CW.											4 12 47.80								
-			* * * * * * * * * * * * *	ノライト	明	Cg	Шg			2	5mm程度の黒雲母からなる。アプラ イトとの境界は20~40°程度。 46.89m:幅10mm程度でマンガンが濃集 する。		25	[49]		48.5	:2																		
— 50.	3.18	50.09	* * * * * * * * * *) * * * *) * * * *		褐灰	Bg	IV g	1			47.40~47.86m:コアの表面が褐色化している。 50.09~50.60m, 51.17~51.76m:斑晶		25	[48]		CH'	[CM]																		
-	2.67	50.60)	アプライト		Cg	IV g				の含有量が7~10%程度の花崗斑岩を 挟む。アプライトとの境界は漸移的 である。	Å	[22]			CW.																			-
-	1,51	51, 76	# # # # # # # # # # # # # # # #	ア			IV g						\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	34]	1000	52. CH'	16											149			40. 0	150			-
-			**** *** ***	プライ	明黄		II g	1				4		34	150,	53.1 CM'	2																		-
-	-1.21	54, 48	* * * * * * 3 * * * * * 1 + 1 + 1	, F	褐	Bg	Шg]			54.48~57.33m: 花崗斑岩。		19	\dagger	[62]	53. 8 CH' 54. 8	14																		-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗	明褐灰		IV g V g IV g				径2~12mm程度の石英, 長石, 径4mm 以下の黒雲母の斑晶を10~15%程度含む。		4 14	∦	H]															30. 0				1
			# +	斑岩	灰	r-	Vg IVg				57.33~59.50m:アブライト。 径2~8mm程度の石英,長石,径3mm以	10	[0]			CW.											4 14 57.00								
-	-4 .06	57, 33	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプ	淡橙		V g IV g V g IV g	ч		2	下の黒雲母の斑晶を1~5%程度含む。 58.27~75.65m:傾斜70°程度の節理 が発達している。節理に沿って一部			\parallel		58. 1	8 58.18										4 17 58.00	150							
-	000	E0 F4	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ラ	黒褐	Dg Eg	VIg	cg dg		3	褐色化し、マンガンや灰白色粘土を 伴うことがある。 58.28~58.87m:変質帯。上盤不明, 下盤62°。幅28cm程度。微細な節理	(a)		\parallel		D.																			
— 60	-0.23	59.50) = + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗		Cg	V g IV g				が発達している。 58.87~59.39m:破砕帯(Hb,Hc)。上盤 62°,下盤68°。幅23cm程度。母岩 を礫状に取り込むマンガン濃集帯。			\parallel	\parallel	59. t	[CL]											122			40. 0				
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	崗 斑 岩	明褐灰	Cg Ri	IV g			2	中間に明瞭な灰白色, 褐色粘土を挟む。粘土の傾斜角は64°である。 59.50~80.00m: 花崗斑岩主体。 径1~10mm程度の石英, 長石, 径3mm	ľ	[0]			CL.	12																		-
			<u> </u>		租	Cg Dg		cg		3	以下の無乗費の斑晶を5~20%程度含む。 斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。 61.11~61.22m:流理がみられる。傾斜	tq				62, 0	62,00																		 5−2

柱状図(0.00m~30.00m) 1/2

		H:	20-(4)–1				孔口	1 標	高	Τ.	P.	53. 2	27m	掘	i i	削	長		80.0)Om
標	標	深	柱	岩	色	岩	コ	最	R	п	ア	採	取率								
	_	_	.15	種		級	ア採	大コ	Q	最	大	_	ア 長						+		
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	10000	200		-•-	(cm)			Ē	5		事		
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	D (%)	0 2	_	ᇺ	D [%] 0 80 100								
	52, 97 52, 53 52, 14	0.30 0.74 1.13	==	有機質シルト砂混じ	養泥 黄褐		100	14	14	-	+-	- -			0~0.3 可機質		トであ	5る。			
			####	りシルト		CL'	100	1.7	17	- 1	+-			0.3	0~0.	74m					
			****	礫混じ リシル ト		CM'	100	15	39		+ -			0.7	4~1.	13m					_
			****			CL'	100	17	17	t	11				楽混じ ≩3~6					ナリ礫を	含む」
_		1	*	アプラ	明	CM.	100	15	25	•	L			1.1	3~5.	60m					1
	47. 67 47. 23	5. 60 6. 04	* 	花蘭斑	褐灰		100	15	37	•	1			. 7	アプラ	イトで	である	0 0			82
L 1	47.12	6.19	++++	着 アフラ イト	590 633		100	9	0	•	77				0~10.			. 7			114
			++++	花崗斑 岩		CL'	100	7	0	•	11				を崗斑:				漸移的で	である。	
- 1	44. 85	8. 42	+ + + +	アブラ			100	12	12	J				5. 6	6m 富6mm <i>の</i>	0石英	脈を	挟む。			_
10	43. 22	10.05	\$++₽	花崗斑 岩	にぶ	D'	100	9	0	1	11				4~6.						-
_	42, 49 42, 15	10.78	*	アブラ イト 花崗斑	が橙		100	7	0	Ŀ				. 7	アプラ	イトる			JIII		
_			*	アプラ	浅黄橙		100	12	12	Ł	++	- -		. 3	6~7. E質し	ている					_
l I	40. 69	12.58	* 	イト	明	CL'	100	23	46	+ }	• -] -							分布する破砕帯)	5.	-
-			++++		褐		100	8	0	1	11			· 4	皮砕部	である	る。		部からな	÷ Z	-
L I			<u>+</u> +++	龙	灰		100	9	0	+	++			. 7	き向・	傾斜	₹N82°	W45	°Sであ	る。	_
- 1			++++	花崗	にぶい	CM,	100	26	47	- + +	• -	ξ.		9.6	3~9.	72m			在する。		1.7
- 1			+++	斑岩	- 12	CL,	100	15	50	*	11				屬5cm <i>0</i> . 05~12			トを肌	派状に挟	む。	-
-			+++		明褐	UL	100	10	10		77				アプラ				。 移的でも	ネス	-
-	33, 82	19. 45	8:+:18		灰		100	0	0	t	11			10.	16~10	0. 20m	n			0.00	-
- 20	33. 02	19. 43	X+#+X	アプ	灰白	D'	100	0	0	1	11		-FFF	10.	扁2~4r 78~1	1. 12m	n	た子狭	€.		-
-			**	ラ	明褐	U	100	0	0	1	11				E崗斑:						-
-	31, 12	22. 15	¥## ###	イト	淡		100	0	0	Ιij	77				丽0.2~ 58~19			を脈を	多数挟	٠,٠	100
- 1	30, 63	22. 64	# # #	花崗斑 岩	橙	CL'	100	6	0	++ + ++ +	11	#		. 7	· 志崗斑	岩でも	ある。	を田に	油に手欠 んたー	5 t 7	0
-			###		オリー ブ黄	D'	100	5	0	•	11			15.	99~1	6. 51m	n	部は	漸移的で	ごめる 。	10
-			# # # # ;	アプ	淡橙		100	6	0	41-1	11				を質した質化						-
-			####	アプライ	黄橙	1	100	4	0	,				11							102
-			*	イト	灰	CL'	100	11	11	!	11			Ī							-
-			*		白浅		100	7	0	1	11	1									-
-	24, 11	29, 16	#### #***	花品度	帯		100	8	0	-/+-+	77										11-
\vdash	20, 20		+ + + + +	花崗斑 岩 アフラ	橙		100	4	0	• † †	11										
\Box		-		11		J															

1-184(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

(2/3)

標	標	深	柱	岩	色	硬	-	.	風	変	記		ア:			岩	岩	内		(標準貫力			試験	原位置試験	室	掘	掘進	孔径	コア	給	<u> </u>		送	
尺	高	度	状	種			ア	れ 目 の				最 → R		コフ cm Q	7長 D	級	盤	水位®	N	(N 値	~深度	Ę		Æ	内	進	I I	(mm) /	アチューブ		転数			
			[m]	区		**	形	状	л.	55	±		_ [分	測定月日)値						内水平載荷)	試		(m/時	孔壁保護	ビ	kN MPa	rpm	MPa	(一/分	(一/分
(m)	(m)	(m)	図 ##### ####	分		1	大 Vg Vg				手 24.19~40.76m:コアはやや軟質で、ハ ンマーで濁音を発することが多い。	٩		50	10		類 28.00	Н		C	10 :	20 30	4	40 5	10 一	験	14/	135	護	7)	~		_	
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	アプラ	灰白		Vg				25.53~31.31m: 傾斜10°及び70°程度 節理がみられる。節理に沿って灰白 色粘土を伴う。 25.57~25.75m:変質帯。上盤76°.																								
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	イト		Dg	IV g	cg	r	3	下盤77°。幅4cm程度。軟質化している。 26.37~26.51m:変質帯。上盤47°, 下盤68°。幅5cm程度。上盤と下盤	8		Ħ		CL.																			-
- - 30	24.11 23.83	29, 16 29, 44	# # # # # # # # # # # # # # # #	花崗斑岩		Eg Dg	VIg	dg			の傾斜角が大きく異なる。 26.46m:節理の下盤側に幅3cm程度でマンガンが濃集する。 29.16~29.44m:花崗斑岩。	(å)																125							
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *		浅黄橙		Vg		δ	4	径2~16mm程度の石英, 長石, 径7mm 以下の黒雲母の斑晶を20~25%程度 含む。下部は石英が濃集する。 30.44~30.89m:変質帯。上盤12°	BÖ.				30, 4 D'	19	4/23 31.40										120							_
_			**** **** ****		位	Dg	₩g				下盤12°。幅44cm程度。微細な節理 が発達している。 30.89~31.50m:長石の斑晶が密集して いる。	(0)		\parallel				<u>=</u>																	-
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg	Vg	cg			31.31~34.81m: 傾斜45°及び60°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンや灰白色粘土を伴うことが多 い。	Į.	0]	H			[CL]	4/15																	-
-			**** **** ****			Cg	IV g			3			3				[02]	34. 20 —									4/10 33,80				30.0	100			-
_			*	アプラ		Dg	IVg				34.81~39.78m: 傾斜25°及び75°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンや灰白色粘土を伴うことが多		13,					4/22																	-
-			**** *** ***	イト			V g VI g			4	い。 36.27~36.63m:変質帯。上盤76°, 下盤69°。幅8.7cm程度。灰白色粘	4				Cr.		36, 20																	-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		明	Dg	Vg				土が網目状に分布する。	3 (0)		Ħ				4/14																	-
			* * * * * * * * * * * * * * * * *		褐灰	Cg	IV g	1		3			3 [13]					38.60										128							
— 40			##### ##### #####			Dg	V g			4	39.78~40.76m:傾斜45°及び70°程度	(0)						Ţ																	
-			**** **** ****			\vdash	V g IV g III g			3	の節理がみられる。節理に沿って灰 白色粘土を伴うことが多い。 39.78~39.98m:破砕帯(Hb)。上盤81° 下盤82°。幅3.1cm程度。礫混じり	N.				40. 7	6 40.76																		-
-	11.47	41.80	**** ***** *****			Dg	IV g				灰白色粘土からなる。縞状構造が認められる。 39.98~40.27m:変質帯。上盤82°、 下盤71°。幅9.4cm程度。微細な節		20 [3	1]		CW.														ダブル	40. 0				-
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	花崗斑			IVg				理が発達している。 40.76~80.00m:コアは硬質~やや硬質 で、ハンマーで金属音~にぶい金属 音を発する。硬軟を細かく繰り返す	1	21														4 11 43.15		95	コアチ					-
-	8.81	44. 46		岩	褐灰	Bg	Шg				40.76~44.00m: 傾斜20°及び70°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンを伴うことが多い。 41.80~44.46m: 花崗斑岩。		18	[42]		43. 8	17												/ケーシング	ューブ/ダ			0.1	泥 水 5	5 -
-	7.62	45. 65	* * * * * * * * * * ; * * * * * * * * *	アプライト	44.		II g				径1~5mm程度の石英、長石、径3mm 以下の黒雲母の斑晶を25%程度含む アプライトとの境界は漸移的である 44.00~58.27m:傾斜20°程度の節理が	\parallel	28	[51	1	CH'	15											147		タイヤビ					-
-		46, 77	******** ********	ベグマタイト	浅黄橙	Cg	V g		r		発達している。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。 44.46~54.48m:アプライト主体。 径1~4m程度の石英、長石、黒雲母		7	#																ト	30. 0				-
			**** **** ****	アプ		Dg Bg	IV g				の斑晶を3~5%程度含む。花崗斑岩と の境界は漸移的である。 45.65~46.77m:ペグマタイト。 径5~60mm程度の石英,長石,径2~					CW.											4 12 47.80								
-			* * * * * * * * * * * * *	ノライト	明	Cg	Шg			2	5mm程度の黒雲母からなる。アプラ イトとの境界は20~40°程度。 46.89m:幅10mm程度でマンガンが濃集 する。		25	[49]		48.5	:2																		
— 50.	3.18	50.09	* * * * * * * * * *) * * * *) * * * *		褐灰	Bg	IV g	1			47.40~47.86m:コアの表面が褐色化している。 50.09~50.60m, 51.17~51.76m:斑晶		25	[48]		CH'	[CM]																		
-	2.67	50.60)	アプライト		Cg	IV g				の含有量が7~10%程度の花崗斑岩を 挟む。アプライトとの境界は漸移的 である。	Å	[22]			CW.																			-
-	1,51	51, 76	# # # # # # # # # # # # # # # #	ア			IV g						\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	34]	1000	52. CH'	16											149			40. 0	150			-
-			**** *** ***	プライ	明黄		II g	1				4		34	130,	53.1 CM'	2																		-
-	-1.21	54, 48	* * * * * * 3 * * * * * 1 + 1 + 1	, F	褐	Bg	Шg]			54.48~57.33m: 花崗斑岩。		19	\dagger	[62]	53. 8 CH' 54. 8	14																		-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗	明褐灰		IV g V g IV g				径2~12mm程度の石英, 長石, 径4mm 以下の黒雲母の斑晶を10~15%程度含む。		4	∦	H]															30. 0				1
			# +	斑岩	灰	r-	Vg IVg				57.33~59.50m:アブライト。 径2~8mm程度の石英,長石,径3mm以	10	[0]			CW.											4 14 57.00								
-	-4 .06	57, 33	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプ	淡橙		V g IV g V g IV g	ч		2	下の黒雲母の斑晶を1~5%程度含む。 58.27~75.65m:傾斜70°程度の節理 が発達している。節理に沿って一部			\parallel		58. 1	8 58.18										4 17 58.00	150							
-	000	E0 F4	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ラ	黒褐	Dg Eg	VIg	cg dg		3	褐色化し、マンガンや灰白色粘土を 伴うことがある。 58.28~58.87m:変質帯。上盤不明, 下盤62°。幅28cm程度。微細な節理	(a)		\parallel		D.																			
— 60	-0.23	59.50) = + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗		Cg	V g IV g				が発達している。 58.87~59.39m:破砕帯(Hb,Hc)。上盤 62°,下盤68°。幅23cm程度。母岩 を礫状に取り込むマンガン濃集帯。			\parallel	\parallel	59. t	[CL]											122			40. 0				
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	崗 斑 岩	明褐灰	Cg Ri	IV g			2	中間に明瞭な灰白色, 褐色粘土を挟む。粘土の傾斜角は64°である。 59.50~80.00m: 花崗斑岩主体。 径1~10mm程度の石英, 長石, 径3mm	ľ	[0]			CL.	12																		-
			<u> </u>		租	Cg Dg		cg		3	以下の無乗費の斑晶を5~20%程度含む。 斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。 61.11~61.22m:流理がみられる。傾斜	tq				62, 0	62,00																		 5−2

柱状図(30.00m~60.00m)

			採取率	= 7	R	最大	コ	岩	色	岩	柱	深	標	標
	毒	= n	ュア長	最力	Q	大コ	ア採	級		種	445		÷	
	事	記	Q D	R	D	ア長	取率	区		区	状	度	高	尺
		2	¬ [%]	0 20	(%)	(cm)	(%)	分	調	分	図	m	m	m
4		30. 44∼30. 89m	-1-1-1-1-4	+++	0	6	100	CL'			*			
		・変質している。・微細な割れ目が発達する		• -	0	7	100	2	浅黄		*			L
			- - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	1	10	10	100		橙		####			_
				4 1 1	0	6	100				####			_
			-1-1-1-1-1	1	13	13	100			ア	#### # <u>#</u> ###			-
5				1-11	0	7	100	CL'		プラ	****			-0
		36.27~36.63m ・変質している。		∳ T T T	0	4	100			イト	+#+#			-
る。		・灰白色粘土が網目状に			0	3	100		明褐		****			-
				11	13	13	100		灰		####	1		-8
帯) -	m(f-4-1-3破砕帯)	●39. 78~39. 98m(f-④-		-1-1-1	0	8 6	100				□ ###	Ŭ		- 40
		・破砕部である。 ・灰白色の固結礫状部が		1	31	20	100		6		"#"# ####			-
ある。 .	N11°E78°Wである。	・走向・傾斜はN11°E7 ・上端境界の傾斜は81°			24	14	100	CM'		花	++++	41. 80	11, 47	-
-	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	82°である。 39.98~40.27m			45	21	100		10	崗斑	++++			-
-		・変質している。			42	18	100	OII!	褐灰	岩	<u> </u>	44. 46	8, 81	-
-		・微細な割れ目が発達す 41.80~44.46m			51	28	100	CH'	House	アブラ イト	"	45, 65	7. 62	-
である。		・花崗斑岩である。 ・アプライトとの境界に			17	17	100	10000	浅黄橙	ペグマ タイト	+++++	46, 77	6, 50	-
	体である。	44. 46~54. 48m ・アプライト主体である		7	0	9	100	CM'		アプ	*			-
ある。	境界は漸移的である。	・花崗斑岩との境界は減 45,65~46,77m	-1-1-1-1-1		45	25	100		明	ラ	****			
	である。	・ペグマタイトである。			46	25	100	CH'	褐	イト	**** ***	50. 09	3, 18	
		50.09~50.60m, 51.17~ ・花崗斑岩である。	-1-1-1-1-1		22	11	100	21	灰	花崗斑岩	#;#;	50. 60 51. 17	2. 67	- 50
である。	る。 の境界は漸移的である			1	34	23	100	CM'		アブラ イト 花崗斑	+ + + +	51, 76	1, 51	
			- - - - - - - - - - - - - -	-++	90	30	100	CH'	明	岩 アプラ	****			
0.6		:		+ 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1	34	12	100	CM,	黄褐	イト	***			-
		54. 48∼57. 33m	-1-1-1-1-1-1	+ + +	62	19	100	CH		花	* + * +	54, 48	-1, 21	_
6	る。	・花崗斑岩である。			14	14	100	1,000	褐	湖湖	++++			
		57. 33∼59. 50m		1::	. (4.99	4.55		CM'		岩	‡ <u>+</u> ‡+	57. 33	-4.06	-:
	ある。	・アプライトである。		+ + +	0	7			淡橙	アプ	####			- 1
		58.28~58.87m ・変質している	-1-1-1-1-1	1+++				D'	黒褐		<u>_</u> #_#_ \(\begin{align*}	50 50	-6 22	-
***	が発達する。	・微細な割れ目が発達す	1 1 1 1 1	111	0	/	100	CM.		花崗斑岩	+;+;-	55.51	J. 23	
	•	・破砕部である。								- VOOV 1				
		状部からなる。												
		・走向・傾斜はN17°E7・フィルム状の粘土を打												
		・上端境界の傾斜は62°												
-	ある。 が発達する。 m(f-④-1-4破砕。 業状部及び灰白 N17° E70° Wでま 粘土を挟在する	・花崗斑岩である。 57.33~59.50m ・アプライトである。 58.28~58.87m ・変質なとしている。 ・微細とし割が発達す ●58.87~59.39m(f-4)- ・破器色の固結礫状部が、無視色の複解はN17° E7・フィルム状の粘土を表			14 10	14		- T	明褐灰 淡橙 黑褐灰	アプライト	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	54. 48 57. 33 1 59. 50	-1, 21 -4, 06	

1-186, 1-187 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-184 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

(2/3)

標	標	深	柱	岩	色	硬	-	.	風	変	記		ア:			岩	岩	内		(標準貫力			試験	原位置試験	室	掘	掘進	孔径	コア	給	<u> </u>		送	
尺	高	度	状	種			ア	れ 目 の				最 → R		コフ cm Q	7長 D	級	盤	水位®	N	(N 値	~深度	Ę		Æ	内	進	I I	(mm) /	アチューブ		転数			
			[m]	区		**	形	状	л.	55	±		_ [分	測定月日)値						内水平載荷)	試		(m/時	孔壁保護	ビ	kN MPa	rpm	MPa	(一/分	(一/分
(m)	(m)	(m)	図 ##### ####	分		1	大 Vg Vg				手 24.19~40.76m:コアはやや軟質で、ハ ンマーで濁音を発することが多い。	٩		50	10		類 28.00	Н		C	10 :	20 30	4	40 5	10 一	験	14/	135	護	7)	~		_	
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	アプラ	灰白		Vg				25.53~31.31m: 傾斜10°及び70°程度 節理がみられる。節理に沿って灰白 色粘土を伴う。 25.57~25.75m:変質帯。上盤76°.																								
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	イト		Dg	IV g	cg	r	3	下盤77°。幅4cm程度。軟質化している。 26.37~26.51m:変質帯。上盤47°, 下盤68°。幅5cm程度。上盤と下盤	8		Ħ		CL.																			-
- - 30	24.11 23.83	29, 16 29, 44	# # # # # # # # # # # # # # # #	花崗斑岩		Eg Dg	VIg	dg			の傾斜角が大きく異なる。 26.46m:節理の下盤側に幅3cm程度でマンガンが濃集する。 29.16~29.44m:花崗斑岩。	(å)																125							
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *		浅黄橙		Vg		δ	4	径2~16mm程度の石英, 長石, 径7mm 以下の黒雲母の斑晶を20~25%程度 含む。下部は石英が濃集する。 30.44~30.89m:変質帯。上盤12°	BÖ.				30, 4 D'	19	4/23 31.40										120							_
_			**** **** ****		位	Dg	₩g				下盤12°。幅44cm程度。微細な節理 が発達している。 30.89~31.50m:長石の斑晶が密集して いる。	(0)		\parallel				<u>=</u>																	-
-			* * * * * * * * * * * * * * *			Dg	Vg	cg			31.31~34.81m: 傾斜45°及び60°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンや灰白色粘土を伴うことが多 い。	Į.	0]	Ħ			[CL]	4/15																	-
-			**** **** ****			Cg	IV g			3			3				[02]	34. 20 —									4/10 33,80				30.0	100			-
_			*	アプラ		Dg	IVg				34.81~39.78m: 傾斜25°及び75°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンや灰白色粘土を伴うことが多		13,					4/22																	-
-			**** *** ***	イト			V g VI g			4	い。 36.27~36.63m:変質帯。上盤76°, 下盤69°。幅8.7cm程度。灰白色粘	4				Cr.		36, 20																	-
-			* * * * * * * * * * * * * * *		明	Dg	Vg				土が網目状に分布する。	3 (0)		Ħ				4/14																	-
			* * * * * * * * * * * * * * * * *		褐灰	Cg	IV g	1		3			3 [13]					38.60										128							
— 40			##### ##### #####			Dg	V g			4	39.78~40.76m:傾斜45°及び70°程度	(0)						Ţ																	
-			**** **** ****			\vdash	V g IV g III g			3	の節理がみられる。節理に沿って灰 白色粘土を伴うことが多い。 39.78~39.98m:破砕帯(Hb)。上盤81° 下盤82°。幅3.1cm程度。礫混じり	N.				40. 7	6 40.76																		-
-	11.47	41.80	**** ***** *****			Dg	IV g				灰白色粘土からなる。縞状構造が認められる。 39.98~40.27m:変質帯。上盤82°、 下盤71°。幅9.4cm程度。微細な節		20 [3	1]		CW.														ダブル	40. 0				-
			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	花崗斑			IVg				理が発達している。 40.76~80.00m:コアは硬質~やや硬質 で、ハンマーで金属音~にぶい金属 音を発する。硬軟を細かく繰り返す	1	21														4 11 43.15		95	コアチ					-
-	8.81	44. 46		岩	褐灰	Bg	Шg				40.76~44.00m: 傾斜20°及び70°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンを伴うことが多い。 41.80~44.46m: 花崗斑岩。		18	[42]		43. 8	17												/ケーシング	ューブ/ダ			0.1	泥 水 5	5 -
-	7.62	45. 65	* * * * * * * * * * ; * * * * * * * * *	アプライト	44.		II g				径1~5mm程度の石英、長石、径3mm 以下の黒雲母の斑晶を25%程度含む アプライトとの境界は漸移的である 44.00~58.27m:傾斜20°程度の節理が	\parallel	28	[51	1	CH'	15											147		タイヤビ					-
-		46, 77	******** ********	ベグマタイト	浅黄橙	Cg	V g		r		発達している。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。 44.46~54.48m:アプライト主体。 径1~4m程度の石英、長石、黒雲母		7	1																ット	30. 0				-
			**** **** ****	アプ		Dg Bg	IV g				の斑晶を3~5%程度含む。花崗斑岩と の境界は漸移的である。 45.65~46.77m:ペグマタイト。 径5~60mm程度の石英,長石,径2~					CW.											4 12 47.80								
-			* * * * * * * * * * * * *	ノライト	明	Cg	Шg			2	5mm程度の黒雲母からなる。アプラ イトとの境界は20~40°程度。 46.89m:幅10mm程度でマンガンが濃集 する。		25	[49]		48.5	:2																		
— 50.	3.18	50.09	* * * * * * * * * *) * * * *) * * * *		褐灰	Bg	IV g	1			47.40~47.86m:コアの表面が褐色化している。 50.09~50.60m, 51.17~51.76m:斑晶		25	[48]		CH'	[CM]																		
-	2.67	50.60)	アプライト		Cg	IV g				の含有量が7~10%程度の花崗斑岩を 挟む。アプライトとの境界は漸移的 である。	Å	[22]			CW.																			-
-	1,51	51, 76	# # # # # # # # # # # # # # # #	ア			IV g						\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	34]	1000	52. CH'	16											149			40. 0	150			-
-			**** *** ***	プライ	明黄		II g	1				4		34	150,	53.1 CM'	2																		-
-	-1.21	54, 48	* * * * * * 3 * * * * * 1 + 1 + 1	, F	褐	Bg	Шg]			54.48~57.33m: 花崗斑岩。		19	\dagger	[62]	53. 8 CH' 54. 8	14																		-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗	明褐灰		IV g V g IV g				径2~12mm程度の石英, 長石, 径4mm 以下の黒雲母の斑晶を10~15%程度含む。		4 14	∦	H]															30. 0				1
			# +	斑岩	灰	r-	Vg IVg				57.33~59.50m:アブライト。 径2~8mm程度の石英,長石,径3mm以	10	[0]			CW.											4 14 57.00								
-	-4 .06	57, 33	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプ	淡橙		V g IV g V g IV g	ц		2	下の黒雲母の斑晶を1~5%程度含む。 58.27~75.65m:傾斜70°程度の節理 が発達している。節理に沿って一部			\parallel		58. 1	8 58.18										4 17 58.00	150							
-	000	E0 F4	# * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ラ	黒褐	Dg Eg	VIg	cg dg		3	褐色化し、マンガンや灰白色粘土を 伴うことがある。 58.28~58.87m:変質帯。上盤不明, 下盤62°。幅28cm程度。微細な節理	(a)		\parallel		D.																			
— 60	-0.23	59.50) = + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗		Cg	V g IV g				が発達している。 58.87~59.39m:破砕帯(Hb,Hc)。上盤 62°,下盤68°。幅23cm程度。母岩 を礫状に取り込むマンガン濃集帯。			\parallel	\parallel	59. t	[CL]											122			40. 0				
-			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	崗 斑 岩	明褐灰	Cg Ri	IV g			2	中間に明瞭な灰白色, 褐色粘土を挟む。粘土の傾斜角は64°である。 59.50~80.00m: 花崗斑岩主体。 径1~10mm程度の石英, 長石, 径3mm	ľ	[0]			CL.	12																		-
			<u> </u>		租	Cg Dg		cg		3	以下の無乗費の斑晶を5~20%程度含む。 斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。 61.11~61.22m:流理がみられる。傾斜	tq				62, 0	62,00																		 5−2

柱状図(60.00m~80.00m)

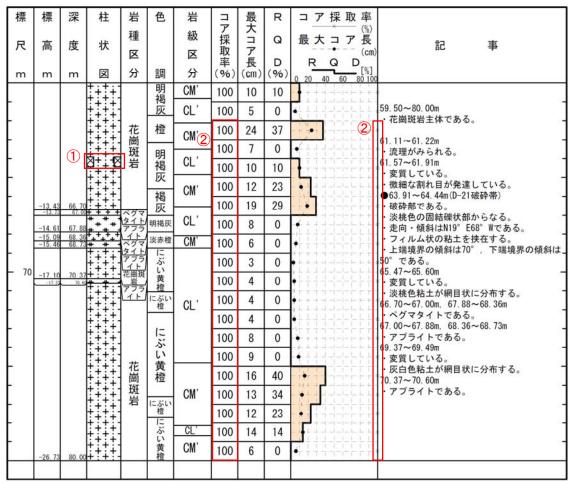
標	標	深	柱	岩	色	岩		最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	ア採		Q	最大コア長記事	
6.7	,,	^	,,,	区		区	取率	ア長	D	R Q D	
m	m	m	図	分	調	分(1	(%)		(%)	0 20 40 60 80 100	
		ì	+++		明褐灰	CM'	100	10	10	1	372
L			<u> </u>		灰	CL'	100	5	0	▲	
			++++	芷	橙	CM'	100	24	37	- + 10-1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	
			<u>+++</u>	花崗斑岩	明		100	7	0	◆	
			Ø++ 1 8	岩	褐	CL'	100	10	10	61.57~61.91m ・変質している。	-
			+++		灰	CM'	100	12	23	・微細な割れ目が発達している。	100
l l	-13, 43 -13, 73	66, 70	+ + + + -		褐灰	Oill	100	19	29	●63.91~64.44m(D-21破砕帯) ・破砕部である。	_
-	-14. 61	67, 88	* + * +	ヘクマ タイト アフラ	明褐灰	CL'	100	8	0	→・淡桃色の固結礫状部からなる。→・走向・傾斜はN19°E68°Wである。	10.T
t l	-15. 09 -15. 46	68. 36 68. 73	+ + +	ベクマ	淡赤橙	CM'	100	6	0	・フィルム状の粘土を挟在する。	-
-			++++	タイトアプラ	にぶ		100	3	0	「	料は _
- 70	-17. 10	70.37	++++	花崗斑岩	黄		100	4	0	・	1
- 1			####	アブライト		OL.	100	4	0	・淡桃色粘土が網目状に分布する。 ◆ 66,70~67,00m,67,88~68,36m	· ·
-			<u>+</u> +++-		橙	CL'	100	4	0	・ペグマタイトである。	8
-			++++		1=		100	8	0	67.00~67.88m, 68.36~68.73m ・アプライトである。	-
-			++++		ぶい		100	9	0	69. 37~69. 49m - •	627
- 1			++++	花	黄橙		100	16	40	・灰白色粘土が網目状に分布する。	-
-			++++	化崗斑岩	1日	CM'	100	13	34	70.37~70.60m ・アプライトである。	50
-			++++	岩	にぶい 橙	Oili	100	12	23	- [-
-			+‡+‡-		にぶ	CL'	100	14	14		-
-			‡+‡+		がい黄	CM'		6	0	1	-
\vdash	-26. 73	80.00	+ † + † -		橙	Oili	100	0	U	***************************************	_
ш											

1-184(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

(3/3)

標	標	深	柱	岩	色	硬		割りれ	風	記	コア採取率 岩岩 孔 内内 (標準貫入試験)試験 原位置 掘掘	圣 건	」給	回	送	送排
尺	高	度	状	種区			ア	目の			→ cm (m) N 度 1 度 2	m) コ イ !	上げて	数		水量
(m)	(m)	(m)	図	分	調			状態 1	化質	事		産呆隻	KN MPa ・	rpm	MPa _	ー/分 分)
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙	Bg	III g IV g	bg		2	74 (31) CM					
-				花崗斑岩	明褐灰	Cg Ba Ba Bg Dg	ΙVg	cg bs cg bg		63.91~64.00m: 変質帯。上盤70° 下盤27° 。幅30mは度。微細な節理が発達し、一部様状を呈する。 64.29~64.44m・変質帯。上盤70° 下盤80°。幅10m程度。淡桃色粘土が網目状化分布する。	122 (CM)					
-	-13.43	66, 70	+ +	ベヴマタイ	褐灰	Bg	IV g III g	bg		65.47~65.60m;変質帯。上盤42°, 下盤72°。幅4cm程度。淡桃色粘土 が網目状に分布する。 66.70~67.00m;ペグマタイト。		5				
=	-14.61 -15.09	67. 88 68. 36	* * * * * * * * * * * * * * *	アプライ	明褐灰淡赤橙	Cg Bg	Vg	cg bg		67.80-01-00-01-00-01-01-01-01-01-01-01-01-01	6					
- — 70	-17.10	70. 37	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑	にぶい	Cg Dg Cg	-	cg		経5~20m種度の石英、長石からな。 68.36~68.73m:アブライト。 径2mm以下の黒雪母の斑晶をわずか! 含む。 69.37~69.49m:変質帯。上盤58°, 下盤59°。幅6.2cm程度。灰白色粘		タンルニアヲ	レ コ ア チ		0.1	泥 一 5
-	-17.33	70.60	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	,,,,,,,	橙にぶい橙	Bg	Vg	bg	r	土が網目状に分布する。 70.00~70.37m:高角度の微細な節理が 発達している。 70.37~70.60m:アプライト。 径2mm以下の黒雲母の斑晶をわずか! 2 含む。	1	コーランタイヤヒ	l プ 40.0	150		
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶ	[IVg Vg				153	۔ ا	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	が黄橙	Dg Cg	Ī	cg		3	9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					-
-				岩	にぶい橙		IVg	bg		75.65~80.00m: 傾斜25°及び70°程 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンを伴うことが多い。	18 (CO) COM ; 18 (CO) ;	6				
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい黄	Cg Bg	Vg Vg Vg Vg	Og.			78. 10 CM				0.0	泥水 5
	-26.73	80.00	++++		橙	Cg	IVg	bg		2	29 80.00	+	+			٠

柱状図(60.00m~80.00m)



1-188(分類d)①

記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-184(分類b)②

報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

事業・工事名

ボーリング名	4)-5	調査位置		北緯
発 注 機 関			調査期間	東経
調査業者名		主任技師	現 場 コ ア 代 理 人 鑑 定 者	ボーリン グ責任者
孔口標高	+ 63.21 m 角 ^{180°} 上 方 _{270°}	' \ 90° 金 小丁0° 用	試 錐 機	マ <i>ー</i> 用具
総掘削長	65.00 m 度 下 _{0°} 向 西 18	数	エンジン ポン	・プ

総	掘削	長	65. (00 m	度	T ₁	0° F	ノ。		向	西東 東	知道		機種	Ι:	ノジン	_								ポン	プ									
標	標	深	柱	岩	色	硬		割	風	変	記			ア 扫 ・ ((取五	岩岩	岩岩	孔内		(標準	貫入	試験)	試験	原位	室		掘子	1 :	コドア	合回	送	送	排
				種			 P	れ 目						大 =	ァナ cm	級	盤	水位	^	(N 値	~ 深 [隻		原位置試験	内	進	進速度	m) :	ᆚ		水		
尺	高	度	状	区			形	の状	1				R				分	E 測定	N)							(孔内水平載荷)	試		Cm 星	ĕ ₁	ーブ/ビーバー	王 数 N	\	Î	量(一
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態		質	事		0	5)	分	類	定月日	値	0	10	2) 3)	40 5	載荷)	験	日	/ 時 記	木し、	ラ ト ト	'a rpm	m MPa	分	分
	62,21	1.00		シルト混じ り砂	にぶい黄						0.00~1.00m:マサ土 からなる。					1.	00 1.1	00												ŧ	咫	.0 0	0.0	無 水 0	0
					灰						1.00~10.48m: 花崗野 径1~15mm程度の石 以下の黒雲母の斑晶 む。全体に風化、多	英,長石,径5mm 晶を7~15%程度含	[0]																	/	ダーブルー				
_					白						が不明瞭である。 1.00~13.00m: コアに 一で著しい濁音を多 1.00~11.16m: 傾斜4	は軟質で、ハンマ きする。	[q]																159	4	アチュ				
_			++++		浅				δ		の節理がみられる。 白色粘土を伴うこと	節理に沿って灰	ia)																100	:	 ブ 20.	. 0	0.0	泥 水 10	10_
_			#### #### ####	花崗斑岩	黄					3			(a)												-					1	メタルク				-
-			+++++	4	にぶい黄								(a)			\dagger				-					-	-		5 /17		-	クラウン				L.
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		_ 橙_	Eg	VIg	g dg			6.61~8.56m: 赤色化 7.27~7.50m: 節理に 濃集する。		ro r			D,	[D]]		-								6.35 5 19 7.00	65		8.	80	0.0) 泥水3	3
-	54.64	8.57			橙				ε		7.54~7.97m:幅2~5 3条挟む。傾斜52~ 7.85~9.71m:破砕帯 上盤61°,下盤34°	75°程度。 (Hi, Hc)。	(a)		+					-					+	-		5/20 8.50	75		0.				
-			*: **	アプライト						4	中間に幅8~10cm程 粘土が分布する。* が認められる。傾余	度の明瞭な灰白色 占土には縞状構造 叫は67°を示す。	0							ŀ					+			8,50							-
— 10	52.73	10.48	++++	花 樹 斑 岩	灰白					3	粘土より上部は原見 褐色~赤褐色を呈す 部は原岩組織が認め 土が網目状に分布す	する。粘土より下 かられ、灰白色粘	0					5/22		-					+				- 13	15					-
_			***** **** ****	アプラ					δ	4	10.30~10.44m:変質 下盤56°。幅7.8cm 土が網目状に分布す 10.48~12.39m:アプ	帯。上盤47°, 程度。灰白色粘 ける。						11.2 □	-	F									91	4					-
	50.82	12.39	* * * * * * * * * * * *	イト	浅黄					3	径1~5mm程度の石 3~5%程度含む。花 は漸移的である。	も, 長石の斑晶を 崗斑岩との境界	K qu							ŀ								5 /							-
			++++	・	橙灰	t	IV g	bg cg			10.82m:幅5mm程度の 傾斜28°程度。 11.16~14.31m:傾斜 の節理がみられる。	20°及び65°程度		7		13.	00 13.	00										5/21 13.05	1						-
_				花崗斑岩	黄	Dg	IV g	g ba		2	ンガンや灰白色粘土 い。 11.92~12.31m:変質 下盤72°。幅12cm程	Lを伴うことが多 帯。上盤62°,	12	[23]						ľ										/	ダブルコ				-
_	47.47	15. 74 16. 02	+++++	アプライト	淡橙	Eg Dg	V g VIg IV g	g cg		3	が網目状に分布する 12.39~28.67m:花崗 径1~12mm程度の石	5。 斑岩。 英, 長石, 径5mm	10	1	Ħ			5 23 16.4												1	アチュ		0.0	泥水 1	1
_	47.19	10.02	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明褐	Cg	Vg Vg	bg	+	2	以下の黒雲母の斑晶 む。斑晶が密集する い箇所を繰り返す。 13.00~26.53m:コア	る箇所とそうでな	(8)		Ŧ															:	ブノダ				-
			++++		灰明赤灰	Dg Eg		cg]	3	ンマーで濁音を発す 14.31~20.89m:傾斜 の節理がみられる。 ンガンや灰白色粘土	50°及び80°程度 節理に沿ってマ	(0)						8										117		ヤービー	. 0			
					浅 黄	-	IVg	g			い。 15.35~15.52m:変質 下盤44°。幅6.9cm	帯。上盤66°, 程度。灰白色粘	12	2]		HCL		Ť													ト				
— 20			+ + + + + + + + + + + + + + + +			Dg		g cg		2	土が網目状に分布す 15.74~15.84m:変質 下盤83°。幅1.2cm 盤には灰白色粘土を	帯。上盤74°, 程度。上盤,下 上伴う。上盤と下	(6)				[CL		0													100	0		_
_				花崗斑	灰白	Eg	V g VI g	g dg	δ	3	盤の傾斜角が異なり 15.74~16.02m:アプ 傾斜72~74°程度。 17.67~18.00m:変質	ライト脈を挟む。	(8)					=										5 22 21.25	_						
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	岩			V g	g		3	下盤82°。幅15cm和 いピンク色の粘土が る。	星度。特徴的な濃 が網目状に分布す	100	1	\parallel	\parallel				-						-		21.25							
-			+			Dg		g cg	r	2	20.89~25.97m:傾斜 び70°程度の節理が に沿って灰白色粘が。	パみられる。節理			\parallel	\parallel				-						-			102						
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		浅黄	L	IVg	_						4		23.	98			-								5 23 23.80	- 17	6				\perp	+
					明褐灰	Eg		g dg	δ		24.96~25.12m:破砕 下盤47°。幅11cm和	星度。原岩組織は	(d)		\parallel	D,				-									93				0.0	泥水 2	2_
					浅黄	Dg	IV g	g cg		3	不明瞭で礫状を呈す 0.5cm程度の黄灰色		rđí			25. CJ.	00 26.	00								-			+	+		+	-		_

柱状図(0.00m~35.00m)

		H.	20-(4)-5	5			孔口	口標	高	T. P.	63. 2	21m	掘	削	長	65. 00m				
標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R		マゼ	取率									
735	1275	<i>/</i> *	11	種		級	ア採	大	5		*	(%)									
尺	高	度	状	区		区	取	コア	Q	(1.00.00	大コ	(cm)			記		事				
m	m	m	図	分	調	分	率 (%)	長 (cm)	D (%)	0 20	R Q	D [%]	2								
	62. 21	1, 00	::://	シルト混じり	にぶい 黄	2	100	^	_		7-1-1-	1	0.00~	1.00m ト混じ	り砂で	ホス	an se				
			‡+‡+	砂			100	0	0				・マサ	土であ	る。	ره، ري					
			++++		灰白		100	0	0		11-1-		・花崗		主体で						
			++++	花	浅		100	0	0	11	111	1111	原岩	・原岩組織が不明瞭である。							
L			++++	花崗斑	黄		100	0	0		111-		1				5-				
			‡+‡+:	斑岩	にぶい 黄橙		100	0	0	11	111		*				8.				
- 1			++++		7575555	D'	100	0	0	H	111		1	8. 56m			4				
- 1		(1)	+		橙		100	0	0		++		F色化が著しい。 7∼7.50m								
- 1	54. 64	8, 57	****	アプライト	П		100	0	0		777			目沿い 7.97m	にマン	ガン	が濃集する。				
- 10	53, 49 52, 73	9, 72	+ +	花崗斑 岩	//		100	0	0		111		・幅2~	~5cmの	石英脈 Im(D-20						
- 1			####	アプライト	白		100	0	0		777	FFFF	・破砕	部であ	る。						
-	50. 82	12. 39	+#+#-	イト	浅黄橙		100	0	0		1111		砂状部	及び灰	白色の	固結	部、淡赤橙色の固結 粘土状部からなる。				
- 1			++++	花			100	17	17								部:累計幅9.0cm 『Sである。				
ŀ			‡+‡+	花崗斑	灰黄		100	12	23	- 1/2			・上端 34°で		傾斜は	61°	. 下端境界の傾斜は.				
- 1	47, 47 47, 19	15.74	++++	岩	淡橙		100	10	10	r	8.	8. 75~9. 72m, 10. 48~12. 39m, 15. 74~16. 02m									
- 1	47, 19	16,02	‡ . ‡ . ÷	アブラ	明		100	9	0		44-1-		・アブ	ライト	である		10 Ah = = = 7				
			++++		褐灰		100	7	0				10.30	-10.44	4m	ーした用	移的である。				
			‡+‡+		明赤灰 浅黄	CL'	100	12	12	1	+	1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1-	·灰白			状に	分布する。				
٠			<u> </u>				100	9	0	7	##		10.82m ·幅5m		英脈を抗	夹む。					
- 20			++++		灰		100	8	0	+	111		*	-12.31			:-				
			++++	花	百		100	10	10	1			- 灰白	色粘土	が網目	状に	分布している。 , 下端境界の傾斜は				
			‡+‡+	花崗斑			100	7	0	•	4-1-1-		72° C	ある。		.02	, 下頭現がりが東京行る				
[岩	浅		100	14	14	7	+++		·変質	~15.52	る。						
		1	;+;+ ;=+;+;	h	黄	D'	100	0	0					色粘土 ~15.84		状に	分布する。				
		L	+ + + -		明褐灰	CL'	100	8	0	4	++	ttt	変質 灰白	してい	る。 状を呈	する					
			<u></u> ‡‡‡‡			CM'	100	26	47		•		17.6/-	-18.00)m	., w					
L			++++			CL,	100	22	65	- 1- 1			・濃桃	色粘土	が網目		分布する。				
	34. 54	28. 67	* * * * *	-	浅黄	CM'	100	12	12	1	4-1-1-		・破砕	部であ							
- 30			# # # # .	ア	典		100	9	0	1	444						からなる。 『Wである。 -				
-			****	アプラ			100	7	0	+	111						在する。 、下端境界の傾斜は				
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	1		CL'	100	9	0	;	++		47° で 27.57~	ある。			The state of the s				
-	2000 11	V284-044	####	۲	pr-		100	15	15	t	1111	iriri:	・変質	してい	る。		19				
-	29. 47	33. 74	* + * +	花崗斑	灰白		100	14	24	Ė		int t	・軟質 28.63~	-28.87	7m						
			++++	岩		-	100	14	14	ī	111	rrit	・幅3~ 28.67~		石英脈 Im	を挟	む。				
													・アブ	ライト	である		移的である。				
1 10	0 1		/ / \ 坐7										16 (0)	WA C	つりったか	10-14	12K1 C 07.07 9				

^{1-189, 1-190 (}分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。 (破砕部模様の変更) 1-191 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬		割	風	変	記			·採 (%		率	岩	岩	孔内		(標準貫入	、試験) [試 験	原位置	室	掘	掘		コギア	給 [(2 回 ji	Ť	送 排
尺	高	度	状	種			11	れ 目				- 1	大	cr	ア !	Ę	級	盤	水 位 m		(N 値	~ 深 ß	ŧ		旦試験 (孔	内	進		(mm)	チーユー				水 量 量
	ID)	12	100	区			π⊅	の状				R		Q [%		>	区	分	測定	N _						内水平	試	月	cm	壁	ĽΪ́	Ω /	pm Mi	~ /	$\widehat{\mathbf{I}} \widehat{\mathbf{I}}$
(m)	(m)	(m)		分	調	_	状		化		事 25.97~29.13m:傾斜40°及び70°程度	٩		50 T 1		100		類 26.00	日	値	С	0 10 2	0 30) 40	5	載荷)	験	B	· 時)			lPa	, .	3	分分
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗		Cg	IVg IIg II g			3	の節理がみられる。 26.53~31.14m:コアはやや硬質で、ハ ンマーでにぶい金属音を発すること が多い。		26	[4	n -	Щ	CL' 26,53 CM' 27,17																		
-			+++++	斑岩		Og Cg	Πg	cg	-		27.57~27.61m:変質帯。上盤64°, 下盤62°。幅1.8cm程度。濃いピン ク色の変質鉱物がみられる。		22		[65	Ш	CL' 27.71 CM'												93			1	00 0	.0	泥 水 2
-	34.5	4 28.67	**** ****		浅黄	Cg		bg			28.63~28.87m:幅3~5cm程度の石英脈 を樹枝状に挟む。母岩を礫状に取り 込む。傾斜82~87°程度。	T.	121	Ħ			28. 95											5/26 29,40							
_ 30			**** **** ***	-		Cg	IVg	bg			28.67~33.74m:アプライト。 斑晶はほとんど含まない。花崗斑岩 との境界は漸移的である。																	29,40							-
-			* * * * * * * * * * * * * * * *	アプライ		Cg Dg	IV g			2	29.13~34.48m: 傾斜50°及び85°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンや灰白色粘土を伴うことが多 い。	9																							
-			**** **** ****	イト		Cg Dg Gg	Vg Vg IVg mg Vg				31.14~33.86m:コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。	1	15																92			1	20		
-	29 4	7 33.74	* * * * * * * * * * * * *			Dg	IVg				33.07m:シーム。傾斜67°。幅0.2cm 程度の灰白色粘土からなる。周辺は		1 2	4																					
-	20.1	00.71	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	-			V g		-	١ ،	同系統の節理が発達している。 33.37~34.80m:節理に沿ってマンガン が濃集し、斑点状に沈着する。 33.74~53.94m:花崗斑岩。		14																						
-			++++	花崗斑岩	灰	Cg	V g V g				径1~15mm程度の石英、長石、径5mm 以下の黒雲母の斑晶を5~25%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでな	-	1 12	41			CL'											5/27 35,40							-
-	26.4	5 36.76	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		白	Cg	Vs IVg ∏g				い箇所を繰り返す。 33.86~47.00m:コアはやや硬質で、ハ ンマーでにぶい金属音を発すること が多い。	\parallel	2: [21	1				[CL]																	
-	25.8	0 37.41	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	~9791		Cg	n/a				34.48~45.92m:傾斜30°及び70°程度 の節理がみられる。一部節理に沿っ て褐色化し、マンガンや灰白色粘土 を伴う。	*																							
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg	Vg				36.76~37.41m:ペグマタイト。 径5~20mm程度の石英, 長石からなる 周辺にも細いペグマタイト脈を伴う 38.73m:シーム。傾斜71°。幅0.2cm																		98			1	00		
40			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			$\overline{}$	V.				程度の褐色粘土からなる。上盤側は 微細な節理が発達している。	t	1]																		10	0.0			_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg Bg	IV g II g IV g	cg) / /	30	[62]		40. 70 CM'																		
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	V g IV g				41.08m:節理に沿ってマンガンが濃集 し、斑点状に沈着する。	#	14				41, 42											5/28 41.80			ダブ	_	0	. 1	泥 水 2
-			++++		浅黄		IV g			2		10	10]																		ルコアチ				
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花		Dg Cg	Vg III g		r			*					CL.													76	ューブ				
-			++++	一崗田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田			Vg Vg Vg Vg						[22	21															89		ダイヤ				-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IV g				45.92~50.09m:傾斜25°及び70°程度 の節理がみられる。一部節理に沿っ		18	26]																	ピット				
-						Bg	Ha.				て褐色化し、灰白色粘土を伴う。 47.00~50.48m:コアは硬質~やや硬質 で、ハンマーで金属音~にぶい金属		[18]	1 241			47, 00 CM'	47,00																	
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		1=	Cg	IV g				音を発する。 47.67m:幅5mm程度の石英脈を挟む。 傾斜63°程度。	1				H	48. 13	COM)										5/29 48,50							
-			+++++		ぶい黄	Bg	IVg Vg					1	3 2	30			49, 00 CM'	[CM]										·							
— 50			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Bg	IV g				50.09~52.16m:傾斜40°及び70°程度 の節理がみられる。節理に沿って灰 白色粘土を伴う。	4				Н	50. 48	50.48																	-
-					にぶい橙	Cg Dg	₩ IVg			3	50.48~55.03m:コアはやや軟質~やや 硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金 属音を発する。	ŀ	2			Н	CL' 51.86												78			1	20		
	11.0	5 52.16 0 52.51	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト	明	Eg Dg	VIg	dg		3	51.86~52.16m:破砕帯(Hb)。上盤63° 下盤61°。幅14cm程度。礫混じり灰 白色粘土からなる。上盤、下盤には 暗褐色粘土を伴う。	/3 (0)		Ħ	Ħ		D'																		
_	9.2	7 53.94	# # #	斑岩	褐灰 灰白	−l Ce	Vg VIg IVg Vg		ŀ		52.16~52.51m:斑晶の含有量が2~3% 程度のアプライトを挟む。 52.16~65.00m:傾斜15°, 45°, 及 び80°程度の節理がみられる。節理	ŀ	12	\prod	$\prod_{i=1}^{n}$		53, 30											5/30 53,55			-	\dashv	\mid	+	+
				アプ	白	Cg	-				に沿って褐色化し、マンガンや灰白 色粘土を伴うことが多い。 53.94~56.44m:アプライト。			\parallel	\parallel	Н	CL' 55. 03																		-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	ライト	明褐灰			cg			径1~10mm程度の石英, 長石の斑晶を 2~3%程度含む。花崗斑岩との境界は 漸移的である。 55.03~57.65m:コアは硬質で, ハンマ		+	#	\parallel			ECI 1											96						
-	6.7	7 56.44	# # # # # # # # # # # # # # # # # #			Bg	IV g	cg			ーで金属音を発する。 56.44~65.00m:花崗斑岩。 径1~15mm程度の石英, 長石, 径5mm 以下の黒雲母の斑晶を5~20%程度含		13	\parallel	H		CM'	[CL]											50						
-			+				Vs IVg Vg IVg	bg			む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。 57.65~65.00m:コアの硬軟を細かく 繰り返す。		H	\parallel	H	H	57. 65														15	5.0	0	.1	泥 水 3
-			T + T + T + T + T + T + T + T + T + T +	花崗斑	-	Cg	V _E				□本 ブ ΣΣ ቻ ⊙		Ħ	Ħ	H	Ħ	CL'											5/31 58,85							
60			+ (+ T + +	岩	灰黄	Dg	V g	- 1			60.81~61.04m:変質帯。上盤29°.	1	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	UL												90						-
-							Vg VIg IVg	dg		3	下盤36°。幅19cm程度。灰白色粘土 が網目状に分布する。	7	8				61. 15 CM'												-						
			####				π _g Ψg V g	cg		_				4			61, 72 Gb. 00	62,00															\pm		\pm

H20-4-5

柱状図(0.00m~35.00m)

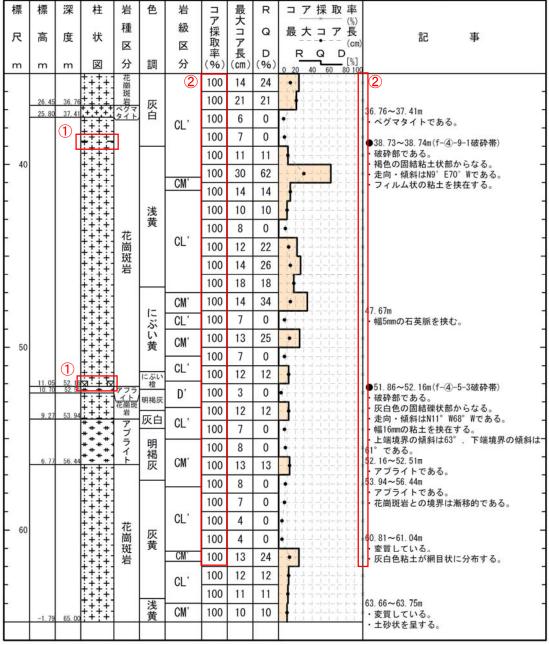
		H	20-(4)-5	5			孔口	1 標	高	T. P.	63. 2	21m	掘	削	長	65. 00m
	· T	_			- 1												
標	標	深	柱	岩	色	岩	コア採	最大	R		×	取率(%)					
尺	高	度	状	種区		級区	採取	コア	Q	最	大コ	ア 長 (cm)			話		事
			図	分	調	分	率 (%)	長	D (%)		R Q						
m	m	m		シルト 混じり	にぶい	//	100	(cm)	(90)	0 2	0 40	60 80 100	0.00~	~1.00	m		
 	62. 21	1.00	++++	避砂	黄	-	100	0	0	++					じり砂 ある。	である	· -
 			‡+‡+		灰白		100	0	0		111		1.00~	-65.0		である	
ŀΙ			<u>++++</u>				100	0	0		111				が不明		
Ι			++++	花崗斑	浅黄		100	0	0								-
ΙI			++++	斑岩	にぶい		100	0	0		4 4 -1 -						_
Ι			‡+‡+	Ţ	黄橙	D.1	100	0	0	Ė				0.50			
Ι			<u> </u>		橙	D'	100	0	0		4-1-1-	1-1-1-1		色化が	著しい		
	54. 64	8. 57	X++X	アプラ			100	0	0				7.27~ ・割オ			ンガン	- いが濃集する。
10	53, 49	9. 72	9*+ *	イト 花崗斑	灰		100	0	0		111-		7.54~ ·幅2		m の石英	脈を挟	eti.
	52. 73	10. 48	:+:+	岩	台		100	0	0	+	++		●7.8	5 ~ 9.	71m(D- ある。		
	Network	N-1200213	#### ####	アブラ イト			100	0	0		111		・主!	こ赤褐	色の固		は部、淡赤橙色の固結
	50. 82	12. 39	* * *	**	浅黄橙		100	0	0	1	11-1-	1111	・灰目	白色の	未固結	粘土状	************************************
			++++	花崗	灰黄		100	17	17	t	111						0°Sである。 , 下端境界の傾斜は_
LΙ			‡+‡+:	斑岩	淡		100	12	23	•	1111		34° 7		m, 10.	48~1	2. 39m. –
-	47, 47 47, 19	15, 74 16, 02	+ ⁺ + ⁺ - * * * :	アブラ	橙		100	10	10	1	+ i - i -		15. 74	~16.			-
- 1			++++	(1F)	明褐		100	9	0	•			・花崗	岗斑岩	との境		「移的である。 _
-			‡+‡+:		灰 明赤灰		100	7	0	•	777		・変貨		いる。		
- 1			++++	100	浅黄	CL'	100	12	12		111		10.82		土が網	目状に	- 分布する。 - - -
- 20			++++				100	9	0	+ 7	777	FEFF	・幅5 11.92		5英脈る 31m	を挟む	-
-			++++		灰白		100	8	0	•	444		・変貨	質して	いる。	日井/-	- - 分布している。
- 1			++++	花崗斑	"		100	10 7	10	j	777		・上並	湍境界	の傾斜		. 下端境界の傾斜は-
- 1			+	斑岩			100	14	14		1111		72° 7	~15.	52m		
ŀΙ			++++	Д	浅黄		100	0	0	1			・灰白	白色粘		目状に	分布する。 -
- 1			÷++		明褐灰	D'	100	8	0	\ _ I	111		15.74 ·変質		84m いる。		_
ŀΙ			<u>+++</u> +			CL(1)	100	26	47		•	(1)[自色粘 ~18.	土状を 00m	呈する	-
- 1			++++			CM,	100	22	65			7	・変貨	質して	いる。	1441	- - 公本する
 	34. 54	28. 67	++++		浅	CM'	100	12	12	F	111		1 24.	96~2	5. 12m (三分布する。 な砕帯)
	2013511	Saberara	####		黄		100	9	0	7	44-1-	-	· 明和	曷灰色			『からなる。 -
- 30			####	アプ			100	7	0								2°Wである。 - 終在する。
			####	ラ		01.	100	9	0	•	44-1-	- - - - - - - -		湍境界	の傾斜		, 下端境界の傾斜は
			#### ####	イト		CL'	100	15	15	1			27.57	~27.	61m		-
	29. 47	33. 74	#### ####		灰		100	14	24	•	7 7 7		・軟質	質化し	いる。	0	
			++++	花崗斑 岩	白		100	14	14	F	111	FFFF		~5cm	の石英	脈を挟	- الحدد -
										Ţ,			28.67 ・アフ		74m トであ	る。	
																	f移的である。

1-191 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬		割	風	変	記			·採 (%		率	岩	岩	孔内		(標準貫入	、試験) [試 験	原位置	室	掘	掘		コギア	給 [(2 回 ji	Ť	送排
尺	高	度	状	種			11	れ 目				- 1	大	cr	ア !	Ę	級	盤	水 位 m		(N 値	~ 深 ß	ŧ		旦試験 (孔	内	進		(mm)	チーユー				水 量 量
		IX.	10.	区			π⊅	の状				R		Q [%		>	区	分	/ 測定	N _						内水平	試	月	cm	壁	ĽΪ́	Ω /	pm Mi	~ /	$\widehat{\mathbf{I}} \widehat{\mathbf{I}}$
(m)	(m)	(m)		分	調	_	状		化		事 25.97~29.13m:傾斜40°及び70°程度	٩		50 T 1		100		類 26.00	日	値	С	0 10 2	0 30) 40	5	載荷)	験	B	· 時)			lPa	, 	3	分分
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗		Cg	IVg IIg II g			3	の節理がみられる。 26.53~31.14m:コアはやや硬質で、ハ ンマーでにぶい金属音を発すること が多い。		26	[4	n -	Щ	CL' 26,53 CM' 27,17																		
-			+++++	斑岩		Og Cg	Πg	cg	-		27.57~27.61m:変質帯。上盤64°, 下盤62°。幅1.8cm程度。濃いピン ク色の変質鉱物がみられる。		22		[65	Ш	CL' 27.71 CM'												93			1	00 0	.0	泥 水 2
-	34.5	4 28.67	**** ****		浅黄	Cg		bg			28.63~28.87m:幅3~5cm程度の石英脈 を樹枝状に挟む。母岩を礫状に取り 込む。傾斜82~87°程度。	T.	121	Ħ			28. 95											5/26 29,40							
_ 30			**** **** ***	-		Cg	IVg	bg			28.67~33.74m:アプライト。 斑晶はほとんど含まない。花崗斑岩 との境界は漸移的である。																	29,40							-
-			* * * * * * * * * * * * * * *	アプライ		Cg Dg	IV g			2	29.13~34.48m: 傾斜50°及び85°程度 の節理がみられる。節理に沿ってマ ンガンや灰白色粘土を伴うことが多 い。	9																							
-			**** **** ****	イト		Cg Dg Gg	Vg Vg IVg mg Vg				31.14~33.86m:コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。	1	15																92			1	20		
-	29 4	7 33.74	* * * * * * * * * * * * *			Dg	IVg				33.07m:シーム。傾斜67°。幅0.2cm 程度の灰白色粘土からなる。周辺は		1 2	4																					
-	20.1	00.71	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	-			V g		-	١ ،	同系統の節理が発達している。 33.37~34.80m:節理に沿ってマンガン が濃集し、斑点状に沈着する。 33.74~53.94m:花崗斑岩。		4 14																						
-			++++	花崗斑岩	灰	Cg	V g V g				径1~15mm程度の石英、長石、径5mm 以下の黒雲母の斑晶を5~25%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでな	-	1 12	41			CL'											5/27 35,40							-
-	26.4	5 36.76	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		白	Cg	Vs IVg ∏g				い箇所を繰り返す。 33.86~47.00m:コアはやや硬質で、ハ ンマーでにぶい金属音を発すること が多い。	\parallel	2: [21	1				[CL]																	
-	25.8	0 37.41	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	~9791		Cg	n/a				34.48~45.92m:傾斜30°及び70°程度 の節理がみられる。一部節理に沿っ て褐色化し、マンガンや灰白色粘土 を伴う。	4																							
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg	Vg				36.76~37.41m:ペグマタイト。 径5~20mm程度の石英, 長石からなる 周辺にも細いペグマタイト脈を伴う 38.73m:シーム。傾斜71°。幅0.2cm																		98			1	00		
40			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			$\overline{}$	V.				程度の褐色粘土からなる。上盤側は 微細な節理が発達している。	t	1]																		10	0.0			_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg Bg	IV g II g IV g	cg) / /	30	[62]		40. 70 CM'																		
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	V g IV g				41.08m:節理に沿ってマンガンが濃集 し、斑点状に沈着する。	#	14				41, 42											5/28 41.80			ダブ	_	0	. 1	泥 水 2
-			++++		浅黄		IV g			2		10	10]																		ルコアチ				
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花		Dg Cg	Vg III g		r			*					CL.													76	ューブ				
-			++++	一崗田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田			Vg Vg Vg Vg					ľ	[22	21															89		ダイヤ				-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Шg				45.92~50.09m:傾斜25°及び70°程度 の節理がみられる。一部節理に沿っ		18	26]																	ピット				
-						Bg	IV g				て褐色化し、灰白色粘土を伴う。 47.00~50.48m:コアは硬質~やや硬質 で、ハンマーで金属音~にぶい金属		[18]	1241			47, 00 CM'	47,00																	
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		1=	Cg	IV g				音を発する。 47.67m:幅5mm程度の石英脈を挟む。 傾斜63°程度。	1				H	48. 13	row)										5/29 48,50							
-			+++++		ぶい黄	Bg	IVg Vg					1	3 2	30			49, 00 CM'	[CM]										·							
<u> </u>			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Bg	IV g				50.09~52.16m:傾斜40°及び70°程度 の節理がみられる。節理に沿って灰 白色粘土を伴う。	4				Н	50. 48	50.48																	-
-					にぶい橙	Cg Dg	₩ IVg			3	50.48~55.03m:コアはやや軟質~やや 硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金 属音を発する。	ŀ	2			Н	CL' 51.86												78			1	20		
	11.0	5 52.16 0 52.51	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライト	明	Eg Dg	VIg	dg		3	51.86~52.16m:破砕帯(Hb)。上盤63° 下盤61°。幅14cm程度。礫混じり灰 白色粘土からなる。上盤、下盤には 暗褐色粘土を伴う。	/3 (0)		Ħ	Ħ		D'																		
_	9.2	7 53.94	# # #	斑岩	褐灰 灰白	−l Ce	Vg VIg IVg Vg		ŀ		52.16~52.51m:斑晶の含有量が2~3% 程度のアプライトを挟む。 52.16~65.00m:傾斜15°, 45°, 及 び80°程度の節理がみられる。節理	ŀ	12	\prod	$\prod_{i=1}^{n}$		53, 30											5/30 53,55			-	\dashv	\mid	+	+
			**** **** ****	アプ	白	Cg	-				に沿って褐色化し、マンガンや灰白 色粘土を伴うことが多い。 53.94~56.44m:アプライト。			\parallel	\parallel	Н	CL' 55. 03																		-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * *	ライト	明褐灰			cg			径1~10mm程度の石英, 長石の斑晶を 2~3%程度含む。花崗斑岩との境界は 漸移的である。 55.03~57.65m:コアは硬質で, ハンマ		#	\parallel	\parallel			FO: 1											96						
-	6.7	7 56.44	# # # : # : # ! ! ! ! ! ! ! ! ! !			Bg	IV g	cg			ーで金属音を発する。 56.44~65.00m:花崗斑岩。 径1~15mm程度の石英, 長石, 径5mm 以下の黒雲母の斑晶を5~20%程度含		13	\parallel	H		CM'	[CL]											50						
-			+				Vs IVg Vg IVg	bg			む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。 57.65~65.00m:コアの硬軟を細かく 繰り返す。		H	\parallel	H	H	57. 65														15	5.0	0	.1	泥 水 3
-			T + T + T + T + T + T + T + T + T + T +	花崗斑	-	Cg	V _E				□本 ブ ΣΣ ቻ ⊙		Ħ	Ħ	H	Ħ	CL'											5/31 58,85							
60			+ (+ T + +	岩	灰黄	Dg	V g	- 1			60.81~61.04m:変質帯。上盤29°.	1	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	UL												90						-
-							Vg VIg IVg	dg		3	下盤36°。幅19cm程度。灰白色粘土 が網目状に分布する。	7	8				61. 15 CM'												-						
			####				π _g Ψg V g	cg		_				4			61, 72 Gb. 00	62,00															\pm		\pm

H20-4-5

柱状図(35.00m~65.00m)



1-192, 1-193(分類d)①

記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

1-191 (分類b) ②

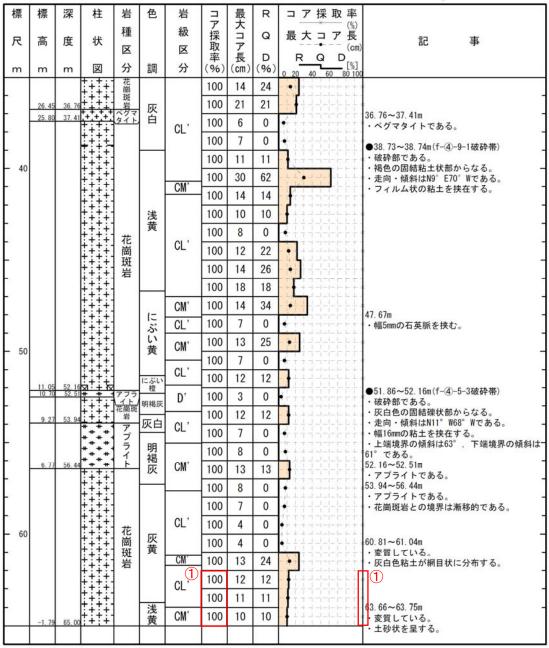
報告書の記載漏れを修正したため。

(3	/	3	١	
\	J	/	J	1	

標	標	深	柱	岩	色	硬	⊐	割	風	変	話	コフ - <u>-</u> -	P 採 (%		× .	岩岩	岩	孔内		(標	準責)	試	験	原位	室	掘		孔		給	回	送	送	排	:
				種			ア	れ目				最カ	t⊐	ア县	Ē.	級は	盤	水位m	$\overline{}$	(Ν	値	~ ⅓	架 度				原位置試験	内	進	進速	(mm)	チュ		転	水	水	水	
尺	高	度	状	区			形	စ				R L	Q			区:			N										孔内水平	試	月	度(m		ーブ/ご	_	数	_	Î	量(一	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	状態	化	質	事	0	50		100	分	類	測定月日	値	0		10	20)	30		40	50	載荷	験	日	時	但	゛ビット	MPa	ı	MPa	分		
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗斑岩	灰黄	Ca	V g	cg	r	2		12 [12]				DL.	CL]														6/2	90	76	ダブルコアチューブ	15.(120	0.1	泥水	1	
	-1.79	65, 00	+++++		浅黄	Cg Bg		bg		2	63.66~63.75m:変質帯。上盤67°, 下盤37°。幅7.2cm程度。土砂状を 呈する。上盤と下盤の傾斜方向が異 なり、不規則な形状を示す。	[0 [10]				63, 98 CM' 65, 00 (55, 00														63.80	80		/ダイヤビット				3		
																															65.00									

H20-4-5

柱状図(35.00m~65.00m)



1-191 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

-12 11 S 4211.						
ボーリングNo.						

緯

事業・工事名

調査位置

No.7

ボーリング名

杂	注 *	幾関												î	周査	期間	1												東		経							
		者名	+								主任技師:			_	見り		_					コ鑑	_	アー					_	一り責任		\vdash						
			1		角	180°	1		Τ,	方			使	-								鑑	定	者			ンマ	<u>_</u> T	グ	責任	上者_	Щ	—	—	—	_	_	_
孔	□ ł	票高	+ 3.2	29 m		上)-90		•	出 0°		用	ā	式 金	i 樹	1									落	下用	具		_			_		_	_	_	_
総	掘	手	165.	00 m	度	下0°	<u> </u>	/ 25°	. [句			機種	د	ェン	ジン	<u> </u>									ポ	ン	プ										
<u> </u>	l	l		l						. T	_	T :	コア	採	取率		Ι			,	1m 4	# 49	7 :	-+ F4	,	=-	# FA	百	Τ.	T	Т		П		$\overline{\Box}$			Τ
標	標	深	柱	岩	色	硬	- 1	- 1	風	変	話		-			一一一	岩	孔内	\neg	<u>(</u>	保 4	集貫				_ =3	験	原位置試験	室	掘	掘	孔 径	コアチ	給				排
				種			~	れ 目				j	最大		ア長	級	盤	内水位		(IN 1	≞ ~	深)	支			試験	内	進	速	(mm)	ㅁㅣ		転			
尺	高	度	状	 				。 の				-	R	CII Q				(m)	N									孔内	=-+		度	7L	ヺ	圧	数	圧	量	量
				区				状				-	L	[%]	ľ	分	測定月日	<u></u>									(孔内水平載荷)	高八	月	12	壁	-	kN	rpm	MPa		
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事			50		oo 分	類	日	値	0	1	0	20	3	0	40		荷	験	日	時	護	<u>ا</u> ا	MPa .	\cup	\cup	分	分 ()
					にぶい黄檀						花崗岩片,まさ等。	Ì		Ĭ				10 /														П					П	
-				埋土	明黄褐	1						H	+	H	Н	H		12/22		-								-				140		50.0				
			$ \wedge $	±	にぶい美絵										Ш	Ħ																140 ケーシング				0.0	無 水 0	0
	0.81	2.74			明黄褐							H	$^{+}$	$^{+}$	Н	H		$\frac{1}{2}$													450	5						
	0.07	3.55		有機質土混 リシルト	黒褐						植物片や木片を含む。		Ш	\parallel	Ш	\parallel				}								1					,				oxdot	L
-	-0.08	3.72	╨╨╨╨	有機質土	AR CT					- 1	腐植土、砂を含む。 泥炭状の腐植土。	H	\prod	H	\prod	\parallel				-								-		10/31						0.0	泥 水 13	13
	0.62	4.52		砂湿じり有 機質土 有機質土混 り粗砂	褐灰					Г	粗粒砂に腐植物片を含む。	Н	+	\dagger	H	H														4.50	,				+	\dashv	13	\vdash
Γ	-1.3t	5, 13										F	\prod	H						Ī																		
-											粗粒砂~細礫。	H	\mathbb{H}	+	H	H				-			1					+										
-													П		Ш	I																						
					اد							-	\mathbb{H}	+	Н	Н															367							
-					にぶい									I		Ħ				ŀ								1										
ŀ				砂	黄 橙							L	Ш	H	Ш	H												-					ダブル					
1,,											深度9.36m以深、褐色化強くなる。所 々に径1~1.5cm程度の花崗斑岩礫を含		$^{+}$	H	Н	Н														11/1	1		ルコ	100				
10											む。		\prod	H	Ш	I				Ī										10.10	,		チ	10.0				
-												H	$^{+}$		Н	Н				ŀ								+					ューブ					
-					橙								#	I	Ш	I																	$I \times I$					
	-8.37	12.86			におい英絵							H	+	₩	Н	Н																	メタルビ					
ŀ			" " "	有機費土混り砂	灰色					2	炭化物を含む粗粒砂。		Ш		Ш	Ĭ				ŀ								1			458		ット		60	0.0	泥 水 16	16
ŀ	-9, 26	13,85								ŀ	粗粒砂。所々に炭化物を挟む。		\Box	H		H				-								4									16	
					Ę						相種野。所々に灰化物を挟む。	H	+	H	Н	Н																114						
Γ				砂	にぶい#								Ш	H	Ш	H																114 ケ リ シン						
-					黄橙						深度16.16m以深、シルト分を含む。	H	#	+	H	H				}								+		11/2		ダ						
-	12.04	16.92								-	目却比めませる会か	H	\parallel	\parallel	Щ								4							16.60	1	1						
											貝殻片や木片を含む。	H	\mathbb{H}	+	H	H																						
Ī				シ	暗						深度18.20m, 厚さ0.1~0.5cmの炭化物層を挟む(傾斜30度)。	I		I	Ш					İ			1					1					,	\sqcap				
-				ルト	暗緑灰						ALL ACTION OF THE PROPERTY OF	H	+	+	Н	Н				-								+			516							
_ 20				質砂									Ш		Ш	Ħ																						١_
					4.0						深度20.13m以深、貝殻片を含まない。	H	\mathbb{H}	\prod	\prod	\parallel										I								30.0				
}	-16. 17	21.47	// ,		浅黄							Н	╫	∄	∄	\exists				}			1					\dagger		11/3								
-		21.95	· · · · ·	Zds	灰色					H	礫を所々に含む。 礫は径5cm程度、基質はシルト質砂。	F	\prod	\prod	Щ					-			4					-		21.50 11 6 22.20	210						L	L
	<u>-17. 47</u>		0 . 0 . 0	, P	灰						- 100 VIII	Н	\mathbb{H}	+	H	H														22,20	1		-	Π		0.0	泥 水 5	5
	1	1	8/18/8	砂質礫砂	黄					+	砂は細粒砂。	H	Щ	\parallel	Щ					İ			1								215		グフルコアチ	20.0	Ī	\exists		
-	-18.40 -18.69	23.93	## 		におい角粒							H	#	+	\mathbb{H}	H				}		_	+					+					j	_=	-	0.0	泥 水 16	16
L	18.91 19.01	24.50 24.60 24.00	0.000	砂質シルト	灰白					- 1	炭化物を含む。			Ħ	Ш	1														11/7]	メタルビット	Ш				
	13.20			一砂							径3~5cm, 最大径15cmの礫を含む砂礫 。基質は粗粒砂, 一部に風化礫を含む	H	\mathbb{H}	H	H	\parallel														25.00	1		2000			0.0	泥 水 3	3
			0.000	礫	灰黄						*	Н	∄	\sharp	Ш	\parallel				+			\dashv					1			155			30.0		0.0	泥 水 16	16
	-20, 98	26,78	?;;;;	礫混り砂		Н			_	+		\blacksquare				1	1													\vdash	\vdash	\sqcup		\dashv		0 0 Vo.	-	13
	<u> </u>											_				\perp	_												_	丄	Щ	Ш	\sqcup	\sqcup		10.	<u>/(1</u>	<u> </u>

柱状図(0.00m~35.00m)

		Н	19-N	lo. 7	7			孔口	1 標	高	T. P.	3. 2	29m	掘	削	長	165.	00m
		_								- 1								
標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最大	R	⊐	ア採	取率(%)						
尺	高	度	状	種区		級区	採取	コア	Q	最	大コ	ア 長 (cm)			話		事	
m	m	m	図	分	調	分	率(%)	長 (cm)	D (%)	0 20	2 Q	D [%]	3					
			-/	-	にぶい	3	100	4.55.7	,	0 20	+ -1 -1-	80 100	0.00~	~2.74 上であ				
			I X	埋土	明黄褐にぶい		100					FFF				等を含	む。	
-	0. 81	2.74		2 有機質 土混じ	黄橙 明黄褐		100				+		2.74~	~3. 55i	m			_
ŀ	-0.09 -0.43	4.10		りシルト	黒褐		100			-++	117					シルト 含む。	である。	-
ŀ	-0.8	4.5		有機質が上が	選 機 褐灰		100			-++	111-		 有模 		である	5.		-
ŀ				有機質土砂混じ	19/20		100			++	++		· 砂質		トであ		_	_
				り有機質土	12		100				1111		4. 10~	-4. 31	m	注土であ	る。	
-			• : • : •	有機質 土混じ り組砂			100			-	111-		4.31~	-4. 52			-	_
- 10			(2	砂	黄橙		100			-++	111-		4. 52~	-5. 13	m	土であ		7
ŀ							100			T T	1111		5. 13~	-12.8	6m	粗砂で	ある。	-
ŀ	-8, 37	12.86		2	橙にぶい		100			- 1 1	111-		• 炒て	である	0			-
t	-9. 26	1	ان، ٠٠٠	有機質土混じ			100				177-	EFF		~13. 卷質土		砂であ	る。	
				3000	にぶ		100						13.85	~16.	92m			
-			: : : :	砂	が黄		100			- + +				立砂。 マに炭	化物を	挟む。		_
ŀ	-12.04	16, 92	4//		橙		100			- + +			6. 92	~21.	47m			-
ŀ			1	シル	暗		100			- + +	111-				砂であ	る。 含む。		-
ŀ				ルト質	緑灰		100				###		18. 20	m			層を挟む。	-
- 20			1	砂	法共		100			-++	+	- - - - - - - - -	21. 47	~21	95m			
[-16. 17 -16. 60	21. 47 21. 95	0.0.0	砂	浅黄 灰色		100			11	111-		100000000000000000000000000000000000000	である	0			
-	-17, 47 -17, 75	22, 91 23, 22	19 0	砂礫	灰黄		100			-++	111-				礫であ m程度。		はシルト質砂。	_
ŀ	-18, 40 -18, 69	23, 93 24, 25		砂質シ	にぶい		100			Ħ				~23. である				-
ŀ	-19.02 -19.28	24. 6) 24. 9)	1000	ルト 砂健 砂質シ	灰白		100				111-		·炭化 23.93	ヒ物を ~24.				-
ŀ	-20. 98			砂礫	灰		100				111		·砂算 24.25		トであ 50m	5る 。		-
ŀ		1		4章	黄		100			- + +	++		·砂碛 24.50					-
				混じり砂	12		100				777		·砂型 24.60		トであ 90m	5る 。]
- 30	-23. 39 -23. 94		0 · 0 · 3	砂	ぶい		100				111-		・砂て 24.90					
ŀ			60.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0	五石混じり砂	黄橙		100			- + +	177	FFFF		巣であ 匀径3~		最大径	15cmの礫を含む	t:
ŀ	-26. 13	32, 46	60.00		明		100						26.78 ・礫淮		44m 砂であ	5る 。		-
ŀ	-26. 72 -27. 19		0 . 0 . (砂礫	43		100			- + +	+		27.65	~27.	88m		沙層。砂は粗粒	砂。-
				礫混じ り砂	灰白		100			-++	##		・炭化 29.44			質シル	トを挟む。	-
1-			198 (3										・炭化		含む。			
1_			4作成 202(タ			様を見	見直	した	ため	0				5混じ	り砂砂	である		
1	表瑪	を約	た一し	たた) (と) :め。								32.46	~33.	11m	最大征	圣30cmの礫を含	む。
1-			頁b) ③)記載:		を修	正 L .#	-+-)	₩.					33. 11		63m			
	+K 🗀 	= v,	, 日し 年 人 。 	//⊞10 	פו ים 	ш С1	_ /_ (,,, 		l			· 径1		の礫を	含む。		
													33.63・礫淮		58m 砂であ	5る 。		
													・径2	~5cm		(礫を含	む砂層。	
1					ıl										粒砂。			

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	記				取	率	岩岩				(標準貫入	試験)	試験	原位置試	室		掘子	i =	1 給			/ 5 送	
				種			ア	れ 目							。) ア : m	長	級型	盗 :	内水位	$\overline{}$	(N値	~ 深 ß	ŧ		験	内		進速	m) 7 =	L			水	
尺	高	度	状	区			形	၈					R	Q	!	D	区名	ر ا	测测	N						孔内水	試	月	度子の場		ィーへ	数	^	î	量
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	状態	化	質	事		_	[% 50) L	100	区分数	類	月日	値	0	10 20) 30	4	0 50	内水平載荷)	験		/時記	R .	/ lun-	Irpm	MPa	/	分)
				礫混	灰黄						径3cm程度の礫を含む砂層。砂は粗粒 砂。 深度27.65~27.88m:炭化物を含む砂	Ì	1	HĬ	H	IÏ													155	97 11 17 7				泥	
				混り砂							質シルトを挟む。		\perp		\blacksquare													11 8 28.60		1 /* /* /* /*		60	0.0	泥 水 13	13 -
		29,44		砂	にぶい						炭化物を含む粗粒砂。																						0.0	泥	2
			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	玉石混り	が黄橙						径3~10cm, 最大径30cmの礫を含む砂 礫。基質は中~粗粒砂。礫の混入率は 60%。				\parallel														120	5 1	;			13	
			0.000	砂								H	+		\parallel													11/0		7 7				泥	
		32.46	8.5.9¢	砂砂	明						中粒砂でシルトを挟む。				\parallel												•	11/9 32,20		タラルニアチューシ/タイヤヒ	r !	130	0.0	泥水2	2
			0,0,0	砂礫	緑灰						径1~5cmの礫を含む砂礫。																		104	† !	;		0.0	,	
				礫混	灰白						径2〜5cm程度の礫を含む砂層。風化礫 を多く含む。基質は粗粒砂。	H	+		Ħ													11 10 35.15		-		60	0.0	泥 水 13	13
-				砂砂	明緑灰灰							H	#															35.15		97 11 77 97	30.0			泥	
-	-29, 86	36.58		T.I.	赤						細〜粗粒砂とシルトの互層。細粒砂及 びシルトに炭化物を含む。		†		\parallel	\parallel													130	10/9/14/20			0.0	泥水2	2 -
-	-30.95	37.78	0000	砂	灰黄褐						径3~5cm, 最大径8cmの礫を含む砂礫	#	$^{+}$		\parallel																		0.0	泥 水 13	13
-			6.000 6.000 6.000	玉石混り	明						在3~3GIII,最大在3GIIID探を含む砂架 。基質は粗粒砂。	\parallel	‡		#	\parallel					-							11/1							
_ 40			0000	砂	褐灰							#	‡		\parallel	\parallel					-							39, 15	74				0.0	泥 水 2	2
-	-33.87	41.00	60.00								細粒砂、粗粒砂、砂礫の互層。		#		\parallel						-							11 12 41,25	,4						
-	-34.45	41.64	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	砂	明 緑 灰						福祉が、福祉が、	H	+		#	\parallel												41.25							
-			90.00		灰白						。 礫の風化は弱い。 深度43.84~43.12m:シルト~細粒砂	H	‡		\parallel	\parallel					-								104						, -
-			000000 00000 00000 00000	1 温	黄橙	-					を挟む。	H	+		#	+										$\left \cdot \right $, -
-			0.080	砂礫	橙橙					2	深度45.09~45.15m:シルトを挟む。	Ħ	‡		#											$\left \cdot \right $		11 13 44.80	11 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2	5 5					, -
-											深度45.25~45.37m:細粒砂を挟む。	H	#	H	\parallel	\parallel										$\left\{ \ \ \right $				=	í	130			
-	39.00	46.66		有機費土型 り砂	- 褐						炭化物を含む中~粗粒砂。	H	#	H	#	\parallel					-					$\left\{ \ \ \right $			76) j			0.0	泥 水 4	4 _
-	30,11			玉石.	灰白						径3~5cm,最大径19cmの礫を含む砂礫	Ħ	#		#						-					$\left\{ \ \right $		11/ 14 48.04	-	/ 5 1 t L	ž				
-			0.000	混り砂	明黄褐						。基質は粗粒砂。くさり礫の割合が多 い。	Ħ	‡		#						-					$\left\{ \ \ \right $				† - - -	7 35.0				
_ 50	-41.88	49.84	S . S .		褐						中~粗粒砂。傾斜14~37度の構造あり	Ħ	#	H	\parallel	Ħ										$\left\{ \ \ \right $			82						-
-	43, 22	51.32	0.0.0	砂	橙						0	H	+	H	\parallel	H					-					$\left\{ \ \right $									
-			0.000	一砂	浅黄橙						最大径40cmの巨礫を含む砂礫。基質は 砂。固結度は高い。	0	1		\parallel						-					$\left\{ \ \ \right $		11 15 52,34							
-	<u>45, 1</u> 9	53,49	0.0.0	礫	橙							Ĭ	1 6		\blacksquare						-					$\left\{ \ \right $		02.04							
-			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	花崗斑岩	灰	-	₩g	Н	δ		深度53.49~66.10m:アプライト。 石基は径0.2~0.5mm程度で、径3~7m m程度の石英、長石及び径0.5~1mmの 黒雲母の斑晶が点在する(0.5%以下		K	36	\prod	\prod	CL.	1			-					$\left \cdot \right $			115		15.0		0.0	泥水3	3
-	47.01	55.50	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	斑岩	首	Dg	Шg Ig	ha l			黒裏母の城舶か点任する (0.5%以下))。 深度55.10~56.10m:全体に風化し、 軟質で黄褐色を呈する。		\pm	\mathbb{N}	56	4 C	H				-					$\left\{ \ \ \right $						-		3	-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		明黄褐		II g VI g								1/9						-					$\left\{ \ \right $		11 16 56.45							
-			****		149	Εø	Пg				深度56,31~61,50m:全体に風化し、 軟質化している。節理に沿って黒褐色 を帯びる。		ľ	1 3 f			D. [D]			-					$\left\{ \ \right $		00.45		タンルニアチ	; i				
-				7			Шg	cg					\pm	$\ $	53 ,,	11					-					$\left \cdot \right $			005	7 7 3 1 2	30.0			泥	
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライ	沙		I g		γ				4		R91						-					$\left\{ \ \ \right $			205		ĵ	60	0.0	水 13	13
— 60			* * * * * * * * * * * * * * *	1	浅黄橙		Шg Пg	H				\parallel	#	N	59	1		\forall			-					$\left\{ \ \ \right $				タルヒット	<u> </u>	000			\mid
-			* * * * * * * * * * * * * * * *			Dg	IV g	1				\parallel	+		\mathcal{H}		CT.	(L)			-					$\left\{ \ \right $		11/20 60.90	\dashv	77 117 77 73 17				-	\dashv
-			****				VIg				深度61.50~62.70m:コア流出。		1		\parallel	\parallel	D,				-					$\left \cdot \right $			129	731779744			0.0	泥 水 2	2 -
			****		におい美物	Cg	Ng Ng	Н		Н		_[`]		Ш	Ш	Ш	CL"	+	+							\vdash			+	1 2	35.0	130	No.	7(2	/ 5)

柱状図(0.00m~35.00m)

標 標 深 柱 岩 色 岩 ファ	H19-No. 7	孔 口 標 高 T.P. 3.2	29m 掘 削 長 165.00m
世土 (100	尺 高 度 状 種 級 M M M M </td <td>ア 大</td> <td></td>	ア 大	
100	10 16.92 13.85 14.47 19.48	100	・ 理当である。 ・ 花崗

標	標	深	柱	岩	色	硬	_	割	風	変	記	取率 岩岩 孔 (標準貫入試験)		原位置試	室		掘名		給	Т		/ 5 送	排
尺	高	度	状	種			ア	れ 目				ア長	度	試験(孔	内	進	進 恒速 / /	١ァ	.		水圧		水量
		及	1/\	区			形	の状				D 区分 測 N 定)			試		(cm)星	<u>[</u>		-	MPa	$ \widehat{} $	<u>-</u>
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事	分 類 日	30 40 50	載荷)	験	日	時調	リ カ	MPa	3	_	分	分
-				一礫混り	灰 黄						径3cm程度の礫を含む砂層。砂は粗粒 砂。 深度27.65~27.88m: 炭化物を含む砂 質シルトを挟む。						155	ブルコアチューブ			0.0	泥 水 13	13-
-				砂砂												28.60		メタルピット		60			_
		30,05		砂	にぶい						炭化物を含む粗粒砂。 径3~10cm, 最大径30cmの礫を含む砂										0.0	湿	13_
-			60.00	玉石混り	黄 橙						機。基質は中~粗粒砂。礫の混入率は 60%。						120	ダブルコフ					7
-	-26 13	32.46	0000	砂												11/9		チューブ		130	0.0	泥水2	2 -
-				砂	明緑灰						中粒砂でシルトを挟む。 径1~5cmの礫を含む砂礫。							ダブルコアチューブ/ダイヤビ				2	-
-	-27.19	33.63	0.0.0		灰灰						径2~5cm程度の礫を含む砂層。風化礫 を多く含む。基質は粗粒砂。						104	ツト	-	_	0.0	泥	0
F				礫混り	八白 明緑灰						ES VEG. EXIMINE.					11 10 35.15		ダブル	$\frac{1}{2}$	60	0.0	泥 水 13	13
-	-29, 86	36.58		砂	灰灰赤													ダブルコアチューブ/ダ	30.	0	0.0	泥水 2	2
-	20 05	37.78		砂	灰黄褐						細〜粗粒砂とシルトの互層。細粒砂及 びシルトに炭化物を含む。						130	イヤビット・・・・・・・	-		0.0	泥 水 13	13
-	50.50	07.70	9000	玉							径3~5cm,最大径8cmの礫を含む砂礫 。基質は粗粒砂。					., /		Videori	1		0.0	13	
-			0.000	l îi	明褐灰											11 39, 15					0.0	泥水2	2
40		41.00	0.00	一唑													74					2	
		41.64		砂	明緑						細粒砂、粗粒砂、砂礫の互層。					11 12 41,25							一
			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4	灰灰灰灰灰灰						径3~5cm,最大径10cmの礫を含む砂礫 。礫の風化は弱い。												
			0 0 0 0 0	1 =	白						深度43.84~43.12m:シルト~細粒砂 を挟む。						104						
			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	玉石混り砂礫	黄 橙					2	W 15 00 15 15 N 1 1 1 1 1 1 1					11 13 44.80	11 7						
-			0000								深度45.09〜45.15m:シルトを挟む。 深度45.25〜45.37m:細粒砂を挟む。						ケリング	=	/ I	130			
-	-39.00	46.66	9000	有機質土型リジ	黄褐						炭化物を含む中~粗粒砂。			-			76	アチュー	.		0.0	泥 水 4	4 _
-	-39, 72	47, 46		五石	灰白						径3~5cm, 最大径19cmの礫を含む砂礫					11/ 14 48.04		ーブ/ダノ					-
-				混り砂	明黄褐						。基質は粗粒砂。くさり礫の割合が多 い。							イヤビッ	35.	0			-
_ 50	-41.88	49.84	8	礫	褐						中〜粗粒砂。傾斜14〜37度の構造あり						82	ット					-
-	<u>-43, 22</u>	51.32	0.000	砂	橙						0												-
-			0.000	砂	浅黄橙						最大径40cmの巨礫を含む砂礫。基質は 砂。固結度は高い。					11 15 52,34							_
-	-45, 19		0.000		橙																		-
-			O · O · C C C C C C C C C C	花崗斑岩	灰	Ug	IV g Ⅲ g	cg	δ		深度53.49~66.10m:アプライト。 石基は径0.2~0.5mm程度で,径3~7m m程度の石英、長石及び径0.5~1mmの 黒雲母の斑晶が点在する(0.5%以下	CL'					115		15.	0	0.0	泥 水 3	3
-	<u>-47. 01</u>	55.50	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	岩	百	JUE .	I g	bg)。 深度55.10~56.10m:全体に風化し、 軟質で黄褐色を呈する。	56 779											-
-			**** **** ****		明黄褐		VIg		-		深度56.31~61.50m:全体に風化し、					11 16 56.45		ダブ	-				_
-			* * * * * * * * * * * * * * *				Ιg				軟質化している。節理に沿って黒褐色 を帯びる。	[D]						ブルコアチ	, I				-
-			* *	- <u>ア</u>			Ig	cg				8					205	チューラ	30.	0	0.0	泥 水 13	13
			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	アプライ	浅				r			[82]						メタ		60		13	1
60			* * * * * * * * * * * * * * * * *		浅黄橙	Dg	II g IV g	-				59				11/20		ルビット					
			****				Иg	bg			深度61.50~62.70m:コア流出。	[CL]				60.90	129	ダブルコアチューブ/ダイヤビッ	20.	0	0.0	泥水	2 -
			* * * * * * * * * * * * * * * * *		におい美術		VI g					o. or.						ノダイヤビット	35.	0 130		2	
						1	1		l												No.	7(2	/5)

柱状図(35.00m~70.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コ	最	R	コア採取率	
尺	ᇂ	r#=	状	種		級	ア採	天コ	Q	最大コア長	記事
Д	高	度	1,5	区		区	取率	ア長	D	R Q D	āC \$
m	m	m	図(2分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
_		1		礫混じ り砂	灰白 明緑灰	3	100			- + + + + -	3
_ }	-29, 86	36, 58		砂	灰赤		100				36. 58∼37. 78m
_	-30, 95	37, 78	0.0.0		ープ 灰黄褐		100			- + + + + +	・砂である。 ・炭化物を含むシルトと互層する。
-			0.000	石混	9		100				37.78~41.00m ・玉石混じり砂礫である。
- 40			9.0.0	ŭ	褐 灰		100			- + + + + +	・平均径3~5cm、最大径8cmの礫を含む。
-	-33, 87	41.00	° ° ° 89	砂礫			100				・基質は粗粒砂。
-	-34. 45	41.64	· · ·	砂工	明緑灰		100				41.00~41.64m ・砂である。 -
_			80.000 0.0000	玉石	黄褐		100				41.64~46.66m - 玉石混じり砂礫である。 -
-			0.00	石混じ	2 迫 黄橙		100				・平均径3~5cm, 最大径10cmの礫を含む。 43.84~45.73m
_				IJ	橙		100			-+++	・所々、シルト〜細粒砂を挟む。
-			0.000	砂礫	黄		100				2-
-	-39, 00 -39, 72	46, 66	ا _{اا} ، ،	有機質 土混じ	褐		100			- + + + +	46. 66∼47. 46m
-	-39, 72	47.40		り砂	灰白		100				・有機質土混じり砂である。 47.46~49.84m -
-			80.000 0.0000	玉石混 じり砂 礫	明黄		100			-+++	・玉石混じり砂礫である。 ・平均径3~5cm、最大径19cmの礫を含む。
- 50	-41, 88	49.84			褐		100				・くさり礫が多い。 _
- [-43. 22	51.32	•	砂	橙		100			- + + + + +	49.84~51.32m ・砂である。 -
-			0.0.0	砂礫	浅黄		100	4		+++++++	5 1.32~53.49m - 砂礫である。
-	-45. 19	53, 49	0.000	礫	橙		100	10	10	+ + +	・最大径40cmの巨礫を含む。
-	- 10.10		+++	花崗	にぶい 褐	CL'	100	16	16		\$3.49~55.50m ・花崗斑岩である。
-	-47, 01	55, 50	++++	崗斑岩	灰白		100	36	90		・全体的に風化している。 -
-			####		明黄		100	56 24	79 36	1 1 1 1 1 1 1 1	\$5.50∼66.10m _ ・アプライトである。
-			****		褐	D'	100	44	67		・全体的に風化している。 -
-			###			U	100	53	93	- + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	o-
-			####	_	浅		100	26	82		§-
- 60			**** <u>*</u>	アプ	黄		50	59	73	- + + + + +	-
-			"	ライ	橙	CL'	70	32	32		8-
-			*	۲		D'	100	3	0	1111111111	<mark>6</mark> 1.50~62.70m ・・コア流出。
-			****		にぶい 黄橙		100	17	17		
-			####		にぶい 黄褐	οι '	100	30	86		2-
-			*****		(こぶい) 黄橙	CL'	100	27	67		:-
-	-56, 62	66, 10	* * * * · ·		浅黄橙		100	27	53	+++	66.10∼69.80m
-			‡+ <u>+</u> +	花品	にぶい 黄橙	CM'	100	10	10		・花崗斑岩である。 ・66.72m以深は、弱風化している。
-			<u> </u>	花崗斑岩	褐灰明黄褐	UNI	100	27	89	- + + •	- Similar Salmina C. A. O.
-	-59, 97	69. 80	++++	岩	明夷倘	CL'	100	26	67		8-
	50, 57	29, 00	* * * *	アブラ				### ### ### ##########################	0.5080	n letel to the	69.80~165.00m ・花崗斑岩主体で、一部にアプライトを挟む
							,				- 1に岡城石土14年で、一部にアノフイトを挟む。
1 0/	24/4	を	\ <u>(1)</u>							1-203(分類	1110

1-204(分類c)① 審査資料作成の際に模様を見直したため。 1-206~1-210(分類c)② 表現を統一したため。

1-203(分類b)③ 報告書の記載漏れを修正したため。 1-211,1-212(分類c)④ 基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

標	標	深	柱	岩	色	硒		割	凮	変	記		ア‡	采取	率	岩岩	¥ .	ŦL		(標準貫入	試験)	試験	原	室	掘	掘	귀	_	給	(回	3 /) 排
175	175	/A	111	種		灰		れ	/35%	2	gC.			%) コア		級盤		内口		(~深度			原位置試験				径 (mm)	アチ			水		水
尺	高	度	状	1里				目 の				→ R		cm Q	Ы	区分	1	m)l	N						Æ		月	度	/ 孔	ーブ	圧	数	圧	量	量
			[27]		調	あわ	状	状能	<i>1</i> 1-	艇	事	_	. [%]		分判		官	値						内水平載荷)		刀 日	(m /時	壁保護	/ビット	kN MPa	rpm		ー/ 分	レン分
(m)	(m)	(m)	図 *****	分	にぶい黄	Gg	1∧ IIg	Ш	16	貝	*		7	50	100	7) *	Ħ	=		0	10 20	0 30		40 5	io ^{1PJ}	湖火	11.7	129	改		35 0	130	$\overline{}$	泥水2	2
-			**** **** ****	アプライ	関権にぶい英福	Cg	ΙVg	-			深度63.70~65.40m:節理に沿って黒 褐色化顕著。		30	\parallel	\parallel										+		63.90				_			Ź	-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * *	フイト	雑なが正	H	Ⅲg Ig					\mathbb{H}	27	[86	1	CL'									+										-
-	-56.62	66.10	* * * * * * * * * * * * * * * * * *		浅黄橙	Dg	IVg	cg			花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 深度66.10~69.80m:花崗斑岩。		27		57]										$\frac{1}{2}$								0.0	泥 水 3	3 _
-					にぶい美術		Пg				程3~5mmの石英、長石、黒雲母の斑晶 を40~50%程度含み、石基は径0.5mm 程度である。	7		[53]	\blacksquare	[0	L]								-										-
-			+++++	花崗斑岩	褐灰明黄褐	Cg	Νg				深度66.72m以深、風化弱く, 褐色を帯 びるが、全体に柱状で硬質コアをなす。	No.	27	Н	\prod	OM.									-			144				250		-	_
-			+ + + + + + + + + + + + + + +	4	褐			bg					26	(8	9]										-						20.0		0.0	泥 水 3	1 -
— 70		69.80	****	アプ		Dg					アプライト、上位との境界不明瞭。 深度69.80~165.00m: 花崗斑岩主体で 、一部にアプライトを挟む。		18	П	593	GL"																			_
-	-61.51	71,50	* * * * * * * * * * * * * * *	アプライト	浅黄橙			cg		2	花崗斑岩は、径3~5mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を1~5%程度含み、 石基は径0.1mm程度で一部径0.2~0.5		20	[58]											-										-
-			*		恒	Cg Dg	Шg				mm程度を示す。全体に流理は不明瞭である。 深度71.15~71.40m:傾斜50度程度の	\Box	29	[49]	П	OM.									$\frac{1}{1}$		11/22 72,20								-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	-				節理発達。 花崗斑岩、上位との境界不明瞭。	H	N	[88]						-					-								0.0	泥水5	,
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		淡	Dg							$\frac{1}{2}$		711	[CI	M]								-								0.0	5	-
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙			bg			深度75.00~78.22m:全体に褐色化顕	N	4)	Н	Н										$\frac{1}{1}$										-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶ	Ug	IV g II g				著。傾斜60~70度の節理発達。			Н	70)	м									-			198				360			-
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		ふい黄橙	Dg	₩g						M	4		31.									-						30.0				4
-			##### ##### #####		位		Πg				深度78.22~78.24m:破砕帯(Hc)。上	H		185		_									-								0.0	泥水 4	3 -
-			++++ ++++ +++++ +++++ +++++		灰白	Eg				3	盤62度, 下盤60度。幅15mm, 暗褐色シ ルト〜黄褐色砂質シルト状。 深度78.24〜79.48m:破砕帯(Hj)。上盤	H				D.									-		11 23 79.30			ダブル		Ш			_
_ 80			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		淡橙灰	1	Ιg				60度。下盤68度。節理密集部, 礫状。 深度79.48~79.56m:破砕帯(Hb)。上盤68度、下盤66度。幅53mm, 褐灰色シ ルト質際及び暗褐色シルト状。	H	H												-		79.50			コアチ					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		白	Dg Eg			r		深度81.00~82.60m: やや軟質化し、	H	H		[98]										-				76 / 泥水	ューブ	25.0	130	0.0	泥水 2	0 -
-			+++++		にぶい黄橙	Dg	IVg	cg			節理に沿って黒褐色を帯びる。				98]	[C	L)								-			148		/ダイヤ				2	-
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		灰白	Cg	II g				深度83,15~84.60m:全体に風化し、 軟質化している。		1		[75]										$\frac{1}{1}$					ヤビット					╛
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		にぶい黄檀	Dg	Н				秋見化している。		\prod	[55]	Π	SL'									+										-
-			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +	花崗斑岩	灰白	Cg Gg	Шg	bg			深度85.30~87.42m: 節理多く角礫~		1	7 [85	1										$\frac{1}{1}$		11/24								+
-			+ + + + + + + + + + + + + + +	岩	にぶ		IV g	og bg			短柱状コアをなす。			d)	H										-		85,35								-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		が黄橙		IVg	1 1			深度85.00~100.00mまで斑晶少ない。		[31	1	\mathbb{H}										-										-
-			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +				III g IV g				深度88.00以深、密着した節理が多い		[28]	H	H										-						20.0				1
-			++++			Cg	III g IV g	bg		2	•	\mathbb{R}	28	41	H	OM.									+						30.0				-
— 90			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Πg						7		683										$\frac{1}{1}$			208							\dashv
-			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +		灰白			cg bg					+	[44]	Щ.	OM.									-							360	0.0	泥水3	1 -
-			+				IVg	П			深度91.47m:幅4mmの石英脈あり。	H	26	[44]	\blacksquare					}															-
-			+			Dg		cg			深度92.85~92.95m:幅1~7mmの石英脈あり。		7	H	703	[CI	M]			}					-		11/_								-
-					におい	Cg					深度93.00~100.00m:幅数mm程度の石 英脈を所々に挟む。	181	20	$\ $	\blacksquare	1				}					-		93.65								-
-					橙	Dg Cg	Шg				深度95.00~97.50m:傾斜30~60°程		26	41		OM.				}															-
-			+		灰白	Dg Cg		hσ			度の密着した節理が多い。	H	Ň.	[8						}								149			35.0				-
-					にぶ	Dg	₩g	26				H	ľ	[56]	\prod	CL.				-															-
-			+		ぶ い 橙	Cg	Шg				深度98.50~98.83m付近に高角度な幅 2.5~5cmの石英脈あり。		28	[\$1]	\parallel	OM.				}					$\frac{1}{2}$										-
			####		浅黄橙		IVg				2.0~30㎜の石 央際のり。	\perp	Ί	[5)	Щ	-	$\frac{1}{1}$															\dashv	No.7	7(3/	' 5)

柱状図(35.00m~70.00m)

m	高 m 29.86 -30.95	度 m 36.58 37.78	60.0.0 0.00.0 0.00.0	種区分濃砂砂玉石混	調 原 灰 灰 一 灰 灰 一 灰 ボーブ 褐	級 区 分	ア 採取率 (%)	大コア長(㎝)	Q D (%)	最大コア長 R Q D [%] 0 20 40 60 80 100	
m	m -29.86 -30.95	m 36, 58 37, 78	×	分離混む砂砂	灰白 明線灰 灰赤 灰オリ	35	率 (%) 100	長		R Q D [%]	
40	-29. 86 -30. 95 -33. 87	36, 58 37, 78 41, 00		確混じ り砂 砂	灰白 明線灰 灰赤 灰オリ	分	100		(%)	[%]	
40	-30, 95 -33, 87	37, 78		砂砂	灰赤		111111111111111111111111111111111111111				
40	-30, 95 -33, 87	37, 78			灰オリ ーブ					+ + + * + +	
40	-33, 87	41, 00	60.0.0 0.00.0 0.00.0		- J		100			36. 58∼37. 78m	
_			9.000	石	次與傾		100			+ + + + ・砂である。 - + +	
_			9.000	混	明		100			37.78~41.00m ・玉石混じり砂礫である。	
				l ii	褐灰		100			・平均径3~5cm, 最大径8cmの礫を含	む。
F	-34, 45	41.64	00089				100			ム ム ム ム ム 山 山 山 山 ・ 基質は粗粒砂。	
			0000	砂	明緑灰		100			41.00~41.64m ・砂である。	
- 1			6.00.00 6.00.00	玉石	黄褐 灰		100			+ + + +41.64~46.66m 	
			9.000	湿	白 黄橙		100			・平均径3~5cm, 最大径10cmの礫を4	含む。
			0.000	1 1			100			43.04~43.75	
			0.00.0	砂礫	橙黄		100			+++++++	
	-39. 00	46, 66	ا م	有機質	褐褐		100			46. 66~47. 46m	
F	-39, 72	47, 46		土混じり砂	灰白		100			・有機質土混じり砂である。	
			0.0000	玉石混 じり砂 礫	明黄		100			47.46~49.84m ・玉石混じり砂礫である。	
50 -	-41, 88	49. 84	9,00	**	褐		100			・平均径3~5cm、最大径19cmの礫を3 ・くさり礫が多い。	含む。
		F. 00		砂	橙		100			49.84~51.32m ・砂である。	
F	-43, 22	51.32	0:0:0	Tels	浅		100			51. 32~53. 49m	
			0.0.0	砂礫	黄橙		100			・砂礫である。・最大径40cmの巨礫を含む。	
-	-45, 19	53, 49	$\cdot \circ \cdot \circ$	花	にぶい	01.1	100	16	16	53. 49~55. 50m	
			‡+‡+ ‡+‡+	花崗斑	灰白	CL'	100	36	90	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
F	-47. 01	55, 50	* * * *	岩	明		100	56	79	55. 50~66. 10m	
			####		黄褐		100	24	36	・アプライトである。・全体的に風化している。	
			****			D'	100	44	67	+++	
			####				100	53	93	F + + + +	
60			####	ア	浅黄		100	26	82	++•	
00			+###	アプラ	橙	CL'	50	59	73	++++	
			#### ####	イト		(Patric)	70	32	32	61. 50~62. 70m	
			####	F	1= 5*1 5	D'	100	3	0	11111・コア流出。	
			****		にぶい 黄橙 にぶい	1	100	17	17	1	
			####		黄褐	CL'	100	30	86	+ + • +	
	-56, 62	66, 10	####		黄橙 浅 黄 橙		100	27	67	TT 3 3 3 5 7 7 8	
	30, 02	55.10	++++				100	27	53	66. 10~69. 80m	
			++++	化崗	は対し、対対を対し、対対の対対に対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対	CM'	100	10	10	・ 花崗斑岩である。 ▼ 〒 〒 〒 〒 〒 〒 • 66.72m以深は、弱風化している。	
			‡+‡+	花崗斑岩	明黄褐		100	27	89	+ + •	
	-59, 97	69, 80	++++	- 1000	浅黄橙	CL'	100	26	67	+ + + + - + - + - + + + + + + + + + + +	
				アブラ						69.80~165.00m ・花崗斑岩主体で、一部にアプライ	トを拉

1-203 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硒		割	凮	変	記		ア‡	采取	率	岩岩	¥ .	ŦL		(標準貫入	試験)	試験	原	室	掘	掘	귀	_	給	(回	3 /) 排
175	175	/A	111	種		灰		れ	/35%	2	gC.			%) コア		級盤		内口		(~深度			原位置試験				径 (mm)	アチ			水		水
尺	高	度	状	1里				目 の				→ R		cm Q	Ы	区分	1	m)l	N						Æ		月	度	/ 孔	ーブ	圧	数	圧	量	量
			[27]		調	あわ	状	状能	<i>1</i> 1-	艇	事	_	. [%]		分判		官) 値						内水平載荷)		刀 日	(m /時	壁保護	/ビット	kN MPa	rpm		ー/ 分	レン分
(m)	(m)	(m)	図 *****	分	にぶい黄	Gg	1∧ IIg	Ш	16	貝	*		7	50	100	7) *	Ħ	=		0	10 20	0 30		40 5	io ^{1PJ}	湖火	11.7	129	改		35 0	130	$\overline{}$	泥水2	2
-			**** **** ****	アプライ	関権にぶい英福	Cg	ΙVg	-			深度63.70~65.40m:節理に沿って黒 褐色化顕著。		30	\parallel	\parallel										+		63.90				_			Ź	-
-			* * * * * * * * * * * * * * * * * *	フイト	雑なが正	H	Ⅲg Ig					\mathbb{H}	27	[86	1	CL'									+										-
-	-56.62	66.10	* * * * * * * * * * * * * * * * * *		浅黄橙	Dg	IVg	cg			花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 深度66.10~69.80m:花崗斑岩。		27		57]										$\frac{1}{2}$								0.0	泥 水 3	3 _
-					にぶい美術		Пg				程3~5mmの石英、長石、黒雲母の斑晶 を40~50%程度含み、石基は径0.5mm 程度である。	7		[53]	\blacksquare	[0	L]								-										-
-			+++++	花崗斑岩	褐灰明黄褐	Cg	Νg				深度66.72m以深、風化弱く, 褐色を帯 びるが、全体に柱状で硬質コアをなす。	No.	27		\prod	OM.									-			144				250		-	_
-			+ + + + + + + + + + + + + + +	4	褐			bg					26	(8	9]										-						20.0		0.0	泥 水 3	1 -
— 70		69.80	****	アプ		Dg					アプライト、上位との境界不明瞭。 深度69.80~165.00m: 花崗斑岩主体で 、一部にアプライトを挟む。		18	П	593	GL"																			_
-	-61.51	71,50	* * * * * * * * * * * * * * *	アプライト	浅黄橙			cg		2	花崗斑岩は、径3~5mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を1~5%程度含み、 石基は径0.1mm程度で一部径0.2~0.5		20	[58]											-										-
-			*		恒	Cg Dg	Πg				mm程度を示す。全体に流理は不明瞭である。 深度71.15~71.40m:傾斜50度程度の	\Box	29	[49]	П	OM.									$\frac{1}{1}$		11/22 72,20								-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	-				節理発達。 花崗斑岩、上位との境界不明瞭。	H		[88]						-					-								0.0	泥水5	,
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		淡	Dg							$\frac{1}{2}$		711	[CI	M]								-								0.0	5	-
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙			bg			深度75.00~78.22m:全体に褐色化顕	N	4)	Н	Н										$\frac{1}{1}$										-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶ	Ug	IV g II g				著。傾斜60~70度の節理発達。			Н	70)	м									-			198				360			-
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		ふい黄橙	Dg	₩g						M	4		31.									-						30.0				4
-			##### ##### #####		位		Πg				深度78.22~78.24m:破砕帯(Hc)。上	H		185		_									-								0.0	泥水 4	3 -
-			++++ ++++ +++++ +++++ +++++		灰白	Eg				3	盤62度, 下盤60度。幅15mm, 暗褐色シ ルト〜黄褐色砂質シルト状。 深度78.24〜79.48m:破砕帯(Hj)。上盤	H				D.									-		11 23 79.30			ダブル		Ш			_
_ 80			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		淡橙灰	1	Ιg				60度。下盤68度。節理密集部, 礫状。 深度79.48~79.56m:破砕帯(Hb)。上盤68度、下盤66度。幅53mm, 褐灰色シ ルト質際及び暗褐色シルト状。	H	H												-		79.50			コアチ					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		白	Dg Eg			r		深度81.00~82.60m: やや軟質化し、	H	H		[98]										-				76 / 泥水	ューブ	25.0	130	0.0	泥水 2	0 -
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい黄橙	Dg	IVg	cg			節理に沿って黒褐色を帯びる。				98]	[C	L)								$\frac{1}{1}$			148		/ダイヤ				2	-
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		灰白	Cg	II g				深度83,15~84.60m:全体に風化し、 軟質化している。		1		[75]										$\frac{1}{1}$					ヤビット					╛
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		にぶい黄檀	Dg	Н				秋見化している。		\prod	[55]	Π	SL'									$\frac{1}{2}$										-
-			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +	花崗斑岩	灰白	Cg Gg	Шg	bg			深度85.30~87.42m: 節理多く角礫~		1	7 [85	1										$\frac{1}{1}$		11/24								+
-			+ + + + + + + + + + + + + + +	岩	にぶ		IV g	og bg			短柱状コアをなす。			d)	H										-		85,35								-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		が黄橙		IVg	1 1			深度85.00~100.00mまで斑晶少ない。		[31	1	\mathbb{H}										-										-
-			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +				III g IV g				深度88.00以深、密着した節理が多い		[28]	H	H										-						20.0				1
-			++++			Cg	III g IV g	bg		2	•	\mathbb{R}	28	41	H	OM.									+						30.0				-
— 90			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Πg						7		683										$\frac{1}{1}$			208							\dashv
-			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +		灰白			cg bg					+	[44]	Щ.	OM.									-							360	0.0	泥水3	1 -
-			+				IVg	П			深度91.47m:幅4mmの石英脈あり。	H	26	[44]	\blacksquare					}															-
-			+			Dg		cg			深度92.85~92.95m:幅1~7mmの石英脈あり。		7	H	703	[CI	M]			}					-		11/_								-
-					におい	Cg					深度93.00~100.00m:幅数mm程度の石 英脈を所々に挟む。	181	20	$\ $	\blacksquare	1				}					-		93.65								-
-					橙	Dg Cg	Шg				深度95.00~97.50m:傾斜30~60°程		26	41		OM.				}															-
-			+		灰白	Dg Cg		hσ			度の密着した節理が多い。	H	Ň.	[8						}								149			35.0				-
-					にぶ	Dg	₩g	26				H	ľ	[56]	\prod	CL.				-															-
-			+		ぶ い 橙	Cg	Шg				深度98.50~98.83m付近に高角度な幅 2.5~5cmの石英脈あり。		28	[\$1]	\parallel	OM.				}					$\frac{1}{2}$										-
			####		浅黄橙		IVg				2.0~30㎜の石 央際のり。	\perp	Ί	[5)	Щ	-	$\frac{1}{1}$															\dashv	No.7	7(3/	' 5)

柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩		最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	ア採	⊐	Q	最大コア長	記事
6.50	,	·~		区		区	取率	ア長	D	R Q D	
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 10	
-	-61.51	71, 50	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	アプラ イト	浅	CL	100	18	58		1
-	-01. 31	71.30	+++		黄	CM'	100	20	49		* 1
-			+		橙		100	29	83		* -
-			++++		にぶい黄橙	CL'	100	54	71		3
-,			‡+‡+		淡橙	CM'	100	14	70		75. 00∼78. 22m
-			+++		にぶ	CIVI	100	27	21		・全体に褐色化が顕著である。 ・割れ目が発達する。
-			+		が黄	CL'	100	44	85		・ 割れ日が先達する。
-			# + + + # + + *		橙	- OL	100	100	100	++++++++	◆●78.22~79.56m(D-24破砕帯)
-			8 ∓± 8		灰白	D'	100	72	89	- + + +	・破砕部である。
- 80			++++		淡橙 灰白		100	58	98		↑・主に褐灰色の固結礫状部からなる。 ┃・暗褐色の未固結粘土状部:累計幅1.5cm
-			++++		にぶい		100	45	93		↓・走向・傾斜はN7°E87°Wである。・上端境界の傾斜は62°である。
			‡+‡+		黄橙 灰		100	38	75		81.00~82.60m ・ やや軟質化し、割れ目に沿って黒褐色を帯
-			1111		台	CL'	100	42	55		びる。 83.15~84.60m
			++++		にぶい		100	49	85		・全体に風化し、軟質化している。
			++++		灰白」に		100	26	36		1
_			‡+‡+		ぶい		100	20	31	- + #	20
			++++	花崗	黄橙		100	28	28		*
			+	斑	7	CM'	100	14	36		1
- 90			++++	岩		3.00	100	28	68		
- 90			‡+‡+		灰	CL'	100	12	44		1
			++++		白	CM.	100	12	44	- - - - - - - - - -	91. 47m
.			++++			CL'	100	26	70	-++	・幅4mmの石英脈が分布する。
			‡+‡+				100	9	0	4++++++	92.85~92.95m ・幅1~7mmの石英脈が分布する。
-			++++		にぶい 橙	CM'	100	20	36	-+++++	93.00~100.00m · 幅数mm程度の石英脈を所々に挟む。
.			+‡+‡-		灰	OIII	100	26	87		95.00~97.50m ・密着した割れ目が多い。
.			++++		白	CL'	100	40	56	- + + + + - 1 - - + +	
-			‡+‡+		にぶい 橙		100	23	51		*
.			<u> </u>				100	23	57	-++	8. 50~98. 83m
- 100			++++				100	25	25		・幅2.5~5cmの石英脈が分布する。 99.00~103.00m -
.			++++		浅	CM'	100	30	66		・全体に褐色化が著しい。
.			<u></u>		黄橙		100	20	56		
.			++++		132		100	16	26		103.00~105.00m
-			++++				100	18 25	28 57		・高角度の割れ目が多い。
			+i+i-				100	20	31	TETTOTET	

1-203 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	斾		割	周	变	記	=	コア	'採」	取革	K L	世	ı zı		(標	準 貫 .	入註	t 験)	試験	原	安	掘	掘	ZI.		給	<u></u>		/ 5 送	
1示	1示	/**	1 [±]			埋		ħ	125%	久	āC			(% ; = ;		Į /	岩岩級盤	内水:	_	(1/4			深度			原位置試験			進	径	コアチ	小口			水	
尺	高	度	状	種				目 の				⊸ F	-	CITI Q	1	.		(m)	η _{м.}										-	度	/mm) / 71.	고		数			量
			_	区			π∌	状	,		_			E %			区分数	測定月	値								(孔内水平載荷)		月	(m /時	1壁保護	ーブ/ビット	kN MPa	rpm	MPa	(一/分	(一/分
(m)	(m)	(m)	図 ::+::+::	分	調	軟	状 IVg	態	化	質	事 深度99.00~103.00m:全体に褐色化し	0	Ш	50	П	100	分類		"-		0	10	20	30		40 5	0 荷	験	日	時	護		35.0	$\overline{}$	_	~	
-100			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			0-	Пσ				, 傾斜30〜50度の節理が多い。	H	\\	(S)	+	Ħ																	00.0				_
-			+ + + + + + + + + + + + + + +			Cg	π7.α	bg				Ħ	1	3Q	[66															149			50.0				-
-			+++++		浅黄橙	h	Пg	UB	r			Ħ	20	Ш	[56]	\sharp																					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙	Cg	Ⅲg IVg				深度103.00~105.00m:傾斜60~70度	ľ		26]		H.	9M*												11/27 102.71								-
_						De .	Шg	DE.			の高角度な節理が多い。	Ħ		28]		\sharp																	FF 0		0.0	泥水3	1 _
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		RB		Πg				深度105,00~112,00m: 密着した節理	Ħ	N		[57]																		55.0				_
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明赤灰にぶい橙にぶい黄檀	Cg	I g	bg			は少ない。節理に沿って黒褐色、黄褐色を帯びる。	H			62 [94															115				360			_
			# # # # # # # # # # # # # # #		を		Шд	Cg.				H	1		[56]	1																					_
					明赤灰	Rø	II g			2		H		33	1	76] C	B.																67.5				_
			++++		にぶい種	_	II g		β			H		40	[88]		iH"												11/ 28 108.85					-			_
—110			++++		浅		III g IV g	bg			深度109.50~115.00m:高角度な節理 が多い。	H	6	ı I		\parallel																				_	
110			+++++		浅黄橙		Шg					\parallel	20 (20	1		₭.														80			70.0		0.0	泥水 4	0
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	IV g	og			深度110.40~111.35m: 斑晶少ない。	H		38 [4	9]	\mathbb{H}°	34																70.0				
			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +					bg			深度112,00~115,20m:全体に橙色を帯びる。	H	1	[39]															11 30 113.00						0.0	泥 水 4	2
			++++		にぶい	Dg	IVg					H	1	37 [37]		₽													113.00								
			+ + + + + + + + + + + + + + +		ふい橙	Cg	1 1	cg				H		3G (30)		H	E.															ダ	50.0			泥	-
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +					bg	r				101				34"													84		ダブルコアチ		160	0.0	泥水3	3—
				蓝		Dg	Vg			3	深度115.80~117.00m:変質帯。上盤 77度。全体に軟質。節理に沿って淡緑 色粘土を挟む。						it.												12/1		76		20.0				-
-			++++	花崗斑岩	にぶい	Cg	Ιg	cg					1	33	[A	חוו	[CM]											116.96		76 / 泥水	ューブ/ダ				泥	_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄橙	Dg	1 1			2	深度118.30m:シーム。傾斜50度。幅 1~10mm, 灰白色粘土状。					Hc	9M*													103		イヤビ	35.0		0.0	泥 水 2	0 -
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		沙	Dg	1	bg				Ï			5 55]	#													12 /			ット		-			
—120			++++ ++++ ++++		淡緑褐	14	Ιg	cg	δ	4	深度119.74m:シーム。傾斜52度。幅 1~3mm, 灰白色粘土状。 深度119.74~120.58m:変質帯。黄褐	H		/L	78.		D.												12/4	_							_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい相	1	Пg				色粘土状。石英粒子残る。 深度120.58m:シーム。傾斜65度。幅 1~10mm, 灰白色粘土状。 深度120.58m以深、傾斜20~50度程度					\sharp																		140			-
-			+				₩g	bg			成長にいるのは の低角度な節理が多くなる。全体に浅 黄橙色を呈する。		III III			\sharp																	30.0				-
-			+				14 B				深度122.50~124.80m: やや褐色を帯びる。					#						+					1			103							-
-							∭ g ™a	Gg .				\mathbb{H}	22		502	#	av.					-													0.0	泥水3	0 _
-							∭g Ng ∭g					\parallel	20	Ш	[30]	\mathbb{H}																	40.0				-
-							IVg IIIg Vg	bg				H	18	[40]		#											-		12 5 126.07	1							-
-			+								深度127.00~129.40m:全体に傾斜30~50度の変養した筋理が多い	F	1/20	\prod	[60]	\mathbb{H}														160			50.0				-
-			+		浅黄橙	Cg	Шg	cg	γ	2	~50度の密着した節理が多い。		#	\parallel	ľ	1]						-					-			160			50.0				-
-				:	恒		V g	bg				K	101	\parallel			E.												12 6 128.87					160		\dashv	_
-130							Шg	cg			深度129.40m:節理に沿って幅2mmの褐 色,灰白色粘土を挟む。	H,) 2 P	[45		#														124			45.0				_
-							IVg	bg						[34]	\parallel	\sharp													12 /								
							Шg Уг Шg				翌年122 00~122 00~	H	18 [18		\parallel	\sharp													12/ 7 131.57				70.0		0.0	泥水3	2 _
-			+				П	Og bg			深度132.00~133.00m:傾斜70~90度 の高角度節理あり。		2	[33]		$\#^{\circ}$	34'																90.0			J	
			+				IV g	.						2]		#														65			25.	165			
			+				∭g IVg	-				\mathbb{H}	2	0	53]	\parallel																	35.0				
																																		7	No.	7(4	[/] 5)

柱状図(70.00m~105.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	_	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	ア採	⊐	Q	最大コア長 記事	
	同	反	1/	区		区	取率	ア長	D	R Q D	
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 100	
_			***	アプラ イト	٠	CL'	100	18	58	+++++++	
- 1	-61.51	71. 50	# # # #	Jel III	浅黄	CM'	100	20	49		
_			+++		橙	CM'	100	29	83	+ + + 3 + +	
_			++++		にぶい	CL'	100	54	71		
.			+‡+‡-				100	14	14	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	19
.			####		にぶ	CM'	100	27	70	- 175.00~78.22m ・全体に褐色化が顕著である。	
.			<u> </u>		11	01.1	100	21	21	割れ目が発達する。	
			++++		黄橙	CL'	100	44	85		
.			Ø+‡ *		灰白	D'	100	100	100	●78.22~79.56m(D-24破砕帯) ・破砕部である。	
- 80			¥++¥ ++++		淡橙		100	72	89	・主に褐灰色の固結礫状部からな	
			+‡+‡-		灰白		100	58	98	・暗褐色の未固結粘土状部: 累計 ・走向・傾斜はN7°E87°Wである	
.			 		にぶい 黄橙		100	45	93		
.			<u> </u>		灰白		100	38	75	・やや軟質化し、割れ目に沿ってびる。	黒褐色を帯
.			+++-		にぶい	CL'	100	42	55	83. 15~84. 60m	
.			++++		黄橙 灰白		100	49	85	・全体に風化し、軟質化している	0
_			++++		にぶ		100	26	36		
.			++++	#	黄		100	20	31		
.			++++	花崗斑	橙		100	28	28	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
.			+++	斑岩		CM'	100	14	36		
- 90			<u> </u>				100	28	68		
.			+‡+‡-		灰白	CL'	100	12	44	- 	
.			T+T+		"		100	12	44	91.47m ・幅4mmの石英脈が分布する。	
.			++++			CL'	100	26 9	70	92. 85~92. 95m	
-			++++		にぶい		100	20	36	・幅1~7mmの石英脈が分布する。 93.00~100.00m	
-			+		橙	CM'	100	26	87	・幅数mm程度の石英脈を所々に挟 95.00~97.50m	む。
			‡+‡+		灰白		100	40	56	・密着した割れ目が多い。	
			++++		にぶい	CL'	100	23	51		
-			+		橙		100	23	57		
-			+++			1	100	25	25	98.50~98.83m 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
- 100			++++				100	30	66	9.00~103.00m 全体に褐色化が著しい。	
٠			++++		浅	CM'	100	20	56	・ナナイオー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー	
			++++		黄橙		100	16	26		
-			‡+‡+				100	18	28	03. 00~105. 00m	
-			++++				100	25	57	・高角度の割れ目が多い。	
			Titi				, 50		•	The state of the s	

1-203 (分類b) ① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	斾		割	周	变	記	=	コア	'採」	取革	K L	世	ı zı		(標	準 貫 .	入註	t 験)	試験	原	安	掘	掘	ZI.		給	<u></u>		/ 5 送	
1示	1示	/**	1 TI			埋		ħ	125%	久	āC			(% ; = ;		Į /	岩岩級盤	内水:	_	(1//			深度			原位置試験			進	径	コアチ	小口			水	
尺	高	度	状	種				目 の				⊸ F	-	CITI Q	1	.		(m)	η _{м.}										-	度	/mm) / 71.	고		数			量
			_	区			π∌	状	,		_			E %			区分数	測定月	値								(孔内水平載荷)		月	(m /時	1壁保護	ーブ/ビット	kN MPa	rpm	MPa	(一/分	(一/分
(m)	(m)	(m)	図 ::+::+::	分	調	軟	状 IVg	態	化	質	事 深度99.00~103.00m:全体に褐色化し	0	Ш	50	П	100	分類		"-		0	10	20	30		40 5	0 荷	験	日	時	護		35.0	$\overline{}$	_	~	
-100			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			0-	Пσ				, 傾斜30〜50度の節理が多い。	H	\\	(S)	+	Ħ																	00.0				_
-			+ + + + + + + + + + + + + + +			Cg	π7.α	bg				Ħ	1	3Q	[66															149			50.0				-
-			+ + + + + + + + + + + + + + +		浅黄橙	h	Пg	UB	r			Ħ	20	Ш	[56]	\sharp																					-
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙	Cg	Ⅲg IVg				深度103.00~105.00m:傾斜60~70度	ľ		26]		H.	9M*												11/27 102.71								-
_						De .	Шg	DE.			の高角度な節理が多い。	Ħ		28]		\sharp																	FF 0		0.0	泥水3	1 _
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		RB		Πg				深度105,00~112,00m: 密着した節理	Ħ	N		[57]																		55.0			Ů	_
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		明赤灰にぶい橙にぶい黄檀	Cg	I g	bg			は少ない。節理に沿って黒褐色、黄褐色を帯びる。	H			62 [94															115				360			_
			# # # # # # # # # # # # # # #		を		Шд	Cg.				H	1		[56]	1																					_
					明赤灰	Rø	II g			2		H		33	1	76] C	B.																67.5				_
			++++		にぶい種	_	II g		β			H		40	[88]		iH"												11/ 28 108.85					-			_
—110			++++		浅		III g IV g	bg			深度109.50~115.00m:高角度な節理 が多い。	H	6	ı I		\parallel																				_	
110			+++++		浅黄橙		Шg					\parallel	20 (20	1		₭.														80			70.0		0.0	泥水 4	0
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	IV g	og			深度110.40~111.35m: 斑晶少ない。	H		38 [4	9]	\mathbb{H}°	34																70.0				
			* + * + * + * + * + * + * + * + * + * +					bg			深度112,00~115,20m:全体に橙色を帯びる。	H	1	[39]															11 30 113.00						0.0	泥 水 4	2
			++++		にぶい	Dg	IVg					H	1	37 [37]		₽													113.00								
			+ + + + + + + + + + + + + + +		ふい橙	Cg	1 1	cg				H		3G (30)		H	E.															ダ	50.0			泥	-
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +					bg	r				101				34"													84		ダブルコアチ		160	0.0	泥水3	3—
				蓝		Dg	Vg			3	深度115.80~117.00m:変質帯。上盤 77度。全体に軟質。節理に沿って淡緑 色粘土を挟む。						it.												12/1		76		20.0				-
-			++++	花崗斑岩	にぶい	Cg	Ιg	cg					1	33	[A	חוו	[CM]											116.96		76 / 泥水	ューブ/ダ				泥	_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		黄橙	Dg	1 1			2	深度118.30m:シーム。傾斜50度。幅 1~10mm, 灰白色粘土状。					Hc	9M*													103		イヤビ	35.0		0.0	泥 水 2	0 -
_			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		沙	Dg	1	bg				Ï			5 55]	#													12 /			ット		-			
—120			++++ ++++ ++++		淡緑褐	14	Ιg	cg	δ	4	深度119.74m:シーム。傾斜52度。幅 1~3mm, 灰白色粘土状。 深度119.74~120.58m:変質帯。黄褐	H		/L	78.		D.												12/4	_							_
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい相	1	Пg				色粘土状。石英粒子残る。 深度120.58m:シーム。傾斜65度。幅 1~10mm, 灰白色粘土状。 深度120.58m以深、傾斜20~50度程度					\sharp																		140			-
-			+				₩g	bg			成長にいるのは の低角度な節理が多くなる。全体に浅 黄橙色を呈する。		III III			\sharp																	30.0				-
-			+				14 B				深度122.50~124.80m: やや褐色を帯びる。					#						+					1			103							-
-							∭g N4	Gg .				\mathbb{H}	22		502	#	av.					-													0.0	泥水3	0 _
-							∭g Ng ∭g					\parallel	20	Ш	[30]	\mathbb{H}																	40.0				-
-							IVg IIIg Vg	bg				H	18	[40]		#											-		12 5 126.07	1							-
-			+								深度127.00~129.40m:全体に傾斜30~50度の変養した筋理が多い	F	1/20	\prod	[60]	\mathbb{H}														160			50.0				-
-			+		浅黄橙	Cg	Шg	cg	γ	2	~50度の密着した節理が多い。		#	\parallel	ľ	1]						-					-			160			50.0				-
-				:	恒		V g	bg					101	\parallel			E.												12 6 128.87					160		\dashv	_
-130							Шg	cg			深度129.40m:節理に沿って幅2mmの褐 色,灰白色粘土を挟む。	H,) 2 P	[45		#														124			45.0				_
-							IVg	bg						[34]	\parallel	\sharp													12 /								
							Шg Уг Шg				翌年122 00~122 00~	H	18 [18		\parallel	\sharp													12/ 7 131.57				70.0		0.0	泥水3	2 _
-			+				П	Og bg			深度132.00~133.00m:傾斜70~90度 の高角度節理あり。		2	[33]		$\#^{\circ}$	34'																90.0			J	
			+				IV g	.						2]		#														65			25.	165			
			+				∭g IVg	-				\mathbb{H}	2	0	53]	\parallel																	35.0				
																																		7	No.	7(4	[/] 5)

柱状図(105.00m~140.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最大	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	採	⊐	Q	最大コア長	記事
	1			区		区	取率	ア長	D	R Q D)
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 10	
-			####		浅黄橙/ 明赤灰	CM'	100	62	94	-+++	05.00~112.00m ・割れ目に沿って黒褐色, 黄褐色を帯びる。
-			+++		にぶい 橙 にぶい		100	18	56		# 200000 64500 LEC
.			++++		黄橙	CH' B'	100	33	76	- + + + + + - - - - + +	4
			++++		にぶい	CH'	100	40	83		at a
- 110			‡+‡+:		浅		100	20	20		09. 50~115. 00m
			+‡+‡-		黄橙	CM'	100	20	20		・高角度の割れ目が多い。
.			T+T+		132	Oili	100	38	49		* -
			++++		1=		100	17	39		*
_			++++		ぶ	CL'	100	37	37		d .
_			T+T+		松		100	30	30	-++	*
_			++++			CM'	100	10	10	11111111	15. 80~117. 00m
			++++		15	CL'	100	0	0	+++	・変質している。
.			++++		ぶい	OM'	100	33	70		↓・全体に軟質であり、割れ目に沿って淡緑色 ┃ 粘土を挟む。
_			++++		黄橙	CM'	100	0	0	* 	18. 30m
- 120			+‡+‡-		淡緑褐	D'	100	55	55		
-			####		にぶい	U	100	47	78		19.74m ・変質している。
-			++++	花崗	_福_/		100	11	21		・灰白色粘土状を呈する。 119.74~120.58m
-			++++	斑岩			100	14	14		*・変質している。
_			T+T+:	岩			100	11	21	- • - + - - - + +	・黄褐色粘土状を呈し、石英粒子が残存する
_			‡+‡+:			CM'	100	22	56		120.58m ・変質している。
_			++++				100	20	40		・灰白色粘土状を呈する。
-			++++				100	18	60		*
			++++				100	23	71	- + ++ - - - - + +	127.00~129.40m ・全体に密着した割れ目が多い。
			++++			CL'	100	10	10	(++++++++	**************************************
- 130			++++		浅	OL.	100	22	45	-+ + + + +	29. 40m
-			++++		黄橙		100	12	34		↓・割れ目に沿って幅2mmの褐色~灰白色粘土 を挟む。
_			++++		1品	0111	100	18	18		4
-			++++			CM'	100	21	33		32.00~133.00m ・高角度の割れ目あり。
_			++++				100	11	22	- (And the Secretary Products - Continues of the Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secretary Secre
_			++++				100	21	53	-+	‡
			++++		1		100	25	25		135.23~135.62m ・割れ目が多く、角礫~細礫状をなす。
			++++				100	4	0		- 前146日が多く、丹味~神味仏ではり。
			++++			CL'	100	17	17		†
			‡+‡+				100	9	0	+++	138.05~138.35m ・割れ目が密集し、軟質化する。
			<u>+</u> +++-				100	11	11	+ + + +	日から日が、田来し、秋見しりる。
			-100-00							70.00	

1-203(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬		割	風	変	后	⁷ 採取率	掘	孔	_	給		5 / 送 i	\Box
				種			ア	れ			·	T		径 (mm)	コアチュ			水 2	
尺	高	度	状				形	目の				cm (m) N 乳	度	/ 孔	၂	圧		圧量	量量
				区		+,		状		-	_		(m / 時	壁保		kN MPa	rpm M	MPa 3	
(m)	(m)	(m)	図 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	分	調		大 Ig		化	質	事 深度135.23~135.62m:角礫~細礫状		·時 · 65	護		ر 35.0	165	\neg	
-			++++			Dg	VIg	cg			をなす。 深度135.62~137.65m: 傾斜60~80度	51				40.0	60		
			+ + + + + + + + + + + + + + +				IVg	bg			の高角度な節理と直行する低角度な節 理が発達。		88			45.0	,	0.0	尼
			##### ################################		浅黄橙	Cg	Шg	cg				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
			##### ################################		位	Dg Cg	-	bg			深度138,05~138,35m: 節理が密集し , 軟質化する。	1/2/2 38.33					130	+	+1
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg	+	cg			深度139.00~143.00m:傾斜10~40度 程度の低角度の節理が発達。					00 5			
-140			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg Dg	IVg									22.5			╛
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg		bg				1097	98					0.0	Ē 1 _
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Пz IV g II g									40.0			
-			++++			Dig		cg bg			深度143.00~144.00m:傾斜70~90度					40.0			
			+				IVg	Cg			の高角度の節理あり。節理に沿って褐 色粘土を挟む。	112 122 123 143 160 143 143 160 143 143 160 143 143 160 143 143 143 143 143 143 143 143 143 143					-	+	+
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		AB			bg			深度144.75~148.00m:傾斜10~20度		65			65.0	145		
			++++ ++++ ++++		明赤灰	Cg	Ⅲ g IV g				と60~70度の交差する節理が多い。	12/8							
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Шд	1				27							
-			#			De	IV g III g IV g	\vdash											-
=			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	Πg				深度148.07~148.35m: 黒褐色の酸化		77		ダブル				
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg	IVg	Cg			マンガン汚染あり。	α'			プロアチ		100		
—150			##### ################################	花崗斑岩		Cg		bg	r	2		[22] 12/9 12		76 / 泥水	ューブ		100		
			++++	岩		Cg	IVg							水	ダ	30.0	_	0.0	尼 2
			++++			Dg	1	cg bg			深度151.35m:シーム。傾斜72度、幅 1mm,褐色粘土状及び砂状。	+++++			イヤビ			,	`]
			##### ######		浅黄	L		cg			深度151.38m:シーム。傾斜74度、幅 2mm,黒褐色粘土状及び砂状。	α'			ット		130		
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙	Cg	Шg						101				130		-
-			##### #####					bg			深度154.45~155.60m:節理多く、角 碟状をなす。	'	101						-
-			# # # # # # # # # # # # # # # #			Dg	1	cg			M. N. C. G. 7 8								
-			*			Dg	Vg				深度155,60~160,00m:全体に密着した節理が多く、一部角礫状をなす。	3							
			‡+++ ++++				IV g Vg					12/2/2015/7:08							
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IVg					157.00							
			++++			Cg	ше П g					[23] CM							
İ			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Шg Пg					24 1881						0.0	尼 1
-160			++++		明赤瓜	Dg					深度160.00~165.00m: 高角度な節理 が多い。		96			40.0	145	!	<u>'</u>
-						I Cg	Vg	cg			深度160.30~161.00m: 節理多く、角 礫~細礫状コア、節理に沿って粘土を 挟む。						}	+	+-
-						Dg	1											0.0	尼 4 -
-						Dg	٦	bg				OW 12/21							
			 			Cg		cg			深度163.82m:シーム。傾斜74度。幅	(63.16	,,					,	
_	146. 25	165 00					II g IV g III g	bg			2mm, 黑褐色粘土状及び砂状。	[3] Our 12/2/2	71				[0.0 7 1	7 0
	+0. 23						шд					55.00					二	土	口

柱状図(105.00m~140.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	コア	最	R	コア採取率	
尺	高	度	状	種		級	採	大コ	Q	最大コア長	記事
,,	10,	′~	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	区		区	取率	ア長	D	R Q D	10 7
m	m	m	図	分	調	分	(%)	(cm)	(%)	0 20 40 60 80 10	
			T+T+		浅黄橙/ 明赤灰	CM'	100	62	94	-+++- - -• -++ -++- - -• -++	105.00~112.00m ・割れ目に沿って黒褐色, 黄褐色を帯びる。
			‡+‡+:		にぶい		100	18	56		
			+‡+‡-		にぶい 黄橙 明赤灰	CH'	100	33	76		•
			 		にぶい	CH'	100	40	83		
- 110			<u> </u>		浅		100	20	20		109.50~115.00m
			+‡+‡-		黄橙	CM'	100	20	20		・高角度の割れ目が多い。
			 		112	OIII	100	38	49		
			++++		,-		100	17	39		
			++++		にぶ	01.	100	37	37		
			‡+‡+		が橙	CL'	100	30	30	+++	
			++++		'	CM'	100	10	10	1111	115 00 117 00-
			++++		15	CL'	100	0	0	· + + + -	115.80~117.00m ・変質している。
			‡+‡+1		ぶい	112000	100	33	70	- 	・全体に軟質であり、割れ目に沿って淡緑色 粘土を挟む。
			++++		黄	CM'	100	0	0	× ± + + + + + + + + + + + + + + + + + +	118. 30m
- 120			++++		橙	D'	100	55	55		・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。
120			‡+‡+		淡緑褐にぶい	υ	100	47	78		119.74m ・変質している。
			++++	花崗	福_		100	11	21		・灰白色粘土状を呈する。
			++++	崗斑			100	14	14	-1-1-1-1-1-1	119.74~120.58m ・変質している。
			++++	斑岩			100	11	21		・黄褐色粘土状を呈し、石英粒子が残存する
			++++			CM'	100	22	56		120. 58m
			T+T+:				100	20	40	+ + + +	・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。
			‡+‡+:				100	18	60		
			++++				100	23	71	-+	127.00~129.40m ・全体に密着した割れ目が多い。
			####			CL'	100	10	10	- (++++-+++	・主体に出角した割れらか多い。
			++++		5±	UL	100	22	45		129, 40m
- 130			+‡+‡-		浅黄		100	12	34		・割れ目に沿って幅2mmの褐色~灰白色粘土を挟む。
			####		橙		100	18	18		21XC.
			++++			CM'	100	21	33		132.00~133.00m ・高角度の割れ目あり。
•			++++				100	11	22		・高角度の割れ日めり。
			‡+‡+1				100	21	53	+\\	
2.1			±+±+			(1)	100	25	25		1) 35. 23~135. 62m
			++++				100	4	0	+ + + + +	・割れ目が多く、角礫〜細礫状をなす。
			++++			CL'	100	17	17		1
			++++			OL.	100	9	0	++	138.05∼138.35m
			<u> </u>				100	11	11	1111	・割れ目が密集し、軟質化する。
			ITIT.		\vdash				<u> </u>		ť

1-203(分類b)① 報告書の記載漏れを修正したため。

標	標	深	柱	岩	色	硬		割	風	変	后	⁷ 採取率	掘	孔	_	給		5 / 送 i	\Box
				種			ア	れ			·	T		径 (mm)	コアチュ			水 2	
尺	高	度	状				形	目の				cm (m) N 乳	度	/ 孔	၂	圧		圧量	量量
				区		+,		状		-	_		(m / 時	壁保		kN MPa	rpm M	MPa 3	
(m)	(m)	(m)	図 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	分	調		大 Ig		化	質	事 深度135.23~135.62m:角礫~細礫状		·時 · 65	護		ر 35.0	165	\neg	
-			++++			Dg	VIg	cg			をなす。 深度135.62~137.65m: 傾斜60~80度	51 133.72				40.0	60		
			+ + + + + + + + + + + + + + +				IVg	bg			の高角度な節理と直行する低角度な節 理が発達。		88			45.0	,	0.0	尼
			##### ################################		浅黄橙	Cg	Шg	cg				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
					位	Dg Cg	-	bg			深度138,05~138,35m: 節理が密集し , 軟質化する。	1/2/2 38.33					130	+	+1
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg	+	cg			深度139.00~143.00m:傾斜10~40度 程度の低角度の節理が発達。					00 5			
-140			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg Dg	IVg									22.5			╛
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg		bg				1091	98					0.0	Ē 1 _
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Пz IV g II g									40.0			
-			++++			Dig		cg bg			深度143.00~144.00m:傾斜70~90度					40.0			
			+				IVg	Cg			の高角度の節理あり。節理に沿って褐 色粘土を挟む。	112 122 123 143 160 143 143 160 143 143 160 143 143 160 143 143 143 143 143 143 143 143 143 143					-	+	+
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		AB			bg			深度144.75~148.00m:傾斜10~20度		65			65.0	145		
			++++ ++++ ++++		明赤灰	Cg	Ⅲ g IV g				と60~70度の交差する節理が多い。	12/8							
			+++++				Шд	1				27							
-			#			De	IV g III g IV g	\vdash											-
=			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Cg	Πg				深度148.07~148.35m: 黒褐色の酸化		77		ダブル				
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			Dg	IVg	Cg			マンガン汚染あり。	α'			プロアチ		100		
—150			##### ################################	花崗斑岩		Cg		bg	r	2		[22] 12/9 12		76 / 泥水	ューブ		100		
			++++	岩		Cg	IVg							水	ダ	30.0	_	0.0	尼 2
			++++			Dg	1	cg bg			深度151.35m:シーム。傾斜72度、幅 1mm,褐色粘土状及び砂状。	+++++			イヤビ			,	`]
			##### #####		浅黄	L		cg			深度151.38m:シーム。傾斜74度、幅 2mm,黒褐色粘土状及び砂状。	α'			ット		130		
-			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +		橙	Cg	Шg						101				130		-
-			##### #####					bg			深度154.45~155.60m:節理多く、角 碟状をなす。	'	101						-
-			# # # # # # # # # # # # # # # #			Dg	1	cg			M. N. C. G. 7 8								
-			*			Dg	Vg				深度155,60~160,00m:全体に密着した節理が多く、一部角礫状をなす。	3							
			‡+++ ++++				IV g Vg					12/2/2015/7:08							
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				IVg					157.00							
			++++			Cg	ше П g					[23] CM							
İ			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +				Шg Пg					24 1881						0.0	尼 1
-160			++++		明赤瓜	Dg					深度160.00~165.00m: 高角度な節理 が多い。		96			40.0	145	!	<u>'</u>
-						I Cg	Vg	cg			深度160.30~161.00m: 節理多く、角 礫~細礫状コア、節理に沿って粘土を 挟む。						}	+	+-
-						Dg	1											0.0	尼 4 -
-						Dg	٦	bg				OW 12/21							
			 			Cg		cg			深度163.82m:シーム。傾斜74度。幅	(63.16	,,					,	
_	146.25	165 00					II g IV g III g	bg			2mm, 黑褐色粘土状及び砂状。	[3] Our 12/2/2	71				[0.0 7 1	7 0
	+0. 23						шд					55.00					二	土	口

柱状図(140.00m~165.00m)

標	標	深	柱	岩	色	岩	⊐	最	R	コア採取率	
_			10	種		級	コア採	大コ	Q	最大コア長	
尺	高	度	状	区		区	取率	ア		(cm)	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)	長 (cm)	D (%)	R Q D [%]	
			<u> </u>		浅黄橙	(<u>2</u>)	100	15	38	-++++	2
-			++++				100	14	14		
- 3			++++				100	9	0	7 11111111111	1
-			++++				100	5	0	◆ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	143. 00~144. 00m
-			++++		明	CM'	100	7	0		・高角度の割れ目に沿って褐色粘土を挟む。-
			++++		赤灰		100	9	0	- 	· -
			<u>+</u> +++		灰		100	17	27		-
- I			++++				100	19	34	+ + + + + - + - + - + - +	1
-			++++			CL'	100	5	0	4111111111	148. 07~148. 35m
-			<u>+</u> +++			21.75.77.75	100	17	28		・黒褐色の酸化マンガン汚染がみられる。 -
- 150		1	++++			CM'	100	13	13		_
-			+++	花	1	01.1	100	0	0	<u> </u>	
			++++	花崗斑岩	浅黄橙	CL'	100	9	0	+++++++++	・破砕部である。 ・褐色の固結礫状部からなる。
534			++++	岩	橙	CM'	100	19	19	-+	・走向・傾斜はN15°E86°Eである。
			####				100	9	0	- 4	・フィルム状の粘土を挟在する。 - 154.45~155.60m
-			<u>++++</u>		\vdash	CL'	100	23	23	777777777	- 割れ目が多く、角礫状を呈する。 155,60~160,00m
7.65 0.47			++++				100	5	0	11111111	・全体に密着した割れ目が多く, 一部角礫状
			++++				100	7	0		<u>を</u> 呈する。 -
			<u>++++</u>			CM'	100	15	37	1 1 1 1 1 1 1 1 1	-
100			++++		明		100	30	86		-
- 160			 		明赤灰	72.00	100	14	14	4	-
			++++		,,,	CL'	100	4	0	(1
			++++			CM'	100	9	0	++	*
			T±‡±			CL'	100	15	15		163. 82m 赤顔している
	-146, 25	165. 00	++++			CM'	100	22	37	-+ +++	- 変質している。 - 黒褐色粘土状及び砂状を呈する。
\Box	170.20	700.00									

1-213 (分類d) ① 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更) 1-203 (分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

B8-23 (2 / 2)

標	標	深	柱	岩	色	種	<u> </u>	宝川	風	変	記		_	ア:	採耳) 率	岩	<u>.</u>	T.	孔		(標	隼貫ノ	λ) [式験	T _E	室	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. H	図 孔		5-Z、 給		Т	Ť	Т
175	175	<i>i</i> *	111	4		PE		割れ)334	2	дC	Ш	_	 		(%)				内水	^		(N	値~	深度) 図	信色電試験			ú	≝ 径						ニ 17 K オ
尺	高	曲	状	種			ア	目					取.	天:	⊐ , -	ア長 cm	剎	及		位	N										討	内	Ú	<u>≜</u> ĕ	表 (mm) ま /	ᅵᅩ			[] 压		
^	同	度	11	区			形						R		Q	D	Þ	₹	Ι.	/ I											(孔内		.	- 1	孔	12	1~			. _	\
l , ,			logi		=⊞	±/a	, , , , ,	状態	化:	66	事			٦	L	[%]				測定月日) 値										50 (7)	EA	: E	1	/ 仮	ビット	MD	rpn	n MP	a 3	- L
(m)	(m)	(m)		分 . 學		#/	11/	忠	1L .	貝	P	0		П	50	П	5. 00	2.		ㅂ	_	0		10		20		30		10	50 苞	験	-	1	ジー改			. ~	<i>,</i> –		/ \
	-8.91	17.8	000000	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	浅黄									$^{+}$		100) .																	20	00						
ŀ	0,01	17.0	,	?	L						17.87~23.09m: 砂礫である。 径10~100mmの花崗斑岩亜角礫で、	l F		\dagger		\dagger																		H							
			0.000								殆どがクサリ礫化する。基質は石 英・長石の細礫を含むシルト混じり 砂からなる。花崗斑岩礫・基質は同			I		100)÷																	15					2.	5 7	E 1
			0.000								質で,境界が不明瞭な部分がある。 21.78m以深:礫は小型化し,径10~ 50mmで亜円礫も分布する。			Ц) ·																	٠ 8	5				2.	1	` '
_ 20			0.000		灰黄						19.20~21.78m:礫混じり粗粒砂からなる。			\parallel		\perp						H		-		+		\vdash			_										
			0.000	砂礫										\parallel		-)) ±																								
-			10000	:1										Ħ														\vdash						+			80.0				
			0.000	?	明福	灭								Ħ		100)) 4																								
			0.000		灰						22.22m以深:風化で褐色化が進む。			П																				9	0						
-	-13. 64	23.09	0.0.0	?	黄									\coprod		#						L				+		1													
	-14. 37	00.00		スライム							23.09~23.90m: スライムである。			1	+	+																	9/	16							
ŀ	-14.37	23.90	++++	1	明						23.90~38.00m: 花崗斑岩である。 斑晶は径2~6mmの石英,2~10mmの	100)]	\parallel	\forall	\parallel	t					H				+		+						H				180			
			++++	花崗斑岩	明黄褐	Eg	VIg	dg	3	2	白濁した長石と径1mm以下で点在す る黒雲母からなる。 23.90~25.09m: 岩組織・割れ目は	[0)]	Ħ		100	D																	5	5						
	-15, 84	25, 52	++++	i.l	にぶり黄檀) Dg	Vg	cg	δ		残留するが軟化が著しい。	3				(92)																									
-	15, 91	25, 60	++++	<u>^Z</u>	<u> </u>	Dg		cg dg	δ		25.52~25.60m: スライムである。	[0)]	\parallel		\parallel	\D					L						_								ダブ					
			++++		にぶい黄橙		V.	cg		2	26.10m以深:風化が弱くなる。	10)]	+		- 00	CL																			ダブルコアチ					
-			‡+±+ ±+±+			Dg	"	08	ľ		27.40m:傾斜55~60°,幅4~5mmの	3		$^{+}$		+	-									+		+						6	5 86	٦					
			++++			Ea					石英脈である。	ţ)]	Ħ		100	*																		泥水	ューブ/ダイヤモンドビット					
			++++		にぶい	Eg Dg Eg	VIg				●29.99~30.16m:破砕帯(D-36) 破砕幅は13.0cmである。	1				Ţ.,	,																9/	17		ヤモンド					
-			++++		校	Dg			ε		29.99〜30.01m:暗灰色の角礫混 じり粘土状を呈する。未固結の 粘土状部からなり,幅は1.5cmで	[0)]	\parallel								L				+		-								トビット					
			++++	+				dg		3	ある。上端境界の傾斜は85°,下 端境界の傾斜は35°である。 30.01~30.16m:にぶい黄橙色の	1)]	$^{+}$	+), D	'																8	0				2.	5 7	E O
30			¥+++ ⊠+++	3		+			Н		固結した礫状部からなる。下端 境界の傾斜は18°である。灰色~	1		†	\parallel	+															-										
			++++			Eg	IV g				白色の粘土が網状に分布する。 30.67m:傾斜35',幅5mmの赤褐色の	[0	9]	Ħ		100	*																								
				# #					8	3	粘土脈である。 ●30.87~31.32m:破砕部 破砕幅は25.3cmである。	4						_																							
-			####	花崗斑岩		Dg					30.87~30.89m:褐灰色の粘土混 じり角礫状を呈する。未固結の	10)]	4	\perp	\perp																					40.0				
			++++	岩	=	H		cg	1 1	2	粘土状部からなり,幅は2.5cmで ある。上端境界の傾斜は31°,下 端境界の傾斜は80°である。	5	3	$^{+}$	+)) e																		15						
ŀ			 + + + + + + + + + + + + + + + + + +		にぶい#	Cg			r		30.89~31.04m:角礫質粘土状を 呈し.褐灰色の固結した礫状部か らなる。下端境界の傾斜は80°で	I Ħ	,	$^{+}$														+						ľ							
			####		黄橙	Dg	VIg	dg	δ	3	ある。 31.04~31.32m:褐灰色の割れ目	ic	9)	Ħ		100)) A																								
			++++								の密集部からなる。下端境界の 傾斜は70°である。 32,22m:傾斜60°,幅15mmの石英脈	4		\parallel			CL																9/	18				120			
L						Cg			_r		である。幅6~10mmの黄褐色の粘土 を伴う。)]	\parallel	\parallel	1						L																			
			 			\vdash	$\frac{1}{2}$				33.68m以深:一部で風化で褐色化 し軟化が進行する。 35.30m:傾斜60',幅10~15mmの石	4)]	\parallel	\parallel	100	»÷																								
ŀ							Vg	cg	Ш	2	英脈である。 36.04m:傾斜50',幅8~10mmの石英		\parallel	+	+	+	\parallel					-				+					-			8	0						
			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		灰褐	Dg					脈である。	10)]	$\dagger \dagger$	\dagger	100	*																								
Ī			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		におい				δ			2																													
	<u>-27, 15</u>	38.00	####		がい橙	Eg				_		[0)]				D	1	1												\perp	1	1	1	_						
									П																																\perp

H24-B8-23

柱状図(0.00m~38.00m)

H24-B8-23	孔	П	標	高	T. P.	7. 29m	掘	削	長	38. 00m

標	標	深	柱	岩	色	岩		最	R		ア	採取	率	
	+	#	خلة	種		級	ア採	大コ	Q	最	大	ュア	(%)	
尺	高	度	状	区		区	取率	ア長	D	F	, (• Q D	(cm)	記事
m	m	m	図	分	調	分	(%)		(%)	0 20	_	_	[%] 0 100	
				埋	にぶい		100			-++		1-1-1-	++0	0.00~1.88m ・埋土である。
	5, 59	1, 88		±	黄褐 明黄褐		100			11	13-		1	- 41000
				盛	黄褐		100			- + +	-			1.88~4.45m ・盛土である。
				土	褐灰明黄褐		100			- 1 1			1	
	3, 26	4. 45	, , 0	DE:00 1*	にぶい		100			- † †				4. 45~5. 98m
	1.87	5. 98		礫混じ り砂	灰		100			-11			LĻ,	・礫混じり砂である。 ・中粒砂を主体とする。
			0.000		<u>灰白</u> 黒褐		100			- † †			r T	・径2~5mm石英を含む。
			0.0.0	砂礫	褐		100			-11	1-		- 1 .	5.98~10.11m ・砂礫である。
			0:00	礫	灰		100			- + +			- 1 9	・径2~5mmの石英と径10~30mmの花崗斑岩亜 円~亜角礫を含む。
10	-1, 87	10, 11	0.000		明褐灰 褐灰		100			- + +	1		- + 1	10. 11~10. 79m
L '	-2, 49	10. 79		砂混じり粘土	灰黄褐		100			- 1 1				・砂混じり粘土である。 10.79~11.81m
Ĺŀ	-3. 41 -3.52	11, 81		砂粘土	にぶい 黄橙		100			-++	11.		++3	・砂である。
L	-4.04		0:0:0	莎	黄褐		100				11:		1	・シルトの混じる中粒砂が主体である。 11.81~11.93m
				砂礫	にぶい		100			-++		i-i	+ + s	・粘土である。 11.93~12.50m
	-6, 29	14. 98	0:00	3555	黄橙		100			11			1	・砂である。 12.50~14.98m
L	-6, 69	15, 43	000	PE	灰黄灰白		100			-++			- + 3 L L	・砂礫である。
	-7.54	16. 36		礫混じ	浅		100			- <u>1</u> <u>1</u>			- + :	14.98~15.43m ・シルト質砂である。
	-8. 91	17. 87		り砂	黄		100			- † † - † †			- + 9	・細~中粒砂が主体である。 15.43~16.36m
			0.000				100			- † †	11:		1	・礫である。 16.36~17.87m
- 20			0:0:0	Tel.	灰		100			-			FT!	・礫混じり砂である。
_			0:000	砂礫	黄		100			- 1 1	11:			・シルトの混じる不均質な砂が主体である。 ・径2~5mmの石英細礫及び花崗斑岩礫を含む
			0.0.0		明褐灰		100			- T T	-			17. 87∼23. 09m
	-13. 64	23. 09	0.0.0		灰黄		100			- 1 1	11-	- - - - - - - -	1	・砂礫である。
	-14. 37	23. 90	+ - +	スライム		: 	9	0 /	0	*	1		1	・径10~100mmの花崗斑岩亜角礫を含む。 23.09~23.90m
L			++++		明黄褐	D'	100	3	Ŏ	++	Ħ.		1/	・スライム。 23.90~38.00m
1			‡+‡+		にぶい 黄橙	D'	92	3	0	177	1		*	・花崗斑岩である。 25.52~25.60m
			+++		にぶい	CL'	100	4	0	+ + + + ± ±	11:	1-1-1-	++)	・スライム。
			++++		黄橙		100	3	0	+				
			++++		にぶい	D'	100	1	0	++	11:	- - - - - -	++1	●29.99~30.16m(D-36破砕帯) ・破砕部である。
- 30			++++ +++ +++ ×+++ ×+++	花	橙	D'	100	1	0	11			1	・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・暗灰色の未固結粘土状部:累計幅1.5cm -
-			#### ####	花崗斑岩			100	1	0	+++	ii:	- - - - - -	++	・走向・傾斜はN3°E72°Eである。 ・上端境界の傾斜は85°,下端境界の傾斜は
			<u> </u>	岩岩	1:		100	4	0	1-1	11			18° である。
			++++		にぷい		100	5	0	†† † -1+ +	11-	1-1-1-	- + -	●30.87~31.32m ・破砕部である。
			++++		黄	01.	100	7	0	1 1	11		1	・主に褐灰色の固結礫状部からなる。 ・褐灰色の未固結粘土状部:累計幅2.5cm
			++++		橙	CL'	100	4	0	† † † 1 + +	17		F T 1	・走向傾斜はN4°W81°Wである。
			++++				100	4	0	+++	#		++9	・上端境界の傾斜は31°, 下端境界の傾斜は 70°である。
			++++		灰褐		100	3	0	+++				33.68~38.00m ・風化部である。
	-27. 15	38, 00	<u> </u>		にぶい 橙	D'	100	2	0	++	1-1-	- - <i> </i> -	++3	AND CONTROL OF CONTROL
			3											

1-214~1-219 (分類c) ① 岩種区分の"スライム"を消去したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから、記事のみに表現を留めたため)

B8-29 (2 / 2)

標	標	深	柱	岩	色	硬		宝山	風	変	記		=	コア	採	取	率	岩	孔			(標	準貫	入)	試駁	ŧ	原	室	掘	. ±6	· 子		給		l iż	<u>.</u>	送	±#
175	175	<i>i</i> *	111	-	-	贬	-	割れ	1 1	Z	ДL			-		(9	((内			(1	√ 值·	~深.	隻) [<u> </u>	一位	<u> </u>	ם עו	· 述			· **-					
				種			ア	目					最	· 大	⊐.		- 1	級	水位、												置試	内	進			"l 그			기			
尺	高	度	状	_			п.	_ の					R	₹	Q	c	, I		(m)	N											験		_	馬	2		圧	数	I E		量	量
				区			形	状							L	[9		区	測定												九内水	試	7	G	ì 犀	يَ إ	k۱	Ì	n MF		L 分	Ĺ
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事		0		50		100	分	定月日	値	. 0		10		20		30		40	50	(孔内水平載荷)	験	B	16	保護	りた		a				分
											21.00mまでノンコア																								101.6 ケーンク	Ý				そ (金	の他 (不明 (本)	
-	-10, 90	21.00	e5a: +:ne5			Dg	VE	dg dg		2	21.00~30.00m: 花崗斑岩である。	ļ	\perp	Ш	Ш	Н	Щ	_					_		4		+															
			\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			Eg	Vig	dg	δ	3	●21.08~21.27m:破砕帯(D-36) 破砕幅は17.7cmである。	ŀ	2	Ш	Ш	Ц,	100																11/1	20	0							
-			<u> </u>		浅黄						粘土混じり角礫状を呈し、明黄褐 色の固結した礫状部からなる。	ļ	Į, ų,	Ш	Ш	Н	Щ						_		4		4															_
			<u>+</u>								上端,下端境界の傾斜はともに65 である。下端に幅0.5mmの黄褐		3	Ш	Ш	Ц,	100																H	╁				90				
ļ			<u></u>		IS.						色の粘土を伴う。 21.27~22.15m: 不規則な割れ目が	I	[0]	Ш	Ш	Ш	Ш						_		4		4															-
			<u></u>		にぶい黄橙	Dg	Vg	cg		2	約1cm間隔で分布する。風化で褐色 化している。	ļ	5	Ш		Ц	100)	CL'																13	5	ダブ						
L			#####		橙				r		24.10~24.16m: 上端の傾斜が75°, 下端の傾斜が60°で幅20~80mmの岩	Į	[0]	Ш		Ш									1		1									ダブルコアチ						
			#####		=						片混じり粘土状を呈する。粘土は灰 白色を呈する。岩片は花崗斑岩と 石英粒からなる。上端は幅1~3mm	Į	1	Ш		Ц,	100																			ر ب						
L			<u> </u>		にぶい						石英和からなる。上端は幅1~3000 の灰白色の粘土からなる。 24.16~24.63m:割れ目間隔1cm程	-[[0]	Ш	Ш	Ц	Ш								\perp		_								٦.,	コーブ	20.	, [7			
			##### ######	花崗斑岩	橙						度で網状を呈する。石基は極めて 細粒である。		1	Ш		Ц,	100																11/1	9 .	86/泥水	ダイヤ			0.	1 3	泥水3	3
L				斑 岩	淡	Eg	VIg	dg	δ	3	●25.44~26.11m:破砕部 破砕幅は34.5cmである。	-[[0]	Ш				D'																24	U 7K	/ダイヤモンドビ						
			###### ###############################		橙						25.44~25.93m: 淡橙色の固結した礫状部からなる。上端境界の		2	Ш		Ц,																				トビット						
Ĺ			#####		灰白						傾斜は55°である。 25.93~25.96m:淡橙色の固結し		[0]			Ш,																				1						
			++++		H	Da	Ve	cg		2	た粘土状部からなる。 25.96~26.11m:淡黄橙色の割れ	L	9			Ш	100																					120)			
			++++		灰黄	, p		08		-	目の密集部からなる。下端境界の傾斜は70°である。	L	(b)																													
			[####		_						25.47m: 石英脈である。傾斜50°, 幅20mmの角礫状を呈する。 25.77m: 灰白色の粘土状を呈する。		5			Ш		CL.																16	0							
			 		灰白	Fσ	VTo	da	δ	3	是大幅は10mm程度で湾曲している。 25.88m: 褐色の粘土からなる。		[ø]				100,-																Г	1								
			<u> </u>			Dg	Vg		-	2	28.86~29.05m:角礫状を呈する。 上端の傾斜は44',幅1~5mmの黄褐		2			П,	100																11/2									-
	-18, 69	30.00	52∔ T +65 T + T + T		淡 黄	Eg Dg	VIE	Cg	_	2	色の粘土を、下端の傾斜は58、幅 1mm程度の灰白色の粘土を伴う。	ľ	[0]			П																										
											●29.51~29.61m:破砕部 破砕幅は2.0cmである。	Ī																	-													
											29.51~29.59m: 粘土混じり砂状 を呈し,淡黄橙色の固結した礫状																															
											部からなる。上端境界の傾斜は 75°である。																															
											29.59~29.60m:淡黄橙色の固結 した粘土状部からなる。下端境 界の傾斜は75°である。																															

H24-B8-29

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-B8-29	9	孔口標	高 T.P.	7. 29m	掘削	長		30.00m
種	色岩辺が採取	最 大 コ Q	コア採	(%)	=7		-t-	
	一 率	長 D	R Q	D (cm)	記		争	
R m m m Z 20 10.90 21.00 3 ++++++++++++++++++++++++++++++++++	浅黄 次で 100	ファ Q ア長 D (cm) (%)		ア 長 (cm) D [%] 60 80 100 ・ 花 21.0 ・ 花 21.0 ・ 花 21.0 ・ 北 21.0 ・	20、 OP	。 D-36破 礫状部 ° E85° 土を挟 は65°	砕帯) からなある Eでする。 在す端境	界の傾斜は
	灭白 _{炎黄橙} 100		++++	・正 ・淡 固結	断層センスで 橙〜淡黄橙色 粘土状部から	の固結なる。		
1-220, 1-221 (分類d) ①				・上 70° ●29 ・ 破淡な走・上	向・傾斜はN4 特別の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は55°。 礫状部。 5°E45°	下端境 及び固結 Eである	界の傾斜は 粘土状部か

参考3-649

ボーリング柱状図

凋	査	名	

事業・工事名

					_=	手弟	ξ.	上寻	\$~	1																		
ボー	-リン	グ名		B8	3-30						調査(拉置										北	緯					
発	注析	幾関													調査	朝間						東	経					
調 ء	主 業	者 名									主任技	支 師			現 代 理	場人		コア鑑定者				ボー グ責	リン 任者					
孔	口模	票高	7	7.39 m	角	1	80°	\	90°	方 2	270° 1 0° 9	. 3	地 盤		試錐	機				ハンマ 落下用	— 具							
総	掘削	手	28	3.00 m	度	Ŧ	· 0°	$\sqrt{}_{25}$	0°	向		東 î 5.0° Î	知道 []	機 1.0° 種	エン:	ジン				ポン	プ							
						<u> </u>	П	_	_	_							<u> </u>	IT '# -		=+=^			_		_	$\overline{}$	_	$\overline{}$
標	標	深	柱	岩	色	硬	=	割	風	変	ā	2		コア採		岩	孔 (標準貫入	,	試験	原	室振	引掘	孔 :	□ 給	: 回	送 边	送 排
								n							(10)			N値~深	度)図	位		進	孔 2	P			
				種			ᄓᅱ	1						最大コ	ア長	級	水 位 m) N				原位置試験	内追	έ│速│	117	<u> </u>	転	까 기	k 水
l	-	l 🚓 l	445					目							cm		(m) N				輪		度		II⊏	米布	正一	ᇎᆝᇎᆝ

村	票	標	深	柱	岩	色	硬		1	1 1	変	話		=	コア採取率 岩	孔内		T ((票準貫入 N値~深	度)試験	原位	室	掘	掘	孔	コア	給	回	送	送 :	排
		_		1.6	種			ア	れ 目					重	最大コア長 → cm	孔内水位 医/測定月日			`		11 E 2/1	, <u>,</u>	/ ല	原位置試験	室内	進	速度	1全 (mm)	コアチューブ/ビット	Ŀ			水	
F	۲	高	度	状	区			形	の状					F	R Q D K	測定								八八八八	試	月	度 (四/時)	/ 孔壁保護	ブ/ビ	H (K	奴(圧 MPa	里.	量(L/分
(n	n)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状		化	質	事		0	分 50 100	月日	値	i		10	20	30	40 5	(孔内水平載荷)	験	日	時	保護	ット	MPa)	rpm	MPa U	分	分
													T															<u>.</u>						
-																		-										試掘	試掘/試掘	0.0	0		誠掘	1
-													-	H												11/28								7
														Ц																				
ŀ													i	H																				-
ŀ													i	H																				1
-																																		-
													-	H												11/29			ダゴ				その	
ŀ																													フルコア				その他 (不明含む)	1
-														H														101.6	チューブ				含む)	-
													- 	H														101.6 /ケーシング	ダイヤ	10.0	90			
	10																												ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット					
ŀ														H				-											ット					-
														Н																				
ŀ													i	H				-																-
-																																		-
		0.00	45.00									15.00mまでノンコア		H												11/30								
r	ŀ	-6. 20 -6. 48	15.00 15.30		- 傑混じ リシル ト質砂	褐灰	<u> </u>					15.00~18.60m: 礫・砂主体の第四系である。																					+	
-					巨滩	灰黄						15.00~15.30m: 礫混じりシルト質砂である。 基質はシルト~粗粒砂で不均質で		\parallel								_					115					0.1	泥水3	3 -
	-	7, 82	16, 78		玉石湿	II.S.U	7					ある。礫は径2~6mmの石英,長石の 角~亜角礫からなり,礫率は10%程 度である。	-	H	(100)											12/ 4	120							
					世様	黄橙	ſ					15.30~16.78m:巨礫である。 花崗斑岩の巨礫である。 16.78~18.60m:玉石混じり砂礫であ る。																					T	
												確は径10~40mmの花崗斑岩岩片,径 100~400mmの玉石で石英,長石の細 礫も分布する。礫,玉石とも半クサ																						
												リ傑が主となる。基質は細~粗粒 砂で不均質である。全体に酸化汚 染を受ける。																						